

刈谷市高齢者等実態調査報告書

令和8年3月

刈 谷 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査の実施概要	3
(1)	調査方法	3
(2)	回収結果	4
(3)	主な調査内容	5
3	調査結果報告書の見方	7
II	一般高齢者調査結果	9
1	あなたの家族や生活状況について	10
2	体を動かすことについて	12
3	食べることや口腔の健康について	16
4	毎日の生活について	19
5	地域での活動について	23
6	助け合いについて	34
7	健康について	36
8	認知症の支援について	44
9	高齢期（65 歳以上）の課題について	46
10	希望する介護・医療等や終活について	50
11	その他近年の生活状況について	53
12	調査結果からみる調査対象者の評価	57
(1)	運動器	57
(2)	転倒	59
(3)	閉じこもりリスク	60
(4)	栄養	61
(5)	口腔	62
(6)	認知機能	63
(7)	うつ傾向	64
(8)	I A D L（手段的日常生活動作）	65
(9)	知的能動性	66
(10)	社会的役割	67

Ⅲ 第2号被保険者調査結果	69
1 あなたの家族や生活状況について	70
2 介護についての考え方について	71
3 社会参加について	74
4 介護保険について	79
5 認知症の支援について	81
6 高齢期（65 歳以上）の課題について	83
7 希望する医療等について	87
8 その他近年の生活状況について	88
Ⅳ 居宅要支援・要介護認定者調査結果	91
1 あなたと家族について	92
2 要支援・要介護認定について	93
3 介護保険サービスについて	97
4 認知症の支援について	106
5 歯の健康について	108
6 高齢期（65 歳以上）の課題について	109
7 希望する医療等や終活について	114
8 その他近年の生活状況について	119
9 介護者について	121
Ⅴ 事業所調査結果	135
1 事業所の概要について	136
2 事業所の業務の状況について	144
3 事業所の人材確保の状況について	149
Ⅵ 訪問介護員調査結果	173
Ⅶ 介護支援専門員調査結果	181
1 あなたについて	182
2 介護サービス計画について	184
3 医療関係者との連携について	192
4 本市の介護サービスの供給について	201
5 虐待や権利擁護について	206
6 在宅生活の継続や介護人材について	208

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画」の見直しを行うにあたり、策定の基礎資料とするために実施したものです。

各調査の目的は以下のとおりです。

調査種別	目的
一般高齢者	市内にお住まいの、介護認定を受けていない 65 歳以上の人、要支援認定を受けている人、事業対象者 ¹ の一部を対象に、介護予防をはじめとした健康に関するニーズや生きがいづくりに関する実態等を把握することを目的としています。
第2号被保険者	市内にお住まいの、55～64 歳の第2号被保険者を対象に、介護についての考え方や社会参加に対する意向を把握するとともに、健康に関するニーズや生きがいづくりに関する実態等を把握することを目的としています。
居宅要支援・要介護認定者	市内にお住まいの、介護認定を受けられた人を対象に、介護保険サービスの利用状況、満足度、利用希望等を把握するとともに、ケアプランや介護保険制度に対する意向等を把握し、介護保険サービスの充実と、公平・公正な介護保険制度の運営に向けた基礎資料づくりを目的としています。
事業所	介護サービス事業所等を対象に、事業所の人材確保に関する状況や意見、介護職員の勤務実態等を把握し、問題点を洗い出すことを目的としています。
訪問介護員	訪問介護員を対象に、資格の取得・研修の修了状況や勤務実態等を把握し、問題点を洗い出すことを目的としています。
介護支援専門員	介護支援専門員を対象に、医療関係者との連携や介護サービスの供給状況や意見を把握し、問題点を洗い出すことを目的としています。

¹ 事業対象者

基本チェックリストにより、生活機能の低下がみられた人。

2 調査の実施概要

(1) 調査方法

調査種別		内容
一般高齢者	調査対象	要介護認定を受けていない 65 歳以上の人（要支援認定者、事業対象者を含む）から無作為抽出
	配布・回収方法	郵送配布、郵送回収またはWEB 回答
	調査基準日	令和 7 年 12 月 1 日
	調査期間	令和 7 年 12 月 15 日～令和 8 年 1 月 15 日
第 2 号被保険者	調査対象	要支援・要介護認定を受けていない 55～64 歳の人から無作為抽出
	配布・回収方法	郵送配布、郵送回収またはWEB 回答
	調査基準日	令和 7 年 12 月 1 日
	調査期間	令和 7 年 12 月 15 日～令和 8 年 1 月 15 日
居宅要支援・要介護認定者	調査対象	要支援・要介護認定を受けている人から無作為抽出
	配布・回収方法	郵送配布、郵送回収またはWEB 回答
	調査基準日	令和 7 年 12 月 1 日
	調査期間	令和 7 年 12 月 15 日～令和 8 年 1 月 15 日
事業所	調査対象	市内介護サービス事業所、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、養護老人ホーム
	配布・回収方法	郵送及びメール配布・回収、またはWEB 回答
	調査基準日	令和 7 年 11 月 1 日
	調査期間	令和 7 年 11 月 5 日～令和 7 年 11 月 25 日
訪問介護員	調査対象	市内の訪問介護、訪問入浴、訪問型サービス（総合事業）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び小規模多機能型居宅介護に従事している訪問介護員
	配布・回収方法	郵送及びメール配布・回収、またはWEB 回答
	調査基準日	令和 7 年 11 月 1 日
	調査期間	令和 7 年 11 月 5 日～令和 7 年 11 月 25 日
介護支援専門員	調査対象	市内の居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所及び小規模多機能型居宅介護事業所に所属している介護支援専門員
	配布・回収方法	郵送及びメール配布・回収、またはWEB 回答
	調査基準日	令和 7 年 11 月 1 日
	調査期間	令和 7 年 11 月 5 日～令和 7 年 11 月 25 日

(2) 回収結果

①市民向け調査

区分		一般高齢者	第2号被保険者	居宅要支援・ 要介護認定者
配布数 (A)		2,200 件	2,000 件	2,000 件
回収数 (B)	郵送	1,075 件	543 件	829 件
	WEB	132 件	435 件	124 件
	合計	1,207 件	978 件	953 件
回収率 (B/A)		54.9%	48.9%	47.7%
無効回答件数	入院中	3 件	0 件	16 件
	転居	0 件	0 件	0 件
	死亡	0 件	1 件	6 件
	その他	1 件	1 件	14 件
	不明・無回答	1 件	0 件	1 件
	郵送と WEB の二重回答	1 件	0 件	0 件
	遅延して到着した回答	4 件	3 件	6 件
合計		10 件	5 件	43 件
有効回答件数 (C)		1,197 件	973 件	910 件
有効回収率 (C/A)		54.4%	48.7%	45.5%

②事業所向け調査

区分	事業所	訪問介護員	介護支援専門員
配布数 (A)	186 件	530 件	124 件
回収数 (B)	131 件	191 件	96 件
回収率 (B/A)	70.4%	36.0%	77.4%
有効回答件数 (C)	131 件	191 件	96 件
有効回収率 (C/A)	70.4%	36.0%	77.4%

(3) 主な調査内容

第9期の計画策定のため令和元年度に実施した同調査を基本とし、第10期計画策定のため国から示された項目・内容に従い、刈谷市の施策を検討するため必要と思われる項目を追加しています。

①一般高齢者調査

- ・国が示す介護予防・日常生活圏域ニーズ調査²項目
- ・健康、生きがい、社会参加についての状況・考え方
- ・高齢福祉サービスの利用状況、利用意向
- ・インフォーマルサービス³へのニーズ
- ・就労の状況・今後の意向
- ・地域の課題
- ・介護が必要となった場合の介護サービスの利用意向
- ・今後の意向（介護、医療、終末期等）
- ・認知症に関する意識
- ・高齢者支援策・施設等の認知度
- ・市の施策情報の入手方法

②第2号被保険者調査

- ・仕事と介護の両立や社会参加への考え方
- ・インフォーマルサービスへのニーズ
- ・就労の状況・今後の意向
- ・地域の課題
- ・本人、家族に介護が必要となった場合の介護サービスの利用意向
- ・今後の意向（介護、医療、終末期等）
- ・認知症に関する意識
- ・高齢者支援策・施設等の認知度

③居宅要支援・要介護認定者調査

- ・健康状況、医療的ケア、介護保険サービスの利用状況・利用意向
- ・高齢福祉サービスの利用状況・利用意向
- ・認知症に関する意識・必要な支援
- ・地域の課題
- ・今後の意向（介護、医療、終末期等）
- ・高齢者支援策・施設等の認知度
- ・市の施策情報の入手方法
- ・介護者の状況、仕事への影響

² 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握し、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定するとともに、介護予防・日常生活圏域総合事業の評価に活用するための調査。調査項目は国が定めている。

³ インフォーマルサービス

公的なサービス以外のもので、家族や友人、町内会や民生委員、地域住民、ボランティア等が行う援助活動の他、企業の有料サービスに付随したサービス等。

④事業所調査

- ・事業所の概要について
- ・事業所の人材確保・定着状況について
- ・介護職員の資格の習得状況、勤務形態、勤務時間等について
- ・採用や人材確保の課題
- ・本来の業務以外で発生する事項
- ・業務上のトラブル
- ・ＩＣＴの導入状況
- ・市の情報の入手方法

⑤訪問介護員調査

- ・資格の取得、研修の修了状況について
- ・介護職の経験の状況等について
- ・介護給付、介護予防給付及び総合事業の具体的な勤務時間について

⑥介護支援専門員調査

- ・介護サービス計画作成業務の状況について
- ・医療関係者との連携について
- ・介護サービスの供給について
- ・虐待や権利擁護について
- ・在宅生活の継続や介護人材について
- ・本来の業務以外で発生する事項
- ・ＩＣＴの導入状況

3 調査結果報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「単数回答」「複数回答」について

図表のタイトルにある「単数回答」は、選択肢の中から1つだけを選ぶもの、「複数回答」は選択肢の中から2つ以上を選ぶものを表します。

●「n」について

グラフ中の（n）とは、number of case の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の％に（n）を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

●「％」について

グラフ中の「％」は、小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、単数回答の設問（1つのみ選択）において、合計が100.0％とならない場合は、順位に影響が生じないよう配慮し、「不明・無回答」がある場合は当該項目で、ない場合は最も割合の大きい選択肢において調整を行っています。

また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、（n）に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま、選択肢の順に記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

●読取文について

グラフや表についての読取文は、原則として割合等が高い順に記述しています。なお、回答者数が10未満の場合は、読取文の対象外としています。

●「不明・無回答」について

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●クロス集計について

クロス集計は、元の設問およびクロス集計に用いた設問の双方に回答があった方を対象に集計しています。そのため、クロス集計に用いた設問に「不明・無回答」がある場合、各区分の合計は全体の（n）と一致しないことがあります。

●自由回答の記載について

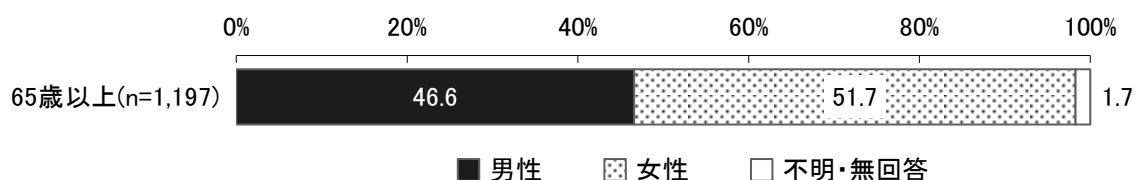
自由回答の結果は、原則として回答の原文通りに掲載しています。なお、文中から一部抜粋している場合や、掲載にあたり誤字・脱字の修正や表記の統一などの体裁を整えている場合がありますが、原文の内容の趣旨が損なわれないように配慮しています。

Ⅱ 一般高齡者調查結果

1 あなたの家族や生活状況について

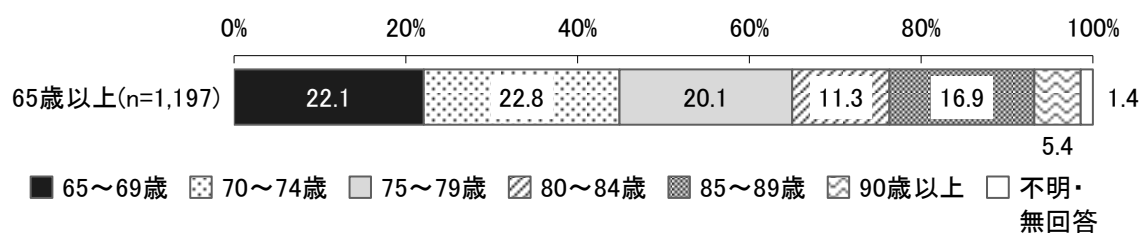
問1. あなたの性別はどちらですか。(単数回答)

性別について、「男性」が46.6%、「女性」が51.7%となっています。



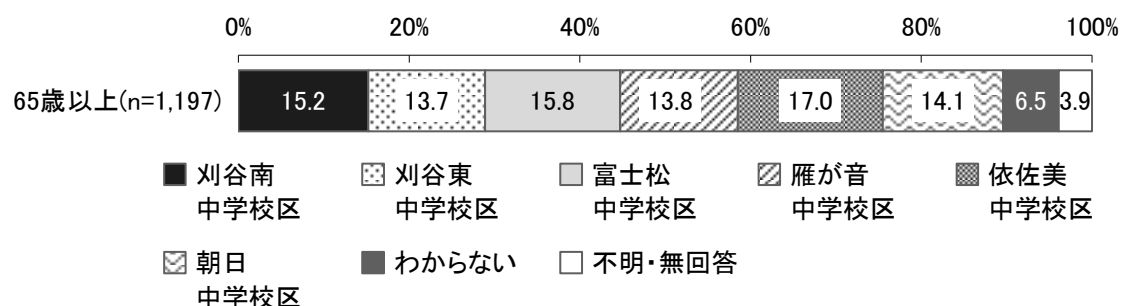
問2. あなたの年齢は、おいくつですか。(単数回答)

年齢について、「70～74歳」が22.8%と最も高く、次いで「65～69歳」が22.1%となっています。



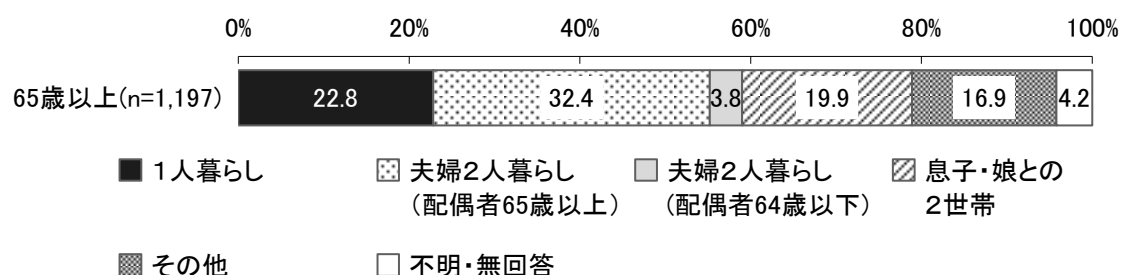
問3. あなたの居住地（中学校区別）は次のどれですか。(単数回答)

居住地（中学校区）について「依佐美中学校区」が17.0%と最も高く、次いで「富士松中学校区」が15.8%となっています。



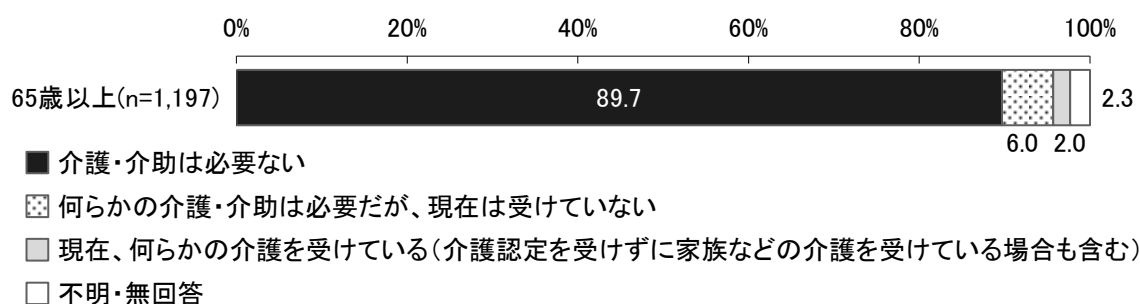
問4. 家族構成をお教えてください。(単数回答)

家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が32.4%と最も高く、次いで「1人暮らし」が22.8%となっています。



問5. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(単数回答)

普段の生活における介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が89.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.0%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が2.0%となっています。

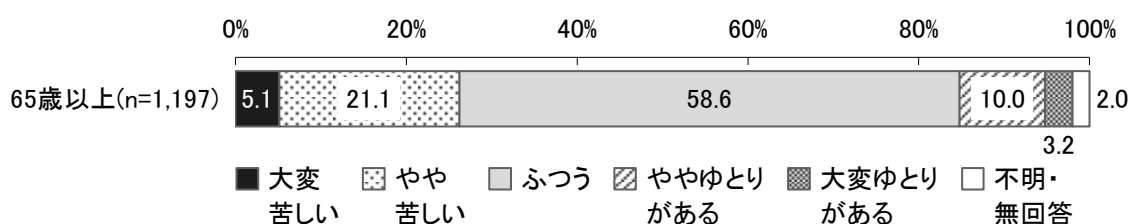


問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『苦しい』 … 「大変苦しい」と「やや苦しい」を合算
 『ゆとりがある』 … 「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合算

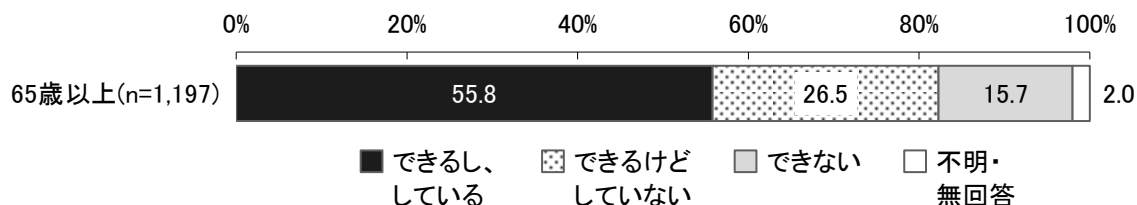
経済的な暮らしの状況について、『苦しい』が26.2%、「ふつう」が58.6%、『ゆとりがある』が13.2%となっています。



2 体を動かすことについて

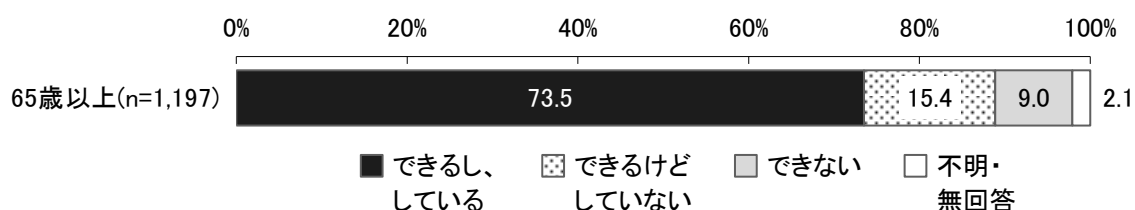
問7. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(単数回答)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が55.8%、「できるけどしていない」が26.5%、「できない」が15.7%となっています。



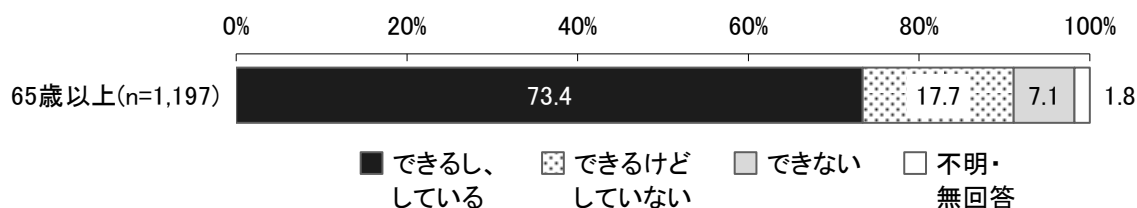
問8. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(単数回答)

椅子に座った状態から支えなしに立ち上がれるかについて、「できるし、している」が73.5%、「できるけどしていない」が15.4%、「できない」が9.0%となっています。



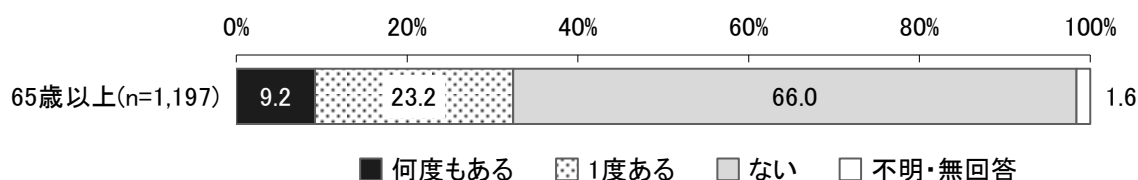
問9. 15分位続けて歩いていますか。(単数回答)

15分位続けて歩いているかについて、「できるし、している」が73.4%、「できるけどしていない」が17.7%、「できない」が7.1%となっています。



問10. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(単数回答)

過去1年間の転倒経験について、「何度もある」が9.2%、「1度ある」が23.2%、「ない」が66.0%となっています。



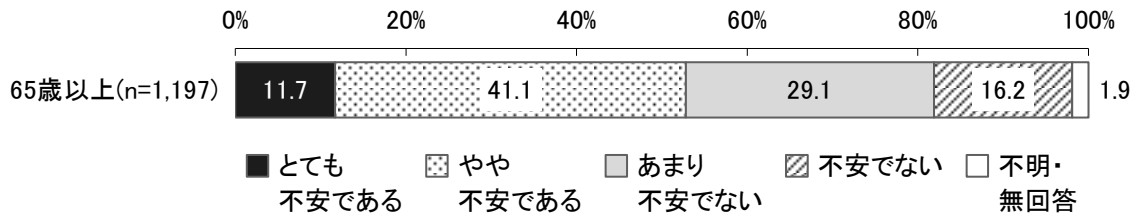
問 11. 転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『不安である』 … 「とても不安である」と「やや不安である」を合算

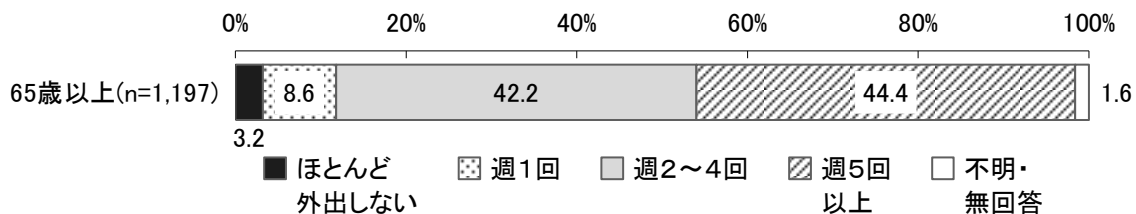
『不安でない』 … 「あまり不安でない」と「不安でない」を合算

転倒に対する不安について、『不安である』が 52.8%、『不安でない』が 45.3%となっています。



問 12. 週に1回以上は外出していますか。(単数回答)

外出頻度について、「週5回以上」が 44.4%と最も高く、次いで「週2～4回」が 42.2%となっています。



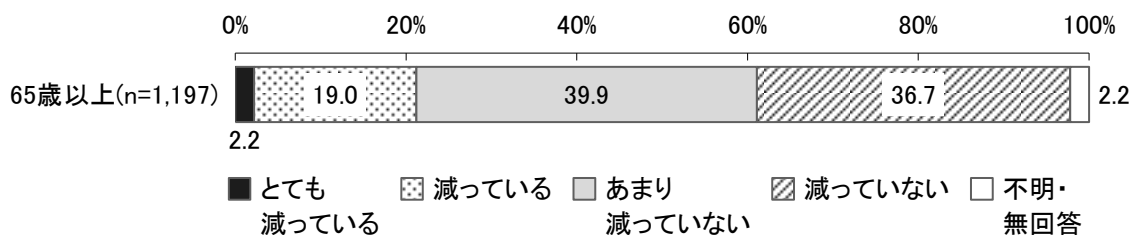
問 13. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『減っている』 … 「とても減っている」と「減っている」を合算

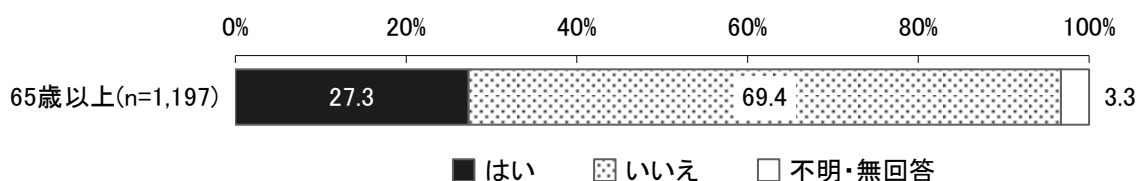
『減っていない』 … 「あまり減っていない」と「減っていない」を合算

外出回数について、『減っている』が 21.2%、『減っていない』が 76.6%となっています。



問 14. 外出を控えることはありますか。(単数回答)

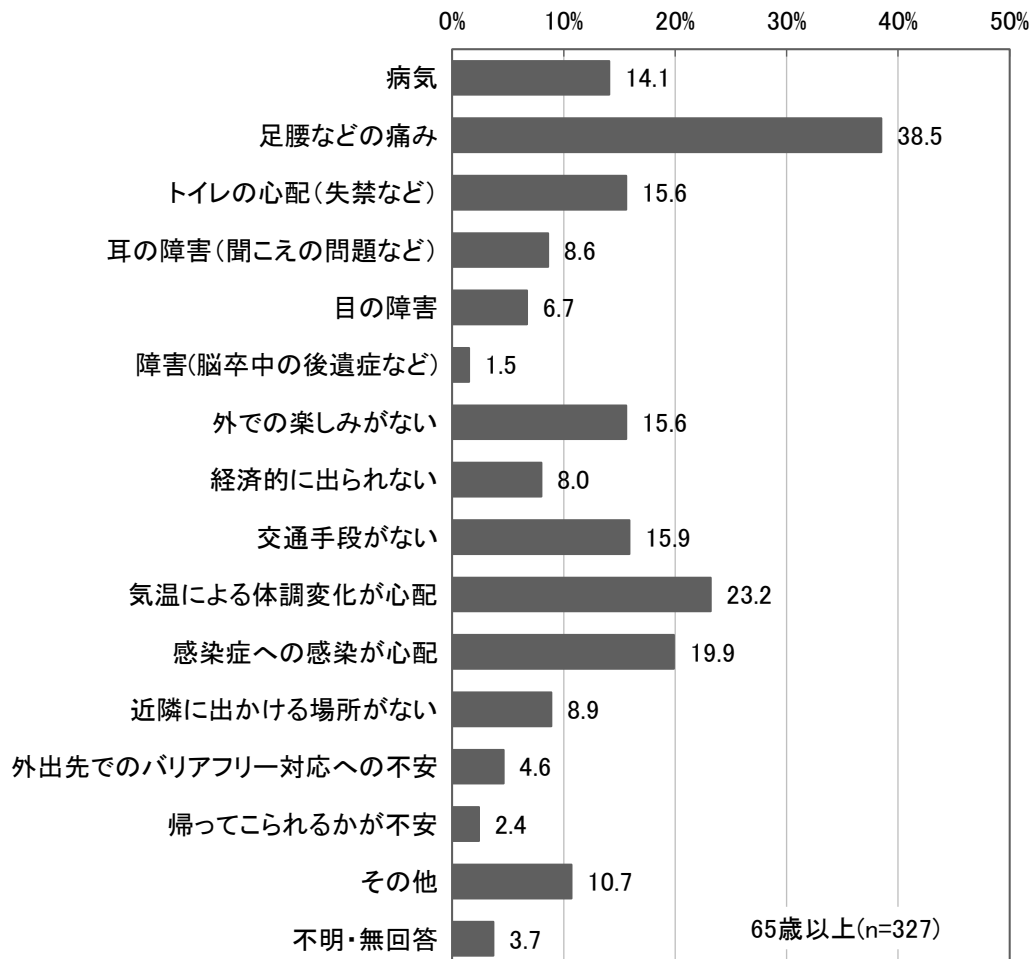
外出を控えているかについて、「はい」が 27.3%、「いいえ」が 69.4%となっています。



<外出を控えている方のみ>

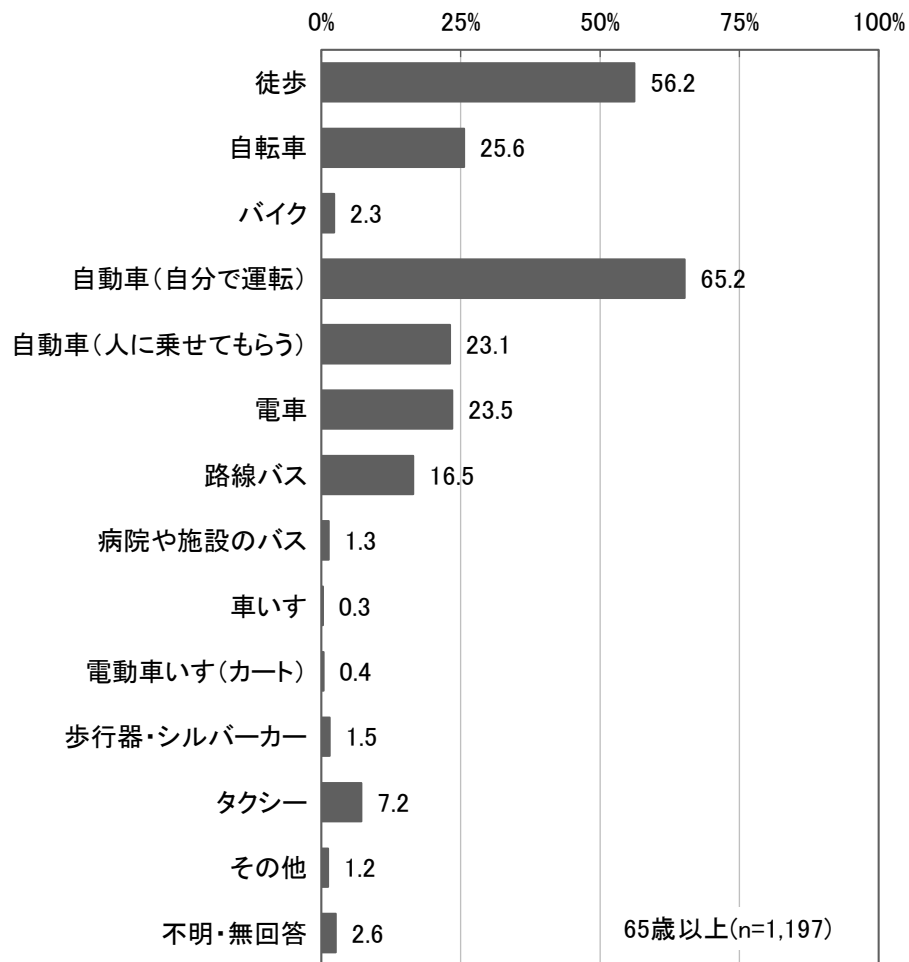
問 15. 外出を控える理由は、次のどれですか。（複数回答）

外出を控える理由について、「足腰などの痛み」が 38.5%と最も高く、次いで「気温による体調変化が心配」が 23.2%となっています。



問 16. 外出する際の移動手段は何ですか。(複数回答)

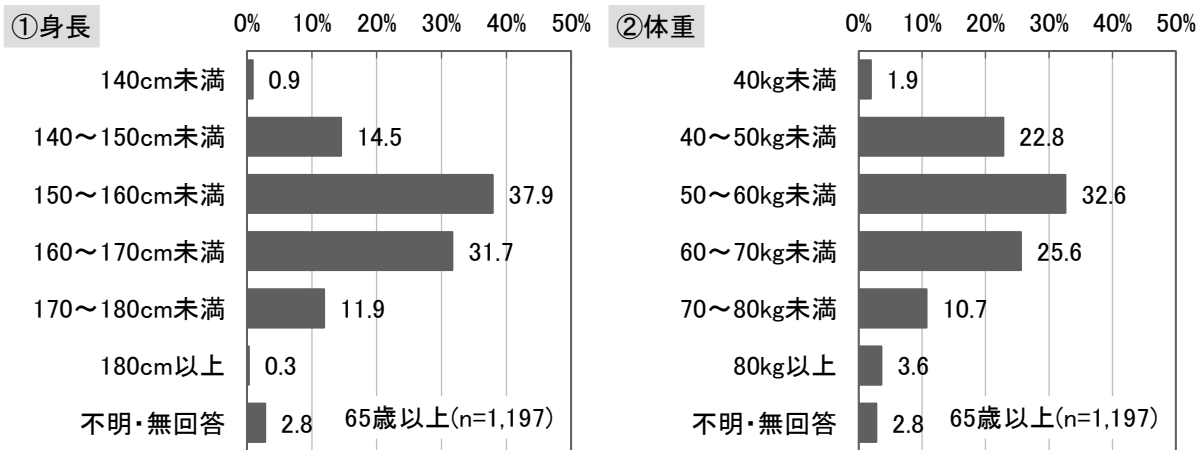
外出時の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 65.2%と最も高く、次いで「徒歩」が 56.2%となっています。



3 食べることや口腔の健康について

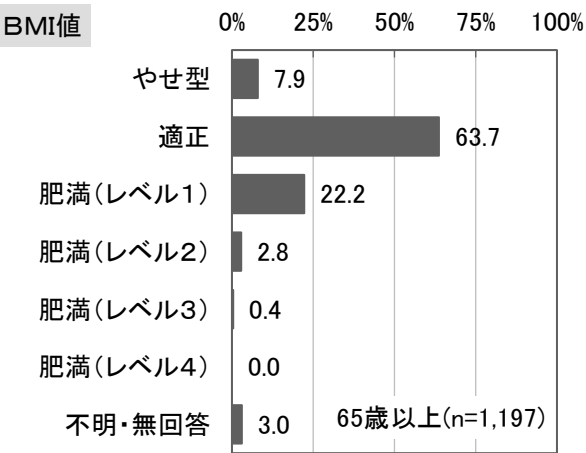
問 17. 身長、体重はいくつですか。(数値回答)

身長は「150～160cm 未満」が 37.9%、体重は「50～60kg 未満」が 32.6%と、それぞれ最も高くなっています。



BMI 値

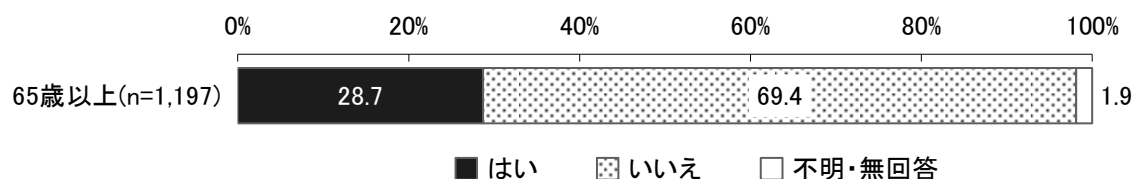
BMI 値について、「やせ型」が 7.9%、「適正」が 63.7%、レベル 1 から 4 を合算した『肥満』が 25.4%となっています。



算出式	区分	BMI 値
体重 (kg) ÷ (身長 (m) ×身長 (m))	やせ型	18.5 未満
	適正	18.5～24.9
	肥満 (レベル1)	25.0～29.9
	肥満 (レベル2)	30.0～34.9
	肥満 (レベル3)	35.0～39.9
	肥満 (レベル4)	40.0 以上

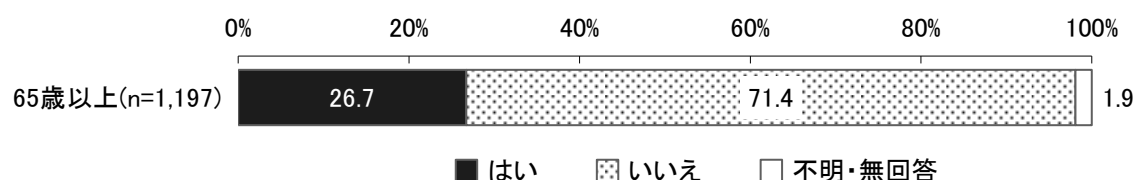
問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(単数回答)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が28.7%、「いいえ」が69.4%となっています。



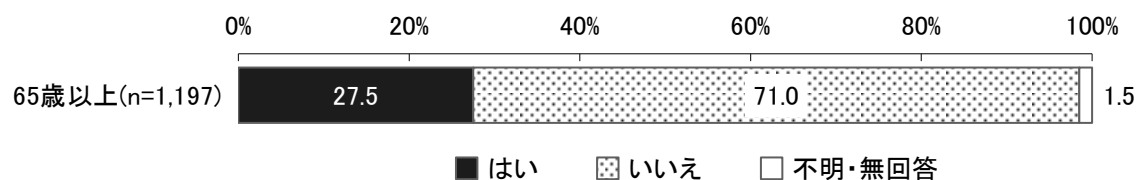
問 19. お茶や汁物などでむせることがありますか。(単数回答)

汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が26.7%、「いいえ」が71.4%となっています。



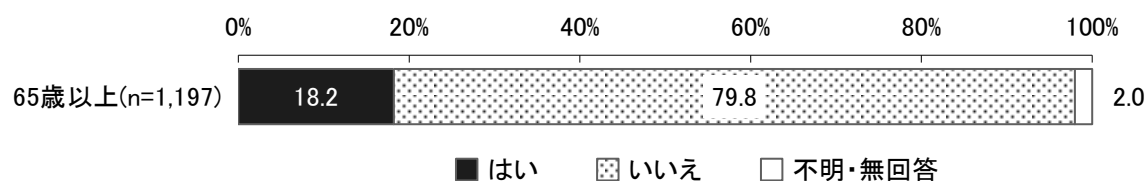
問 20. 口の渇きが気になりますか。(単数回答)

口の渇きが気になるかについて、「はい」が27.5%、「いいえ」が71.0%となっています。



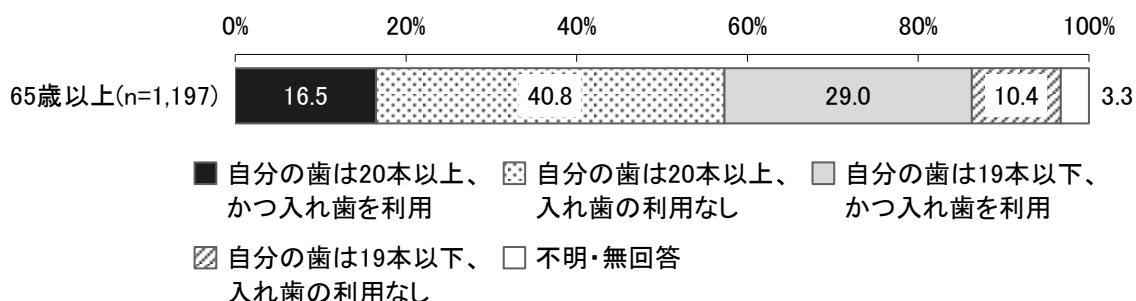
問 21. 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか。(単数回答)

普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがあるかについて、「はい」が18.2%、「いいえ」が79.8%となっています。



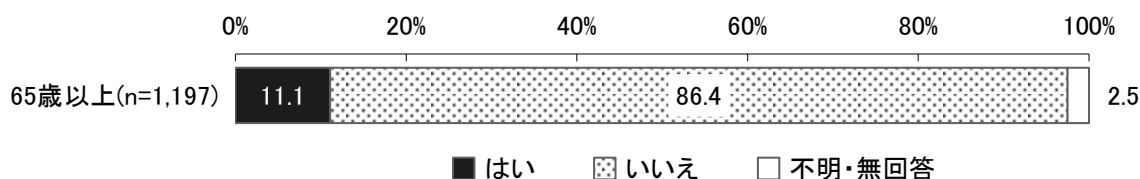
問 22. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）。（単数回答）

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 40.8%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 29.0%となっています。



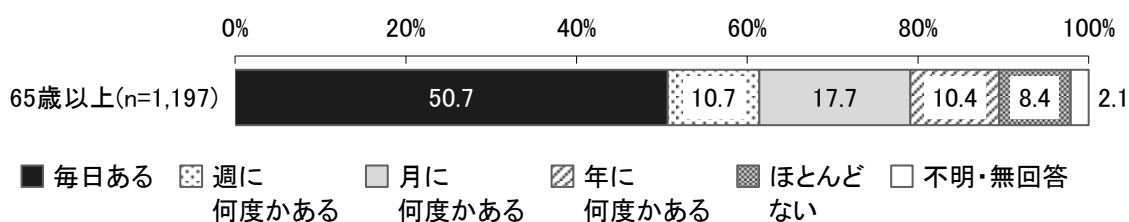
問 23. 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。（単数回答）

6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少があったかについて、「はい」が 11.1%、「いいえ」が 86.4%となっています。



問 24. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。（単数回答）

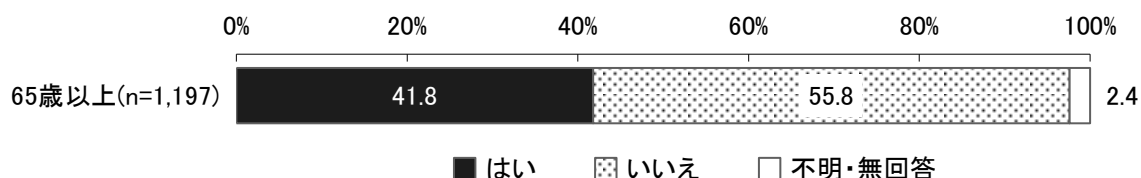
食事をとにもする機会について、「毎日ある」が 50.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 17.7%となっています。



4 毎日の生活について

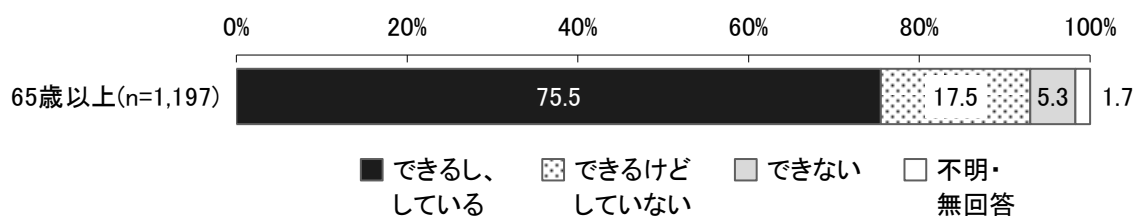
問 25. 物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

物忘れが多いかについて、「はい」が41.8%、「いいえ」が55.8%となっています。



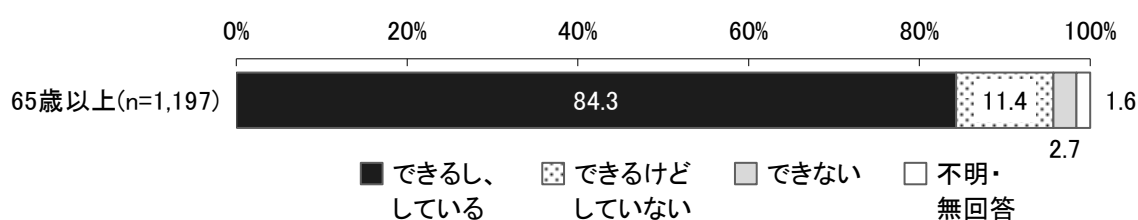
問 26. バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(単数回答)

乗り物を使って一人で外出しているかについて、「できるし、している」が75.5%、「できるけどしていない」が17.5%、「できない」が5.3%となっています。



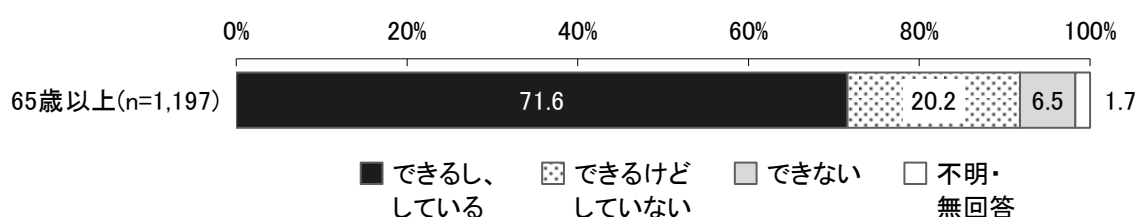
問 27. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(単数回答)

自分で食品等の買物をしているかについて、「できるし、している」が84.3%、「できるけどしていない」が11.4%、「できない」が2.7%となっています。



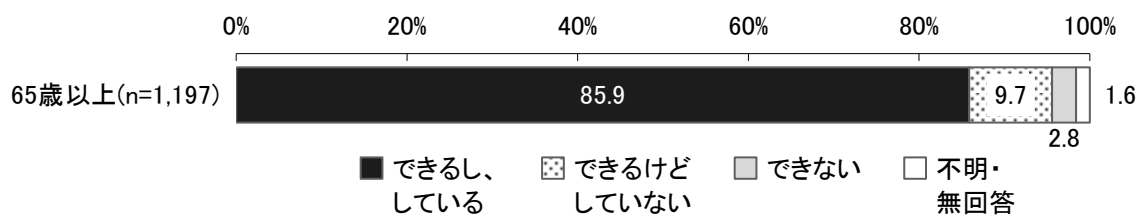
問 28. 自分で食事の用意をしていますか。(単数回答)

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が71.6%、「できるけどしていない」が20.2%、「できない」が6.5%となっています。



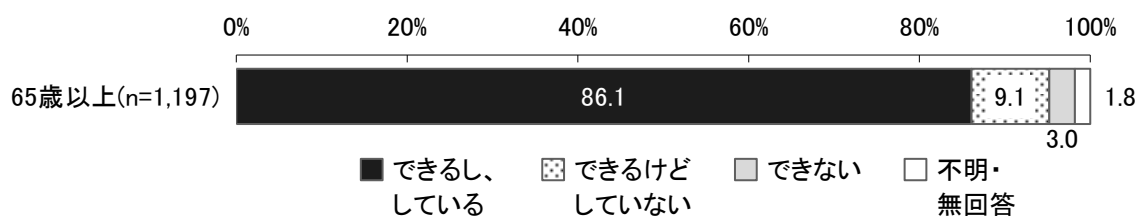
問 29. 自分で請求書の支払いをしていますか。(単数回答)

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が85.9%、「できるけどしていない」が9.7%、「できない」が2.8%となっています。



問 30. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(単数回答)

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が86.1%、「できるけどしていない」が9.1%、「できない」が3.0%となっています。



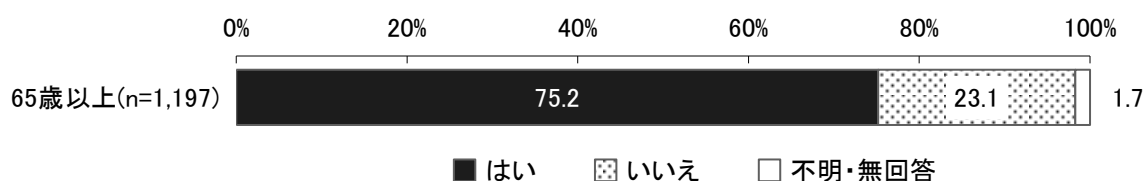
問 31. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(単数回答)

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が91.6%、「いいえ」が7.0%となっています。



問 32. 新聞を読んでいますか。(単数回答)

新聞を読んでいるかについて、「はい」が75.2%、「いいえ」が23.1%となっています。



問 33. 本や雑誌を読んでいますか。(単数回答)

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 67.6%、「いいえ」が 30.6%となっています。



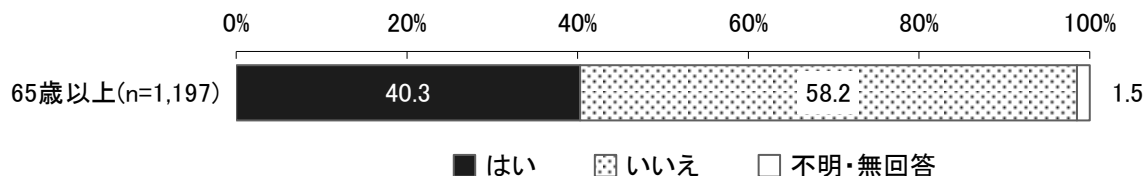
問 34. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(単数回答)

健康についての記事等に関心があるかについて、「はい」が 89.3%、「いいえ」が 9.0%となっています。



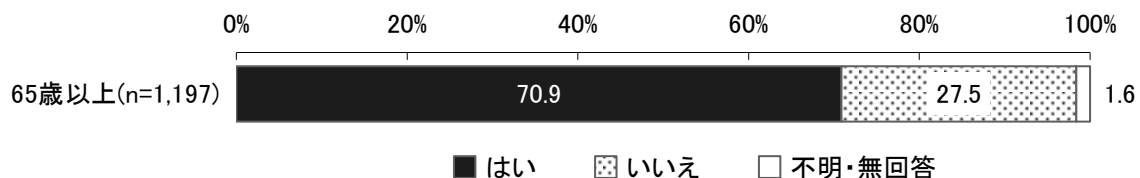
問 35. 友人の家を訪ねていますか。(単数回答)

友人の家を訪問しているかについて、「はい」が 40.3%、「いいえ」が 58.2%となっています。



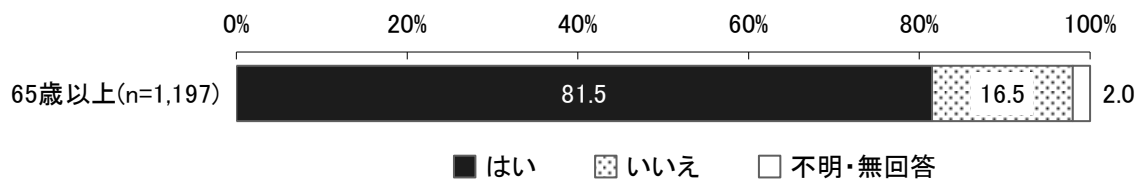
問 36. 家族や友人の相談にのっていますか。(単数回答)

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 70.9%、「いいえ」が 27.5%となっています。



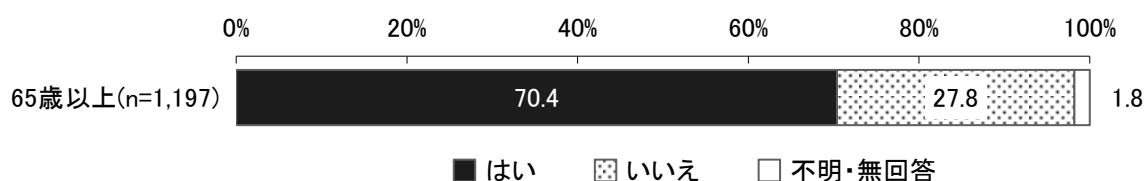
問 37. 病人を見舞うことができますか。(単数回答)

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が 81.5%、「いいえ」が 16.5%となっています。



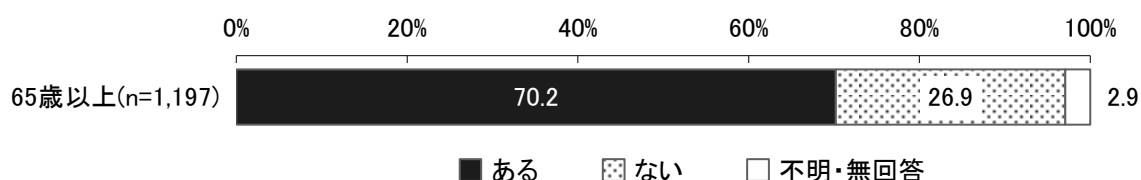
問 38. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(単数回答)

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が 70.4%、「いいえ」が 27.8%となっています。



問 39. 趣味や生きがいとしていることはありますか。ある人は具体的な内容をご記入ください。(単数回答)

趣味や生きがいがあるかについて、「ある」が 70.2%、「ない」が 26.9%となっています。



5 地域での活動について

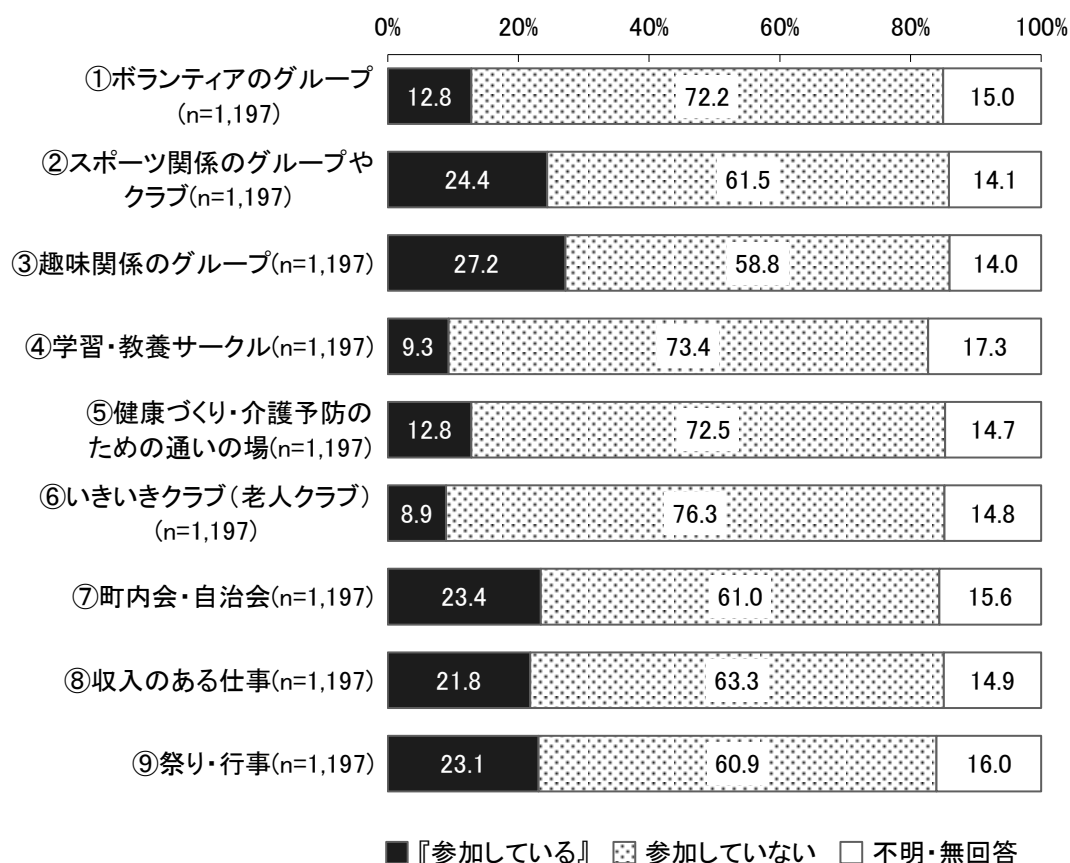
問 40. 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。
(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『参加している』 … 「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」を合算

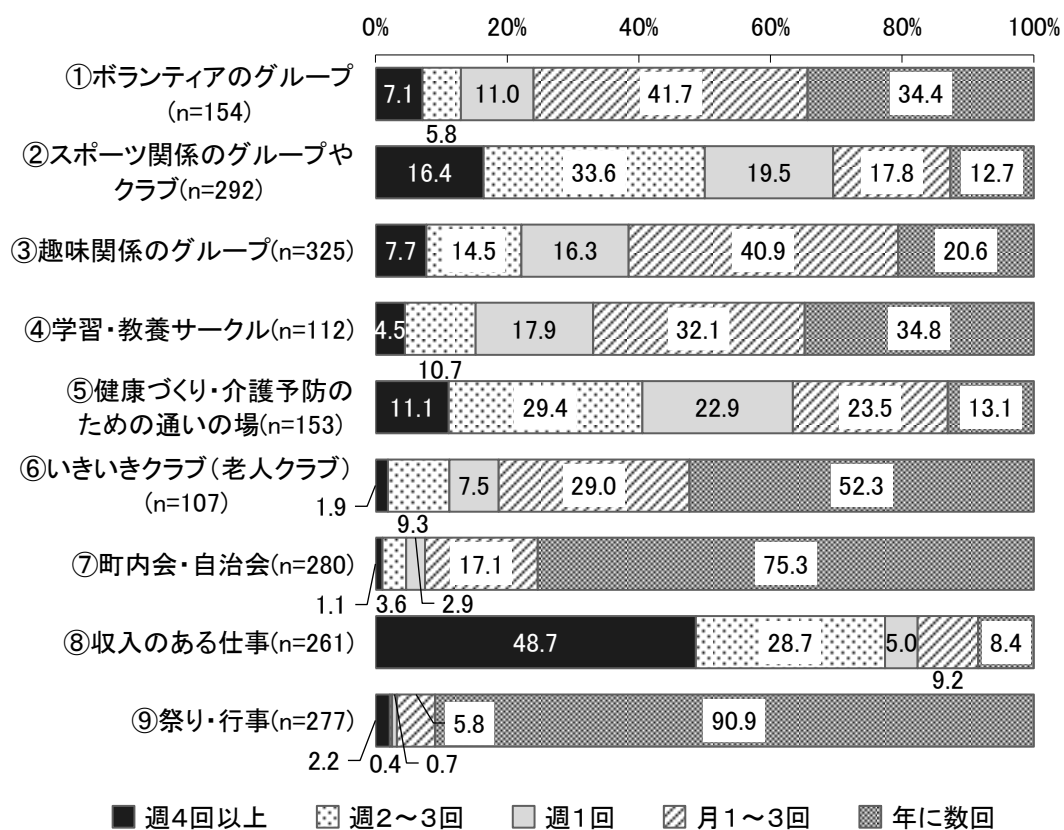
(1) 参加状況 (参加の有無)

参加している会・グループなどについて、『参加している』が「②スポーツ関係のグループやクラブ」「③趣味関係のグループ」「⑦町内会・自治会」「⑧収入のある仕事」「⑨祭り・行事」でそれぞれ2割台となっています。



(2) 参加頻度（会・グループなどに『参加している』人で参加頻度を回答した方のみ集計）

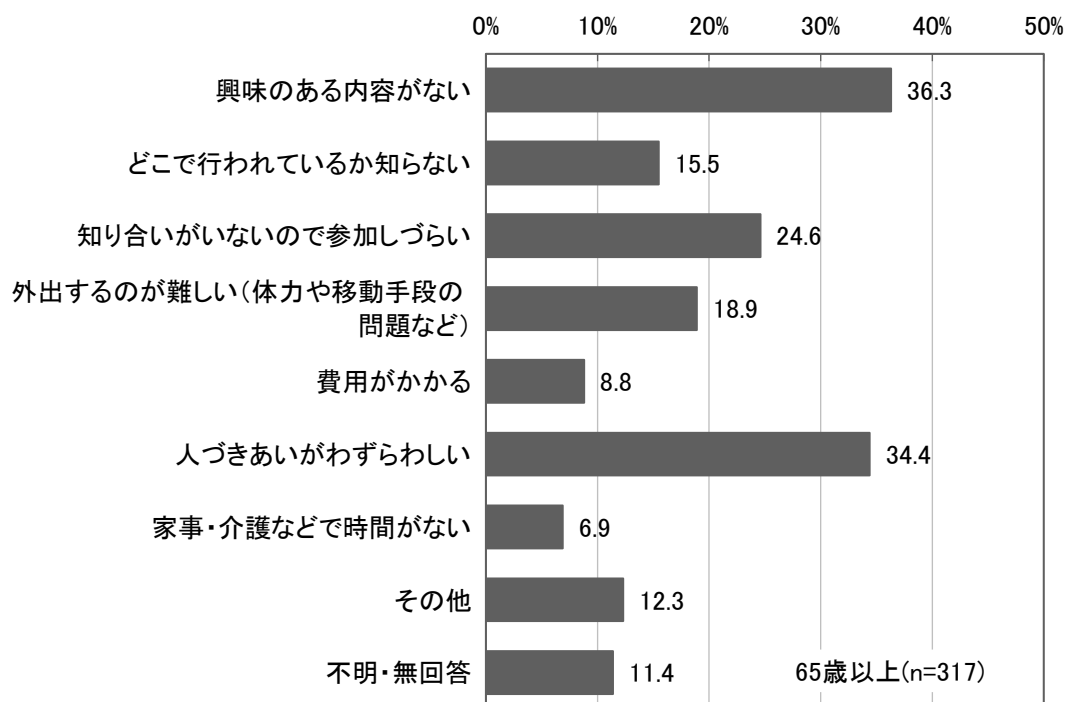
会やグループに『参加している』人の参加頻度について、週1回以上の活動がある項目は、「⑧収入のある仕事」で82.4%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」で69.5%、「⑤健康づくり・介護予防のための通いの場」で63.4%と高くなっています。



<問 40①～⑨のすべての項目で参加していないと回答した方のみ>

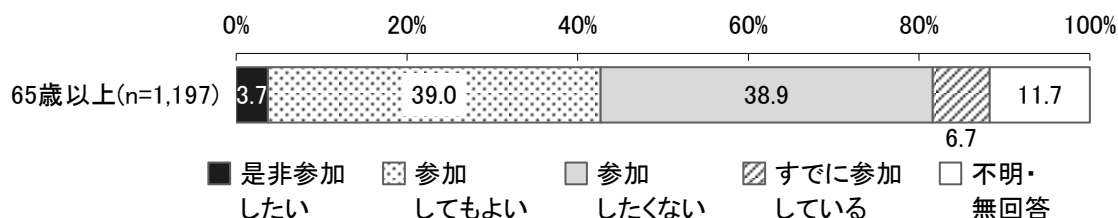
問 41. 問 40 にある活動に、参加していない（または参加したくない）主な理由は何ですか。（複数回答）

各種会やグループに参加していない（または参加したくない）主な理由について、「興味のある内容がない」が 36.3%と最も高く、次いで「人づきあいがわずらわしい」が 34.4%となっています。



問 42. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

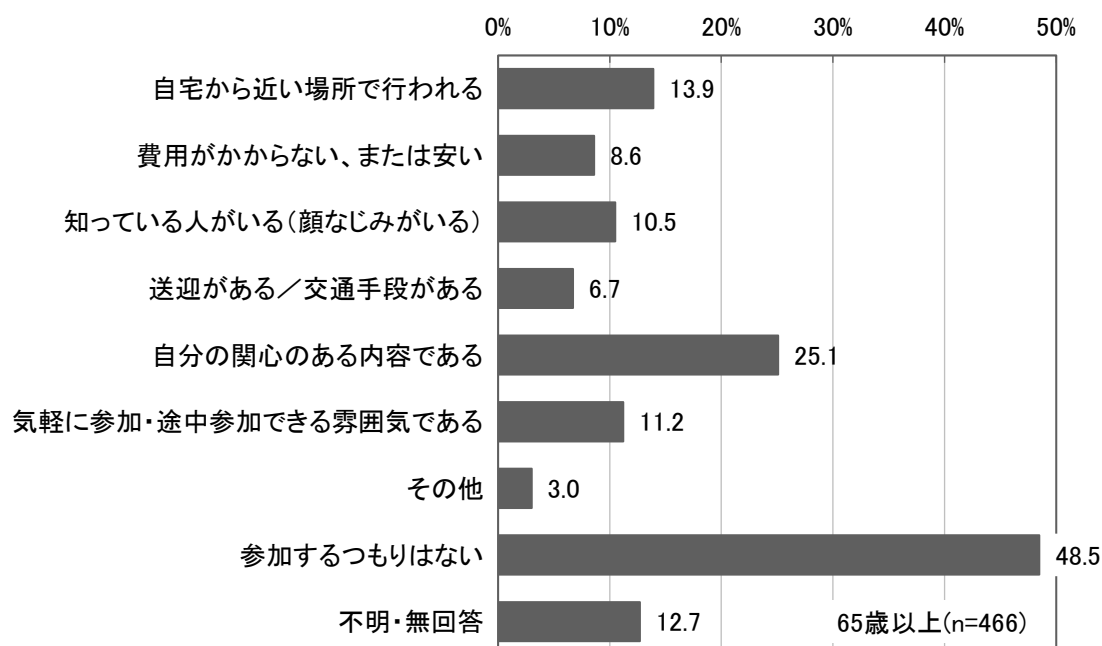
参加者として健康づくり活動等に参加したいと思うかについて、「参加してもよい」が 39.0%と最も高く、次いで「参加したくない」が 38.9%となっています。



<活動に参加者として参加したくないと回答した方のみ>

問 43. 問 42 のような活動に、どのような条件であれば参加したいと思いますか。
(複数回答)

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味などのグループ活動に、どのような条件であれば参加したいと思うかについて、最も高い「参加するつもりはない」(48.5%)を除くと、「自分の関心のある内容である」が25.1%と高く、次いで「自宅から近い場所で行われる」が13.9%となっています。



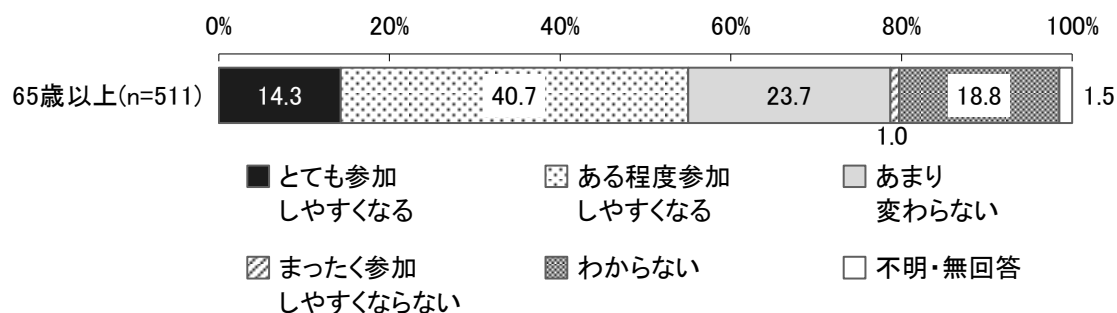
<活動に参加者として是非参加したい・参加してもよいと回答した方のみ>

問 44. 活動に参加する際、顔つなぎをするなど市の職員等と一緒に同行することで、参加しやすくなりますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

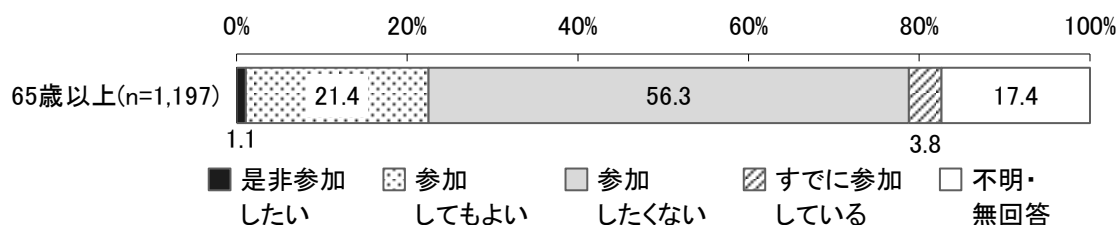
『参加しやすくなる』 … 「とても参加しやすくなる」と「ある程度参加しやすくなる」を合算

市の職員等と一緒に同行することで、参加しやすくなるかについて、『参加しやすくなる』が55.0%となっています。



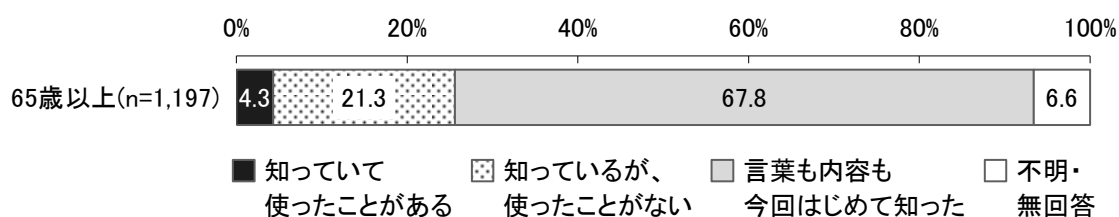
問 45. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

企画・運営側として健康づくり活動等に参加したいと思うかについて、「参加したくない」が56.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」が21.4%となっています。



問 46. 「地域資源マップ」を知っていますか。（単数回答）

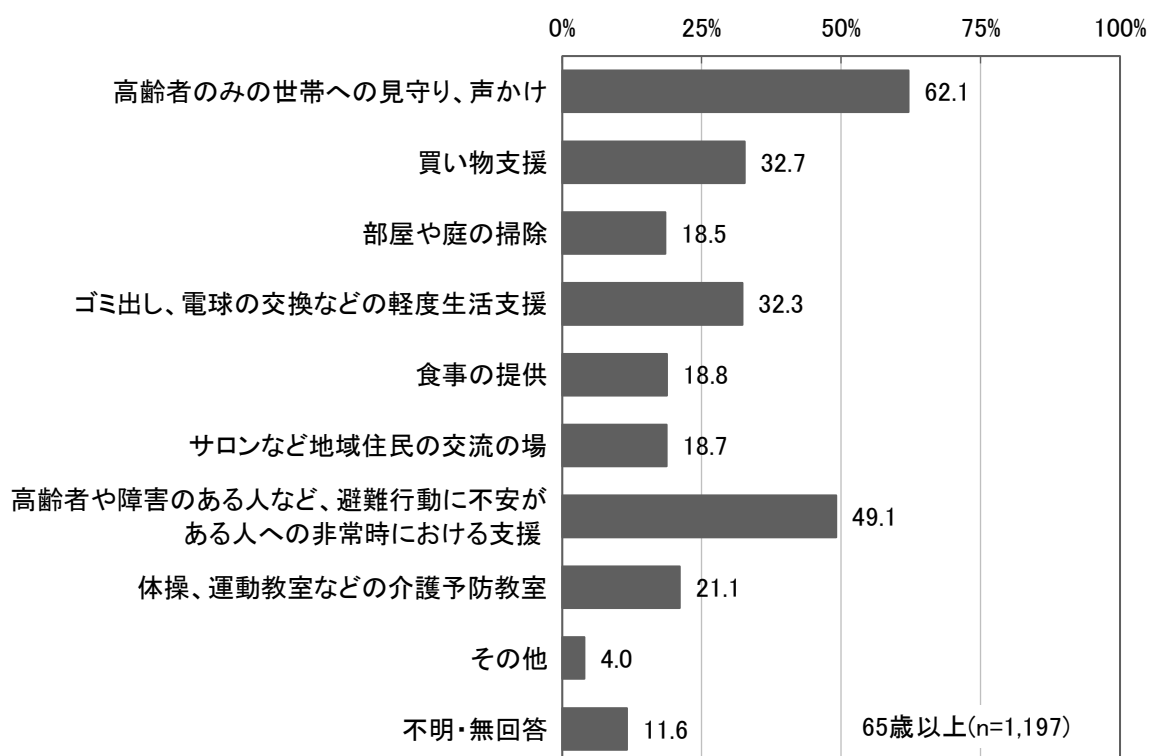
「地域資源マップ」を知っているかについて、「知っていて使ったことがある」が4.3%、「知っているが、使ったことがない」が21.3%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が67.8%となっています。



問 47. 誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らしていくためには、地域住民同士の助け合い、支え合いの活動が重要となります。そこで、以下の3つの項目についてあてはまるものをお答えください。

(1) 地域住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思うもの（複数回答）

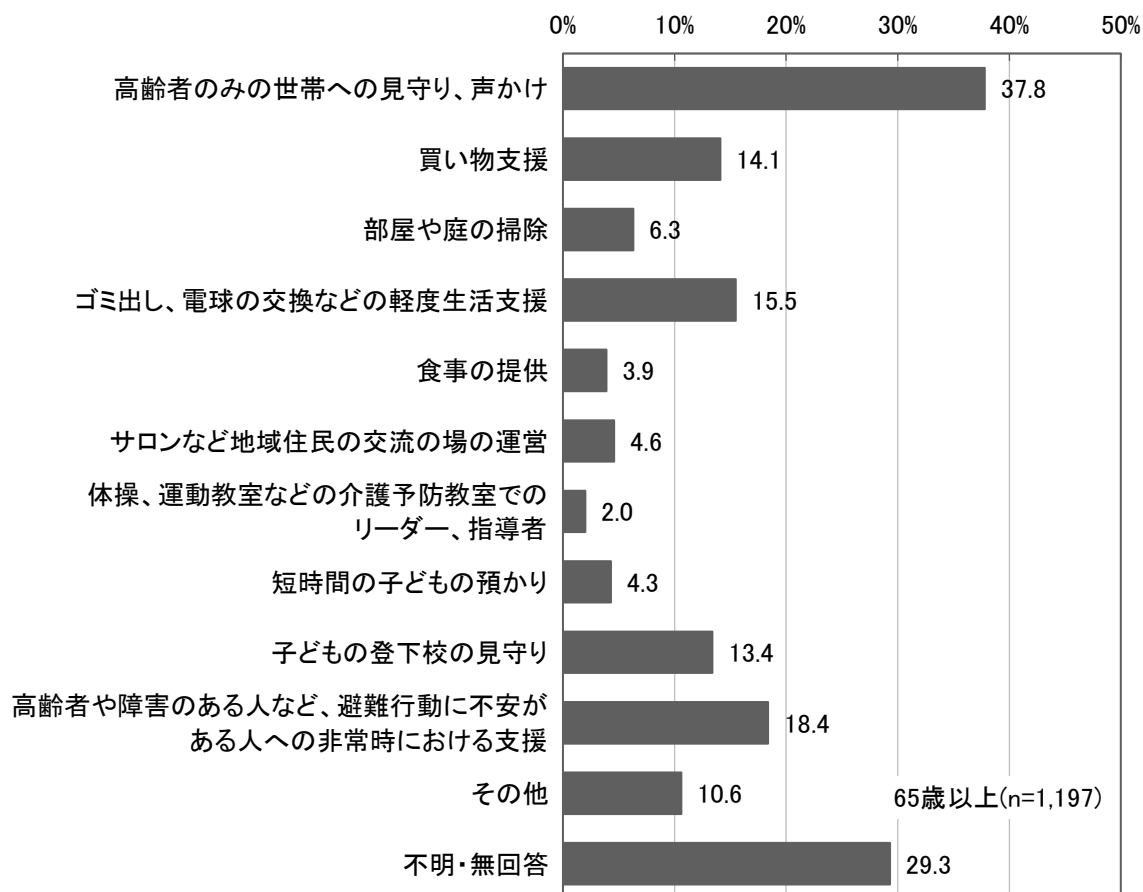
地域住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思う支援について、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が62.1%と最も高く、次いで「高齢者や障害のある人など、避難行動に不安がある人への非常時における支援」が49.1%となっています。



(2) 自分でできる、あるいはやってみたいと思う支援（複数回答）

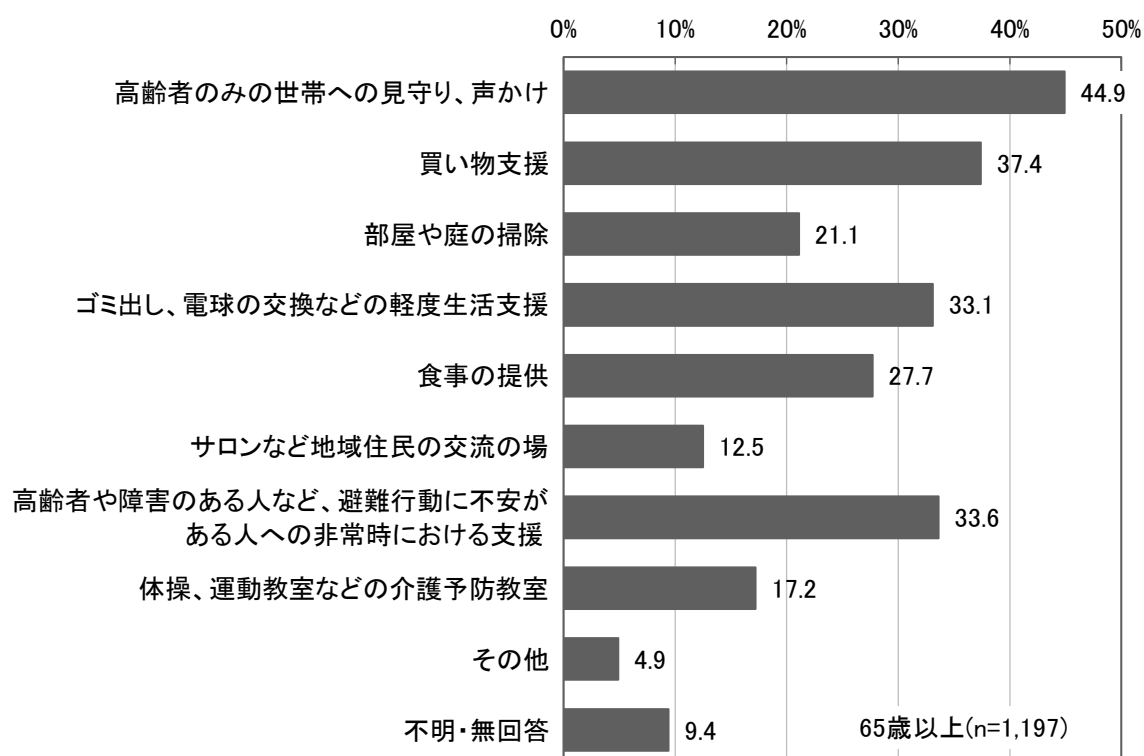
※高齢者への支援に限らず、地域住民で困りごとを抱えている人に対してできる手助けなどをお答えください。

自分でできる、あるいはやってみたいと思う支援について、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が37.8%と最も高く、次いで「高齢者や障害のある人など、避難行動に不安がある人への非常時における支援」が18.4%となっています。



(3) あなたが支援を受ける側となった場合、利用したいと思うもの（複数回答）

自身が支援を受ける側となった場合、利用したいと思う支援について、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が44.9%と最も高く、次いで「買い物支援」が37.4%となっています。

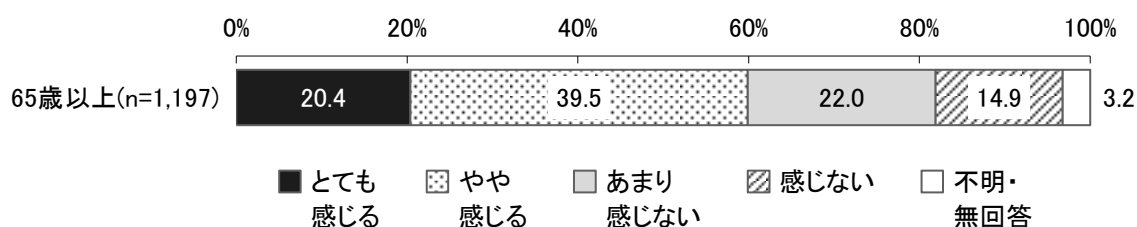


問 48. あなたは、友人や知人などとの交流が減ってしまったと感じますか。 (単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『感じる』 … 「とても感じる」と「やや感じる」を合算
『感じない』 … 「あまり感じない」と「感じない」を合算

友人や知人などとの交流が減ってしまったと感じるかについて、『感じる』が59.9%、『感じない』が36.9%となっています。



<友人や知人などとの交流が減ってしまったと感じていると回答した方のみ>

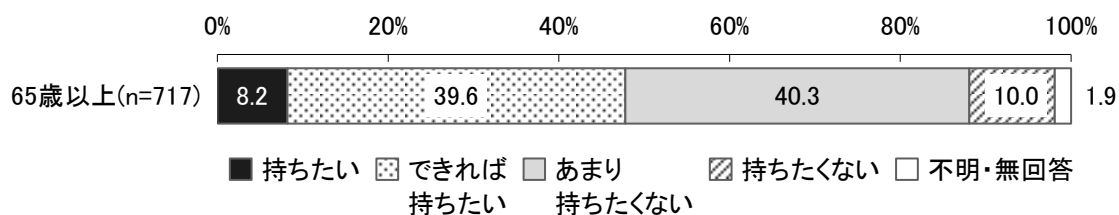
問 49. 近所の人と趣味活動やレクリエーションなどを通して、つながりを持ちたいと思いますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『持ちたい』 … 「持ちたい」と「できれば持ちたい」を合算

『持ちたくない』 … 「あまり持ちたくない」と「持ちたくない」を合算

近所の人と趣味活動やレクリエーションなどを通じたつながりを持ちたいと思うかについて、『持ちたい』が47.8%、『持ちたくない』が50.3%となっています。



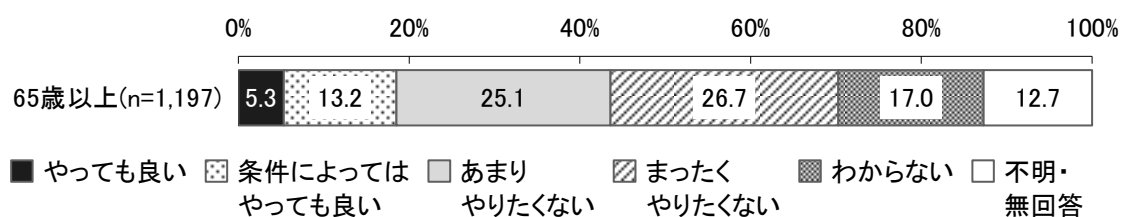
問 50. 自動車保険やガソリン代の支給などの制度が整っていれば、ご自身の自家用車で高齢者を乗せて、病院受診や買い物などの移動支援をやっても良いと思いますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『やっても良い』 … 「やっても良い」と「条件によってはやっても良い」を合算

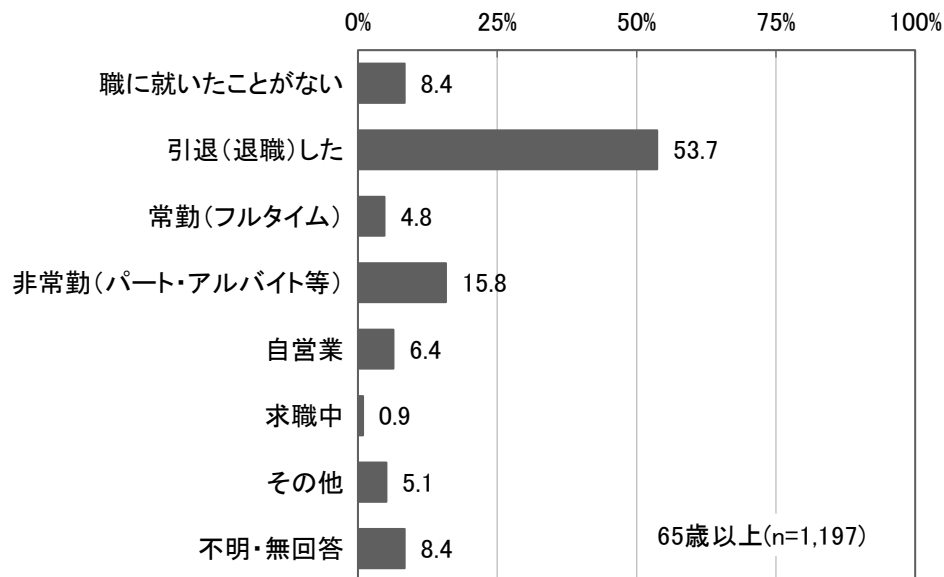
『やりたくない』 … 「あまりやりたくない」と「まったくやりたくない」を合算

制度が整っていれば移動支援をやっても良いと思うかについて、『やっても良い』が18.5%、『やりたくない』が51.8%、「わからない」が17.0%となっています。



問 51. 現在のあなたの就労状態はどれですか。(複数回答)

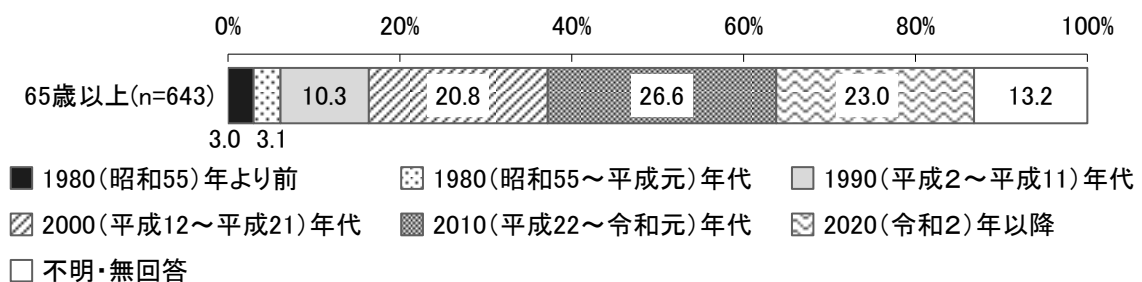
現在の就労状態について、「引退（退職）した」が 53.7%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 15.8%となっています。



<引退（退職）したと回答した方のみ>

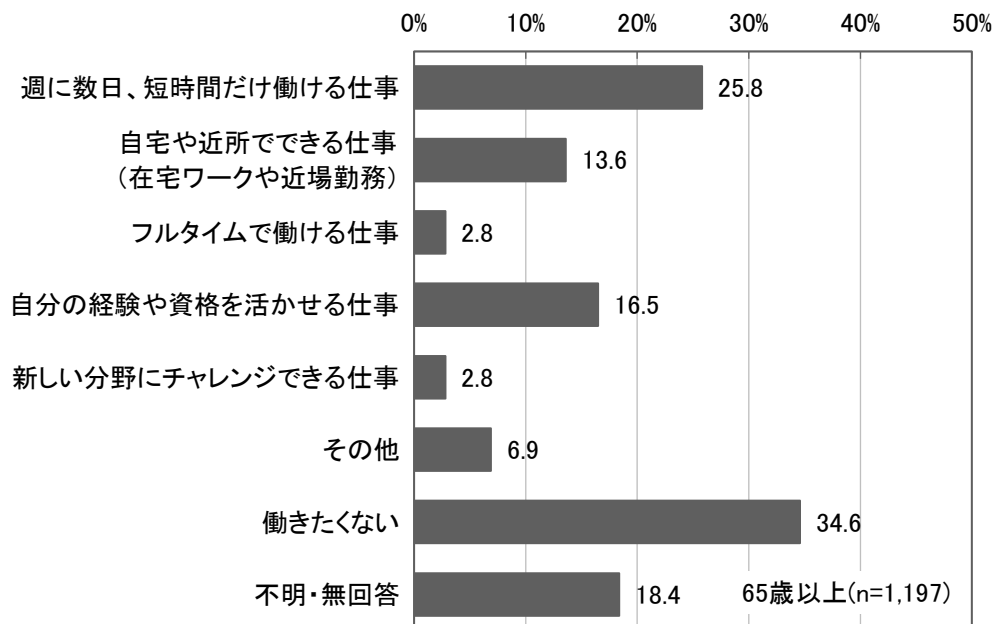
問 52. あなたはいつ引退（退職）しましたか。(数値回答)

引退（退職）の時期について、「2010（平成 22～令和元）年代」が 26.6%と最も高く、次いで「2020（令和 2）年以降」が 23.0%となっています。



問 53. どのような働き方ができる（または続けられる）とよいですか。（複数回答）

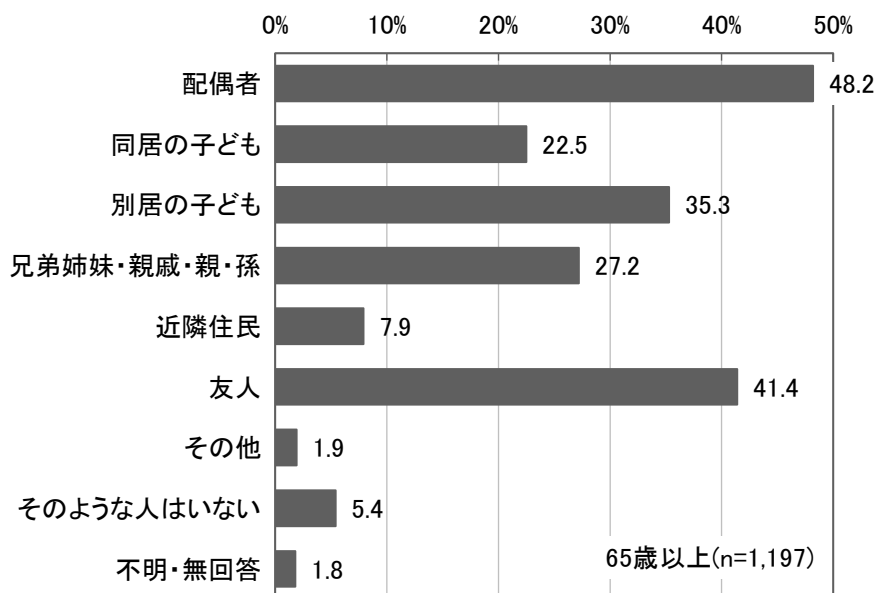
どのような働き方ができる、または続けられるとよいかについて、「働きたくない」が34.6%と最も高く、次いで「週に数日、短時間だけ働ける仕事」が25.8%となっています。



6 助け合いについて

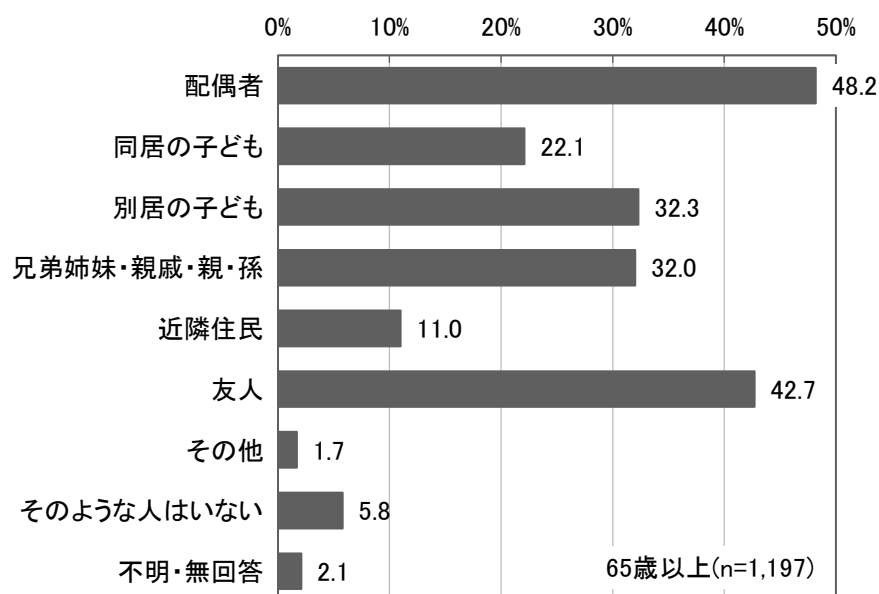
問 54. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（複数回答）

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 48.2%と最も高く、次いで「友人」が 41.4%となっています。



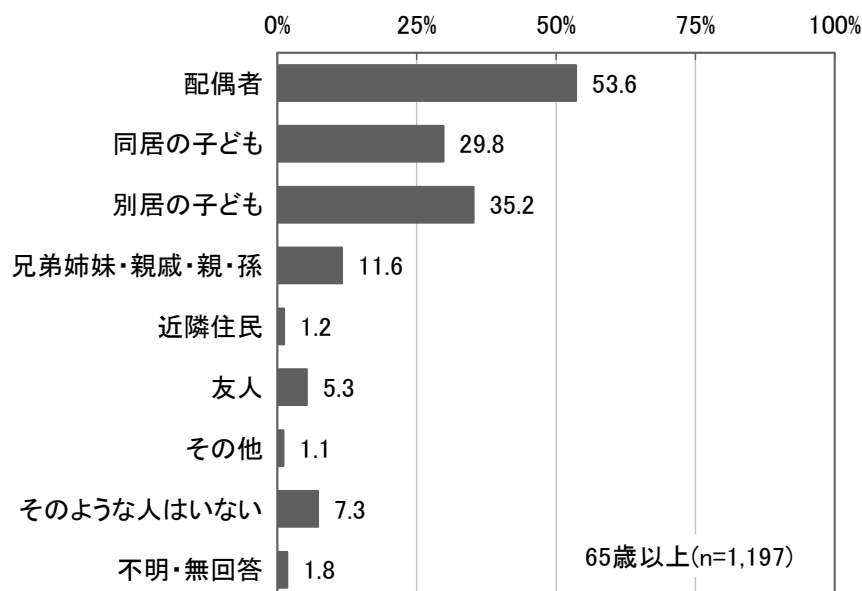
問 55. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（複数回答）

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 48.2%と最も高く、次いで「友人」が 42.7%となっています。



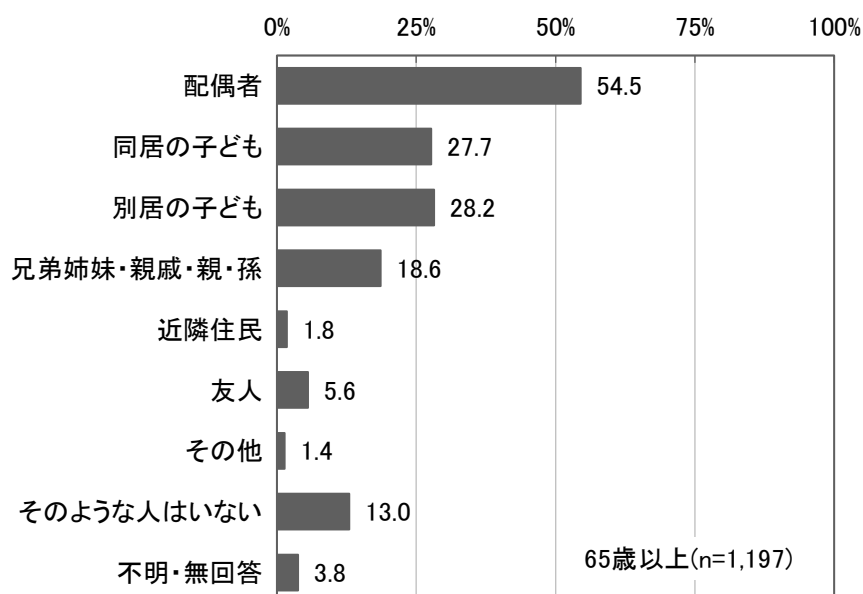
**問 56. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
(複数回答)**

病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 53.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 35.2%となっています。



問 57. 反対に、看病や世話をしてあげる人。(複数回答)

看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 54.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 28.2%となっています。



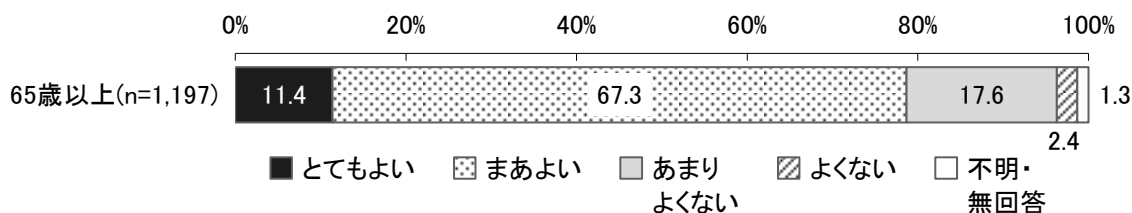
7 健康について

問 58. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

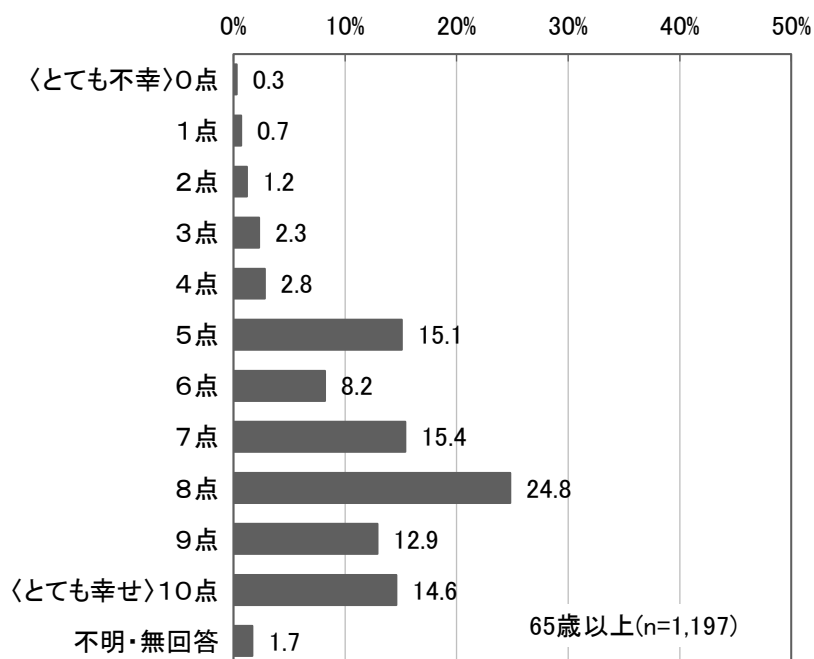
『よい』 … 「とてもよい」と「まあよい」を合算
『よくない』 … 「あまりよくない」と「よくない」を合算

健康状態について、『よい』が78.7%、『よくない』が20.0%となっています。



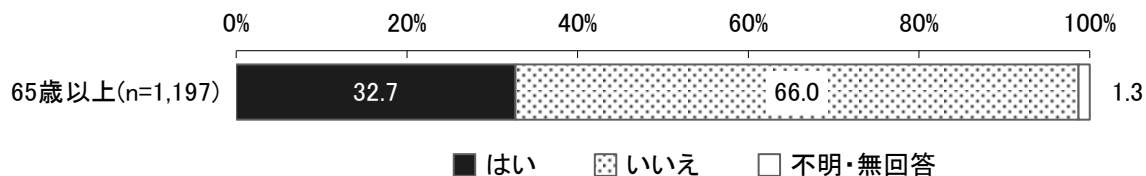
問 59. あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

どの程度幸せかについて、「8点」が24.8%と最も高く、次いで「7点」が15.4%となっています。なお、本設問に回答した全体（n=1,176）の平均値は7.3点となっています。



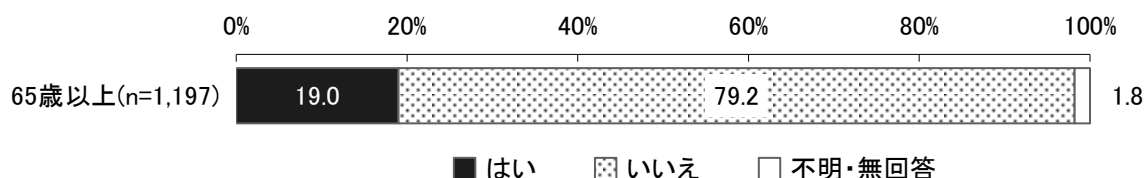
問 60. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(単数回答)

この1か月間に気分が沈んだりしたことがあったかについて、「はい」が32.7%、「いいえ」が66.0%となっています。



問 61. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(単数回答)

この1か月間に物事に対して興味がわかないなどがあったかについて、「はい」が19.0%、「いいえ」が79.2%となっています。

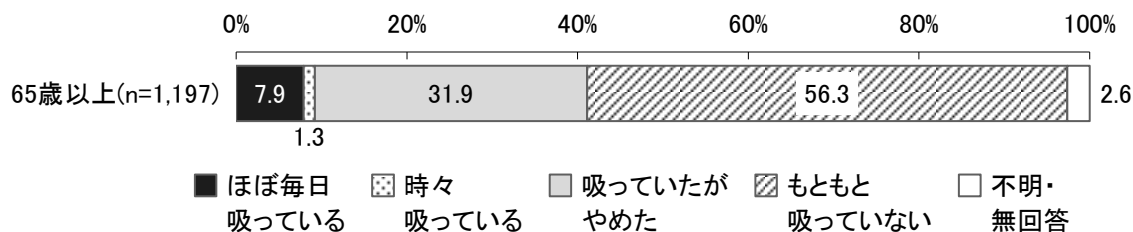


問 62. タバコは吸っていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

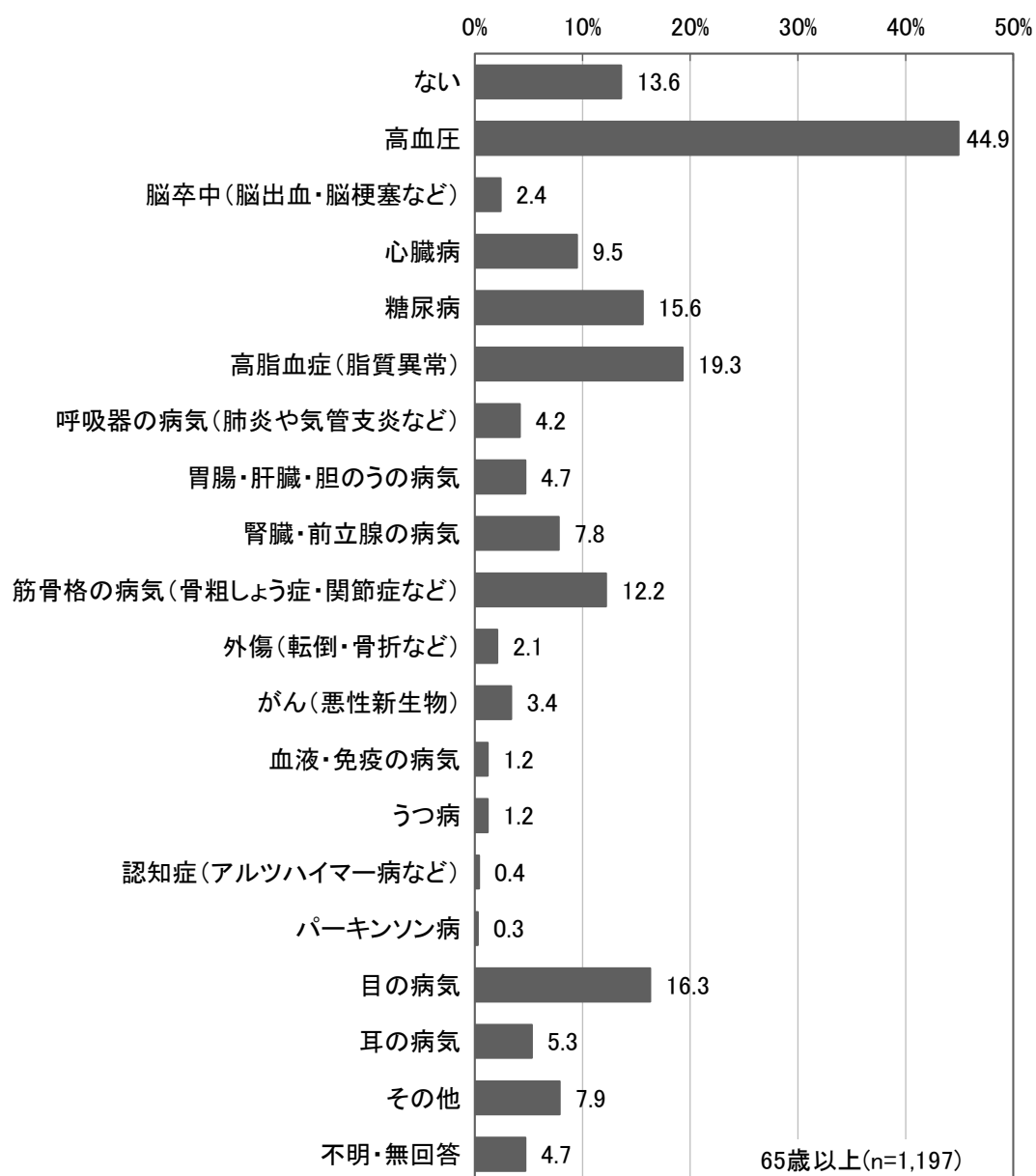
『吸っている』 … 「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合算

喫煙について、『吸っている』が9.2%、「吸っていたがやめた」が31.9%、「もともと吸っていない」が56.3%となっています。



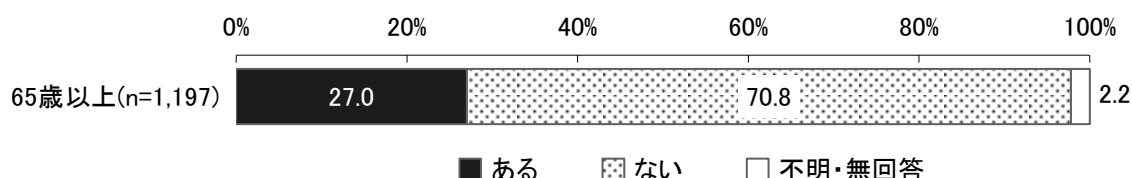
問 63. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

治療中または後遺症のある病気について、「高血圧」が 44.9%と最も高く、次いで「高脂血症(脂質異常)」が 19.3%となっています。



問 64. 身体が悪くなったことで、趣味活動をあきらめてしまったり、家事や生活行為（食事や着替え、入浴など）が行いづらくなった経験はありますか。（単数回答）

身体が悪くなったことで趣味活動をあきらめたり、家事や生活行為が行いづらくなった経験があるかについて、「ある」が27.0%、「ない」が70.8%となっています。

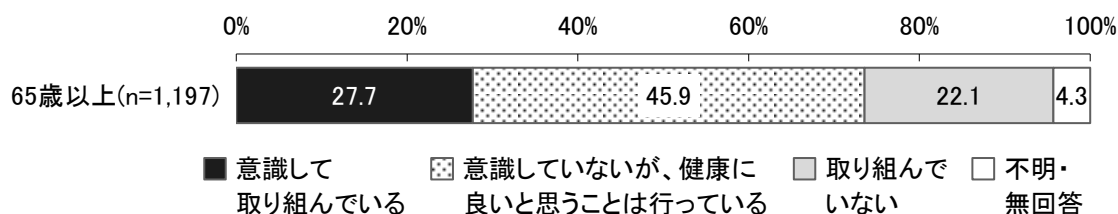


問 65. あなたは、将来、健康に過ごし、介護を受けなくてもいいようにするための健康づくり（以下、このような活動を「健康づくり・介護予防」と言います。）に取り組んでいますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『取り組んでいる』…「意識して取り組んでいる」と
「意識していないが、健康に良いと思うことは行っている」を合算

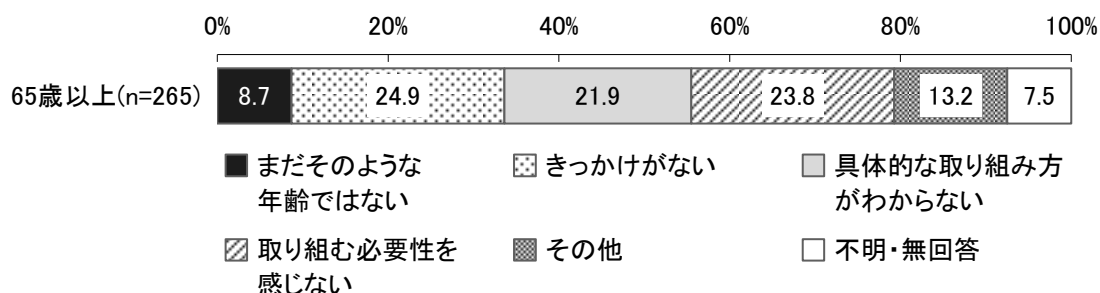
将来、健康に過ごし、介護を受けなくてもいいようにするための健康づくりに取り組んでいるかについて、「意識して取り組んでいる」が27.7%、「意識していないが、健康に良いと思うことは行っている」が45.9%、「取り組んでいない」が22.1%となっています。なお、『取り組んでいる』は73.6%となっています。



<健康づくり・介護予防に取り組んでいない方のみ>

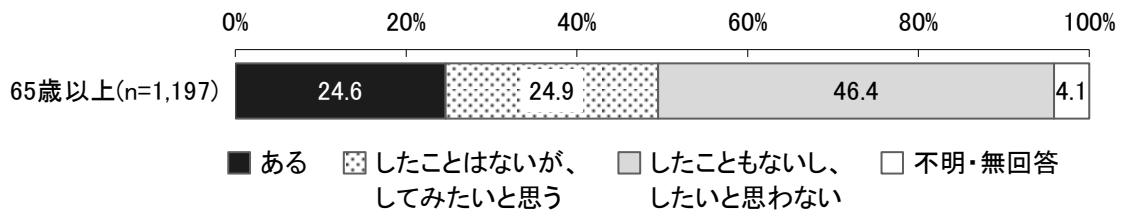
問 66. 健康づくり・介護予防に取り組んでいない理由を教えてください。（単数回答）

健康づくり・介護予防に取り組んでいない理由について、「きっかけがない」が24.9%と最も高く、次いで「取り組む必要性を感じない」が23.8%となっています。



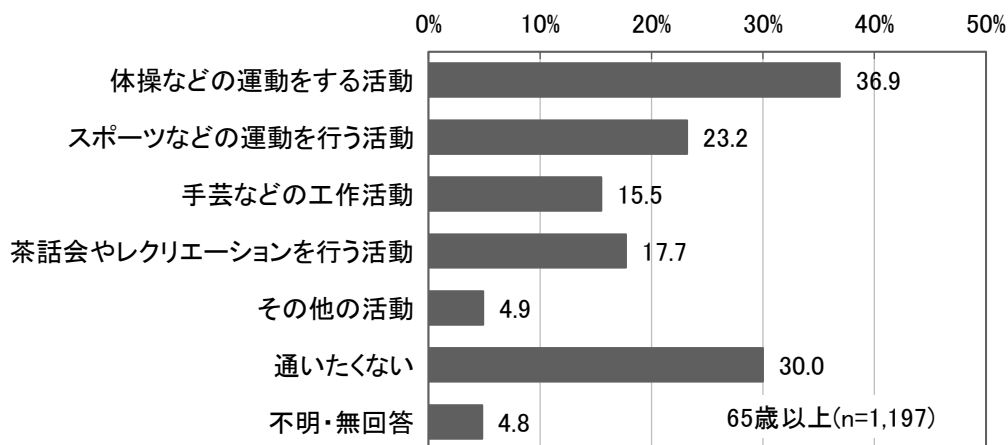
問 67. 自分一人でスマートフォン等を操作して、動画を見ながら体操をしたことがありますか。(単数回答)

自分一人でスマートフォン等を操作して、動画を見ながら体操をしたことがあるかについて、「ある」が24.6%、「したことはないが、してみたいと思う」が24.9%、「したこともないし、したいと思わない」が46.4%となっています。



問 68. 自宅から歩いて行ける範囲にどのような活動があれば、通ってみたいと思いますか。(複数回答)

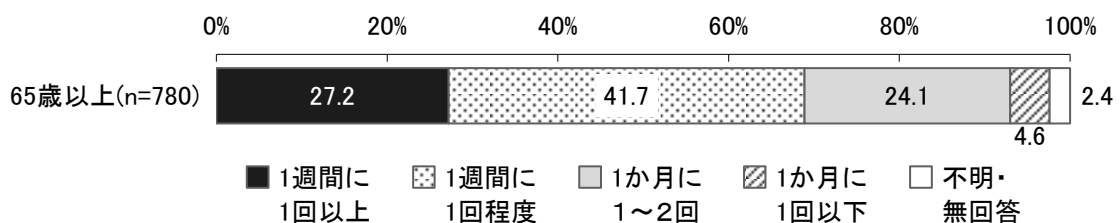
自宅から歩いて行ける範囲にどのような活動があれば、通ってみたいと思うかについて、「体操などの運動をする活動」が36.9%と最も高く、次いで「通いたくない」が30.0%となっています。



<何らかの活動に通ってみたいと回答した方のみ>

問 69. どのくらいの頻度で活動に参加したいですか。(単数回答)

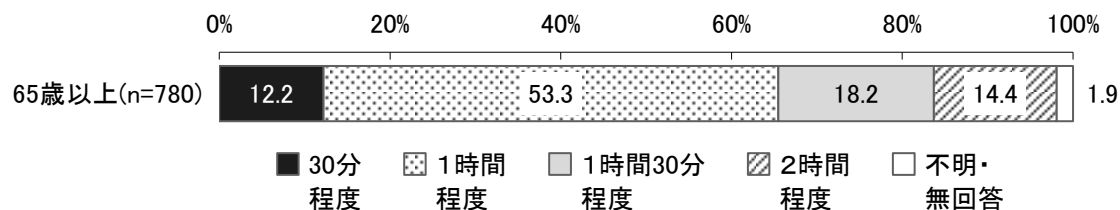
活動に参加する頻度について、「1週間に1回程度」が41.7%と最も高く、次いで「1週間に1回以上」が27.2%となっています。



<何らかの活動に通ってみたいと回答した方のみ>

問 70. 1回の活動でどのくらいの時間、参加したいですか。(単数回答)

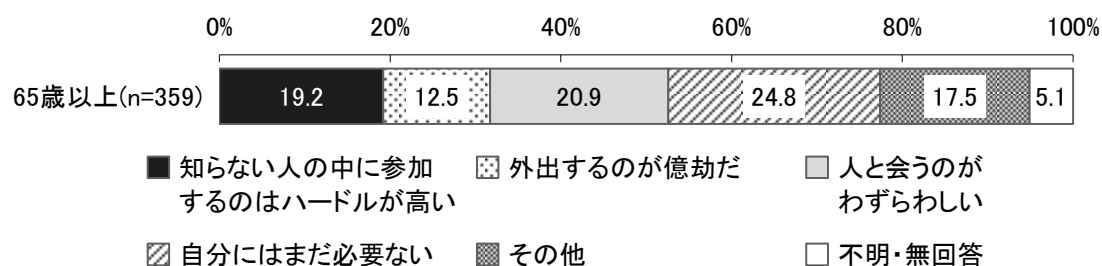
1回の活動への希望参加時間について、「1時間程度」が53.3%と最も高く、次いで「1時間30分程度」が18.2%となっています。



<活動に通いたくないと回答した方のみ>

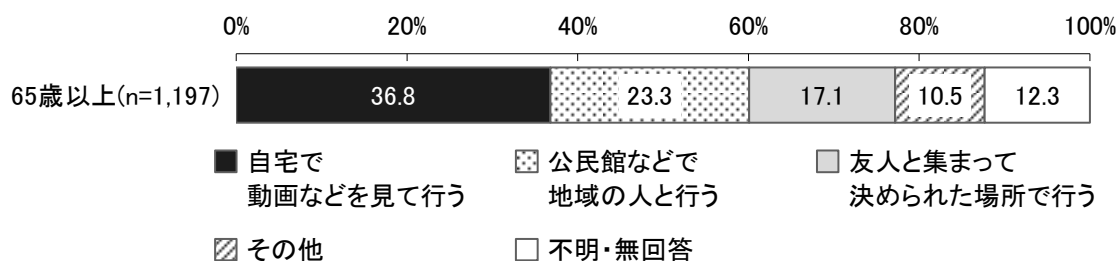
問 71. 通いたくないと思う一番の理由を教えてください。(単数回答)

通いたくないと思う一番の理由について、「自分にはまだ必要ない」が24.8%と最も高く、次いで「人と会うのがわずらわしい」が20.9%となっています。



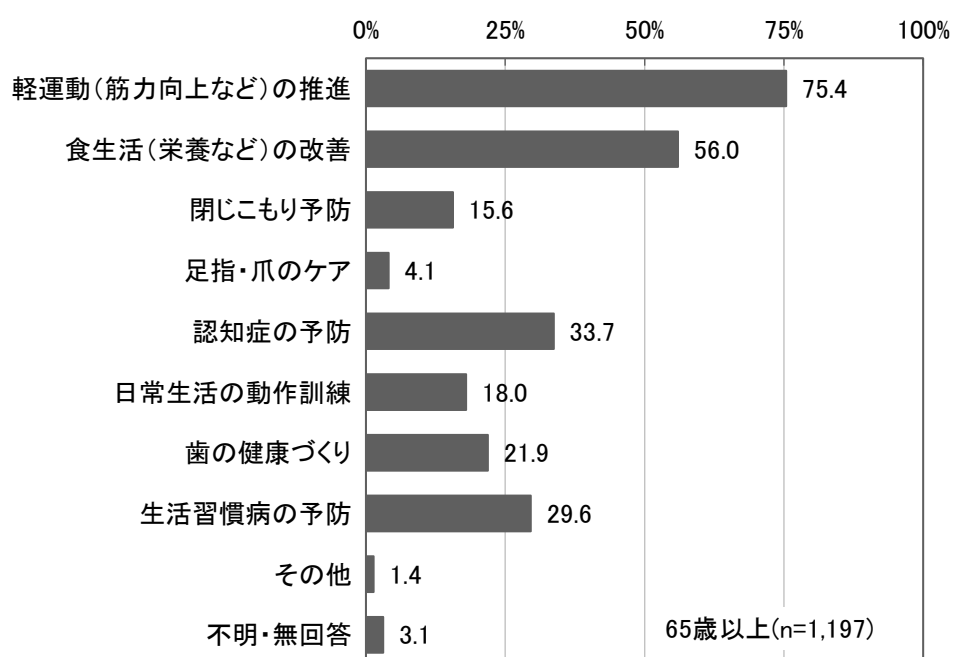
問 72. 体操などの健康づくり・介護予防で、自分が一番習慣化できそうだと思う方法はどれですか。(単数回答)

健康づくり・介護予防で、自分が一番習慣化できそうだと思う方法について、「自宅で動画などを見て行う」が36.8%と最も高く、次いで「公民館などで地域の人と行う」が23.3%となっています。



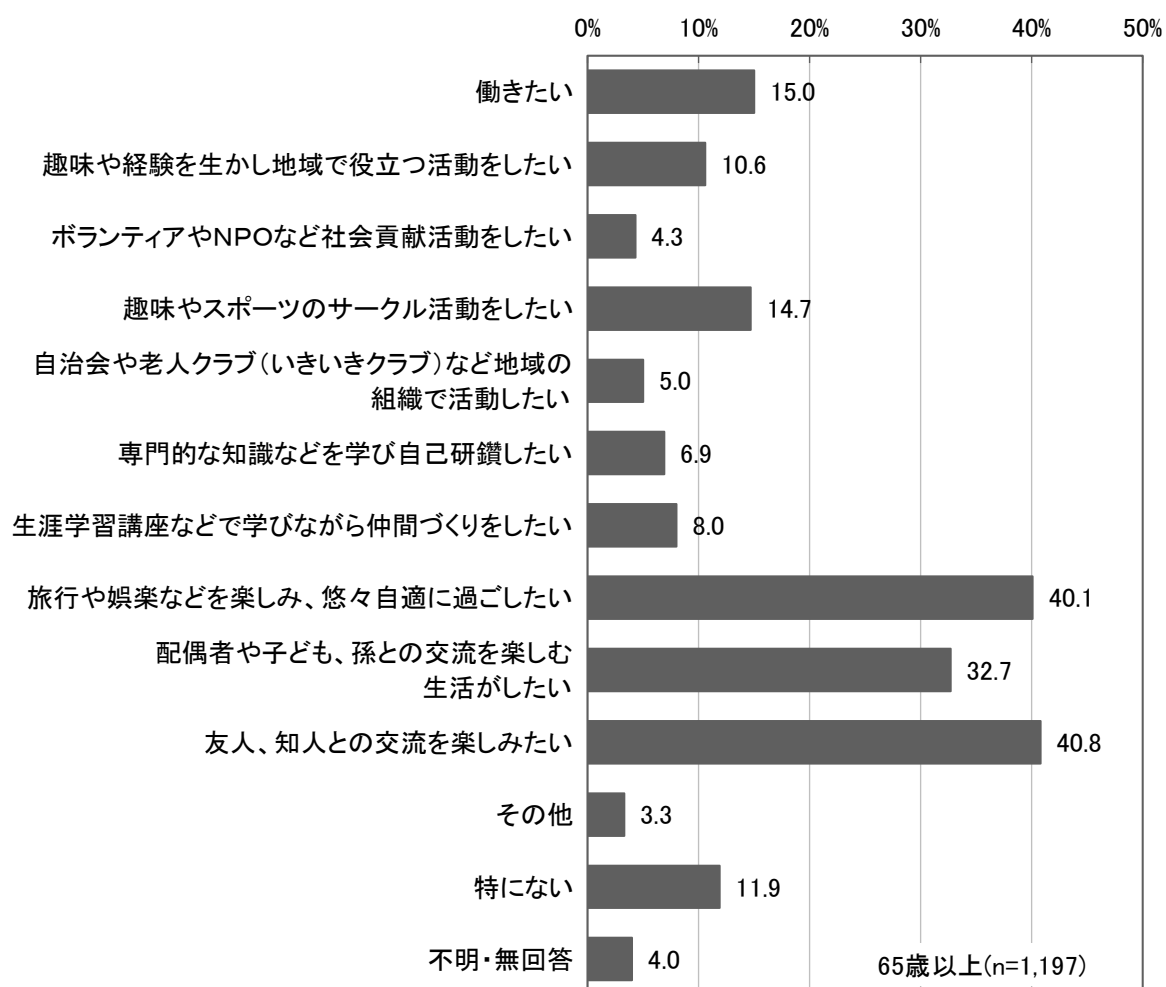
問 73. 健康づくり・介護予防に関して、必要なことは何だと思えますか。(複数回答)

健康づくり・介護予防に関して必要なことについて、「軽運動（筋力向上など）の推進」が 75.4%と最も高く、次いで「食生活（栄養など）の改善」が 56.0%となっています。



問 74. あなたは、高齢期を健康で生きがいをもって過ごすために、何をしたいとお考えですか。（複数回答）

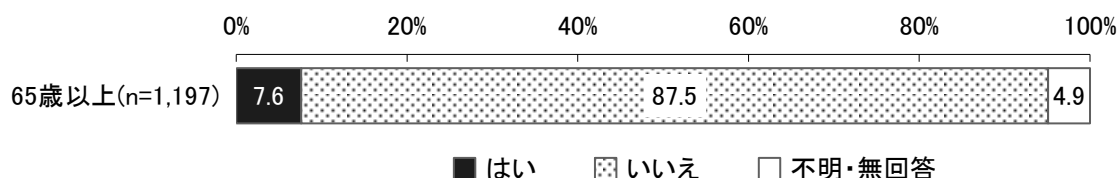
高齢期を健康で生きがいをもって過ごすためにやりたいことについて、「友人、知人との交流を楽しみたい」が 40.8%と最も高く、次いで「旅行や娯楽などを楽しみ、悠々自適に過ごしたい」が 40.1%となっています。



8 認知症の支援について

問 75. 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。
(単数回答)

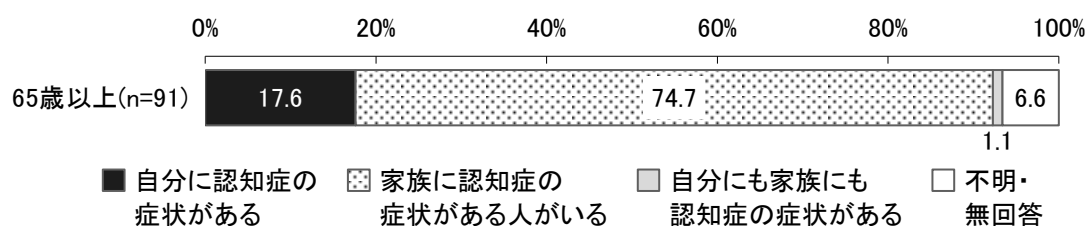
認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が 7.6%、「いいえ」が 87.5%となっています。



<自身または家族に認知症の症状があると回答した方のみ>

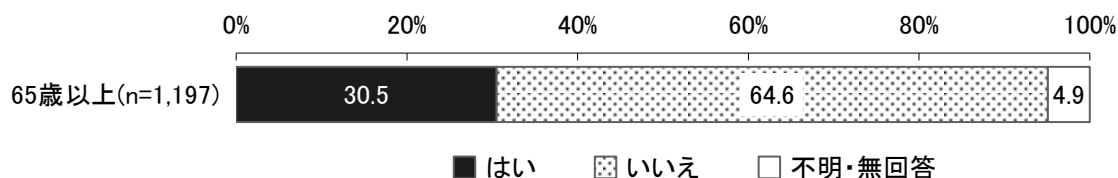
問 76. 認知症の症状があるのはどなたですか。(単数回答)

認知症の症状がある人について、「自分に認知症の症状がある」が 17.6%、「家族に認知症の症状がある人がいる」が 74.7%、「自分にも家族にも認知症の症状がある」が 1.1%となっています。



問 77. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 30.5%、「いいえ」が 64.6%となっています。



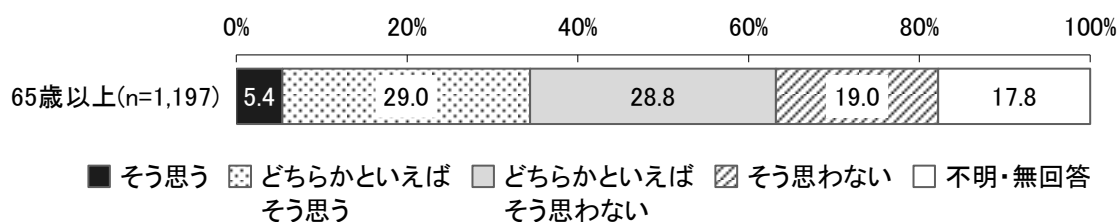
問 78. 刈谷市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思いますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『そう思う』 … 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

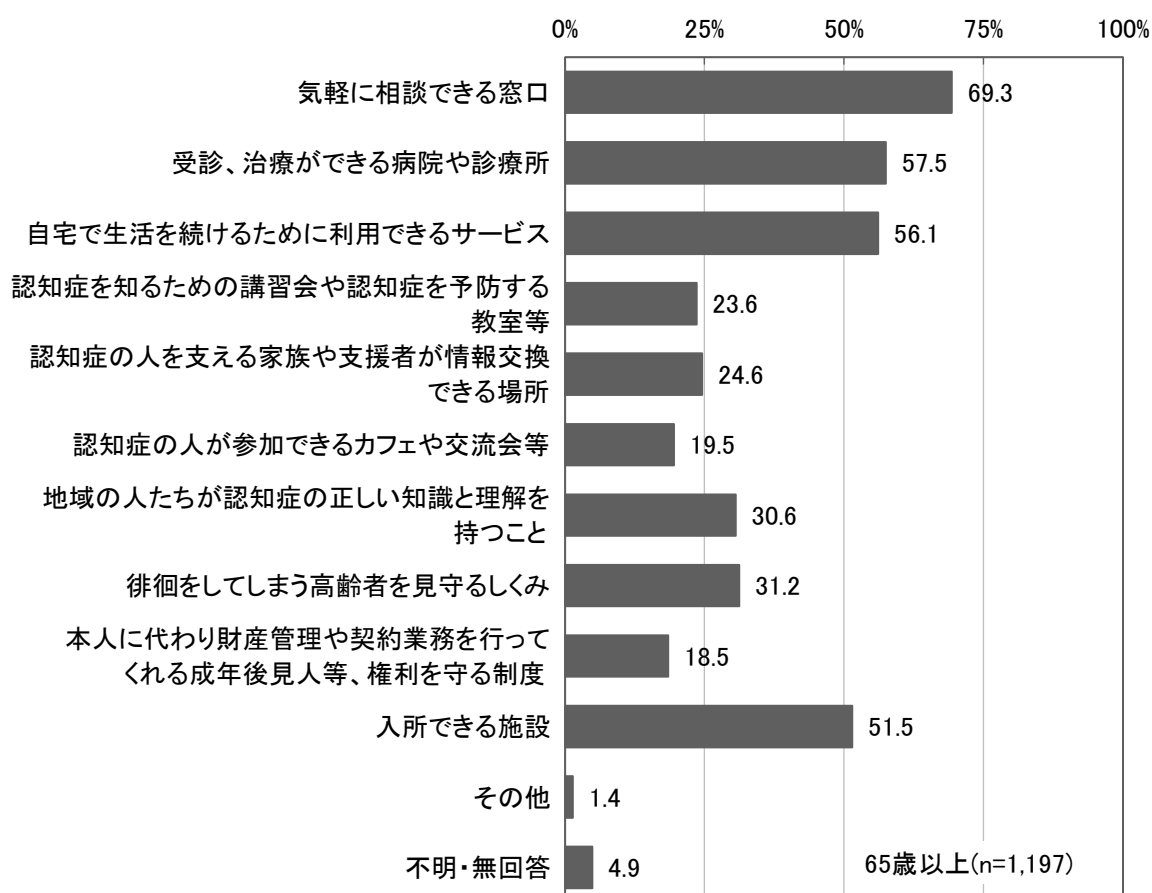
『そう思わない』 … 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合算

刈谷市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思うかについて、『そう思う』が34.4%、『そう思わない』が47.8%となっています。



問 79. どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。(複数回答)

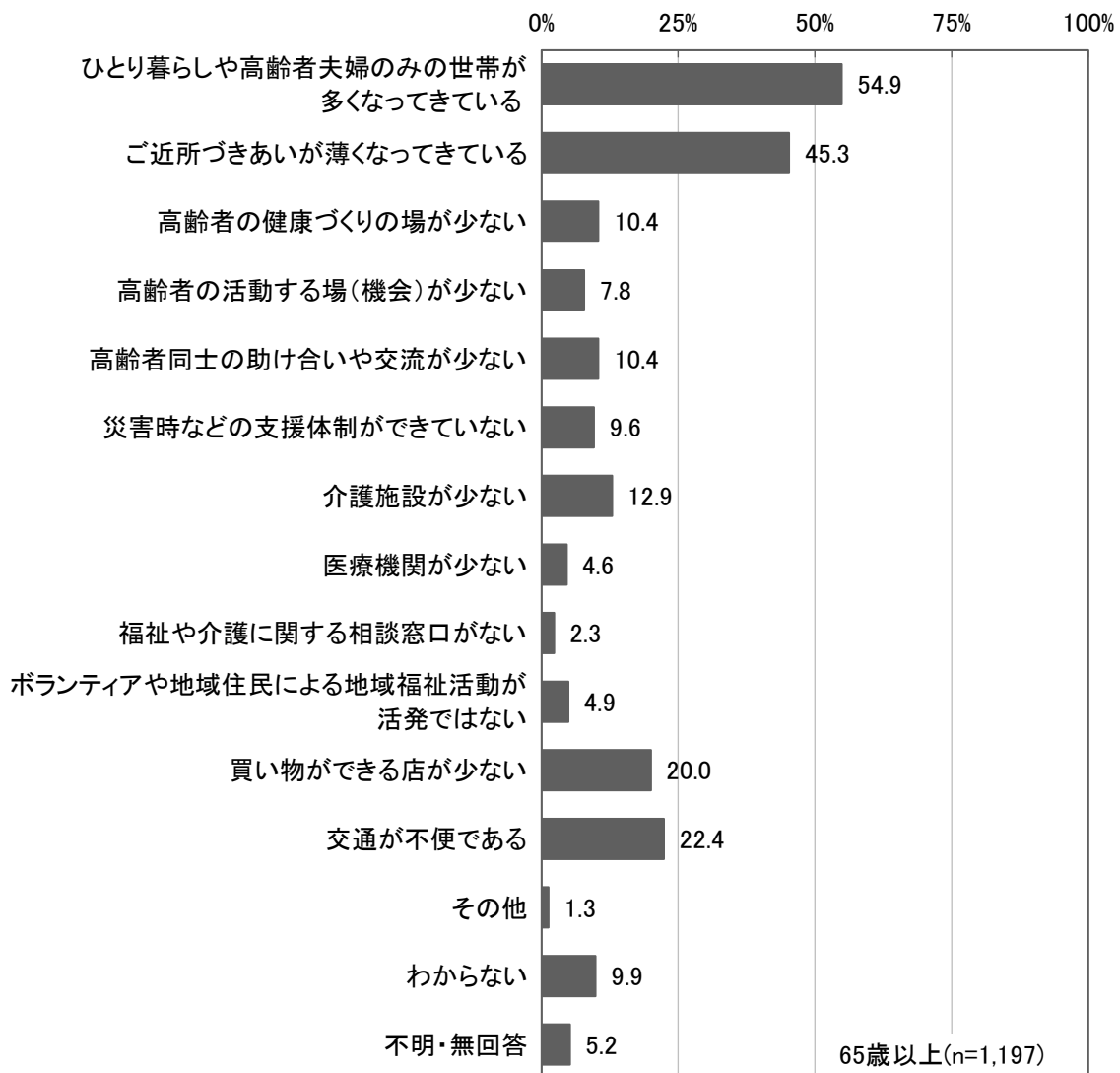
どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思うかについて、「気軽に相談できる窓口」が69.3%と最も高く、次いで「受診、治療ができる病院や診療所」が57.5%となっています。なお、相談窓口や在宅生活を送るための支援サービス、医療や入所施設についてはそれぞれ5割以上となっています。



9 高齢期（65歳以上）の課題について

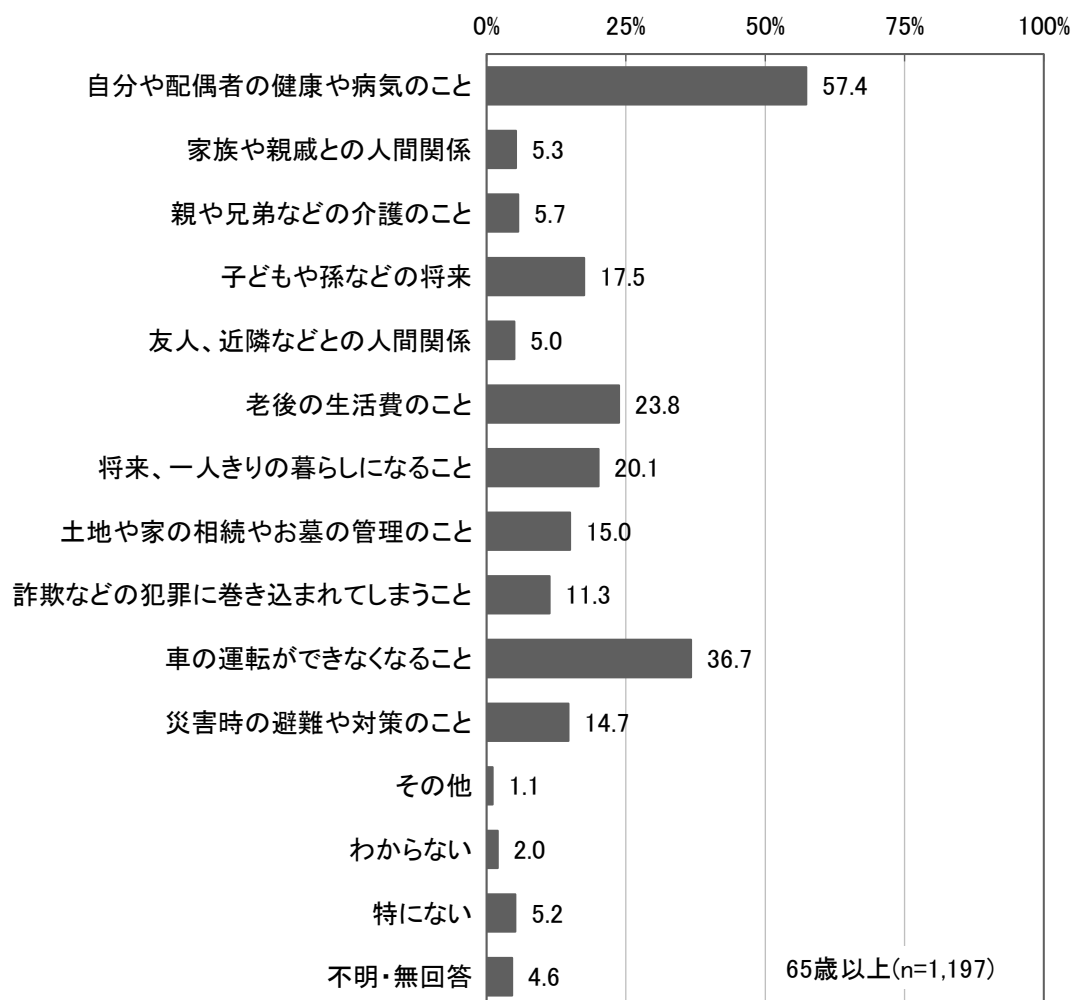
問 80. あなたの地域（中学校区程度）における高齢者（高齢化）に関する課題は何だと思いますか。（複数回答）

地域における高齢者に関する課題について、「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」が54.9%と最も高く、次いで「ご近所づきあいが薄くなってきている」が45.3%となっています。



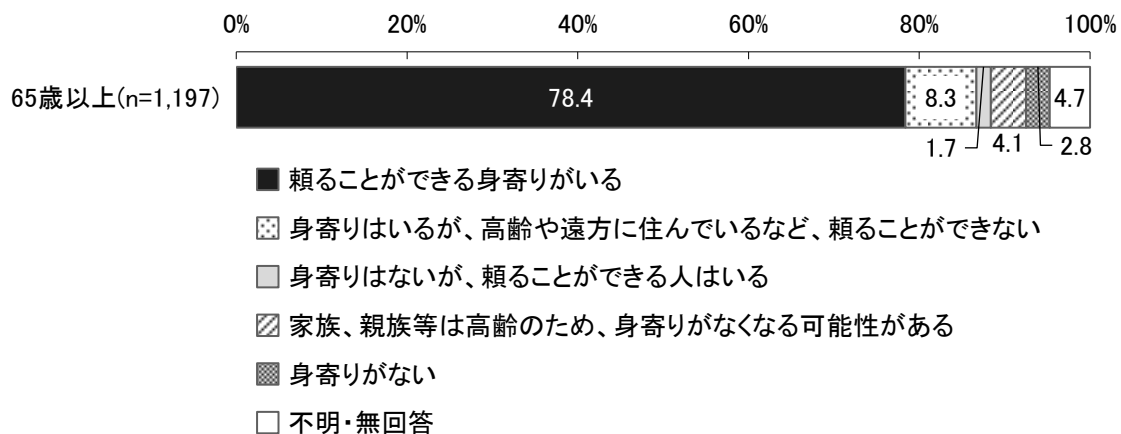
問 81. あなたご自身が、65 歳以上の高齢期において不安に思うことがありますか。
(複数回答)

高齢期において不安に思うことについて、「自分や配偶者の健康や病気のこと」が 57.4%と最も高く、次いで「車の運転ができなくなること」が 36.7%となっています。



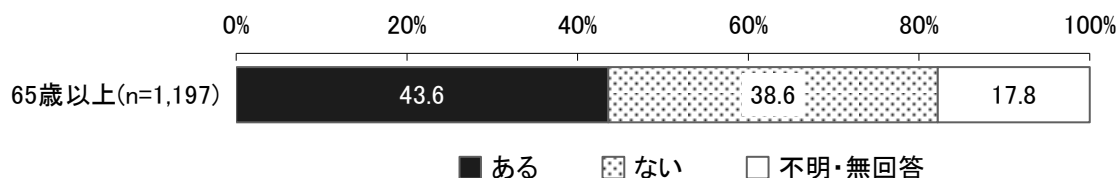
問 82. 困ったときに頼ることができる身寄り（家族、親族等）はいますか。
（単数回答）

困ったときに頼ることができる身寄り（家族、親族等）がいるかについて、「頼ることができる身寄りがいる」が 78.4%と最も高く、次いで「身寄りはあるが、高齢や遠方に住んでいるなど、頼ることができない」が 8.3%となっています。なお、「身寄りがない」は 2.8%となっています。



問 83. 身寄りがない（なくなる）ことに対して、不安に思うことがありますか。
（単数回答）

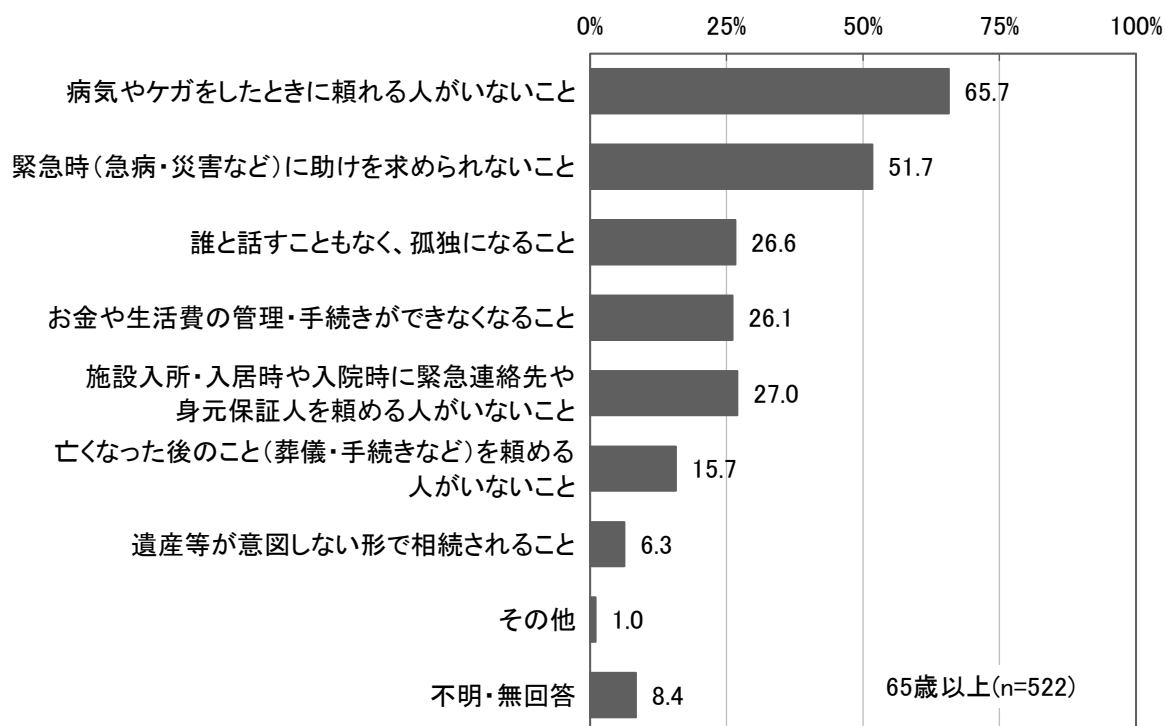
身寄りがない（なくなる）ことに対して、不安に思うことがあるかについて、「ある」が 43.6%、「ない」が 38.6%となっています。



<身寄りがない（なくなる）ことに対して不安に思うことがあると回答した方のみ>

問 84. 身寄りがない（なくなる）ことに対して、特に不安に感じることは何ですか。
（複数回答）

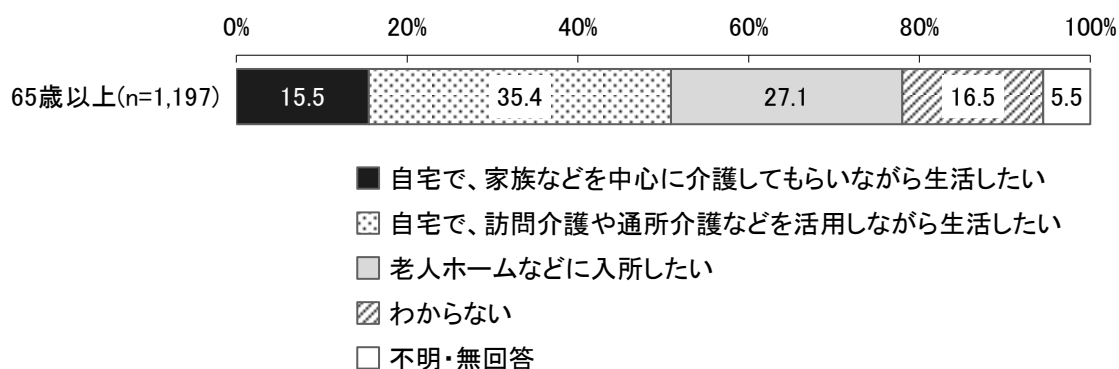
高齢期において不安に思うことについて、「病気やケガをしたときに頼れる人がいないこと」が 65.7%と最も高く、次いで「緊急時（急病・災害など）に助けを求められないこと」が 51.7%となっています。



10 希望する介護・医療等や終活について

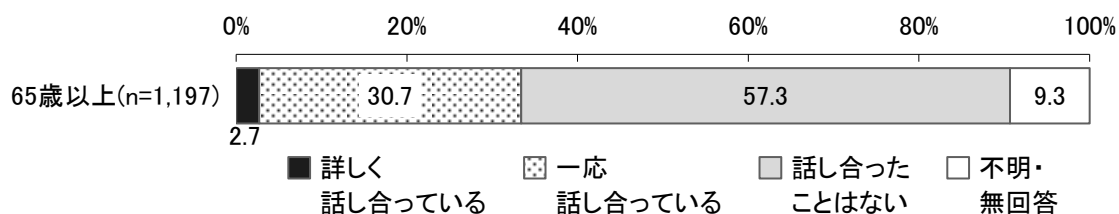
問 85. 今後、仮にあなたに介護が必要になった場合（現に介護を受けている場合も含む）、どのようにしたいですか。（単数回答）

自身に介護が必要になった場合（現に介護を受けている場合も含む）、どのようにしたいかについて、「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら生活したい」が 35.4%と最も高く、次いで「老人ホームなどに入所したい」が 27.1%となっています。



問 86. あなたは、自分の死期が近づいた場合の治療方針等について、家族等（内縁関係の方を含みます）や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。（単数回答）

自分の死期が近づいた場合の治療方針等をご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがあるかについて、「詳しく話し合っている」が 2.7%、「一応話し合っている」が 30.7%、「話し合ったことはない」が 57.3%となっています。



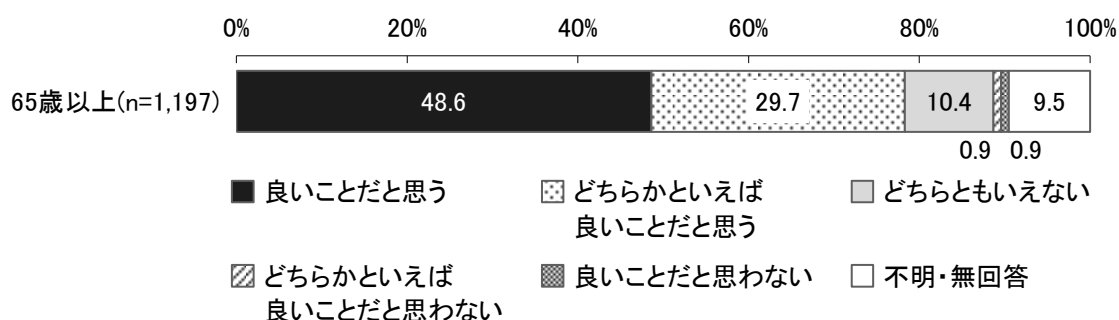
問 87. あなたは、自分が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・療養・介護を受けたいかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『良いことだと思う』 … 「良いことだと思う」と「どちらかと言えば良いことだと思う」を合算

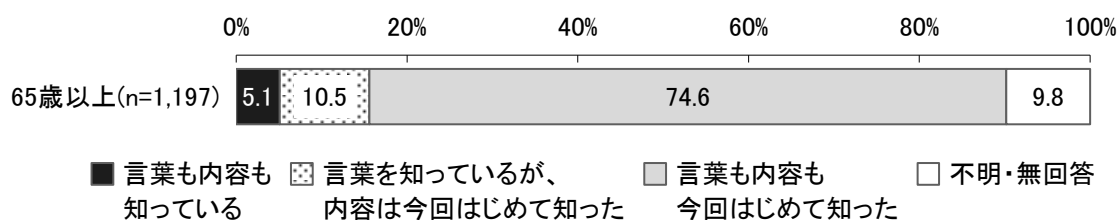
『良いことだと思わない』 … 「どちらかと言えば良いことだと思わない」と「良いことだと思わない」を合算

自分が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・療養・介護を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことをどう思うかについて、『良いことだと思う』が78.3%、「どちらともいえない」が10.4%、『良いことだと思わない』が1.8%となっています。



問 88. 「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉を知っていますか。(単数回答)

「人生会議（ACP）」という言葉を知っているかについて、「言葉も内容も知っている」が5.1%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が10.5%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が74.6%となっています。



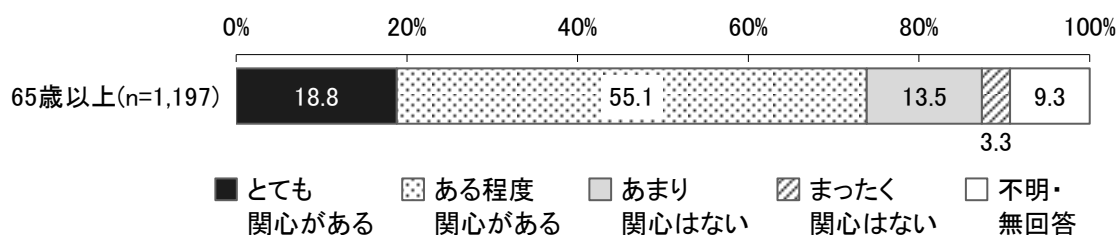
問 89. あなたは、ご自身の「終活」(人生の最期に向けた準備)について、どの程度関心がありますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『関心がある』 … 「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合算

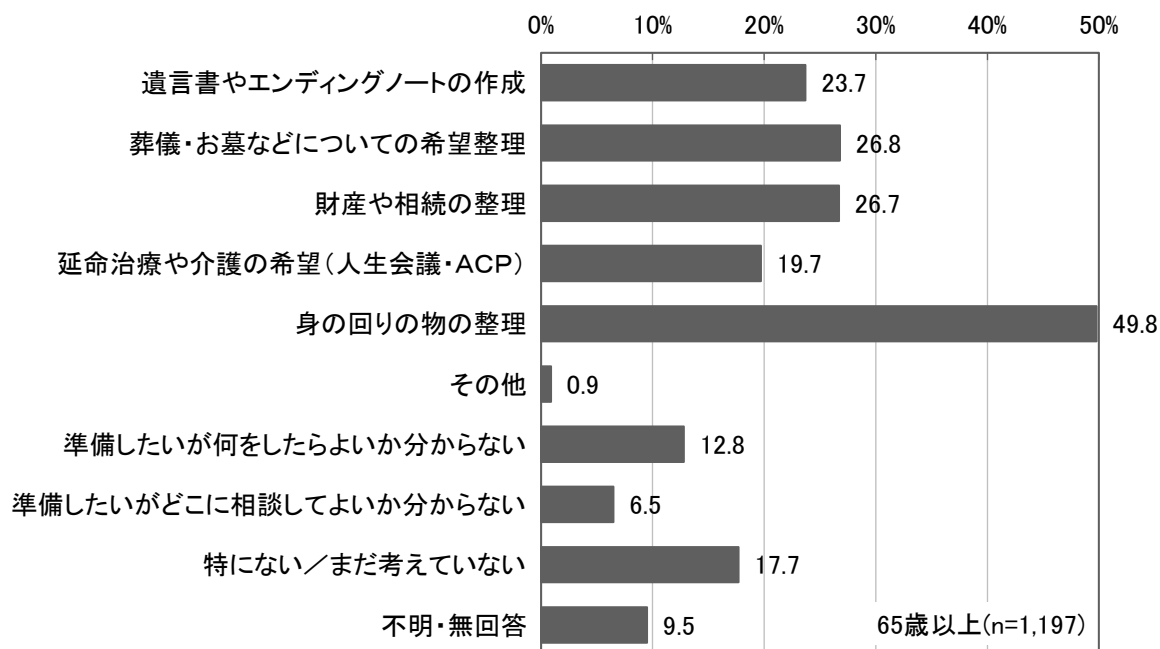
『関心はない』 … 「あまり関心はない」と「まったく関心はない」を合算

自身の終活への関心の程度について、『関心がある』が73.9%、『関心はない』が16.8%となっています。



問 90. 終活として、すでに準備していること、または今後準備したいと思っていることはありますか。(複数回答)

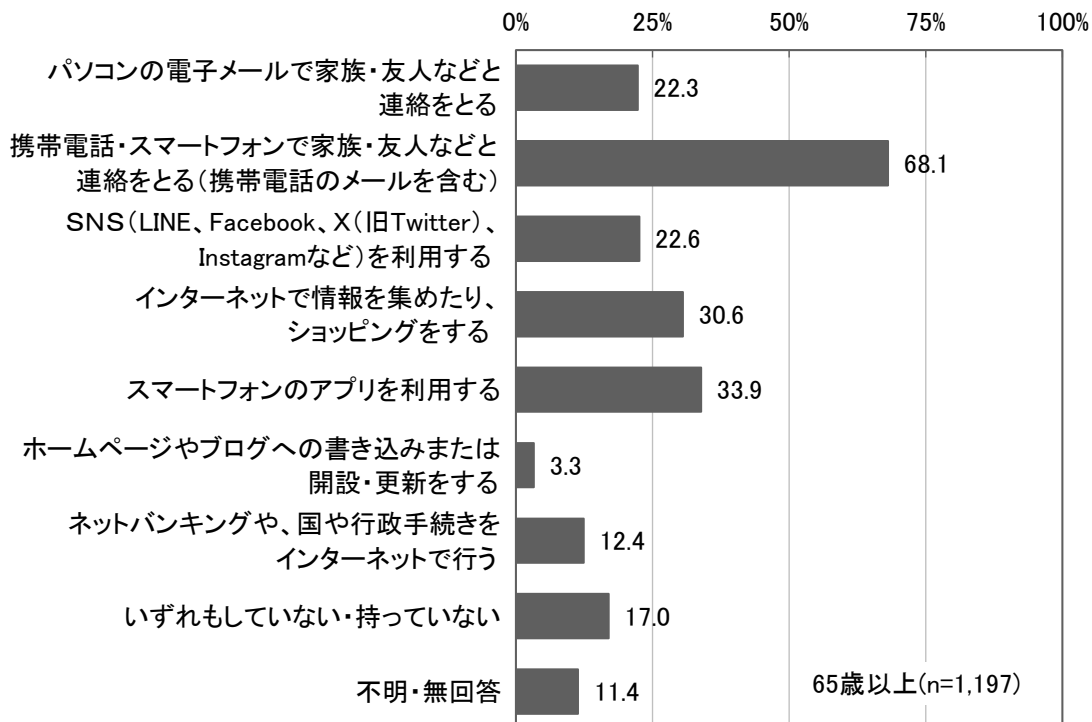
終活として、すでに準備していること、または今後準備したいと思っていることについて、「身の回りの物の整理」が49.8%、「葬儀・お墓などについての希望整理」が26.8%となっています。



11 その他近年の生活状況について

問 91. あなたはパソコンやスマートフォンなどの情報機器を使って、どのようなことをされますか。(複数回答)

パソコンやスマホなどの情報機器を使ってやっていることについて、「携帯電話・スマホで家族・友人などと連絡をとる(携帯電話のメールを含む)」が68.1%と最も高く、次いで「スマートフォンのアプリを利用する」が33.9%となっています。

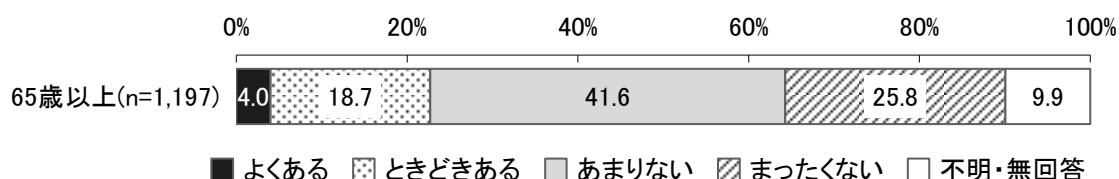


問 92. あなたは、日常生活の中で、孤独・孤立を感じることはありますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

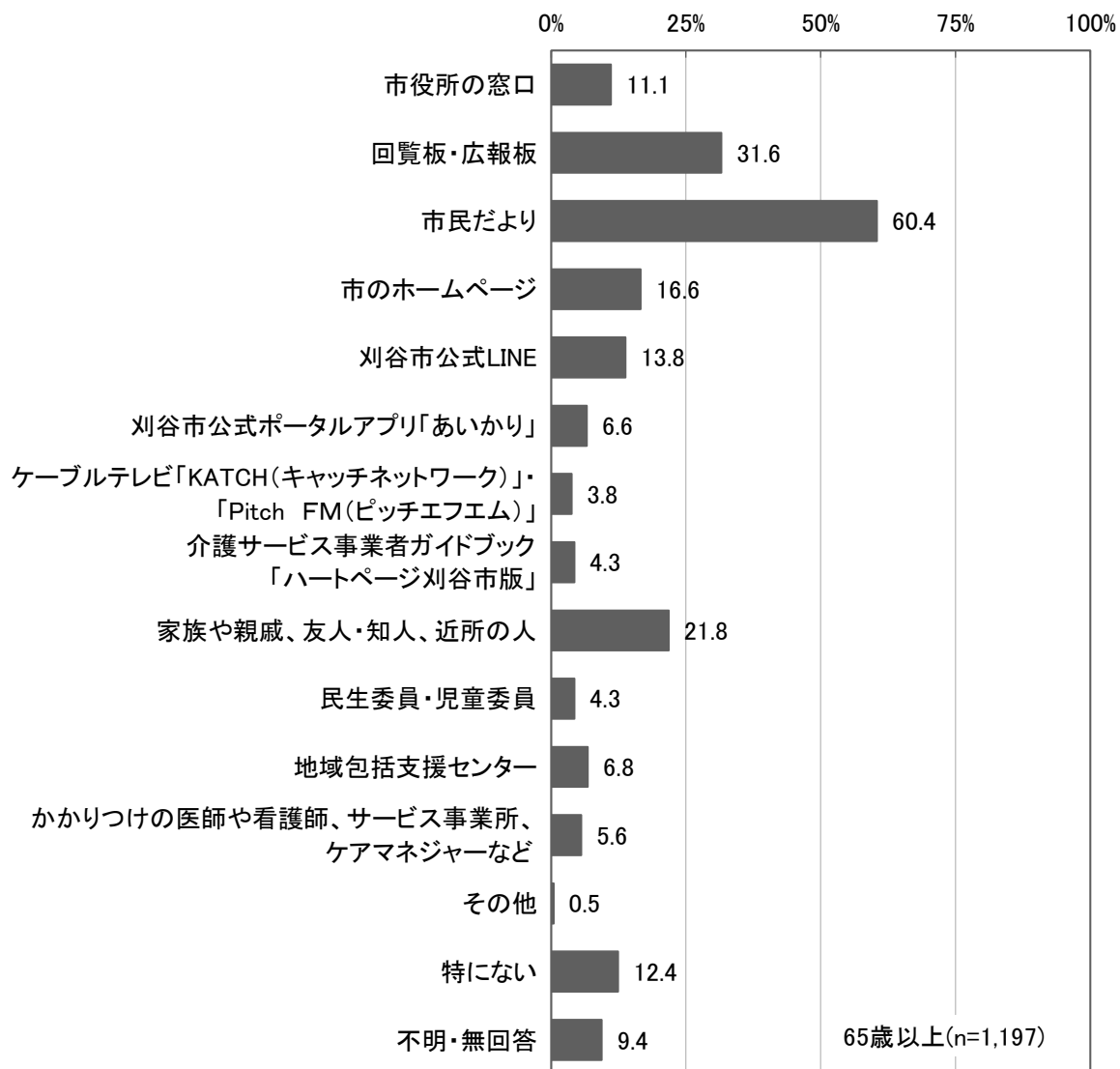
『ある』 … 「よくある」と「ときどきある」を合算
『ない』 … 「あまりない」と「まったくない」を合算

日常生活の中で、孤独・孤立を感じるかどうかについて、『ある』が22.7%、『ない』が67.4%となっています。



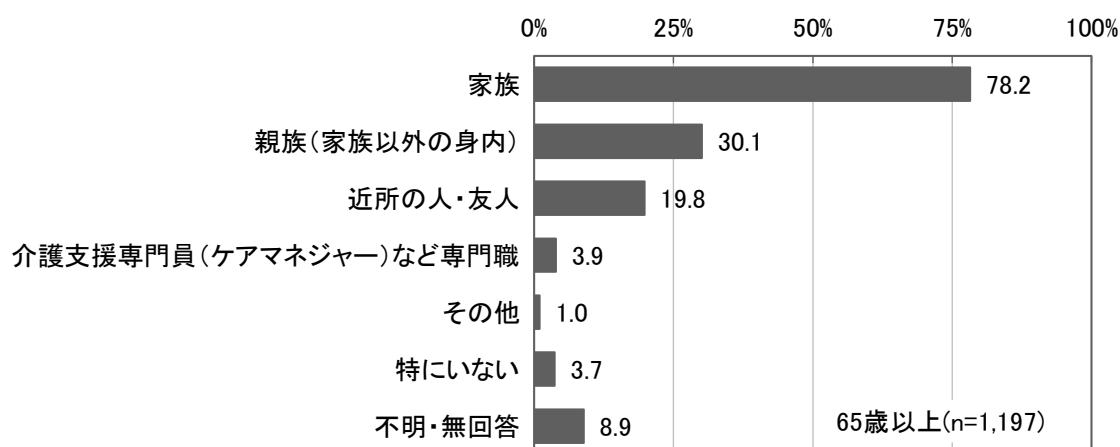
問 93. あなたは、市の高齢者福祉や介護に関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

市の高齢者福祉や介護に関する情報の入手先について、「市民だより」が60.4%と最も高く、次いで「回覧板・広報板」が31.6%となっています。



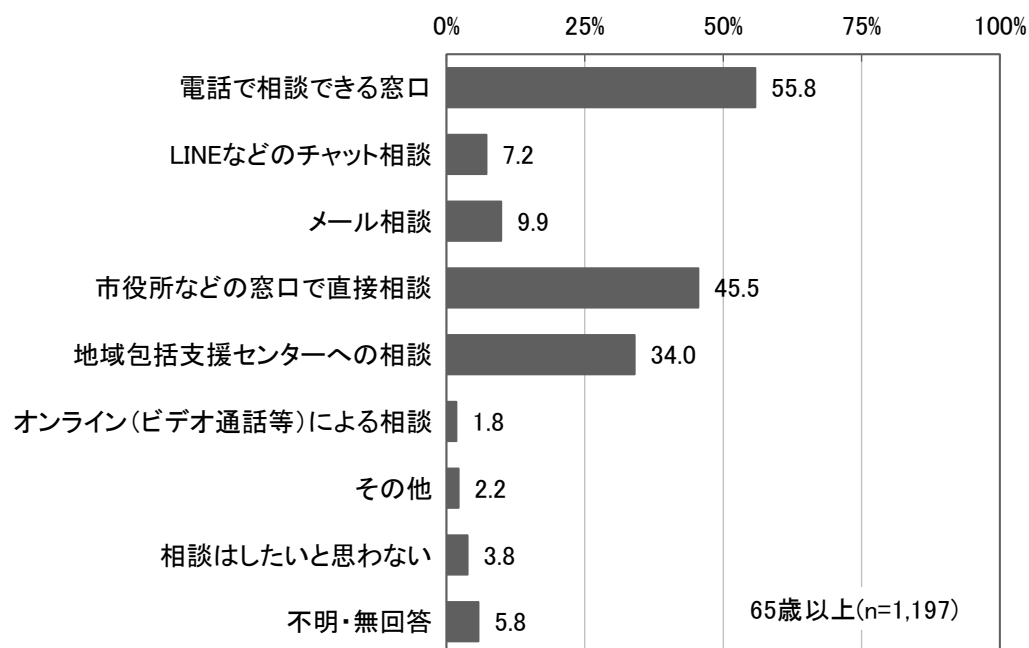
問 94. 困ったときに相談できる人はいますか。(複数回答)

困ったときに相談できる人がいるかについて、「家族」が78.2%と最も高く、次いで「親族（家族以外の身内）」が30.1%となっています。なお、「特にいない」は3.7%となっています。



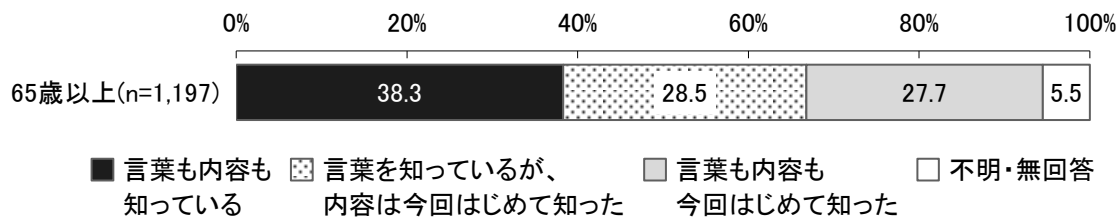
問 95. 介護や生活の困りごとについて相談したいとき、あなたが「相談しやすい」と感じる方法はどれですか。(複数回答)

介護や生活の困りごとで「相談しやすい」と感じる方法について、「電話で相談できる窓口」が55.8%と最も高く、次いで「市役所などの窓口で直接相談」が45.5%となっています。なお、「相談はしたいと思わない」は3.8%となっています。



問 96. 地域包括支援センターを知っていますか。(単数回答)

地域包括支援センターを知っているかについて、「言葉も内容も知っている」が 38.3%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が 28.5%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が 27.7%となっています。



12 調査結果からみる調査対象者の評価

一般高齢者調査結果を活用し、「運動器」「転倒」「閉じこもりリスク」「栄養」「口腔」「認知機能」「うつ傾向」「IADL（手段的日常生活動作）」「知的能動性」「社会的役割」の10項目について機能判定の評価を行いました。

（１）運動器

■評価方法

以下の5つの設問中3問以上、該当する選択肢（問7～9で「できない」、問10で「何度もある」または「1度ある」、問11で「とても不安である」または「やや不安である」）が回答された場合、該当者（運動器機能の低下している高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

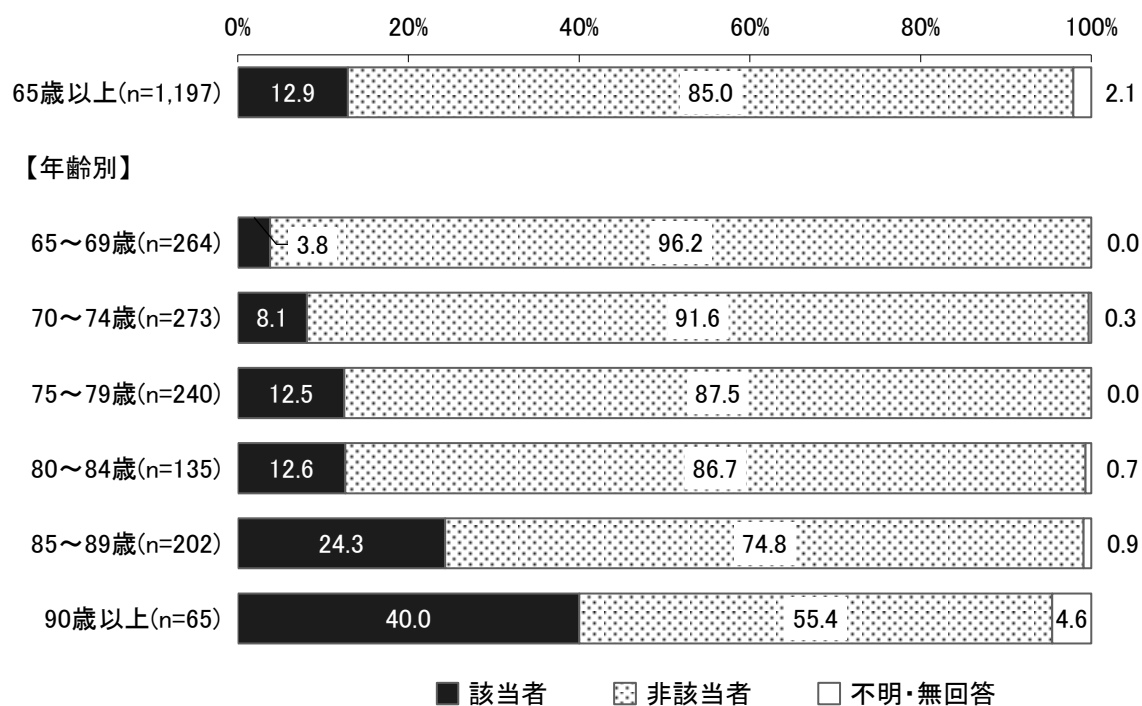
設問番号	設問	できるし、している	できるけどしていない	できない	不明・無回答
7	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	55.8	26.5	15.7	2.0
8	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	73.5	15.4	9.0	2.1
9	15分位続けて歩いていますか	73.4	17.7	7.1	1.8

設問番号	設問	何度もある	1度ある	ない	不明・無回答
10	過去1年間に転んだ経験がありますか	9.2	23.2	66.0	1.6

設問番号	設問	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	不明・無回答
11	転倒に対する不安は大きいですか	11.7	41.1	29.1	16.2	1.9

運動器機能の低下している高齢者について、全体の「該当者」は12.9%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「該当者」は高くなっており、90歳以上では40.0%となっています。



(2) 転倒

■評価方法

以下の設問で該当する選択肢（「何度もある」または「1度ある」）が回答された場合、該当者（転倒リスクのある高齢者）とした。

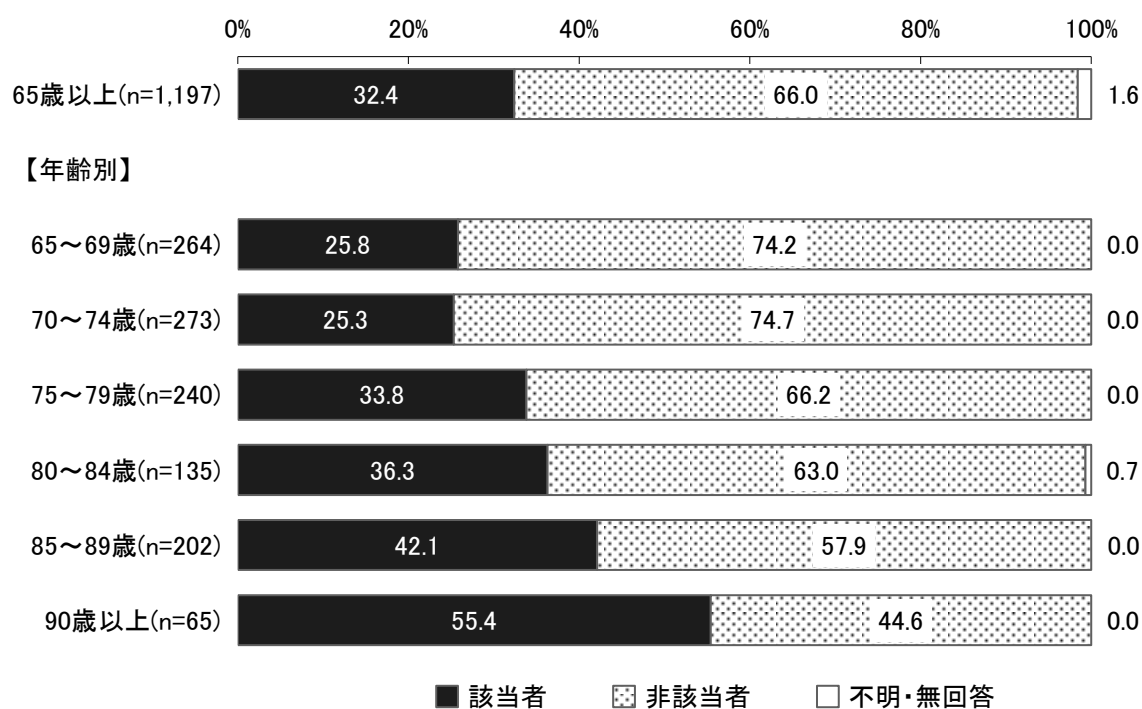
■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	何度もある	1度ある	ない	不明・無回答
10	過去1年間に転んだ経験がありますか	9.2	23.2	66.0	1.6

転倒リスクのある高齢者について、全体の「該当者」は32.4%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「該当者」は高くなっており、75～79歳以上では3割を超えています。



(3) 閉じこもりリスク

■評価方法

以下の設問で該当する選択肢（「ほとんど外出しない」または「週1回」）が回答された場合、該当者（閉じこもり傾向のある高齢者）とした。

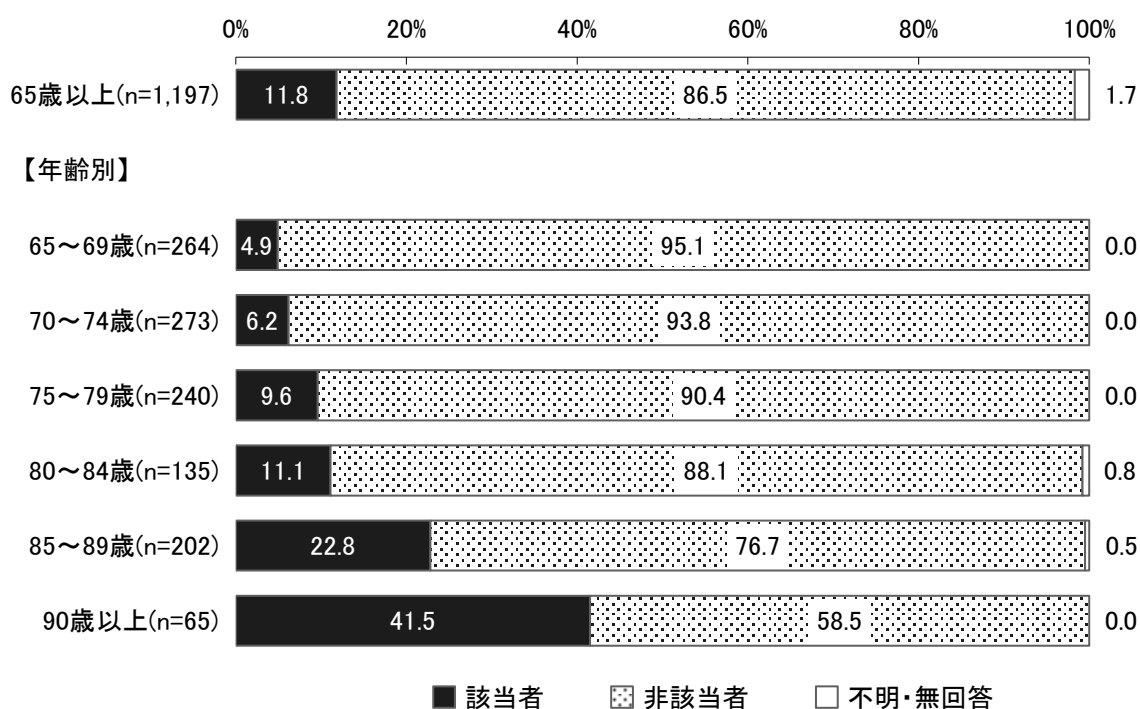
■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	不明・無回答
12	週に1回以上は外出していますか	3.2	8.6	42.2	44.4	1.6

閉じこもり傾向のある高齢者について、全体の「該当者」は11.8%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「該当者」は高くなっており、90歳以上では41.5%となっています。



(4) 栄養

■評価方法

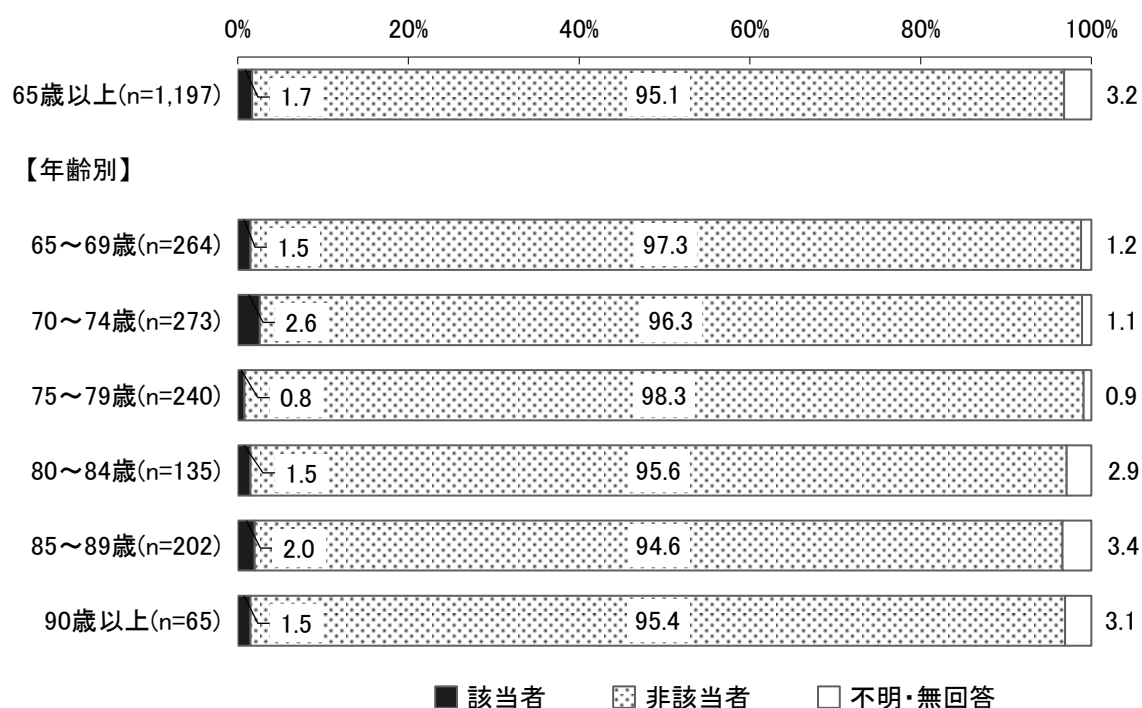
以下の2つの設問のうち、問17の結果から算出したBMIが18.5未満かつ、問23で「はい」と回答された場合、該当者（低栄養状態にある高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	BMI 18.5 未満	BMI 18.5 以上	不明・ 無回答
17	身長、体重はいくつですか	7.9	89.1	3.0
設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
23	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	11.1	86.4	2.5

低栄養状態にある高齢者について、全体の「該当者」は1.7％となっています。
年齢別では、いずれの年代も3％未満と大きな差はみられません。



(5) 口腔

■評価方法

以下の3つの設問中2問以上、該当する選択肢（「はい」）が回答された場合、該当者（口腔機能の低下している高齢者）とした。

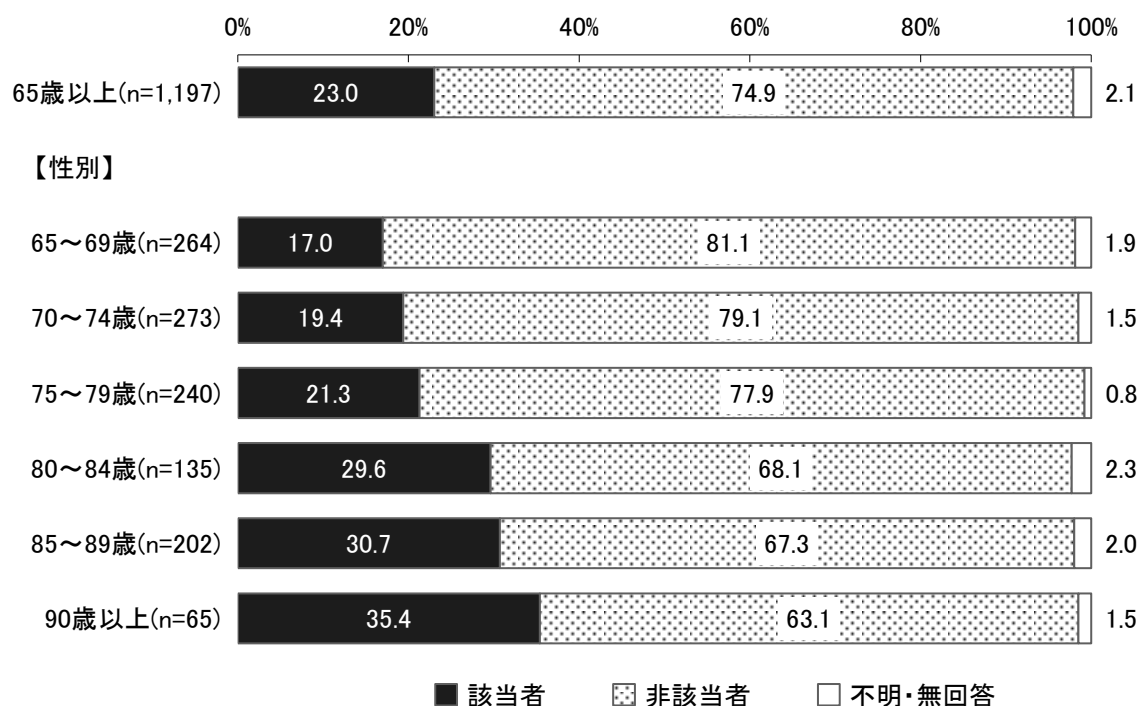
■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	28.7	69.4	1.9
19	お茶や汁物などでむせることがありますか	26.7	71.4	1.9
20	口の渇きが気になりますか	27.5	71.0	1.5

口腔機能の低下している高齢者について、全体の「該当者」は23.0％となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「該当者」は高くなっており、80～84歳以上では3割前後となっています。



(6) 認知機能

■評価方法

以下の設問で該当する選択肢（「はい」）が回答された場合、該当者（認知機能の低下がみられる高齢者）とした。

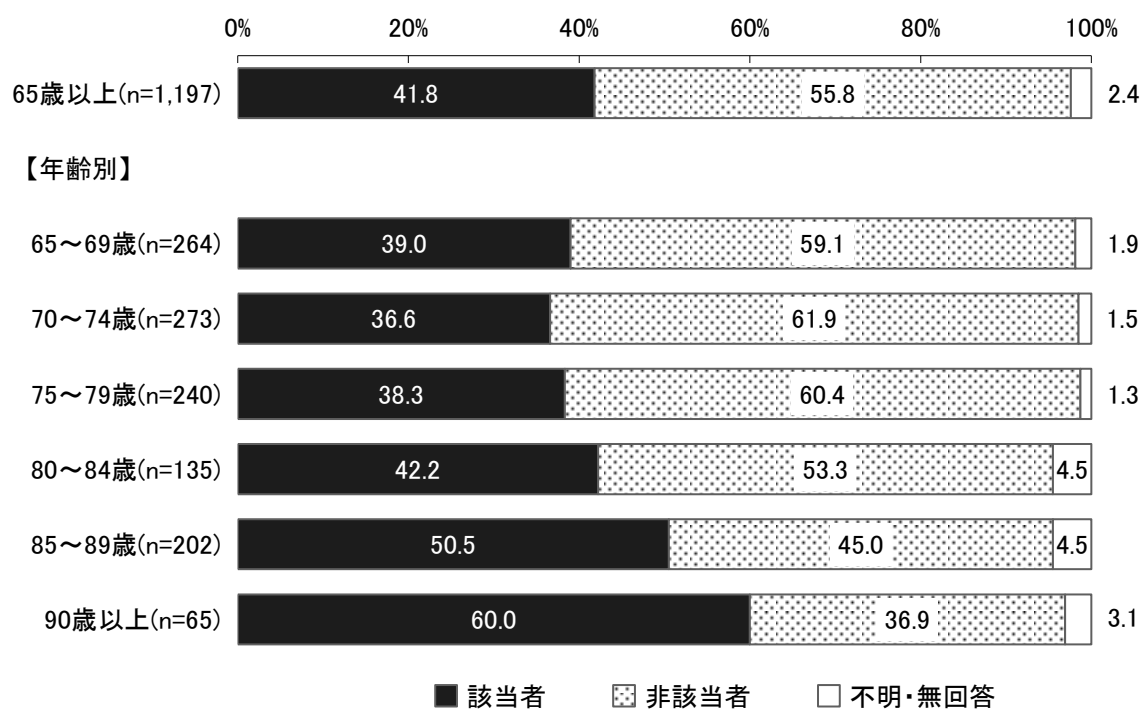
■評価に使用した調査設問結果【65 歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
25	物忘れが多いと感じますか	41.8	55.8	2.4

認知機能の低下がみられる高齢者について、全体の「該当者」は 41.8％となっています。

年齢別では、70～74 歳以降で年齢が上がるにつれ「該当者」は高くなっており、90 歳以上では 60.0％となっています。



(7) うつ傾向

■評価方法

以下の2つの設問中いずれか1つでも該当する選択肢（「はい」）が回答された場合、該当者（うつ傾向の高齢者）とした。

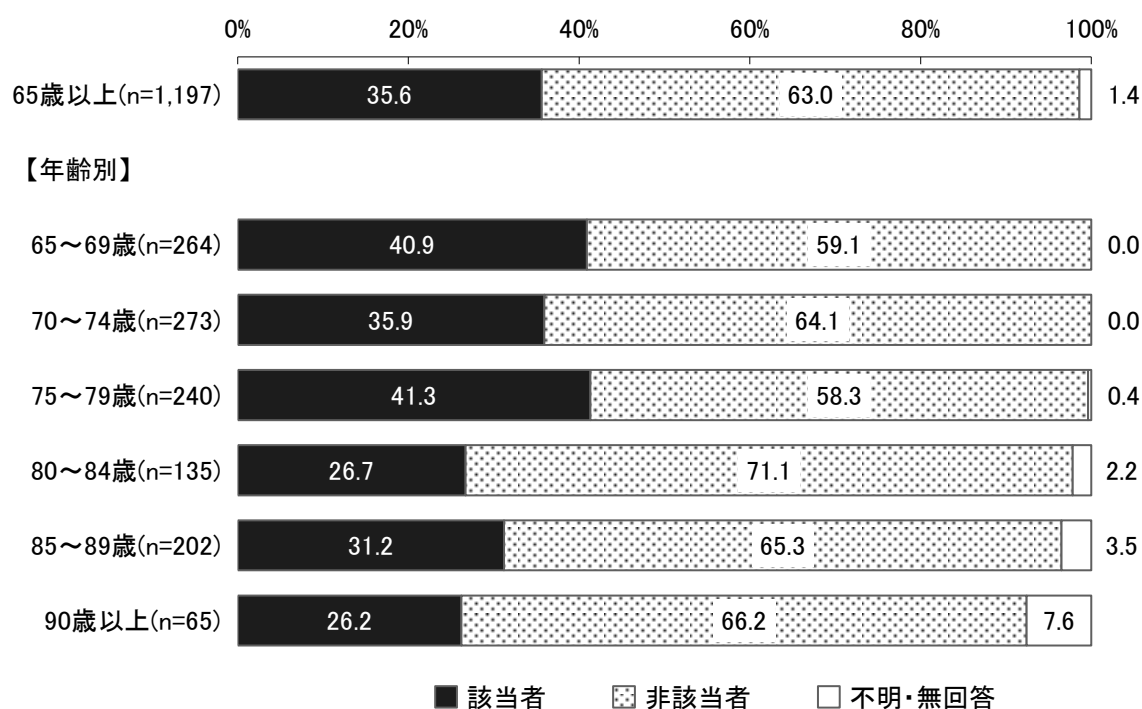
■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
60	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	32.7	66.0	1.3
61	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	19.0	79.2	1.8

うつ傾向の高齢者について、全体の「該当者」は35.6％となっています。

年齢別では、60歳代後半から70歳代で「該当者」がそれぞれ4割前後と高くなっています。



(8) IADL（手段的日常生活動作）

IADLとは、日常生活を送る上で必要な動作のうち、ADL（日常生活動作：食事、排せつ、入浴などの基本的な行動）より複雑で高次の動作のことをいいます。（例：買い物や洗濯・掃除などの家事全般、金銭や服薬の管理、外出時に乗り物に乗ることなど）

■評価方法

以下の5つの設問について、「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方を1点とし、5点満点で評価した。5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価した。

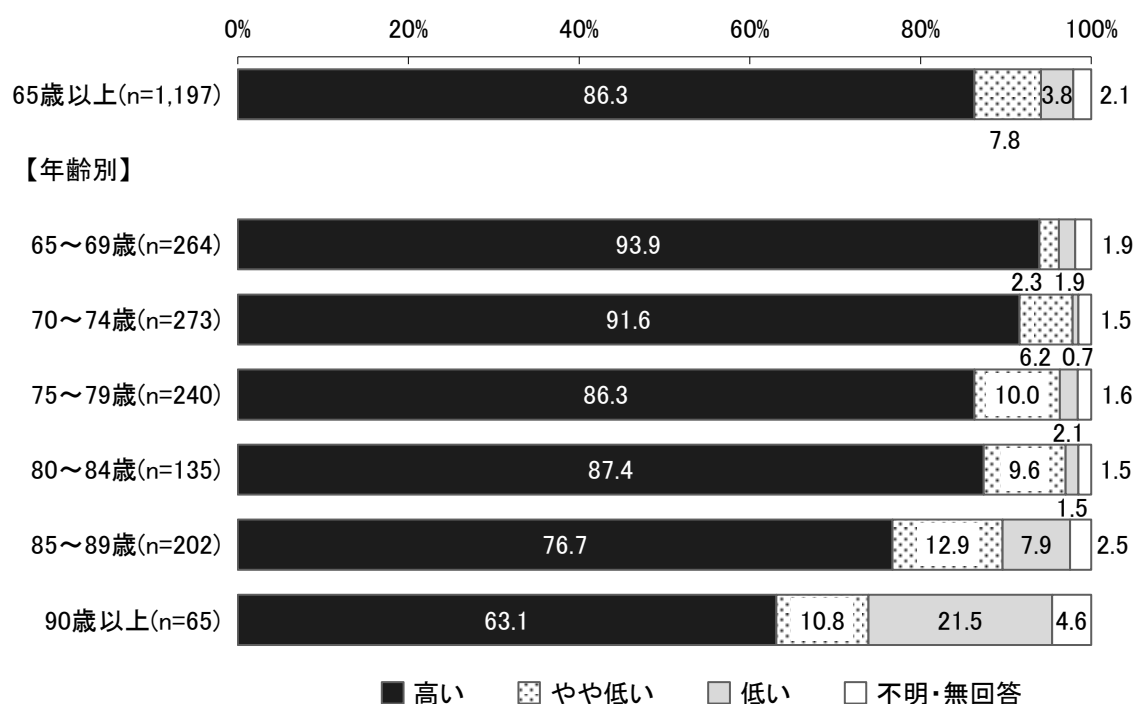
■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	できるし、している	できるけどしていない	できない	不明・無回答
26	バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）	75.5	17.5	5.3	1.7
27	自分で食品・日用品の買物をしていますか	84.3	11.4	2.7	1.6
28	自分で食事の用意をしていますか	71.6	20.2	6.5	1.7
29	自分で請求書の支払いをしていますか	85.9	9.7	2.8	1.6
30	自分で預貯金の出し入れをしていますか	86.1	9.1	3.0	1.8

日常生活動作について、全体の「低い」は3.8%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「低い」は高くなっており、90歳以上では21.5%となっています。



(9) 知的能動性

■評価方法

以下の4つの設問について、「はい」と回答した方を1点として計算し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点を「低い」、1点を「不明・無回答」として評価した。

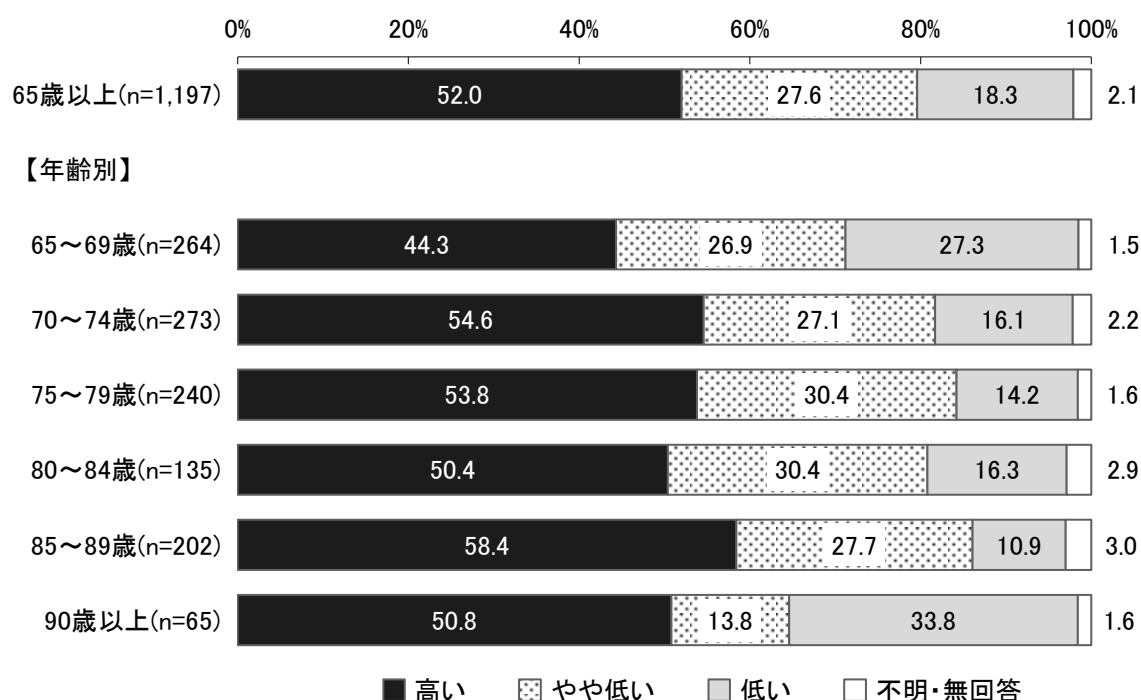
■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
31	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	91.6	7.0	1.4
32	新聞を読んでいますか	75.2	23.1	1.7
33	本や雑誌を読んでいますか	67.6	30.6	1.8
34	健康についての記事や番組に関心がありますか	89.3	9.0	1.7

知的能動性について、全体の「低い」は18.3%となっています。

年齢別では、65～69歳及び90歳以上で「低い」はそれぞれ3割前後と高くなっています。



(10) 社会的役割

■評価方法

以下の4つの設問について、「はい」と回答した方を1点として計算し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価した。

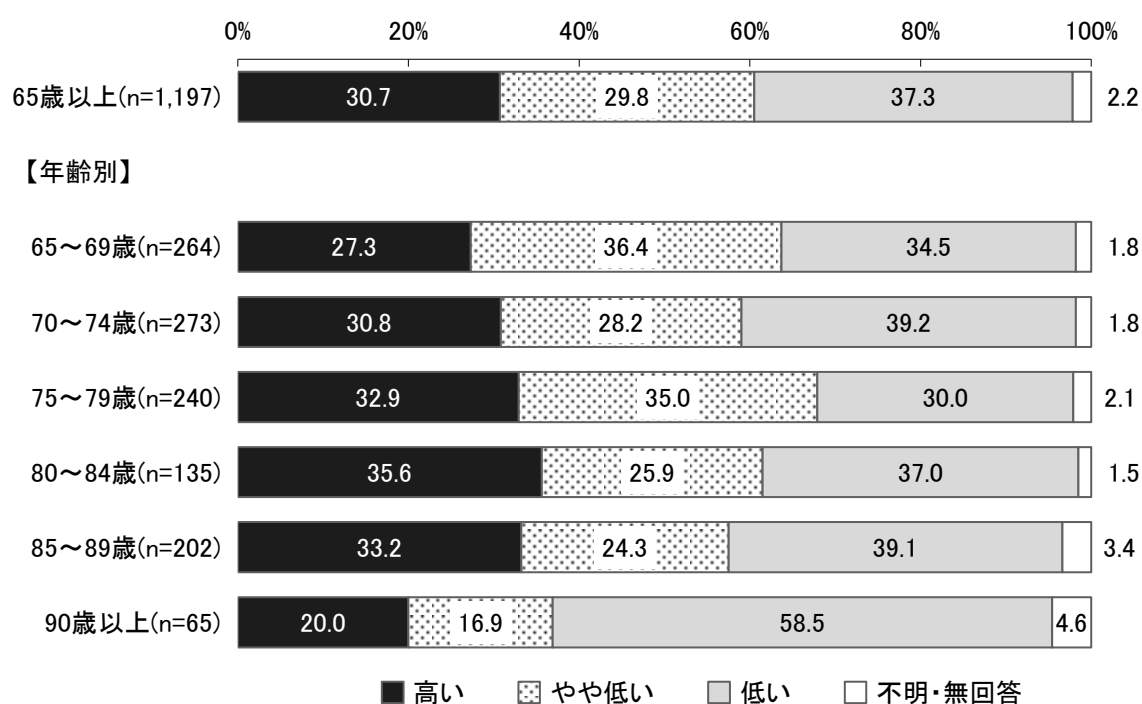
■評価に使用した調査設問結果【65歳以上(n=1,197)】

単位：％

設問番号	設問	はい	いいえ	不明・無回答
35	友人の家を訪ねていますか	40.3	58.2	1.5
36	家族や友人の相談にのっていますか	70.9	27.5	1.6
37	病人を見舞うことができますか	81.5	16.5	2.0
38	若い人に自分から話しかけることがありますか	70.4	27.8	1.8

社会的役割について、全体の「低い」は37.3%となっています。

年齢別では、80歳代で「低い」はそれぞれ約4割となっており、90歳以上では58.5%と高くなっています。

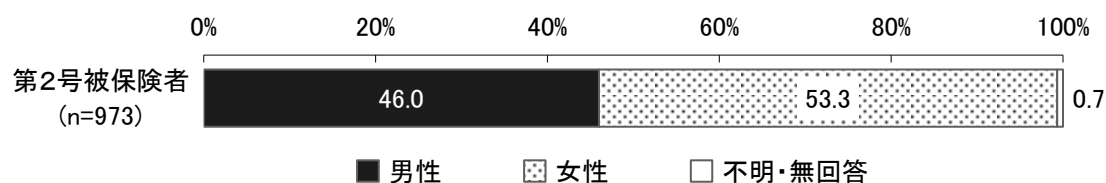


Ⅲ 第2号被保険者調査結果

1 あなたの家族や生活状況について

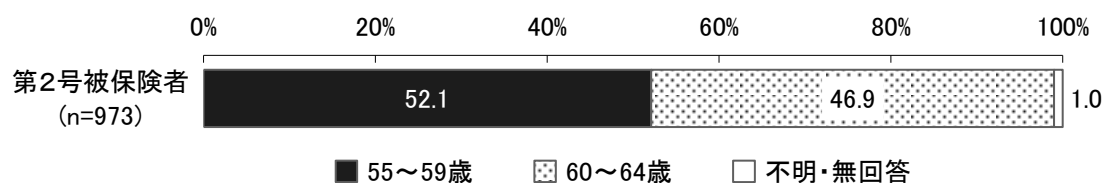
問1. あなたの性別はどちらですか。(単数回答)

性別について、「男性」が46.0%、「女性」が53.3%となっています。



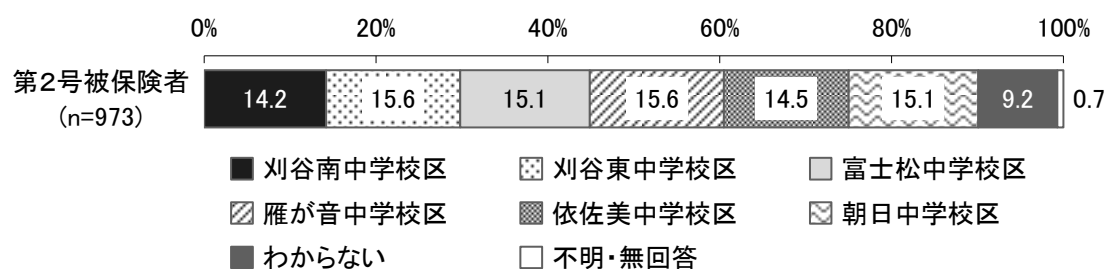
問2. あなたの年齢は、おいくつですか。(数値回答)

年齢について、「55～59歳」が52.1%、「60～64歳」が46.9%となっています。



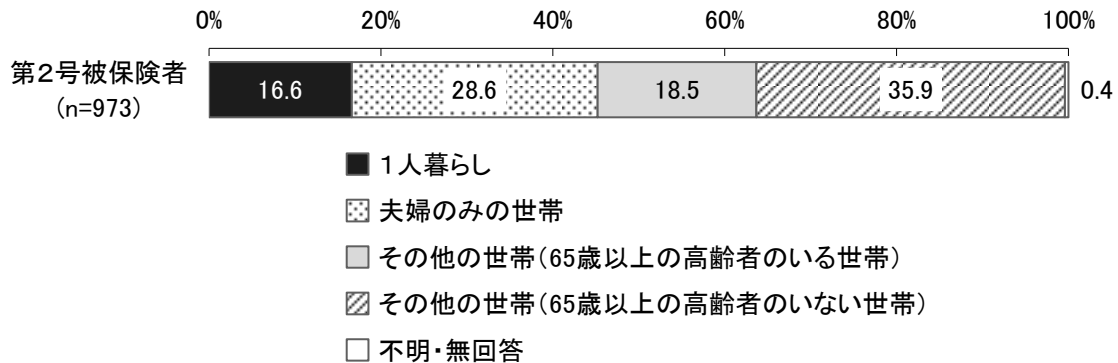
問3. あなたの居住地（中学校区別）は次のどれですか。(単数回答)

中学校区別の居住地については概ね均等に分散しており、その中では「刈谷東中学校区」「雁が音中学校区」がそれぞれ15.6%と最も高く、次いで「富士松中学校区」「朝日中学校区」がそれぞれ15.1%となっています。



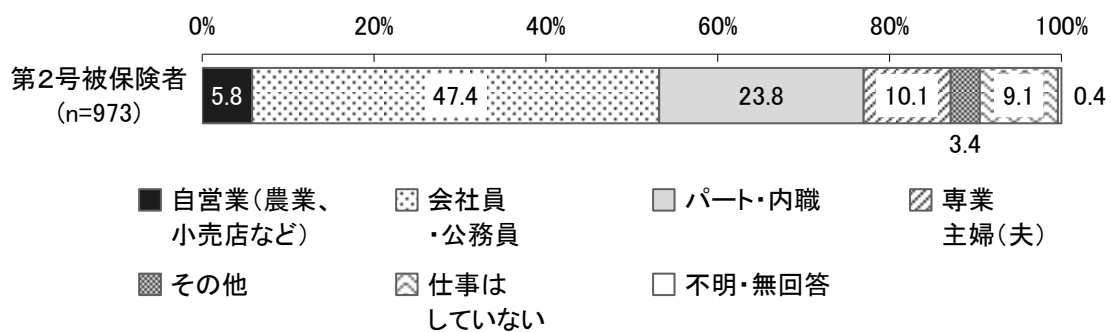
問4. 家族構成をお教えてください。(単数回答)

家族構成について、「その他の世帯（65歳以上の高齢者のいない世帯）」が35.9%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が28.6%となっています。



問5. あなたは、現在、どんな仕事をしていますか。(単数回答)

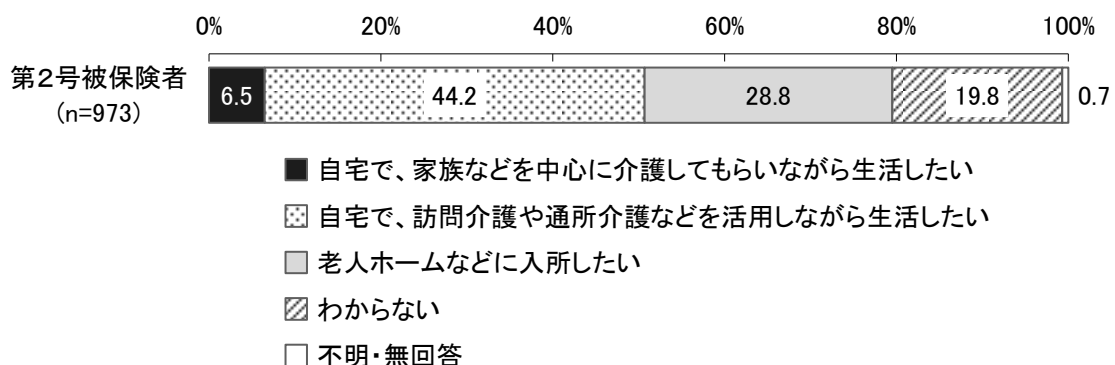
現在の仕事について、「会社員・公務員」が47.4%と最も高く、次いで「パート・内職」が23.8%となっています。



2 介護についての考え方について

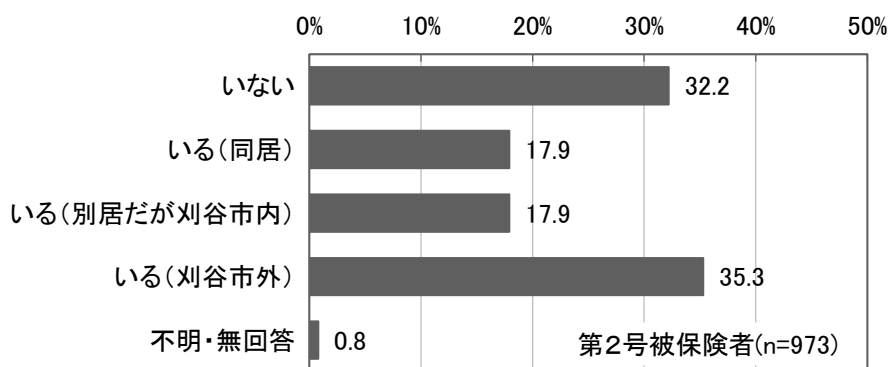
問6. 今後、あなたに介護が必要になった場合(現に介護を受けている場合も含む)、どのようにしたいですか。(単数回答)

自分自身に介護が必要になった(なっている)場合どのようにしたいかについて、「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら生活したい」が44.2%と最も高く、次いで「老人ホームなどに入所したい」が28.8%となっています。



問7. あなたには、ご自身や配偶者が介護することになると考えておられる親や祖父母などの家族がいますか（介護が必要になっている場合も含む）。
（複数回答）

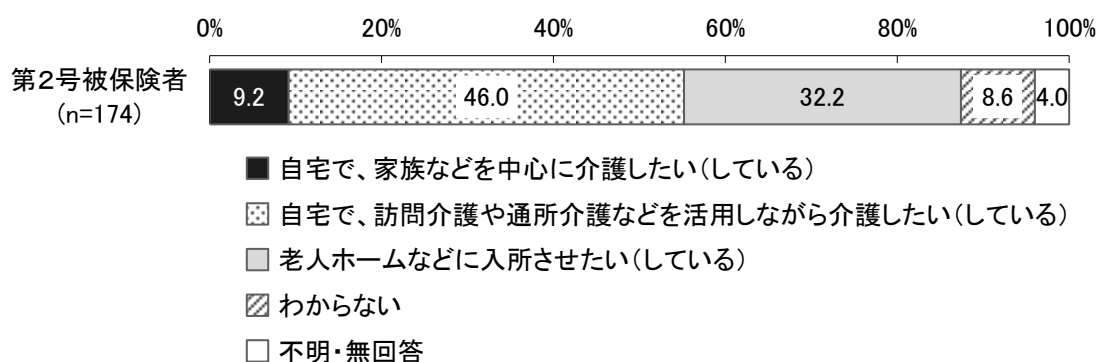
自分自身や配偶者が介護することが想定される親などの家族がいるかについて、「いる（刈谷市外）」が35.3%と最も高く、次いで「いない」が32.2%となっています。なお、同居・別居、刈谷市内外に介護が想定されている家族が『いる』方は67.0%となっています。



<介護が必要となると考えられる親などの家族と同居していると回答した方のみ>

問8. 同居する家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか（現に介護している場合も含む）。（単数回答）

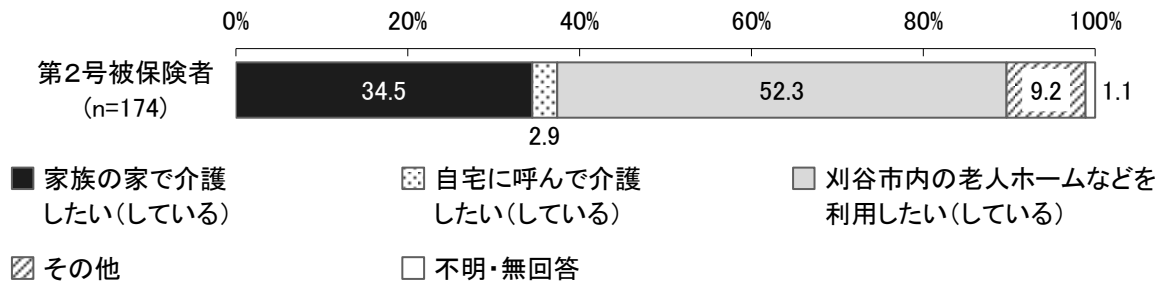
同居する家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいかについて、「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら介護したい（している）」が46.0%と最も高く、次いで「老人ホームなどに入所させたい（している）」が32.2%となっています。



<介護が必要となると考えられる親などの家族が別居だが刈谷市内にいと回答した方のみ>

問9. 市内の家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか
(現に介護している場合も含む)。(単数回答)

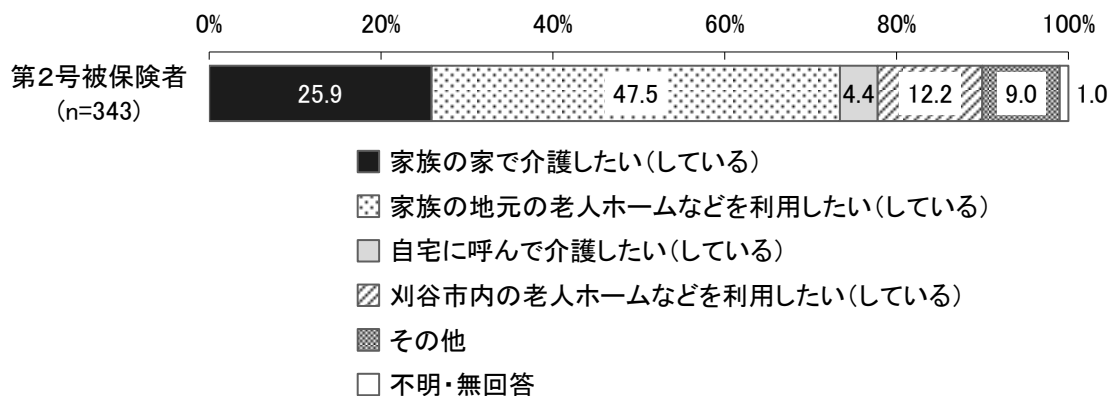
市内の家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいかについて、「刈谷市内の老人ホームなどを利用したい(している)」が52.3%と最も高く、次いで「家族の家で介護したい(している)」が34.5%となっています。



<介護が必要となると考えられる親などの家族が刈谷市外にいと回答した方のみ>

問10. 市外の家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか
(現に介護している場合も含む)。(単数回答)

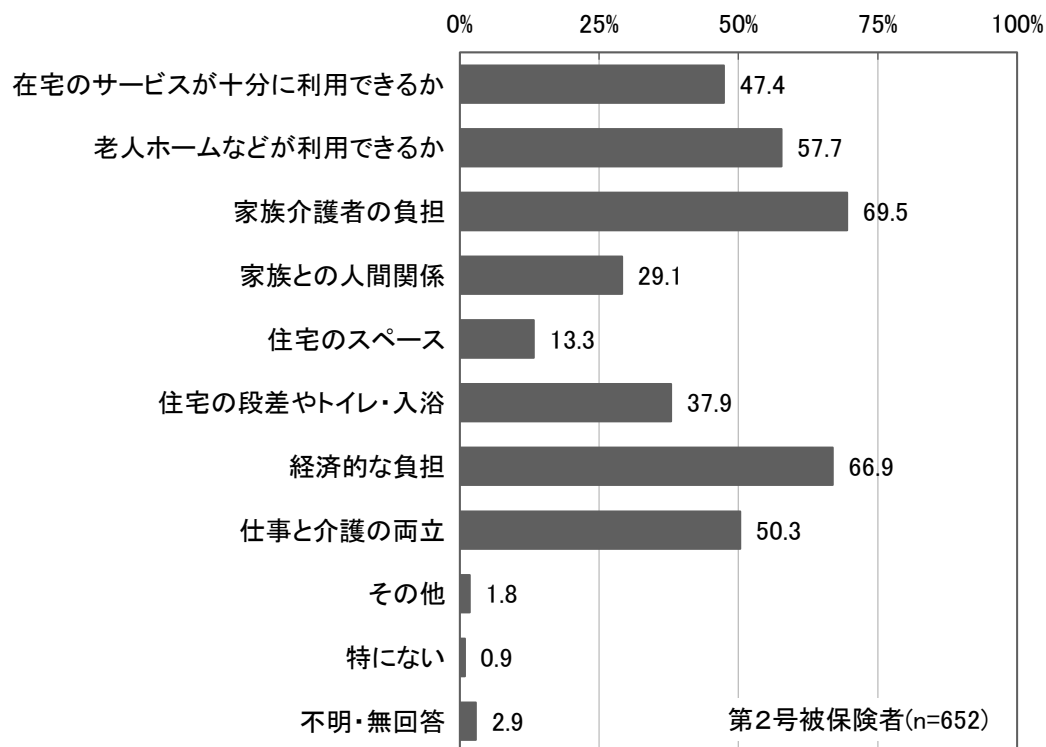
市外の家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいかについて、「家族の地元の老人ホームなどを利用したい(している)」が47.5%と最も高く、次いで「家族の家で介護したい(している)」が25.9%となっています。



<介護が必要となると考えられる親などの家族が刈谷市内外にいと回答した方のみ>

問 11. 家族を介護するときにどんな不安を感じますか。(複数回答)

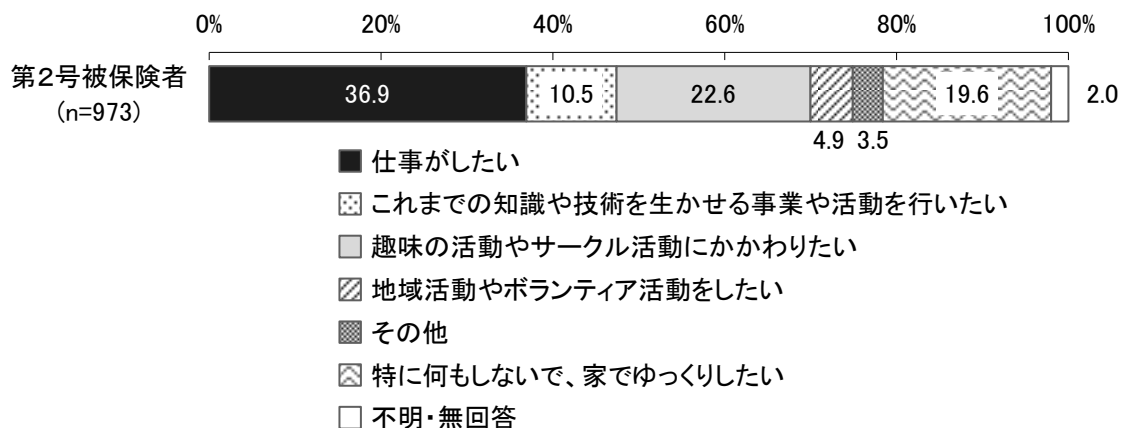
家族を介護するときに感じる不安について、「家族介護者の負担」が 69.5%と最も高く、次いで「経済的な負担」が 66.9%となっています。



3 社会参加について

問 12. 将来、定年退職などで仕事をやめた後や 65 歳以上の高齢期に入った際に、どのようなことをしたいですか。(単数回答)

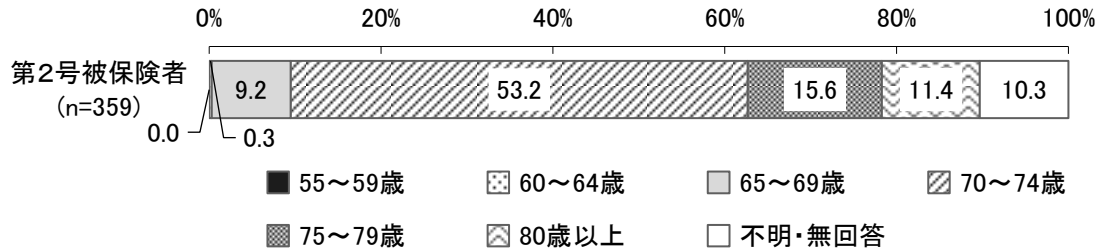
退職後や高齢期に入った際にしたいことについて、「仕事がしたい」が 36.9%と最も高く、次いで「趣味の活動やサークル活動にかかわりたい」が 22.6%となっています。



<高齢期以降も仕事したいと回答した方のみ>

問 13. 将来、何歳まで働きたいと考えていますか。(数値回答)

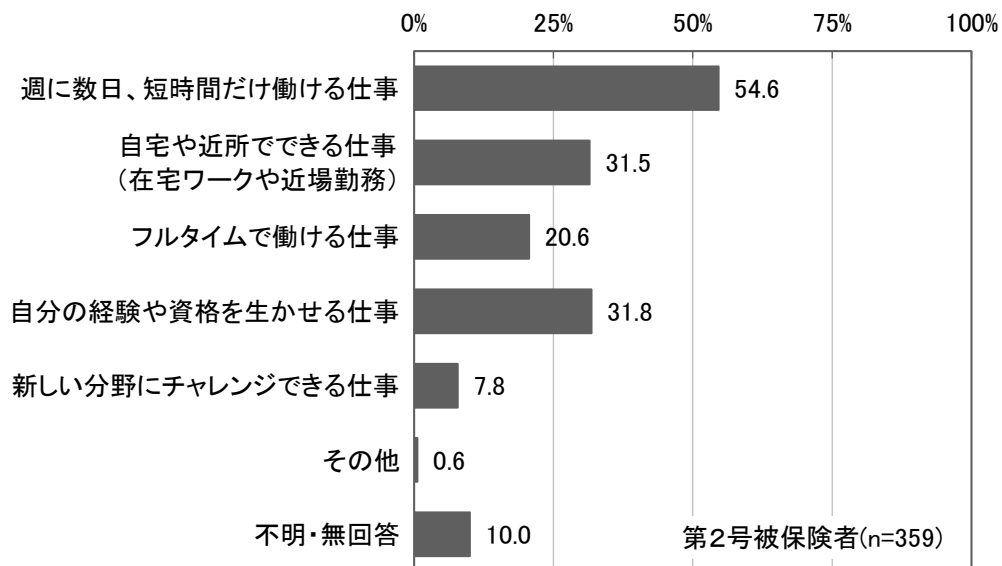
将来、何歳まで働きたいと考えているかについて、「70～74 歳」が 53.2%と最も高く、次いで「75～79 歳」が 15.6%となっています。



<高齢期以降も仕事したいと回答した方のみ>

問 14. どのような働き方をしたいですか。(複数回答)

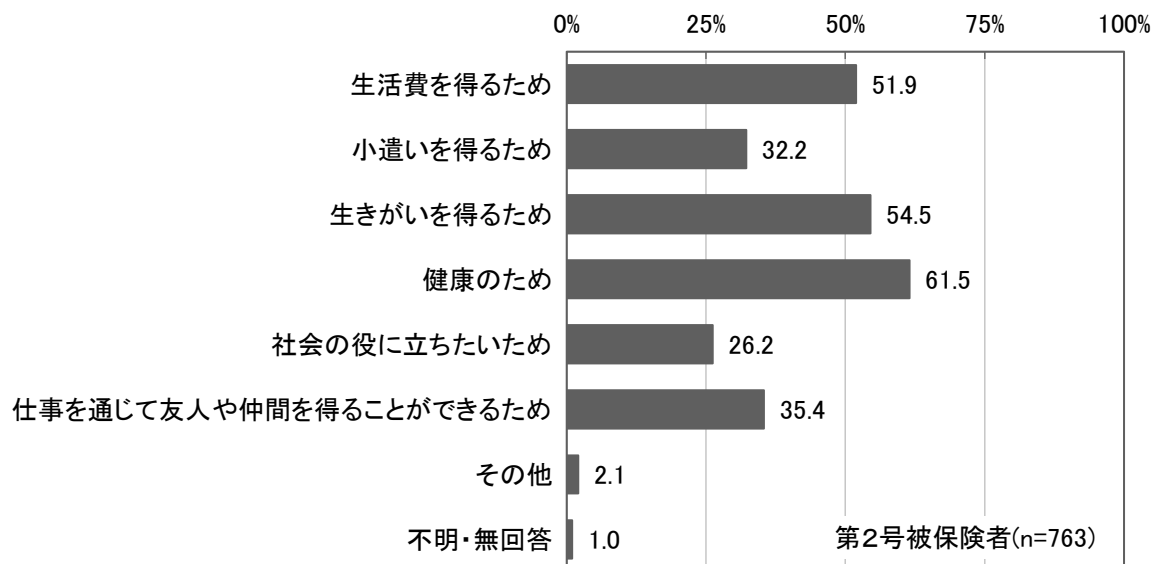
高齢期以降の働き方について、「週に数日、短時間だけ働ける仕事」が 54.6%と最も高く、次いで「自分の経験や資格を生かせる仕事」が 31.8%となっています。



<何らかの活動をしたいと回答した方のみ>

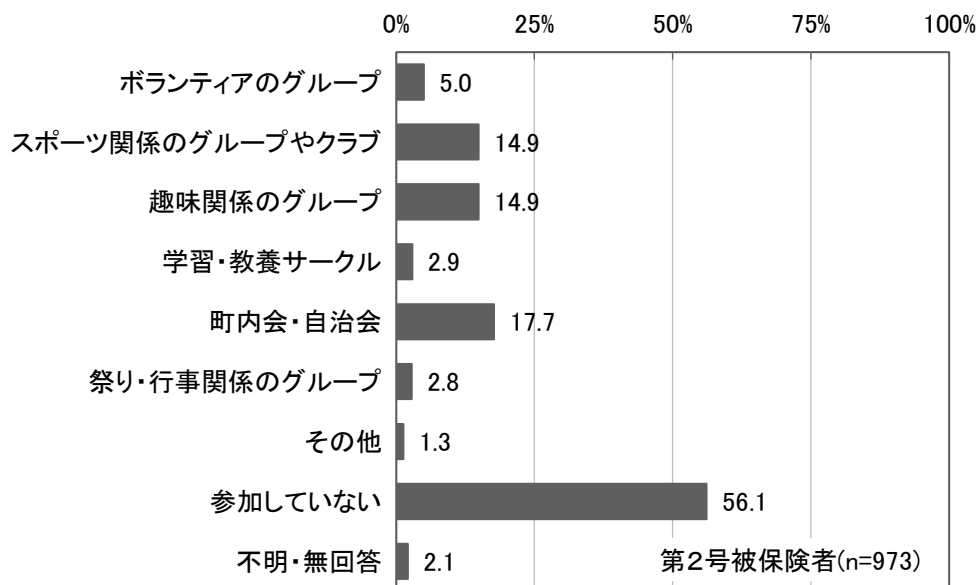
問 15. 活動や仕事をしたい理由は何ですか。(複数回答)

活動や仕事をしたい理由について、「健康のため」が61.5%と最も高く、次いで「生きがいを得るため」が54.5%となっています。



問 16. 以下のような会・グループなどに参加していますか。(複数回答)

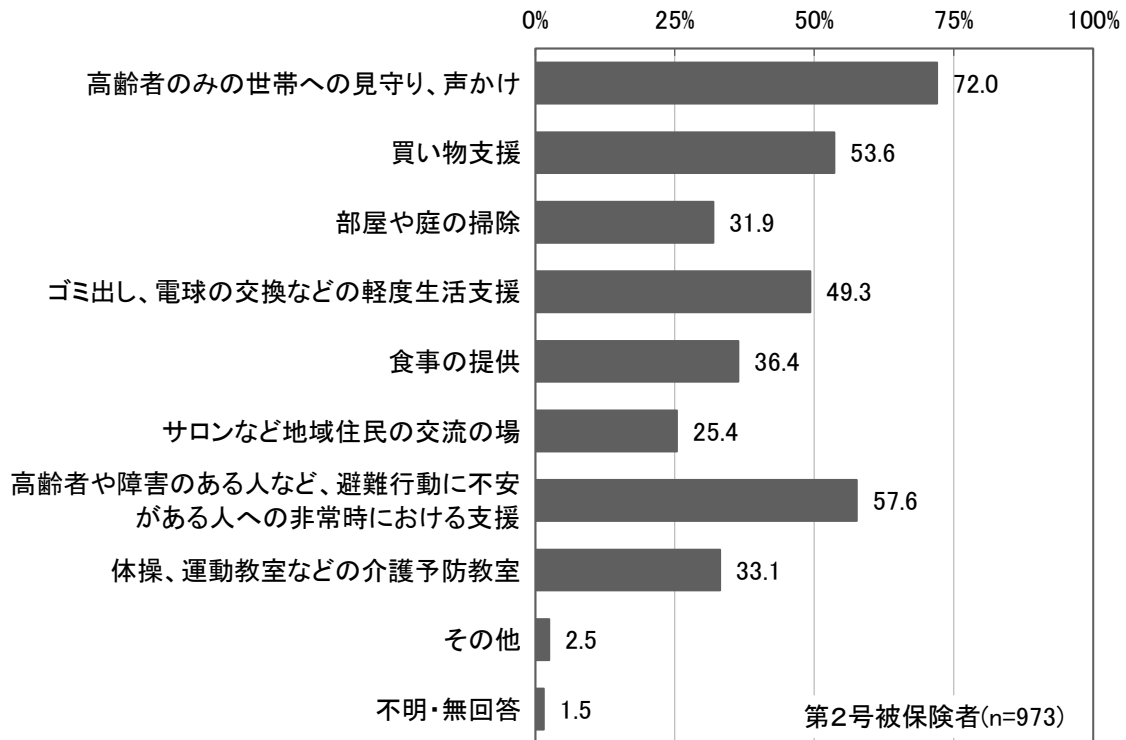
参加している会・グループについて、最も高い「参加していない」(56.1%)を除くと、「町内会・自治会」が17.7%と高く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」がそれぞれ14.9%となっています。



問 17. 以下の3つの項目についてあてはまるものをお答えください。

①地域住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思うもの（複数回答）

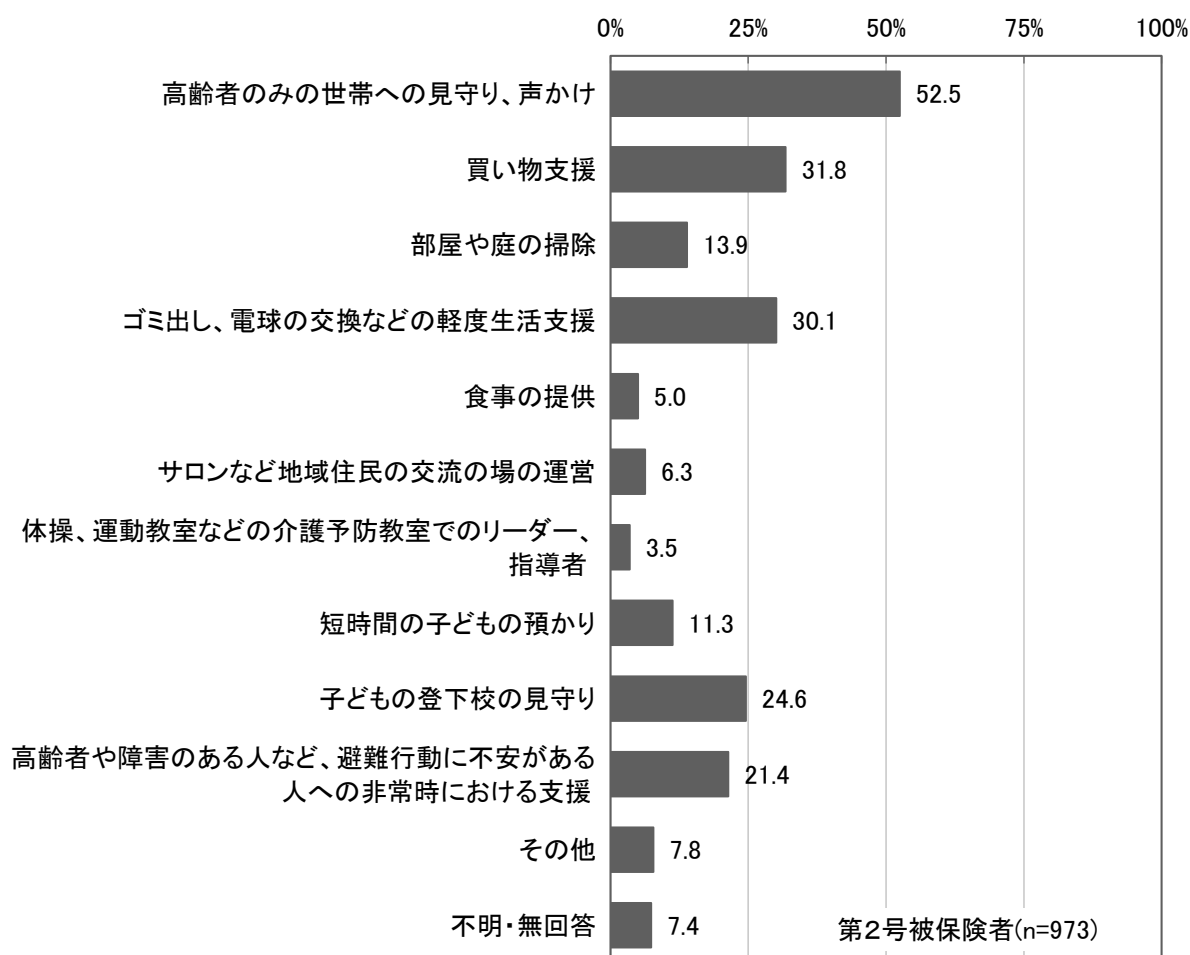
地域住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思うものについて、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が72.0%と最も高く、次いで「高齢者や障害のある人など、避難行動に不安がある人への非常時における支援」が57.6%となっています。



②自分でできる、あるいはやってみたいと思う支援（複数回答）

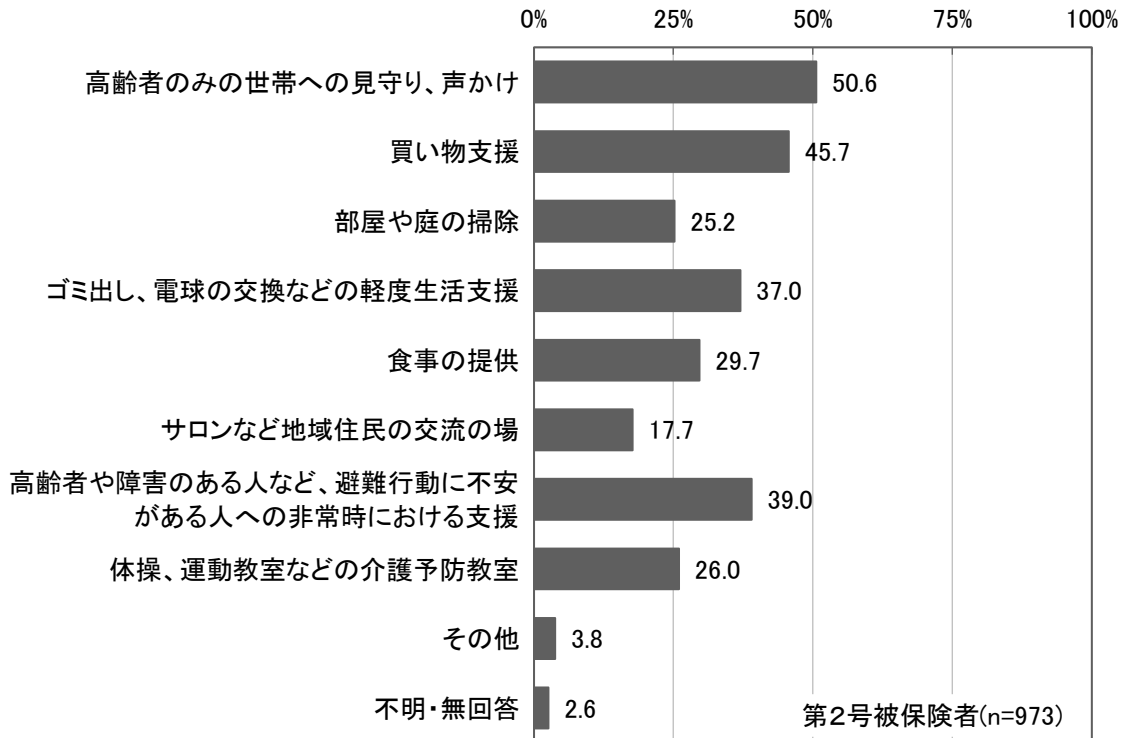
※高齢者への支援に限らず、地域住民で困りごとを抱えている人に対してできる手助けなどをお答えください。

自分でできる、あるいはやってみたいと思う支援について、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が52.5%と最も高く、次いで「買い物支援」が31.8%となっています。



③あなたが地域住民の力を生かした高齢者支援を受ける側となった場合、利用したいと思うもの（複数回答）

高齢者支援を受ける側となった場合、利用したいと思う支援について、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が50.6%と最も高く、次いで「買い物支援」が45.7%となっています。



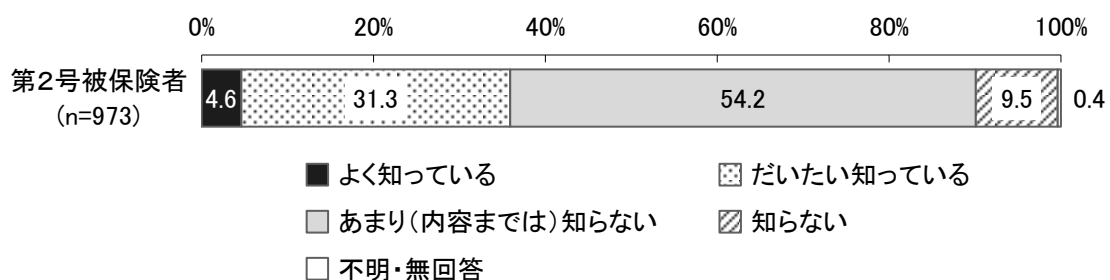
4 介護保険について

問 18. 介護保険制度を知っていますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

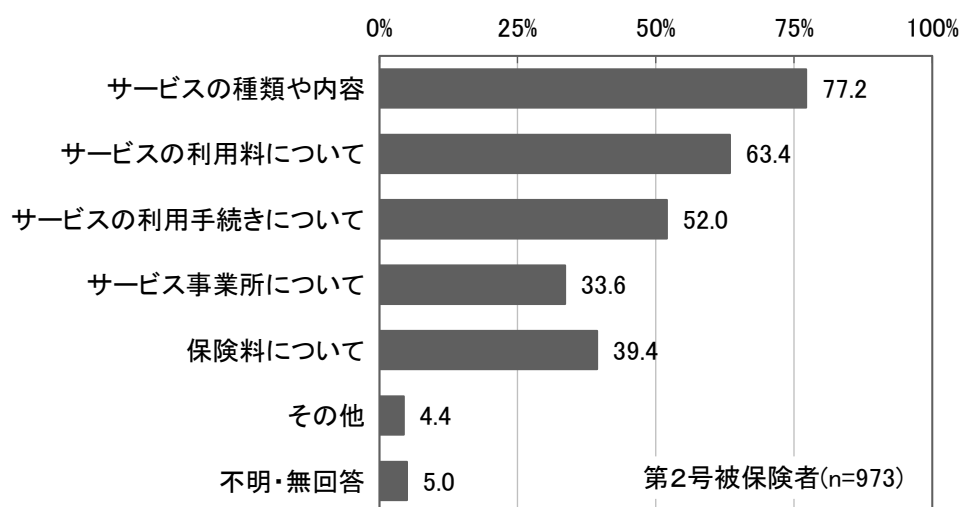
『知っている』 … 「よく知っている」と「だいたい知っている」を合算
 『知らない』 … 「あまり（内容までは）知らない」と「知らない」を合算

介護保険制度を知っているかについて、『知っている』が35.9%、『知らない』が63.7%となっています。



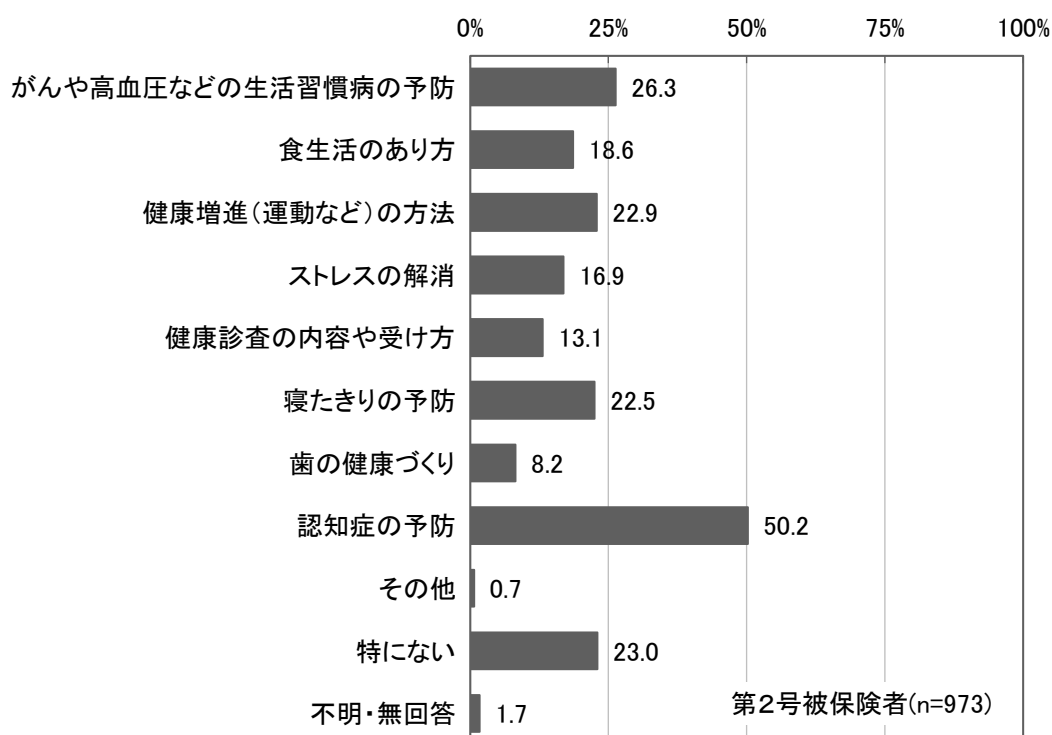
問 19. 介護保険について知りたい情報がありますか。(複数回答)

介護保険について知りたい情報について、「サービスの種類や内容」が 77.2%と最も高く、次いで「サービスの利用料について」が 63.4%となっています。



問 20. 健康について、知りたいことがありますか。(複数回答)

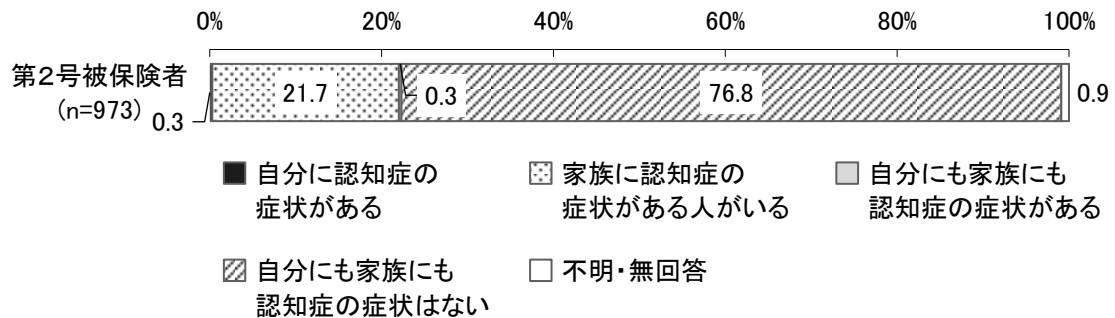
健康について知りたいことについて、「認知症の予防」が 50.2%と最も高く、次いで「がんや高血圧などの生活習慣病の予防」が 26.3%となっています。



5 認知症の支援について

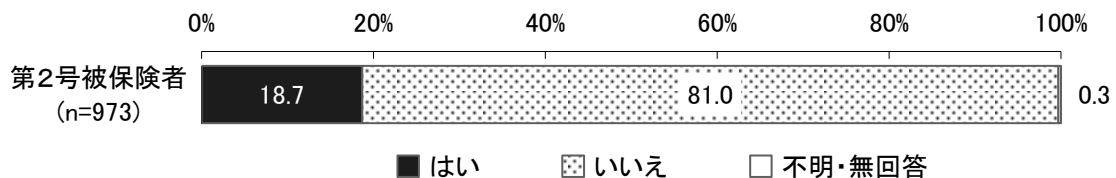
問 21. 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。
(単数回答)

認知症の症状が自身または家族にあるかについて、最も高い「自分にも家族にも認知症の症状はない」(76.8%)を除くと、「家族に認知症の症状がある人がいる」が21.7%、「自分に認知症の症状がある」「自分にも家族にも認知症の症状がある」がそれぞれ0.3%となっています。



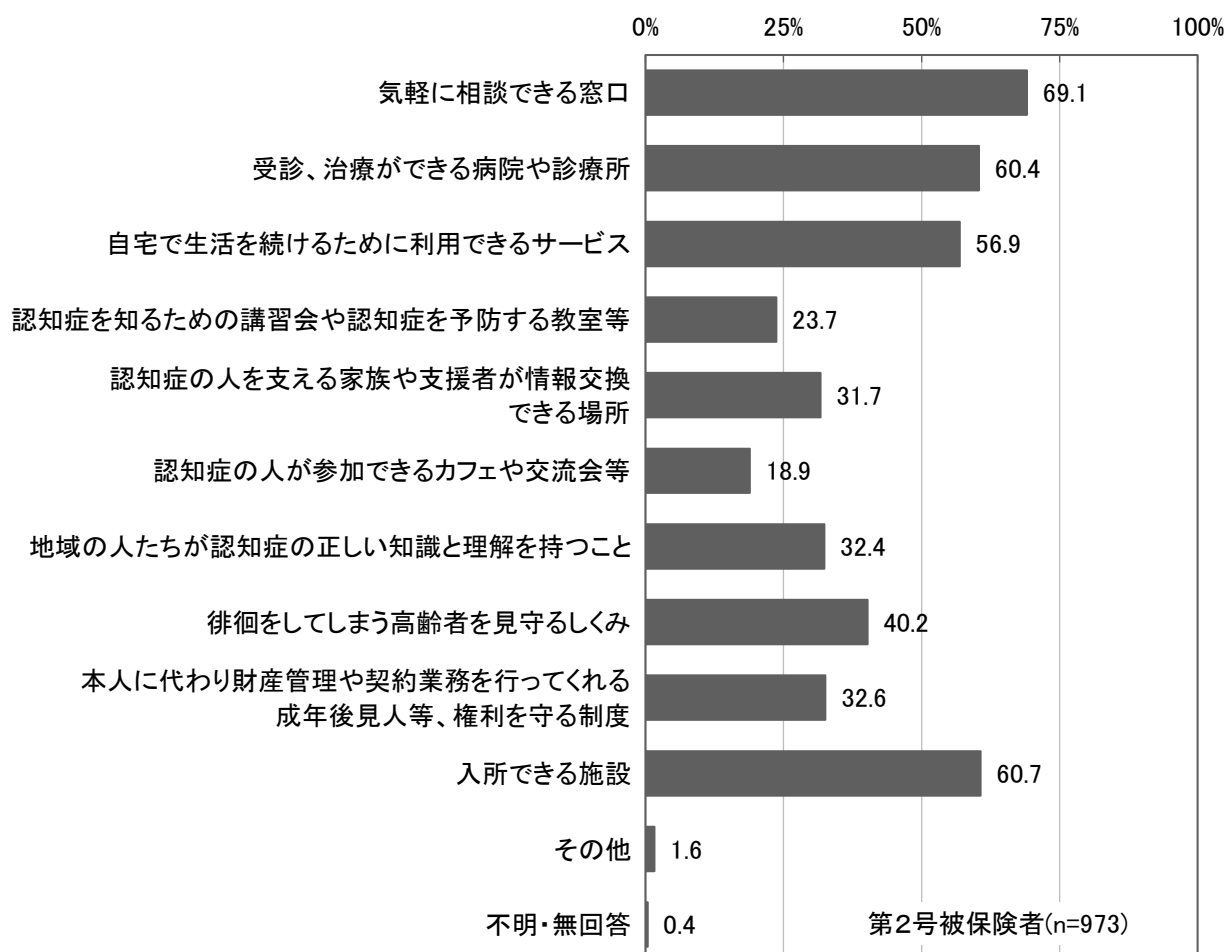
問 22. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が18.7%、「いいえ」が81.0%となっています。



問 23. どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。(複数回答)

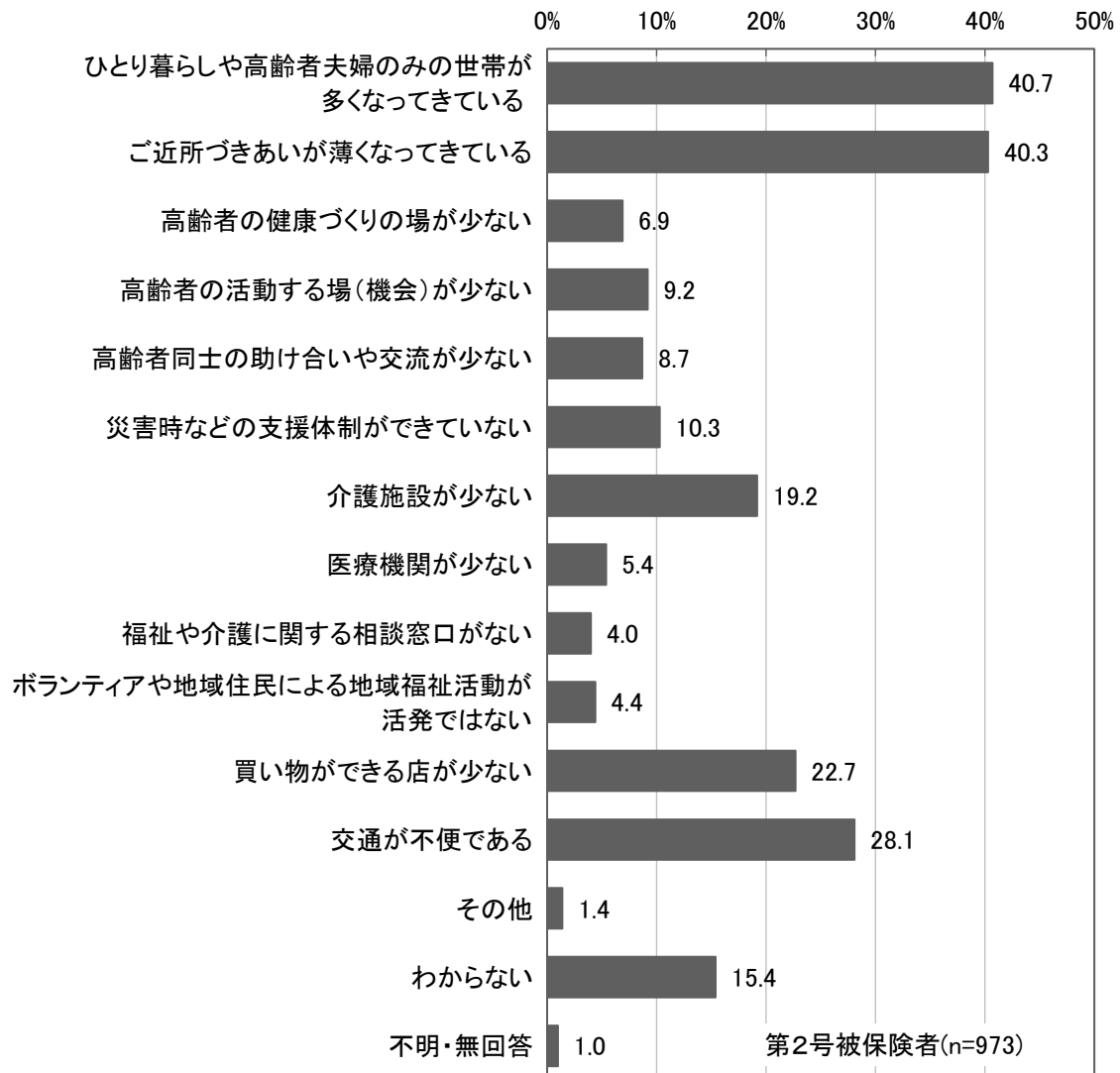
どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思うかについて、「気軽に相談できる窓口」が 69.1%と最も高く、次いで「入所できる施設」が 60.7%となっています。



6 高齢期（65歳以上）の課題について

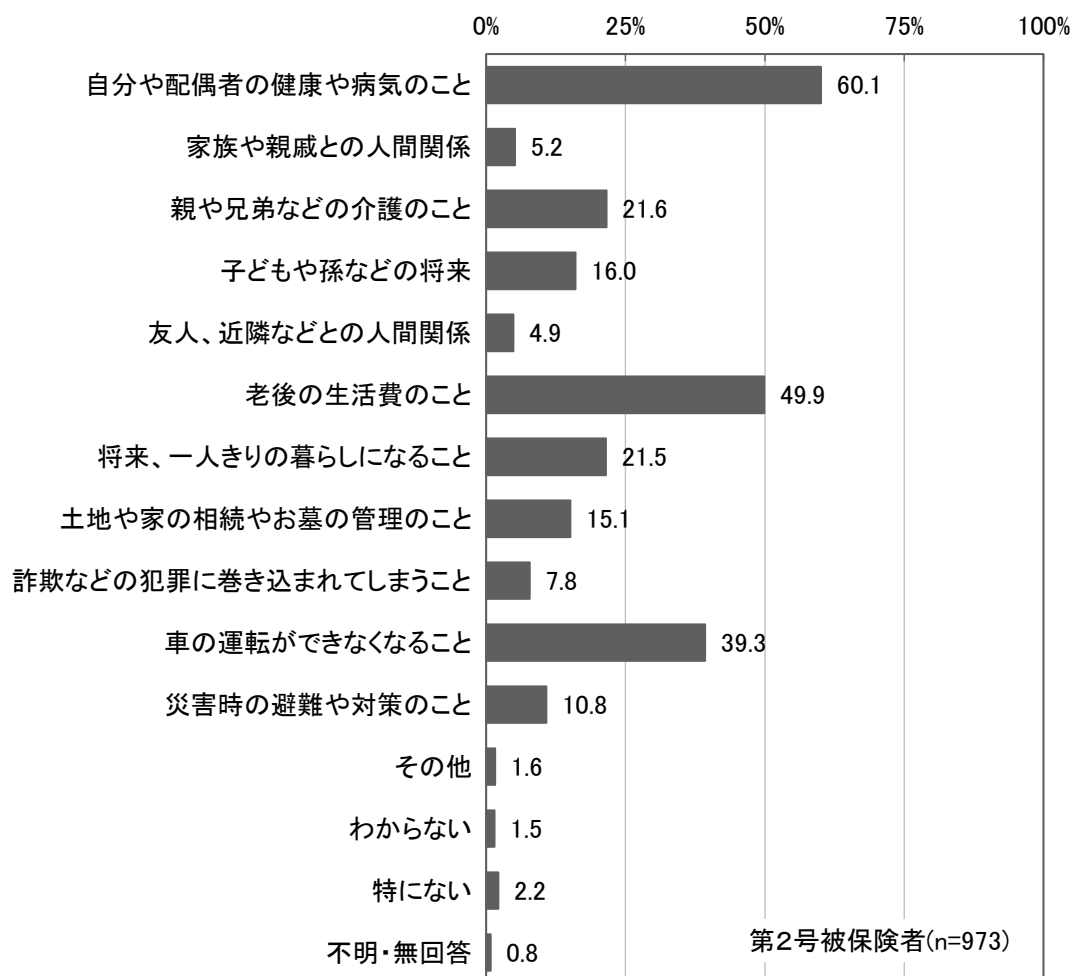
問 24. あなたの地域（中学校区程度）における高齢者（高齢化）に関する課題は何だと思いますか。（複数回答）

地域における高齢者に関する課題について、「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」が40.7%と最も高く、次いで「ご近所づきあいが薄くなってきている」が40.3%となっています。



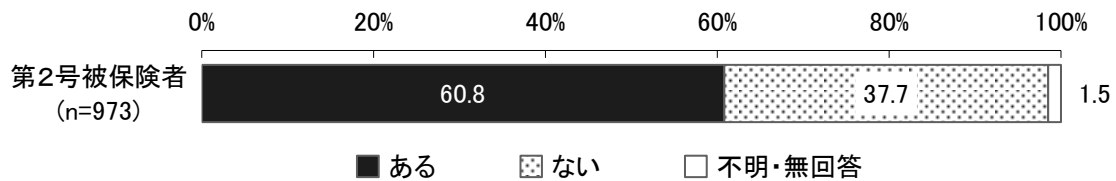
問 25. あなたご自身が 65 歳以上の高齢期に入った際に、どのようなことが不安ですか。(複数回答)

高齢期に入った際に不安なことについて、「自分や配偶者の健康や病気のこと」が 60.1%と最も高く、次いで「老後の生活費のこと」が 49.9%となっています。



問 26. 身寄りがなくなることに対して、不安に思うことがありますか。(単数回答)

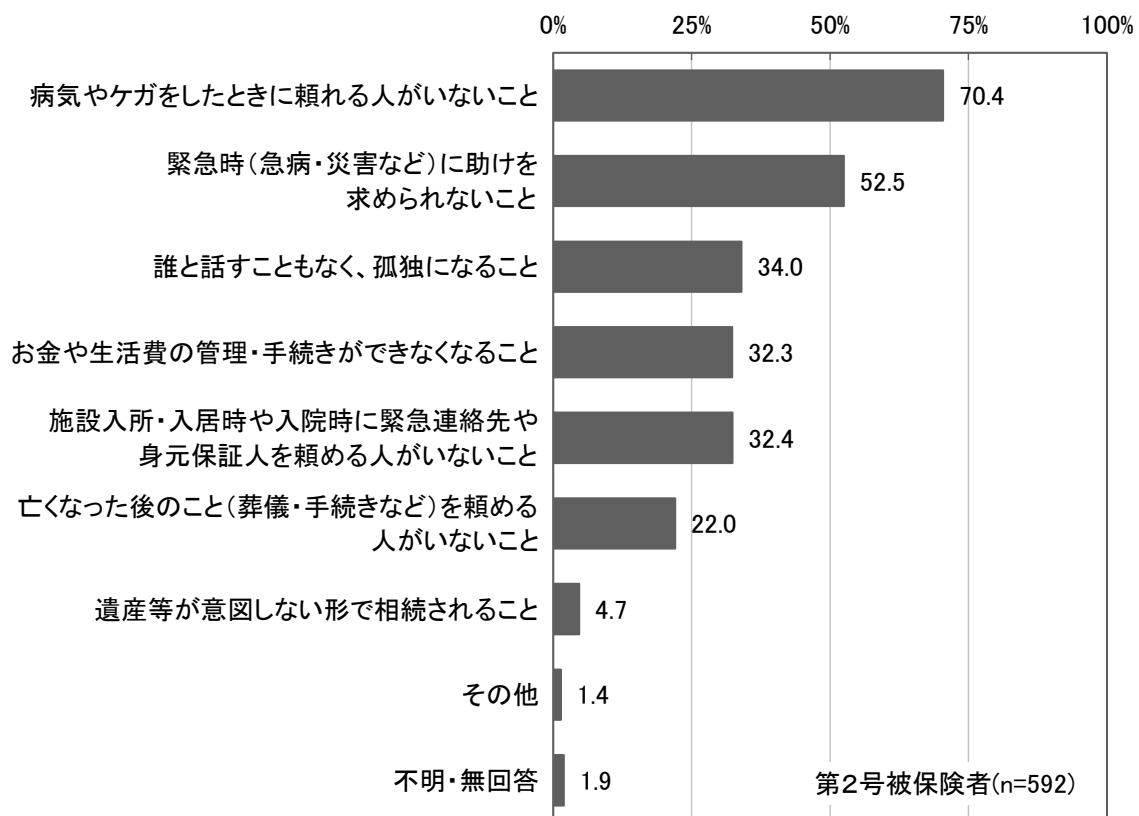
身寄りがなくなることに対して、不安に思うことがあるかについて、「ある」が60.8%、「ない」が37.7%となっています。



<身寄りがなくなることに対して、不安に思うことがあると回答した方のみ>

問 27. 身寄りがなくなることに対して、特に不安に感じることは何ですか。(複数回答)

身寄りがなくなることに対して、特に不安に感じることについて、「病気やケガをしたときに頼れる人がいないこと」が70.4%と最も高く、次いで「緊急時（急病・災害など）に助けを求められないこと」が52.5%となっています。

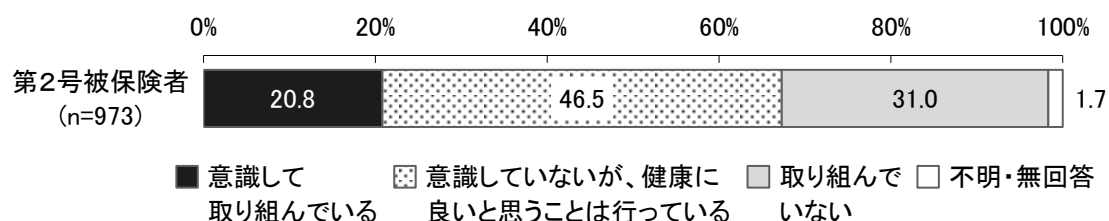


問 28. あなたは、将来、健康に過ごし、介護を受けなくてもいいようにするための健康づくり（以下、このような活動を「健康づくり・介護予防」と言います。）に取り組んでいますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『取り組んでいる』…「意識して取り組んでいる」と
「意識していないが、健康に良いと思うことは行っている」を合算

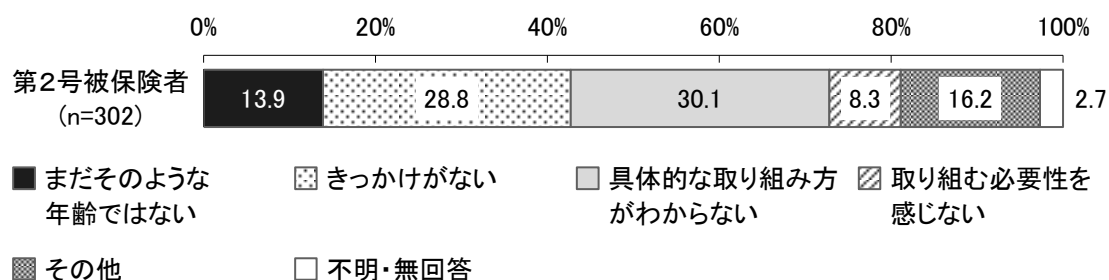
将来、健康に過ごし、介護を受けなくてもいいようにするための健康づくり・介護予防に取り組んでいるかについて、「意識して取り組んでいる」が 20.8%、「意識していないが、健康に良いと思うことは行っている」が 46.5%、「取り組んでいない」が 31.0%となっています。なお、『取り組んでいる』は 67.3%となっています。



<健康づくり・介護予防に取り組んでいないと回答した方のみ>

問 29. 健康づくり・介護予防に取り組んでいない主な理由を教えてください。（単数回答）

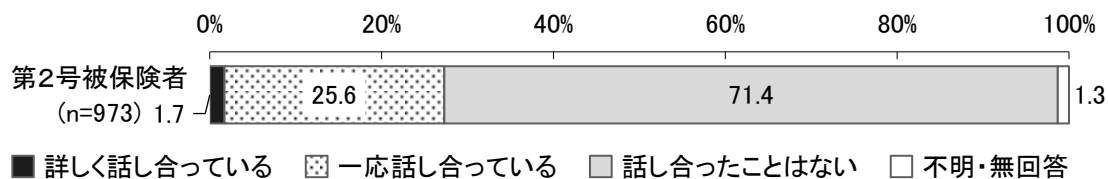
健康づくり・介護予防に取り組んでいない主な理由について、「具体的な取り組み方がわからない」が 30.1%と最も高く、次いで「きっかけがない」が 28.8%となっています。



7 希望する医療等について

問 30. あなたは、自分の死期が近づいた場合の治療方針等について、家族等（内縁関係の方を含みます）や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。
（単数回答）

自分の死期が近づいた場合の治療方針等をご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがあるかについて、「詳しく話し合っている」が1.7%、「一応話し合っている」が25.6%、「話し合ったことはない」が71.4%となっています。

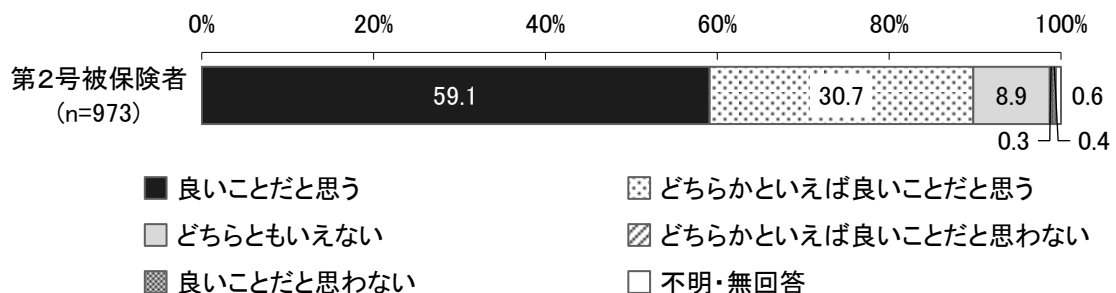


問 31. あなたは、自分が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・療養・介護を受けたいかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

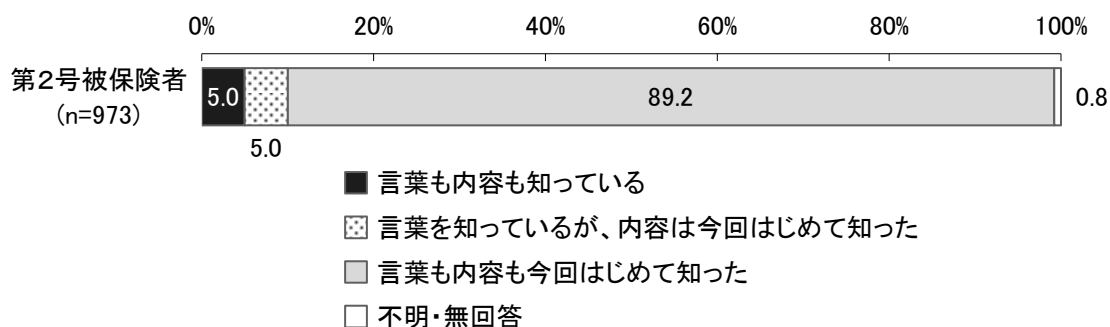
『良いことだと思う』 … 「良いことだと思う」と「どちらかといえば良いことだと思う」を合算
『良いことだと思わない』 … 「どちらかといえば良いことだと思わない」と「良いことだと思わない」を合算

自分が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・療養・介護を受けたいかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて、『良いことだと思う』が89.8%、「どちらともいえない」が8.9%、『良いことだと思わない』が0.7%となっています。



問 32. 「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉を知っていますか。（単数回答）

「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉を知っているかについて、「言葉も内容も知っている」が 5.0%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が 5.0%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が 89.2%となっています。



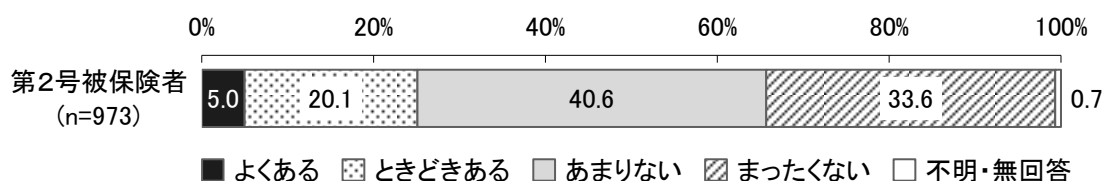
8 その他近年の生活状況について

問 33. あなたは、日常生活の中で、孤独・孤立を感じることはありますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

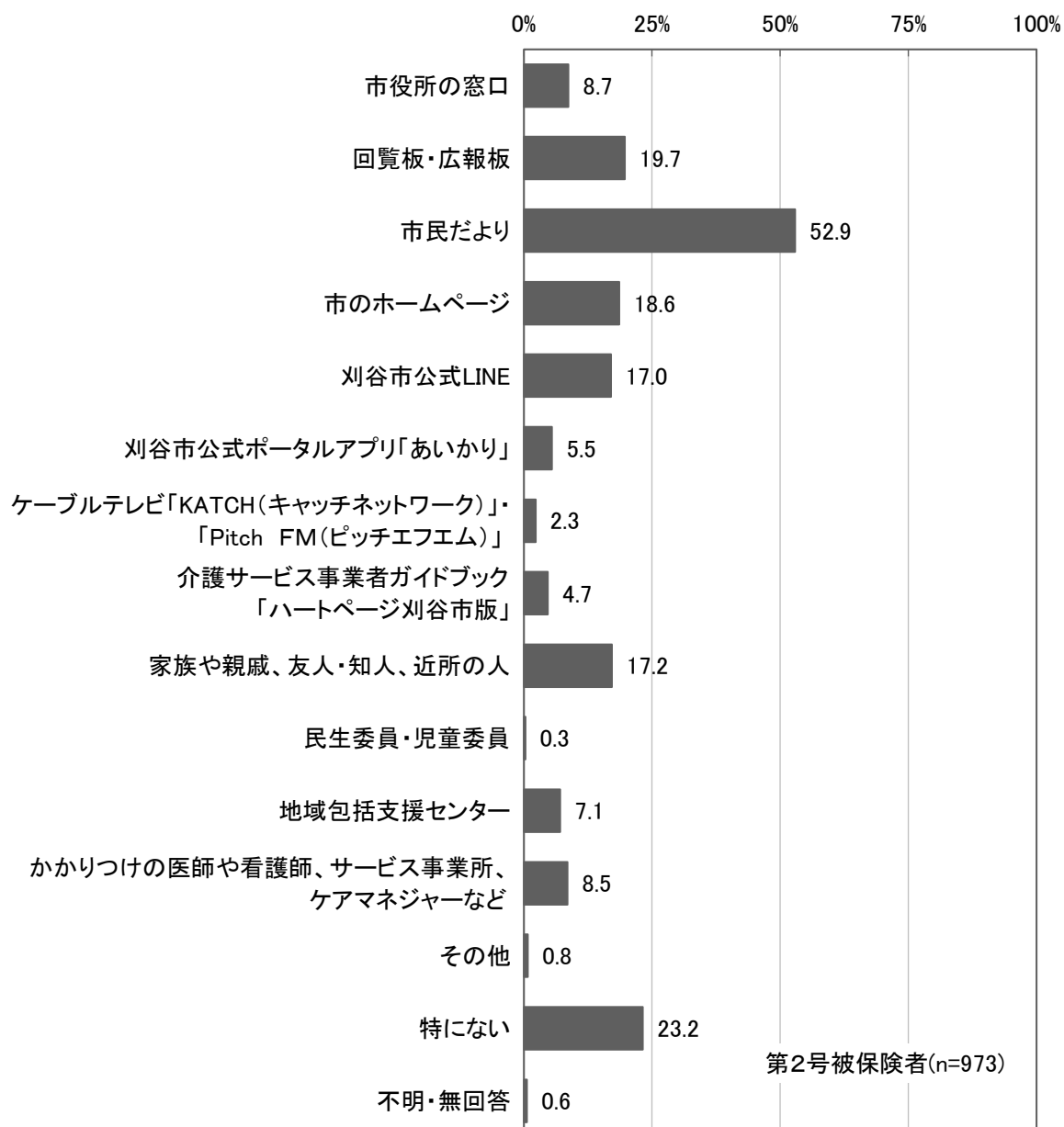
『ある』 … 「よくある」と「ときどきある」を合算
『ない』 … 「あまりない」と「まったくない」を合算

日常生活の中で、孤独・孤立を感じることはあるかについて、『ある』が 25.1%、『ない』が 74.2%となっています。



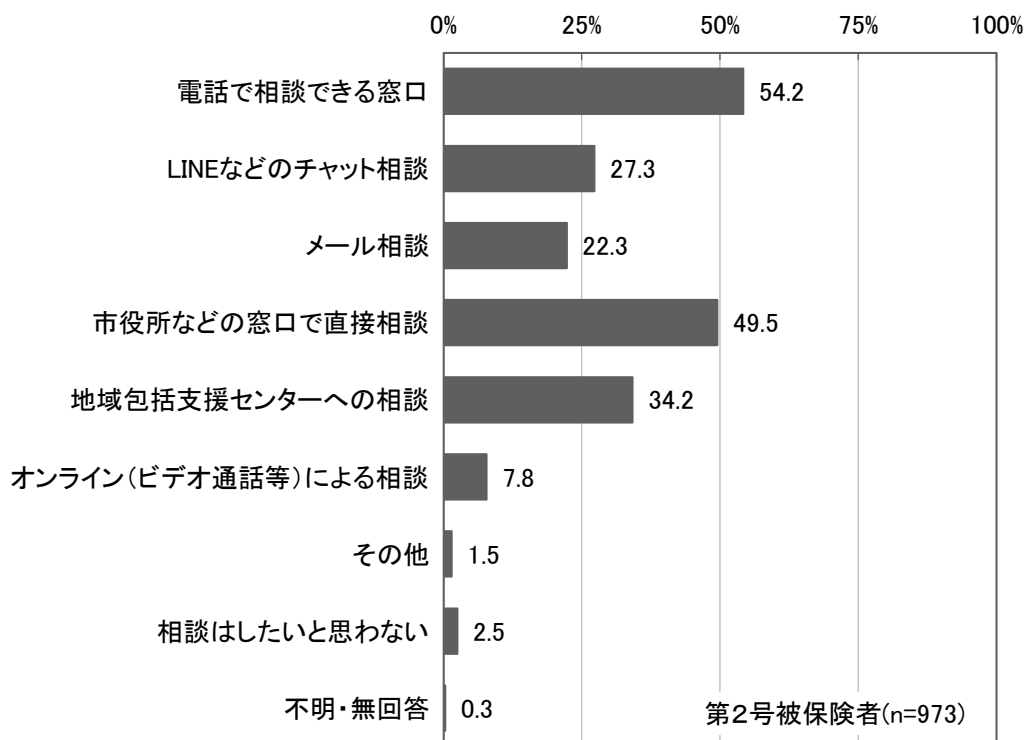
問 34. あなたは、市の高齢者福祉や介護に関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

市の高齢者福祉や介護に関する情報の入手先について、「市民だより」が 52.9%と最も高く、次いで「特にない」が 23.2%となっています。



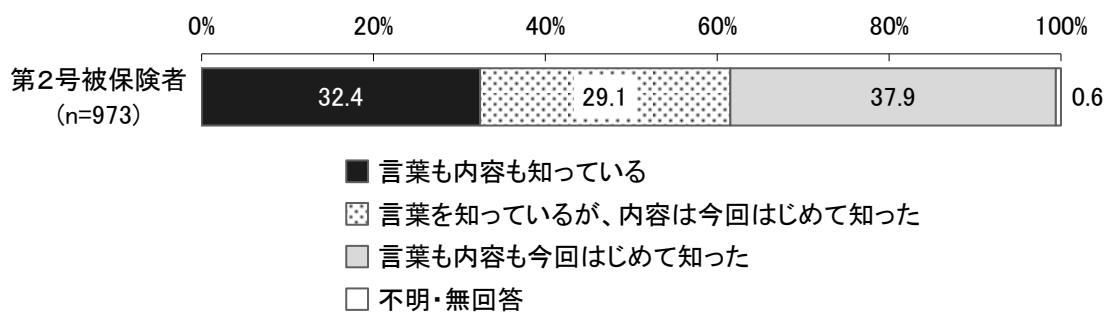
問 35. 介護や生活の困りごとについて相談したいとき、あなたが「相談しやすい」と感じる方法はどれですか。（複数回答）

介護や生活の困りごとについて相談したいときに「相談しやすい」と感じる方法について、「電話で相談できる窓口」が54.2%と最も高く、次いで「市役所などの窓口で直接相談」が49.5%となっています。



問 36. 地域包括支援センターを知っていますか。（単数回答）

地域包括支援センターを知っているかについて、「言葉も内容も知っている」が32.4%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が29.1%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が37.9%となっています。

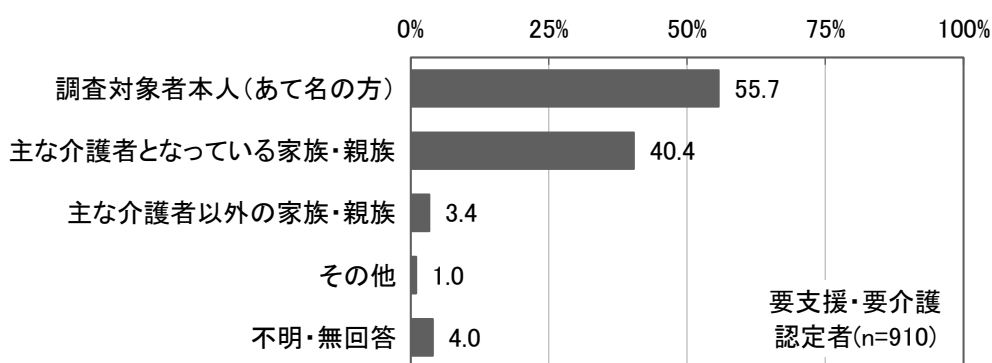


Ⅳ 居宅要支援・要介護認定者調査結果

1 あなたと家族について

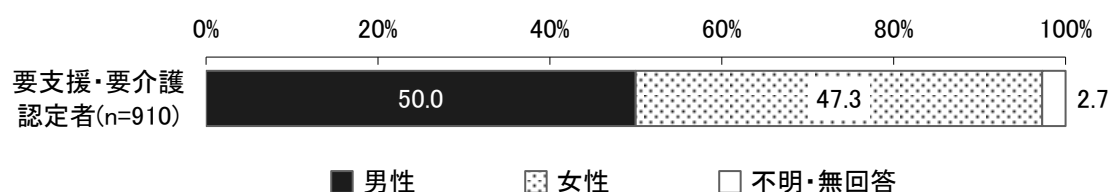
問1. 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。
(複数回答)

回答者について、「調査対象者本人(あて名の方)」が55.7%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が40.4%となっています。



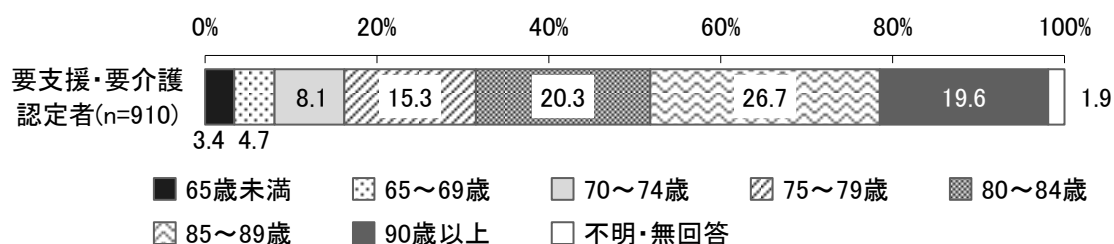
問2. あなた(あて名の方で、要支援・要介護認定を受けている方。以下同じです)の性別はどちらですか。(単数回答)

性別について、「男性」が50.0%、「女性」が47.3%となっています。



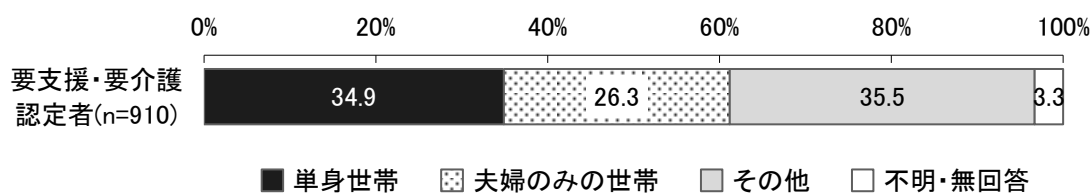
問3. あなたの年齢は、おいくつですか。(単数回答)

年齢について、「85～89歳」が26.7%と最も高く、次いで「80～84歳」が20.3%となっています。



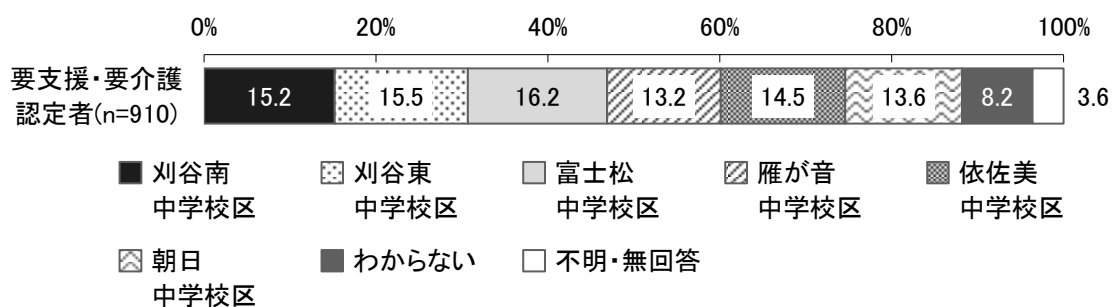
問4. あなたの世帯は次のどれですか。(単数回答)

世帯について、「単身世帯」が34.9%、「夫婦のみの世帯」が26.3%、「その他」が35.5%となっています。



問5. あなたの居住地（中学校区別）は次のどれですか。(単数回答)

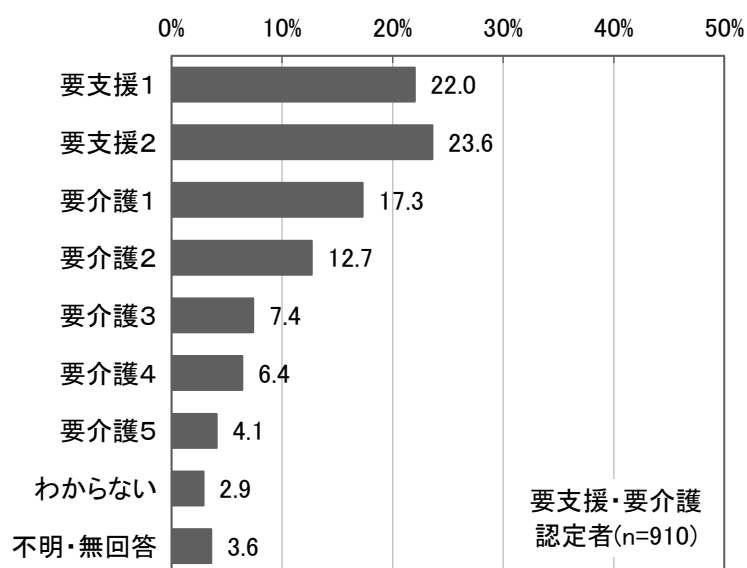
中学校区別の居住地については概ね均等に分散しており、その中では「富士松中学校区」が16.2%と最も高く、次いで「刈谷東中学校区」が15.5%となっています。



2 要支援・要介護認定について

問6. あなたの要支援・要介護度は次のどれに該当しますか。(単数回答)

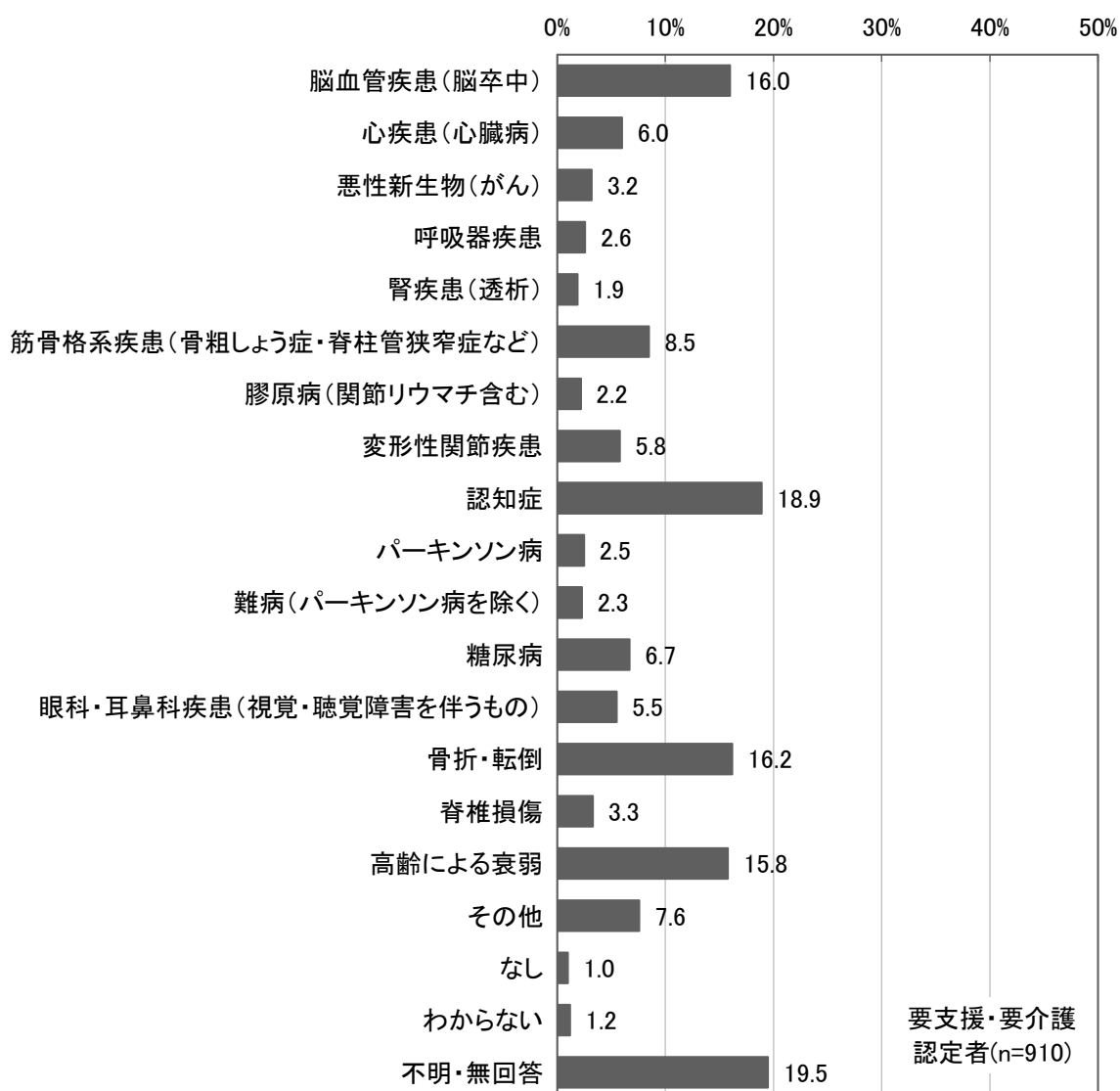
要介護度について、「要支援2」が23.6%と最も高く、次いで「要支援1」が22.0%となっています。



問7. 介護・介助が必要になった主な原因と現在抱えている病気についてお答えください。(複数回答)

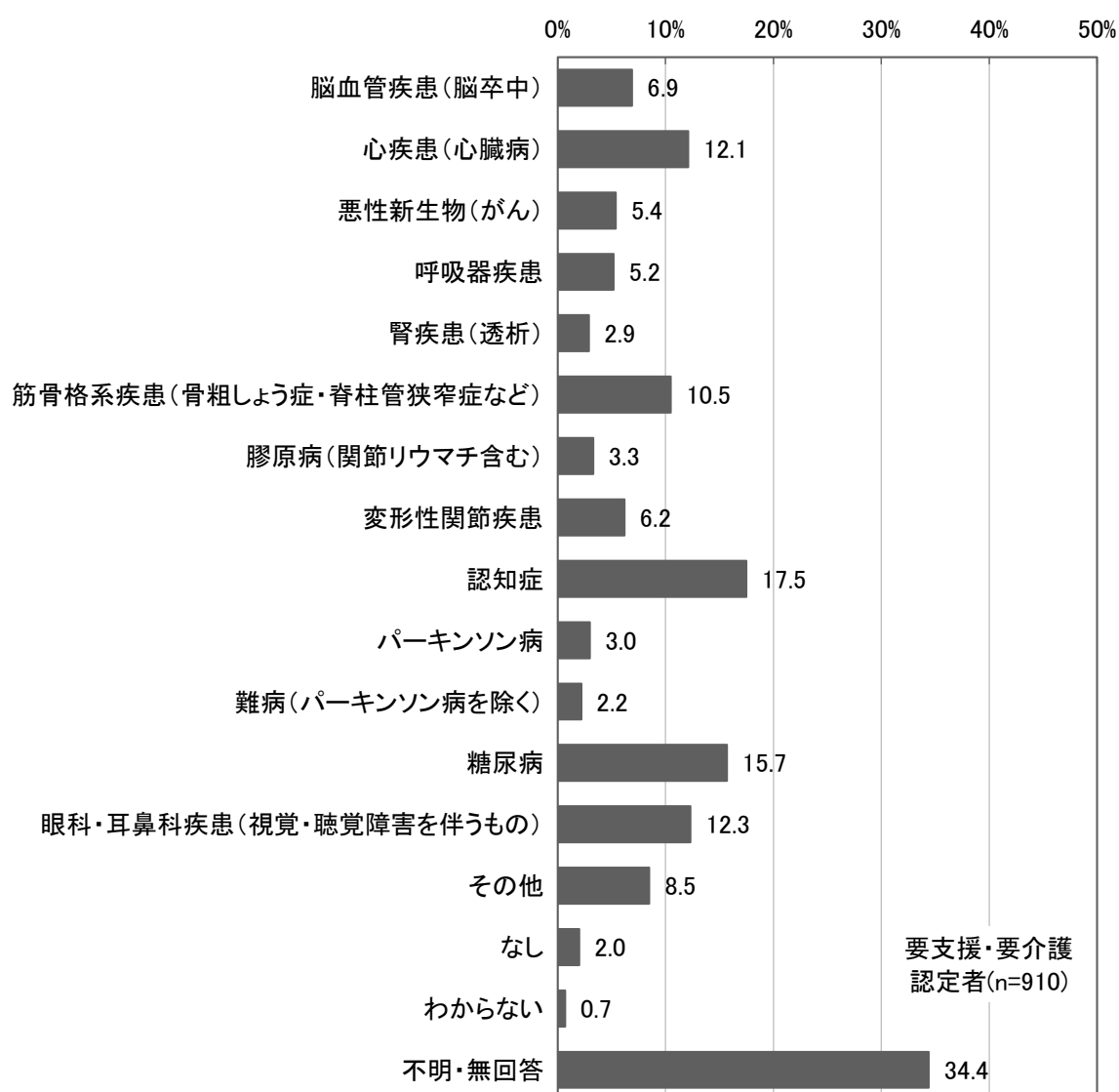
(1) 介護・介助が必要になった主な原因

介護・介助が必要になった主な原因について、「認知症」が18.9%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が16.2%となっています。



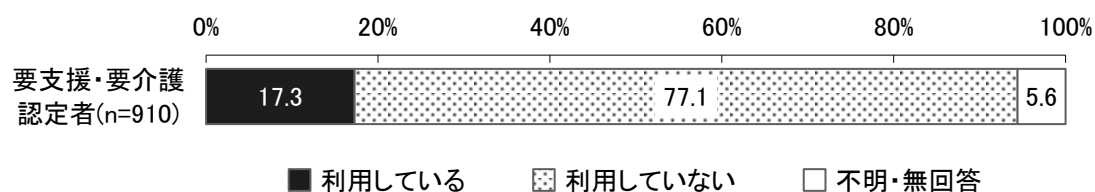
(2) 現在抱えている病気

現在抱えている病気について、「認知症」が 17.5%と最も高く、次いで「糖尿病」が 15.7%となっています。



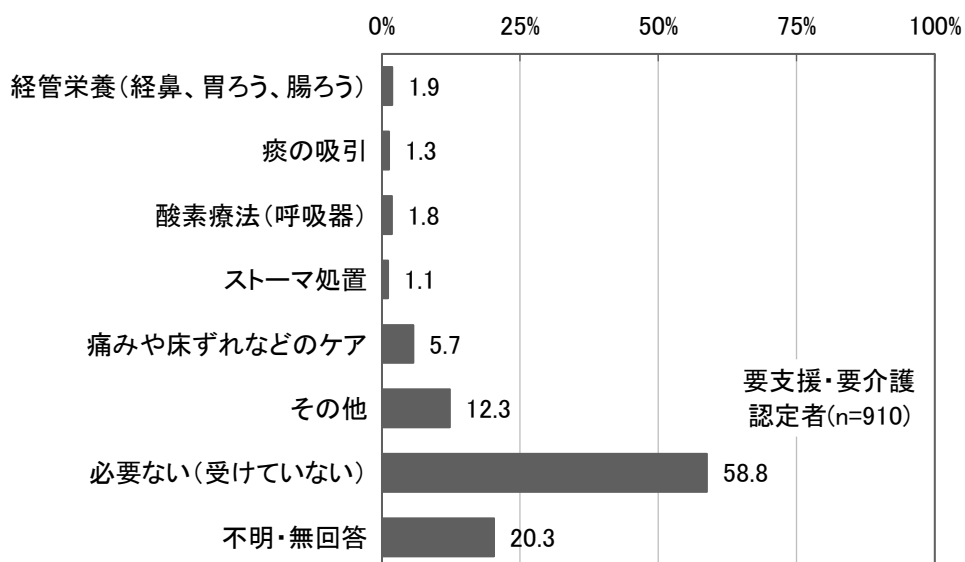
問8. 訪問診療(医師の訪問)を利用していますか。(単数回答)

訪問診療を利用しているかについて、「利用している」が 17.3%、「利用していない」が 77.1%となっています。



問 9. 現在、受けている医療的ケアはありますか。(複数回答)

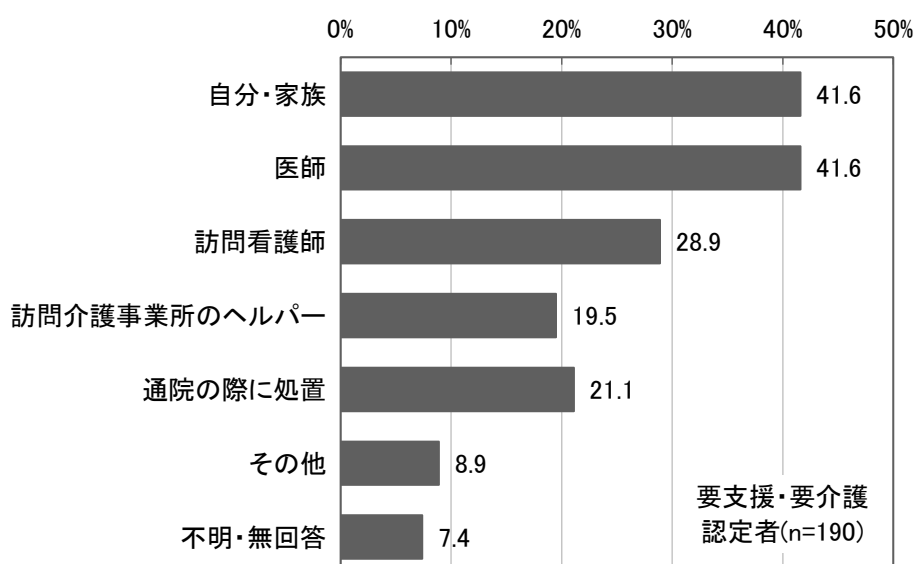
現在、受けている医療的ケアについて、最も高い「必要ない(受けていない)」(58.8%)を除くと、「その他」(透析、膀胱留置カテーテル 等)が12.3%、「痛みや床ずれなどのケア」が5.7%と高くなっています。



<医療的ケアを受けていると回答した方のみ>

問 10. 医療的ケアを実施しているのはどなたですか。(複数回答)

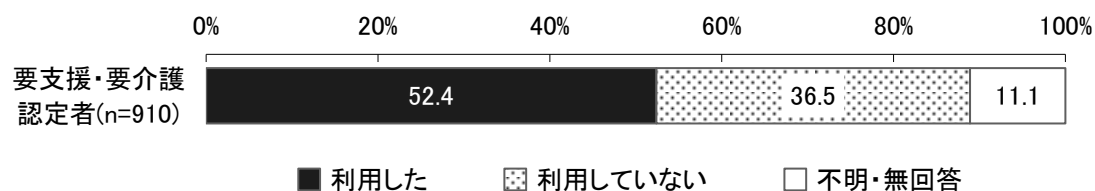
医療的ケアを実施している方について、「自分・家族」「医師」がそれぞれ 41.6%と最も高く、次いで「訪問看護師」が28.9%となっています。



3 介護保険サービスについて

問 11. あなたは、令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入
以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（単数回答）

介護保険サービスを利用したかについて、「利用した」が52.4%、「利用していない」が36.5%
となっています。



<住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用したと回答した方のみ>

問 12. 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況と今後の利用意向をお答えください。なお、対象の介護保険サービスを利用していない場合は、「1. 利用していない」を選択した上で、今後の利用意向をお答えください。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる『利用した』の表現は以下のように区分しています。

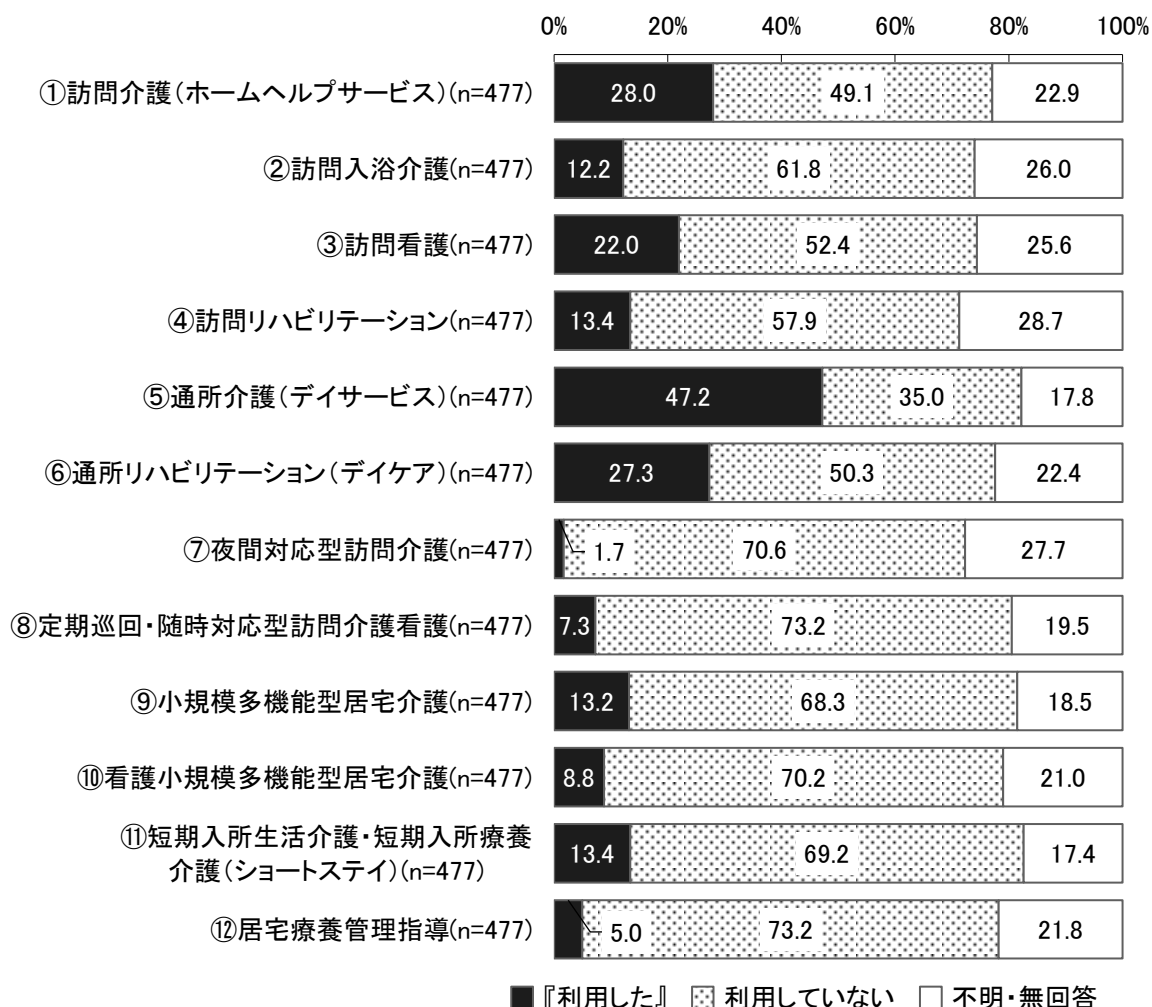
○訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、夜間対応型訪問介護については、選択肢の「週1回程度以下」と「週2回程度」と「週3回程度」と「週4回程度」と「週5回以上」を合算

○短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）については、選択肢の「月1～7日程度」と「月8～14日程度」と「月15～21日程度」と「月22日以上」を合算

○居宅療養管理指導については、「月1回程度」と「月2回程度」と「月3回程度」と「月4回程度」を合算

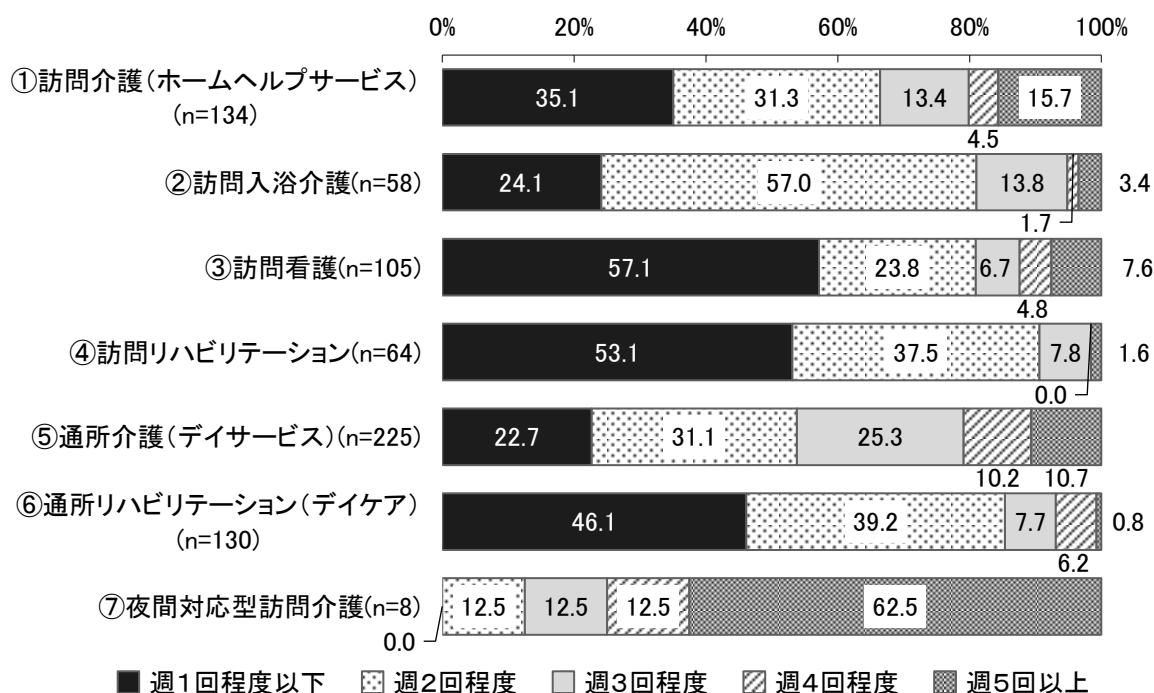
(1) - 1 利用状況（利用の有無）

各サービスの利用状況について、「⑤通所介護（デイサービス）」で『利用した』が47.2%と、他のサービスと比べて高くなっています。

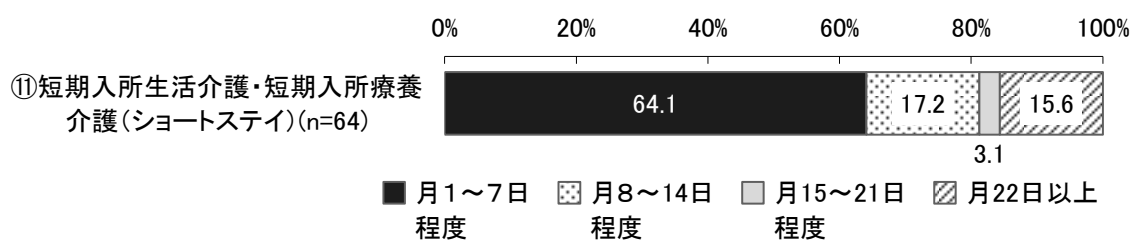


(1) -2 利用頻度（サービスを『利用した』人で利用頻度を回答した方のみ集計）

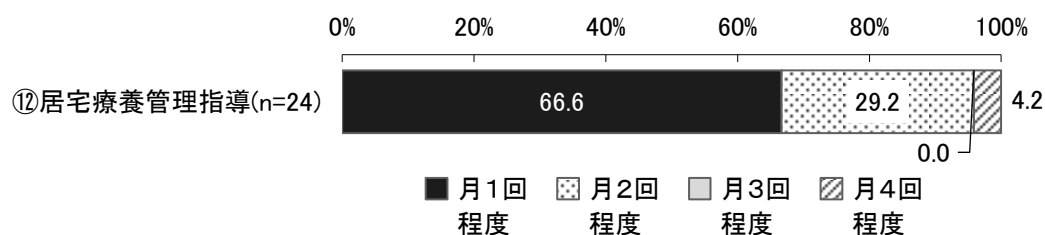
各サービスを『利用した』人の利用頻度について、「③訪問看護」「④訪問リハビリテーション」で「週1回程度以下」がそれぞれ57.1%、53.1%となっています。



「⑪短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)」を『利用した』人の利用頻度について、「月1～7日程度」が64.1%と最も高くなっています。

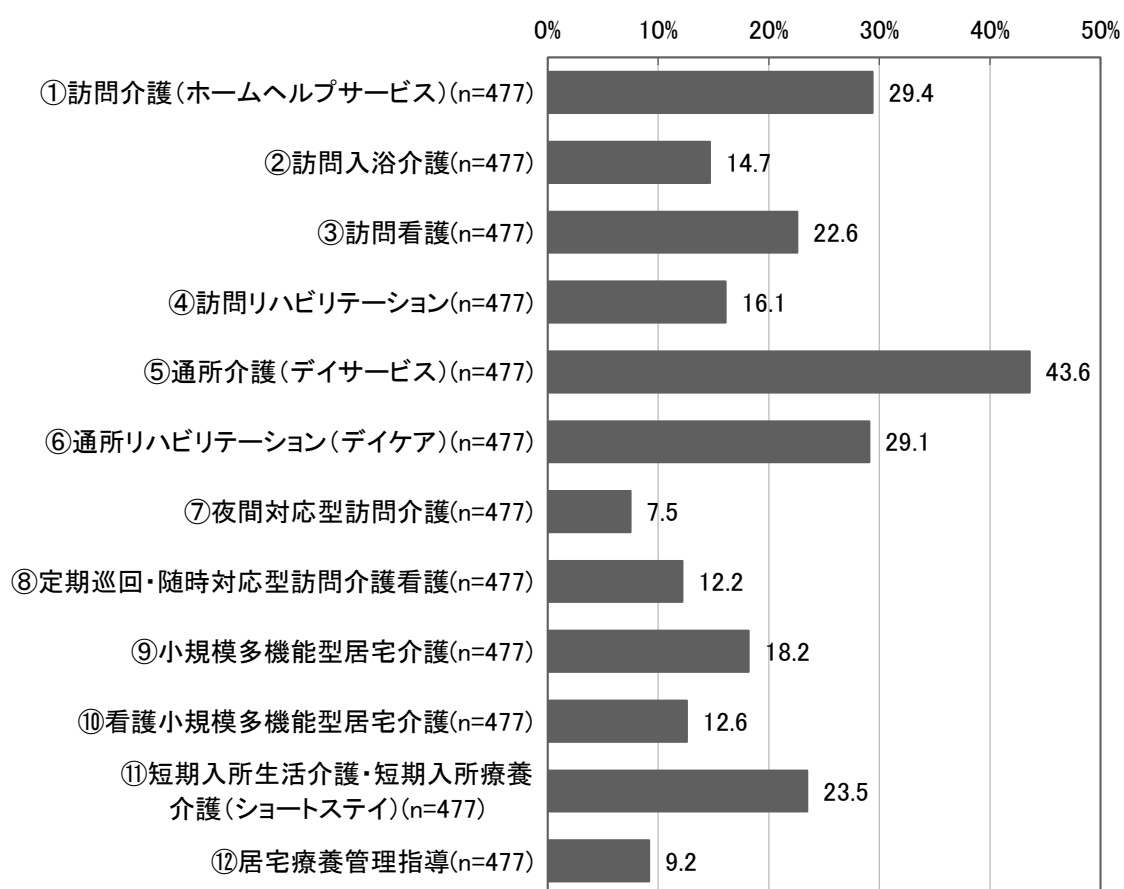


「⑫居宅療養管理指導」を『利用した』人の利用頻度について、「月1回程度」が66.6%と最も高くなっています。



(2) 利用意向（サービスを『利用した』人で利用意向を回答した方のみ集計）

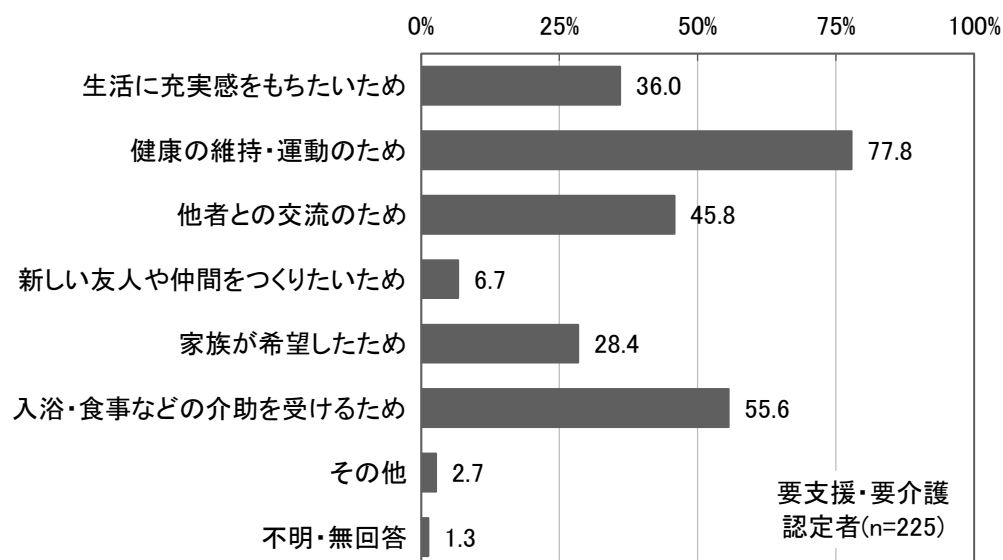
今後の利用意向について、「⑤通所介護（デイサービス）」が43.6%と最も高く、次いで「①訪問介護（ホームヘルプサービス）」が29.4%となっています。



<通所介護（デイサービス）を利用したと回答した方のみ>

問 13. デイサービスを利用している主な目的は何ですか。（複数回答）

デイサービスを利用している主な目的について、「健康の維持・運動のため」が 77.8%と最も高く、次いで「入浴・食事などの介助を受けるため」が 55.6%となっています。



<住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用したと回答した方のみ>

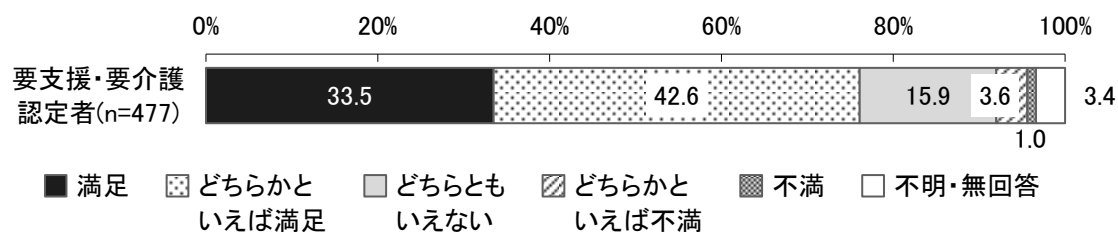
問 14. あなたは、介護保険サービスに満足していますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『満足』 … 「満足」と「どちらかといえば満足」を合算

『不満』 … 「どちらかといえば不満」と「不満」を合算

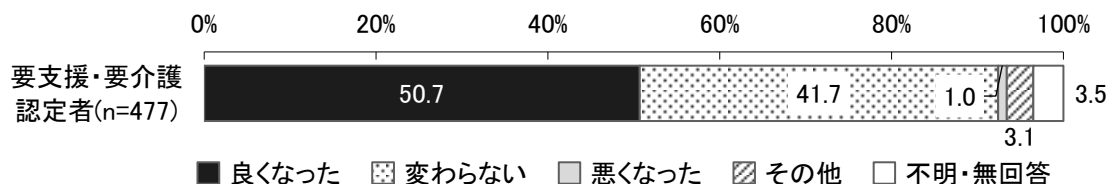
介護保険サービスに満足しているかについて、『満足』が 76.1%、「どちらともいえない」が 15.9%、『不満』が 4.6%となっています。



<住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用したと回答した方のみ>

問 15. サービスを利用して、あなたの身体および精神に変化がありましたか。
(単数回答)

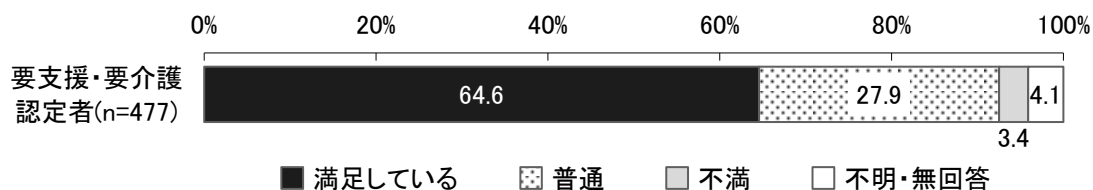
サービス利用による身体的・精神的な変化について、「良くなった」が 50.7%と最も高く、次いで「変わらない」が 41.7%となっています。



<住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用したと回答した方のみ>

問 16. 現在のケアマネジャー（介護支援専門員）の対応に満足していますか。
(単数回答)

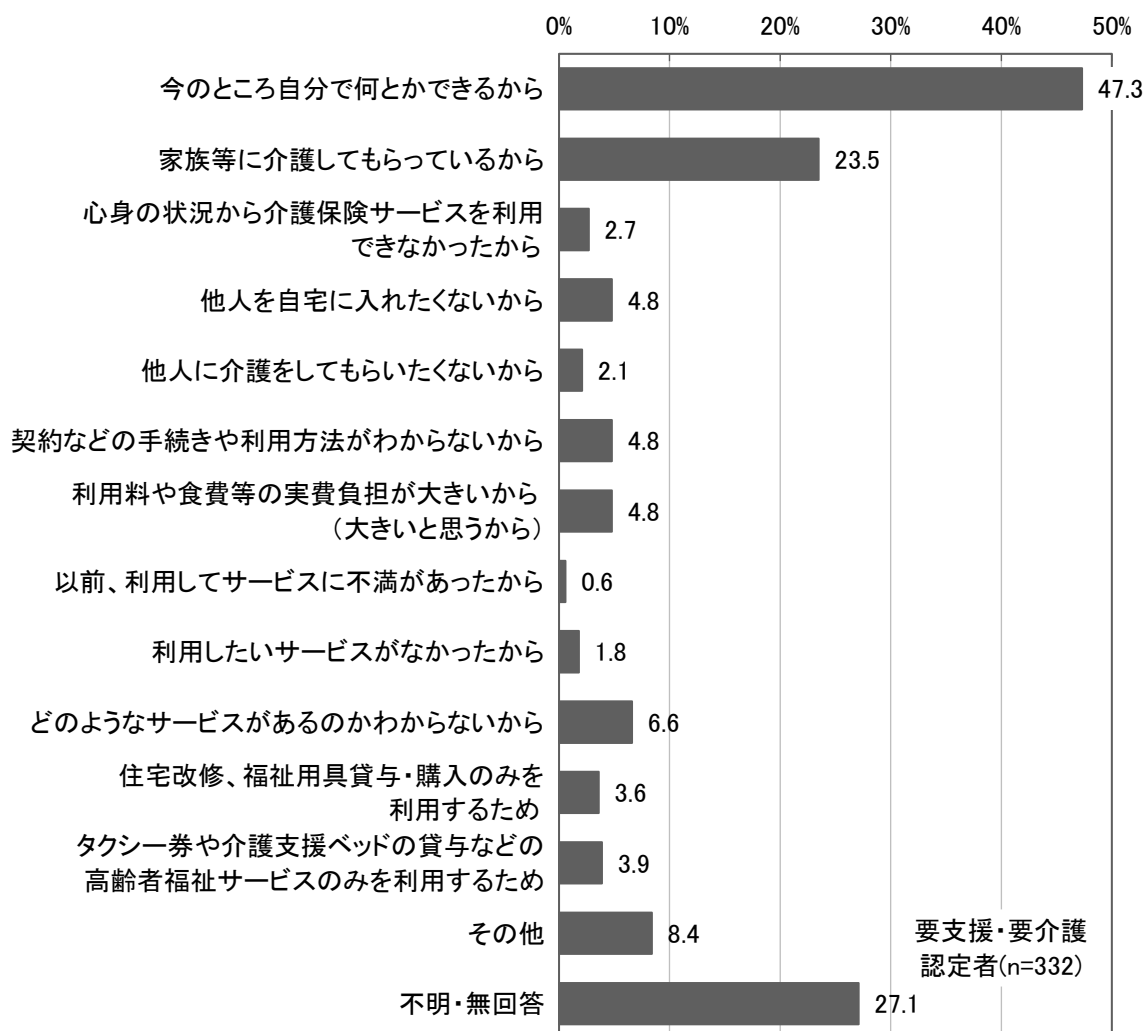
ケアマネジャーの対応に満足しているかについて、「満足している」が 64.6%、「普通」が 27.9%、「不満」が 3.4%となっています。



<住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していないと回答した方のみ>

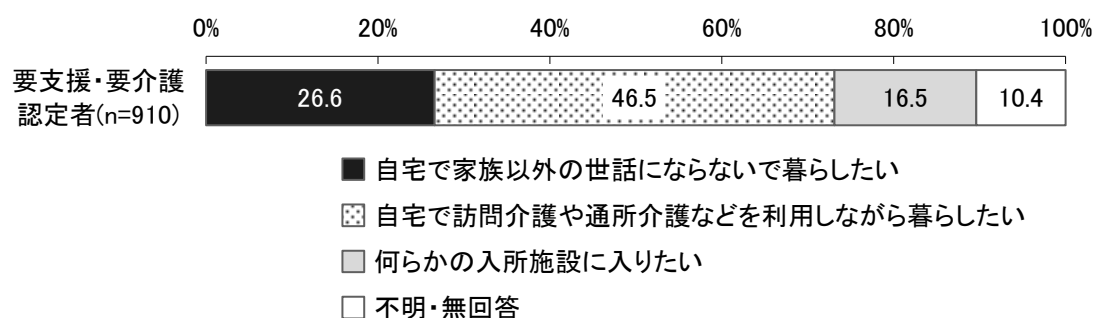
問 17. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

介護保険サービスを利用していない理由について、「今のところ自分で何とかできるから」が 47.3%と最も高く、次いで「家族等に介護してもらっているから」が 23.5%となっています。



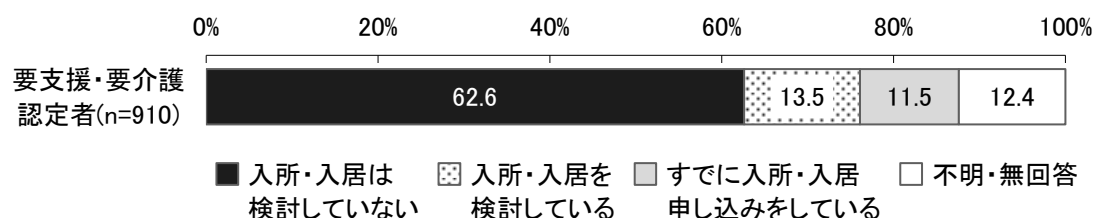
問 18. 今後どこでどのように暮らしたいとお考えですか。(単数回答)

今後の暮らしについて、「自宅で家族以外の世話にならないで暮らしたい」が 26.6%、「自宅で訪問介護や通所介護などを利用しながら暮らしたい」が 46.5%、「何らかの入所施設に入りたい」が 16.5%となっています。



問 19. 現時点での、施設など（特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームなど）への入所・入居の検討状況についてお聞きます。（単数回答）

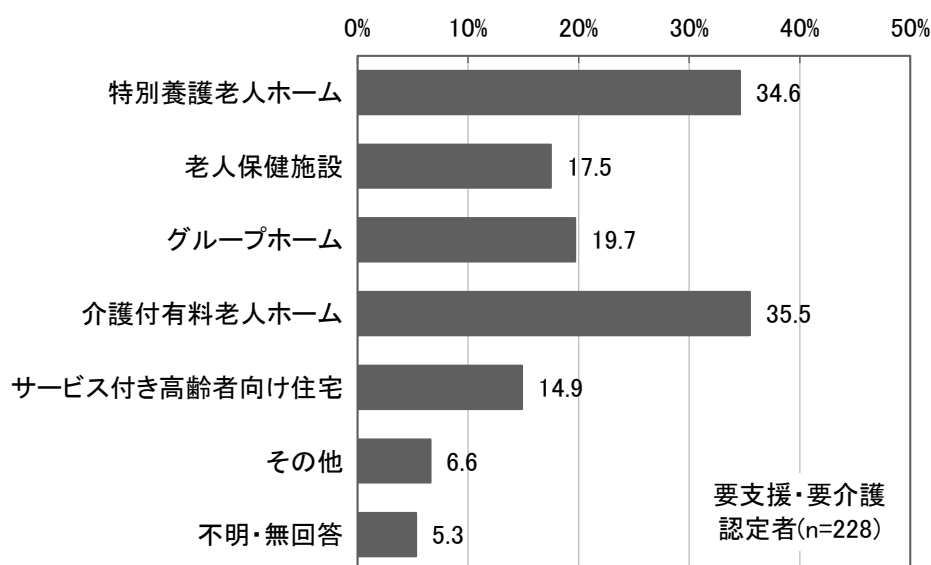
施設などへの入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が 62.6%、「入所・入居を検討している」が 13.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 11.5%となっています。



<入所・入居を検討している、またはすでに入所・入居申し込みをしていると回答した方のみ>

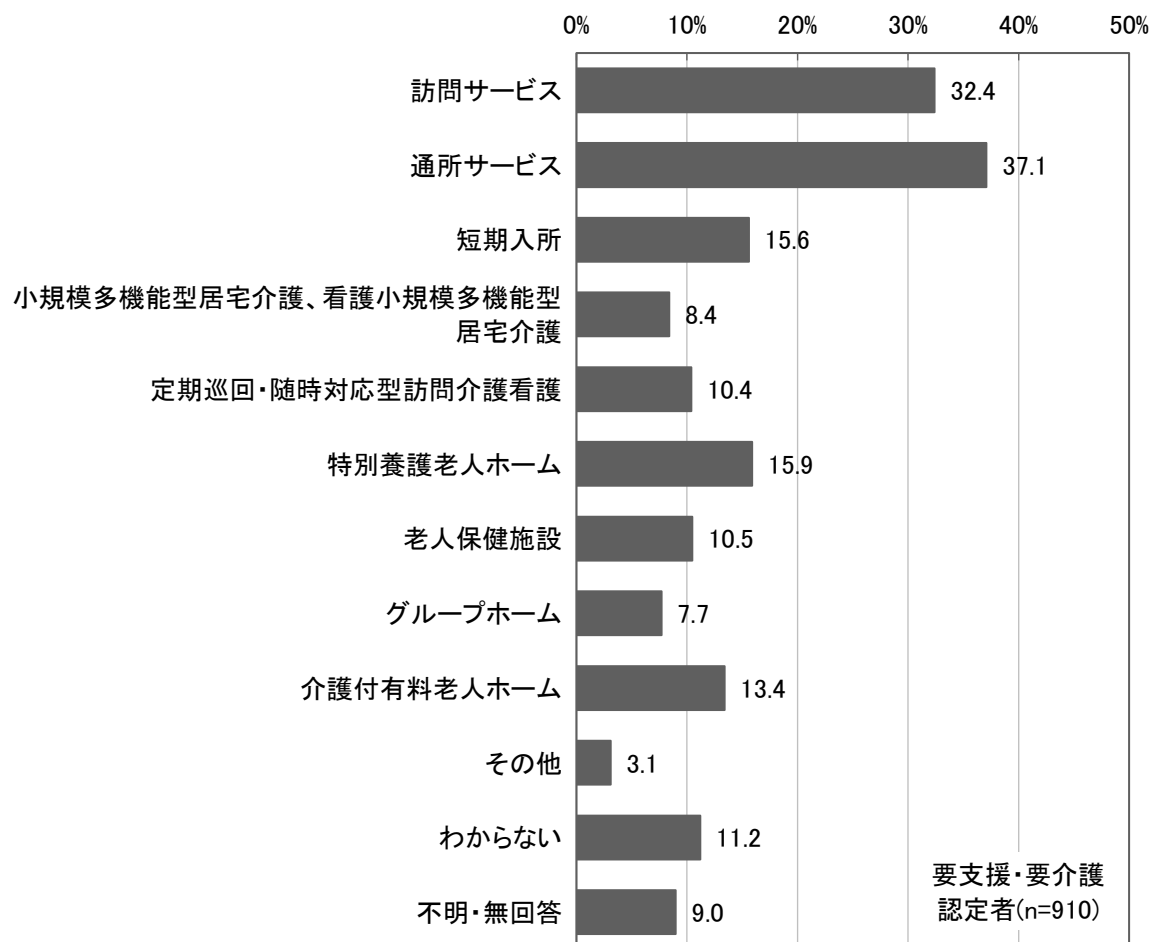
問 20. 入所・入居希望施設は次のどれですか。（複数回答）

入所・入居希望施設について、「介護付有料老人ホーム」が 35.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が 34.6%となっています。



問 21. 今後、あなたが安心して暮らしていくためには、どのようなサービスを充実する必要があると思いますか。(複数回答)

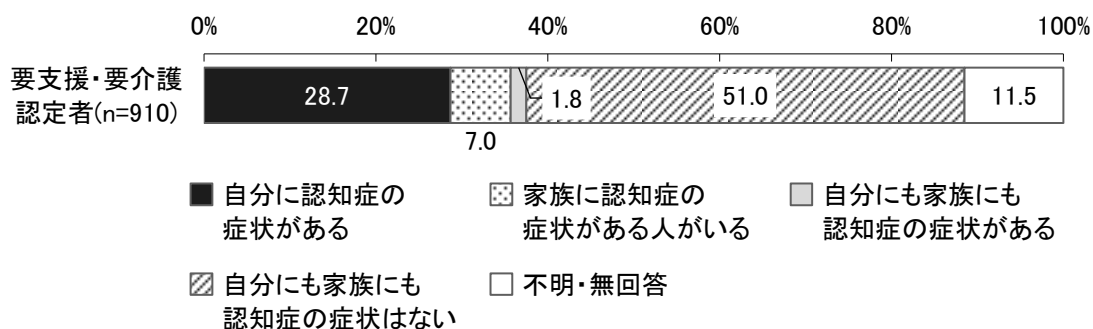
今後、充実していく必要があると考えるサービスについて、「通所サービス」が 37.1%と最も高く、次いで「訪問サービス」が 32.4%となっています。



4 認知症の支援について

問 22. 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。
(単数回答)

認知症の症状が自身または家族にあるかについて、最も高い「自分にも家族にも認知症の症状はない」(51.0%)を除くと、「自分に認知症の症状がある」が28.7%、「家族に認知症の症状がある人がいる」が7.0%、「自分にも家族にも認知症の症状がある」が1.8%となっています。



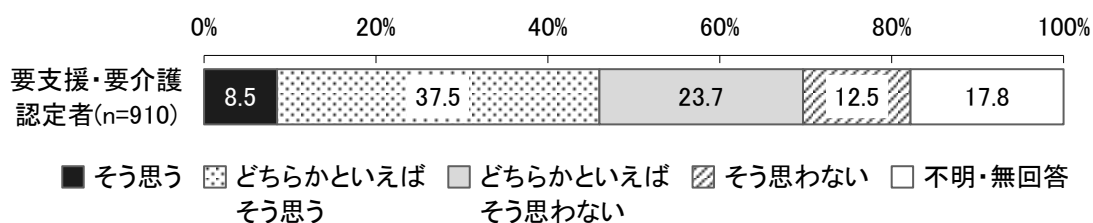
問 23. 刈谷市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思いますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『そう思う』 … 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

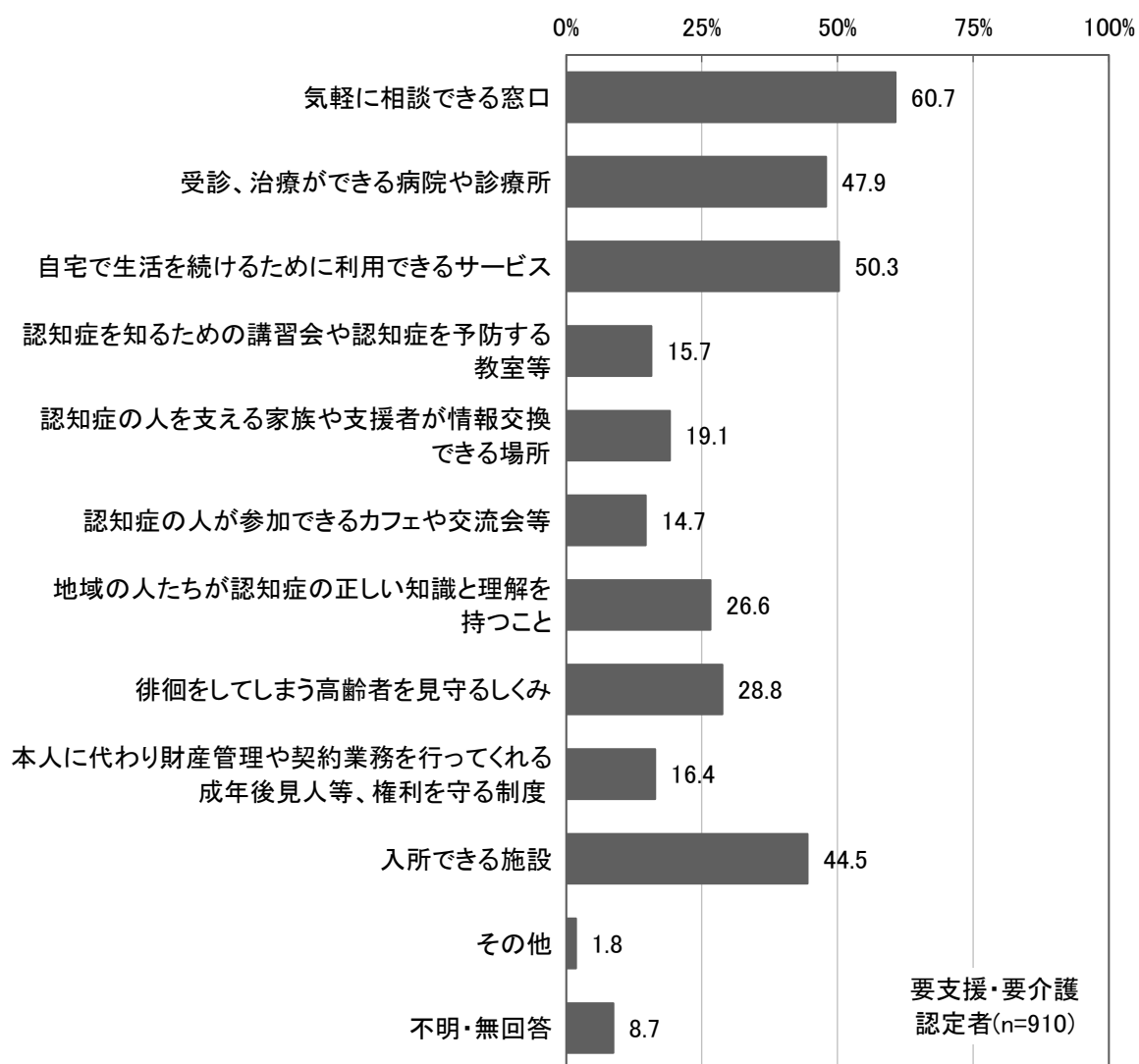
『そう思わない』 … 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合算

刈谷市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちになっていると思うかについて、『そう思う』が46.0%、『そう思わない』が36.2%となっています。



問 24. どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。（複数回答）

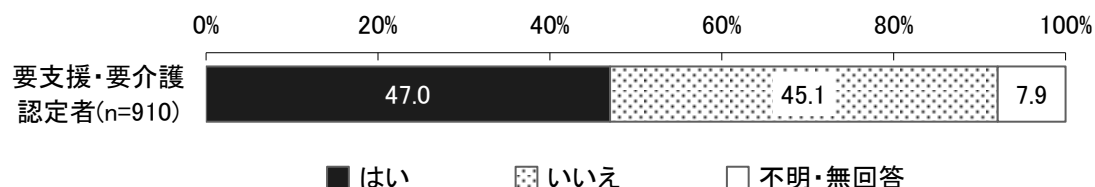
どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思うかについて、「気軽に相談できる窓口」が 60.7%と最も高く、次いで「自宅で生活続けるために利用できるサービス」が 50.3%となっています。



5 歯の健康について

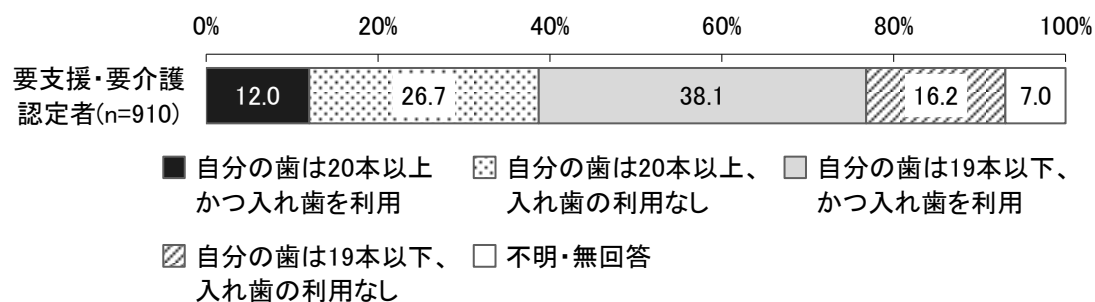
問 25. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(単数回答)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 47.0%、「いいえ」が 45.1%となっています。



問 26. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (単数回答)

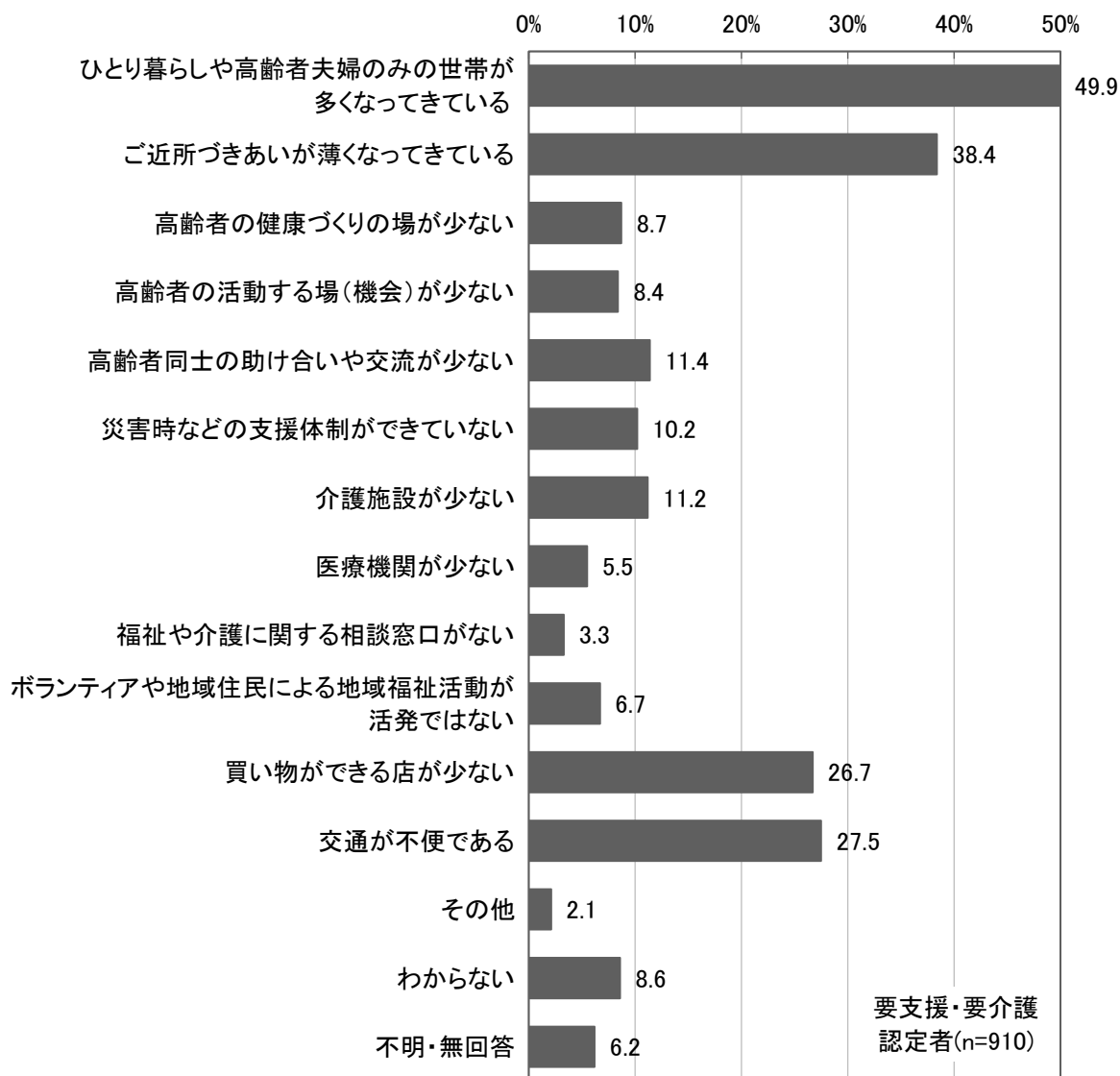
歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 38.1%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 26.7%となっています。



6 高齢期（65 歳以上）の課題について

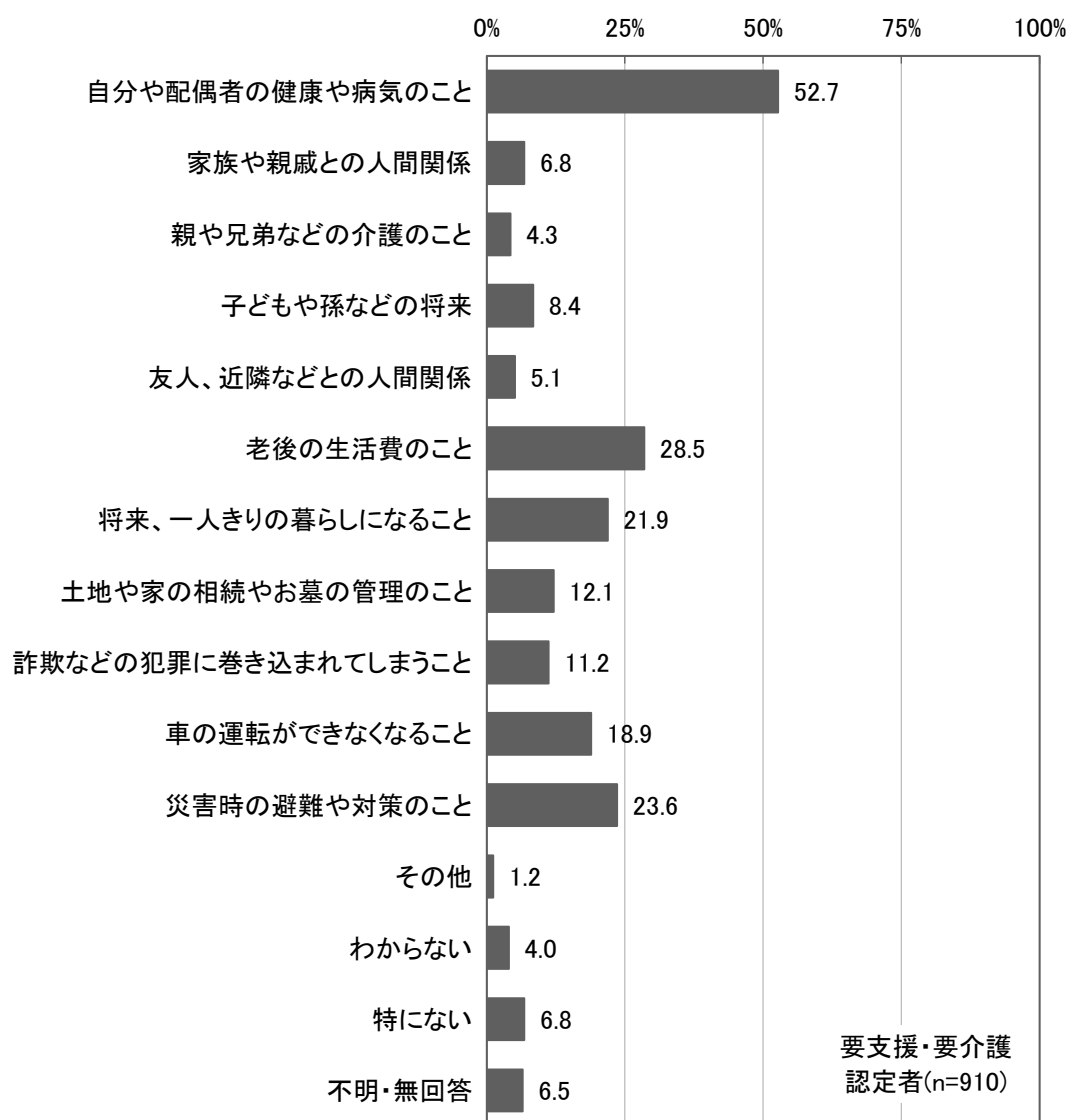
問 27. あなたの地域（中学校区程度）における高齢者（高齢化）に関する課題は何だと思いますか。（複数回答）

地域の高齢者に関する課題について、「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」が 49.9%と最も高く、次いで「ご近所づきあいが薄くなってきている」が 38.4%となっています。



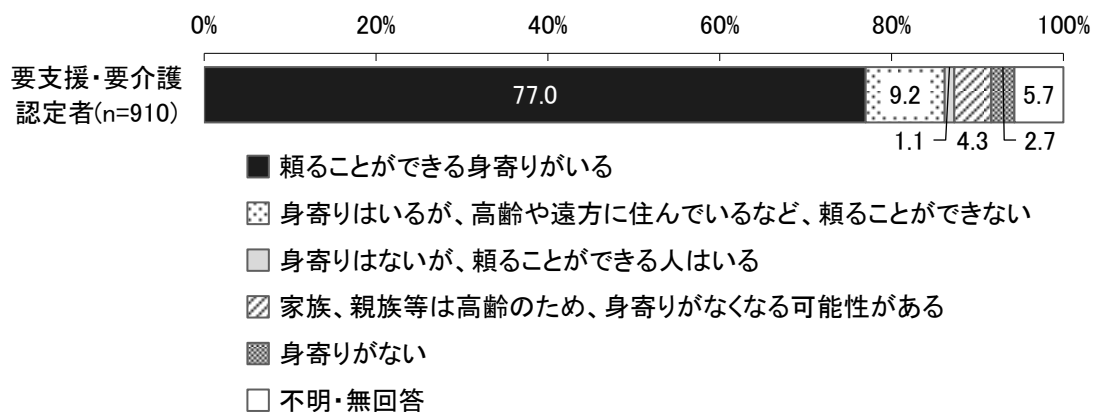
問 28. あなたご自身が、65 歳以上の高齢期において不安に思うことがありますか。
(複数回答)

自身が、65 歳以上の高齢期において不安に思うことについて、「自分や配偶者の健康や病気のこと」が 52.7%と最も高く、次いで「老後の生活費のこと」が 28.5%となっています。



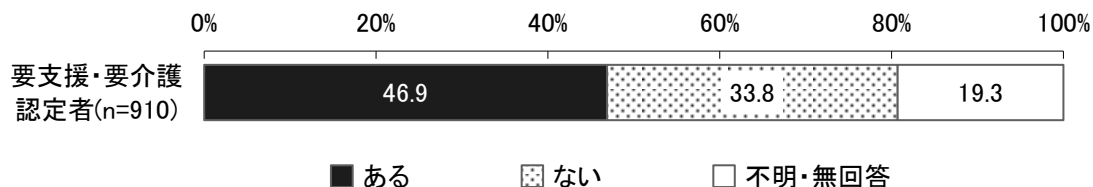
問 29. 困ったときに頼ることができる身寄り（家族、親族等）はいますか。
（単数回答）

困ったときに頼ることができる身寄り（家族、親族等）がいるかについて、「頼ることができる身寄りがいる」が 77.0%と最も高く、次いで「身寄りはいるが、高齢や遠方に住んでいるなど、頼ることができない」が 9.2%となっています。



問 30. 身寄りがない（なくなる）ことに対して、不安に思うことがありますか。
（単数回答）

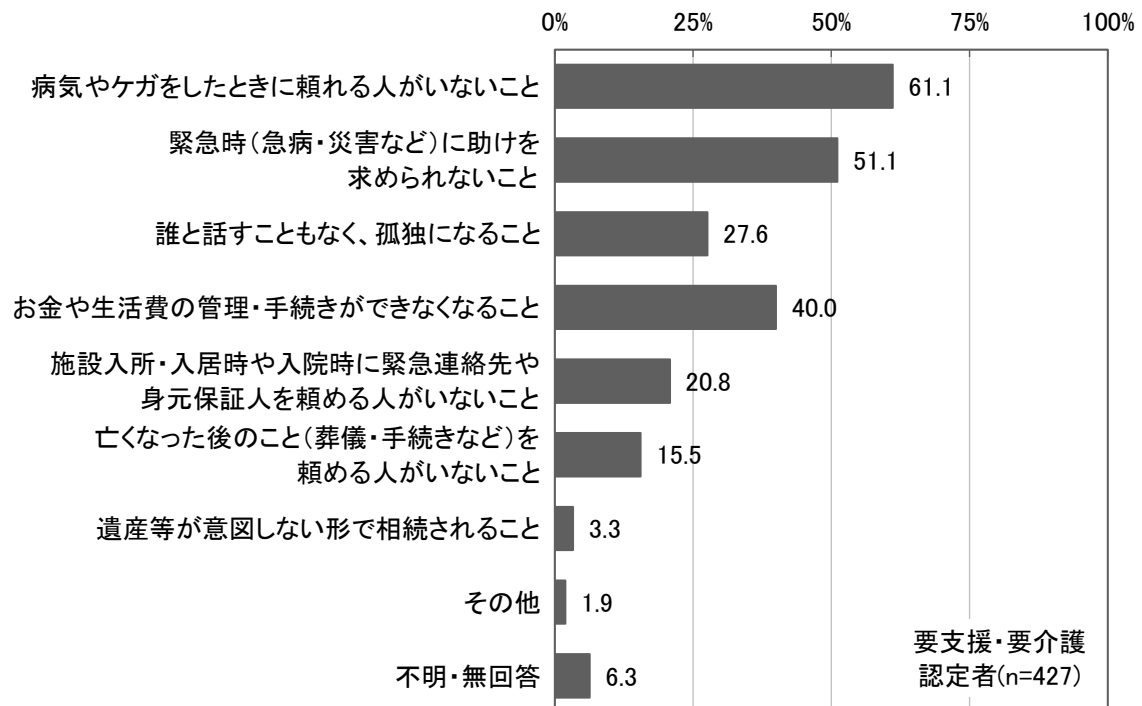
身寄りがない（なくなる）ことに対して、不安に思うことがあるかについて、「ある」が 46.9%、「ない」が 33.8%となっています。



<身寄りがない（なくなる）ことに対して、不安に思うことがあると回答した方のみ>

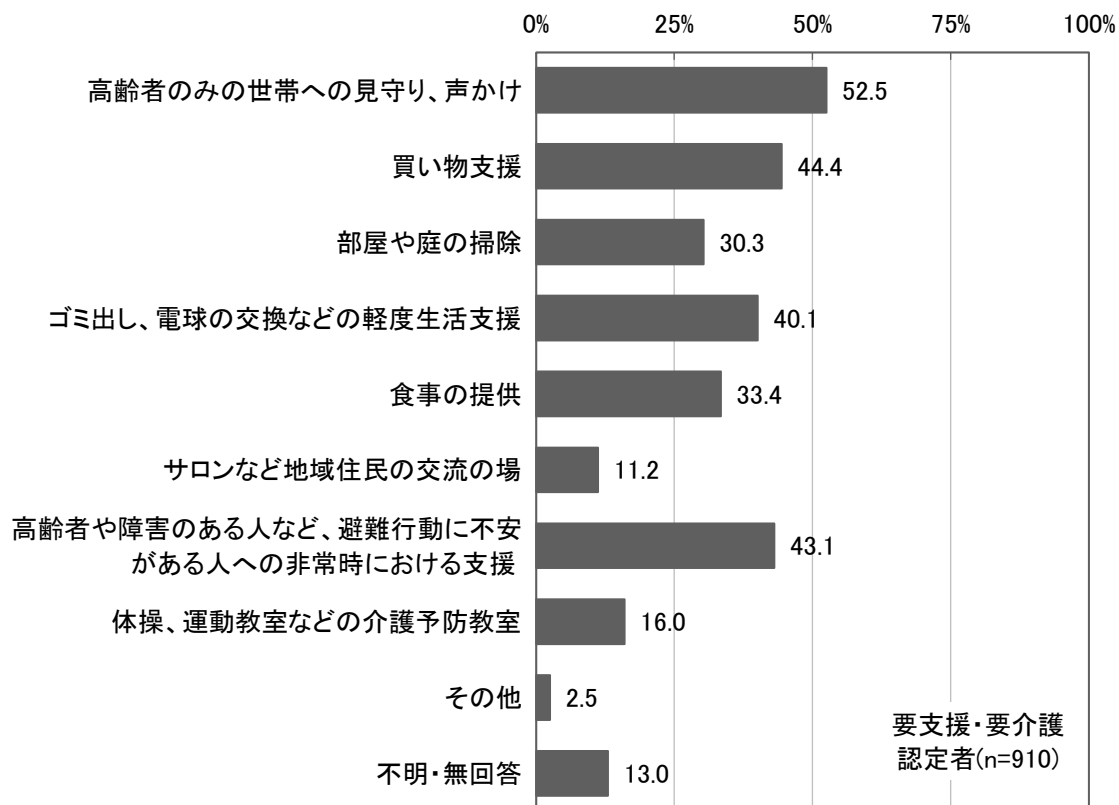
問 31. 身寄りがない（なくなる）ことに対して、特に不安に感じることは何ですか。
（複数回答）

身寄りがない（なくなる）ことに対して、特に不安に感じることについて、「病気やケガをしたときに頼れる人がいないこと」が 61.1%と最も高く、次いで「緊急時（急病・災害など）に助けを求められないこと」が 51.1%となっています。



問 32. 地域住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思うものについて、あてはまるものをお答えください。(複数回答)

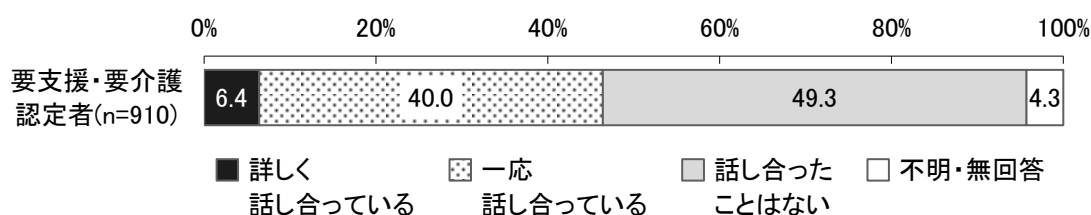
地域住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思うものについて、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が 52.5%と最も高く、次いで「買い物支援」が 44.4%となっています。



7 希望する医療等や終活について

問 33. あなたは、自分の死期が近づいた場合の治療方針等について、家族等（内縁関係の方を含みます）や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。（単数回答）

自分の死期が近づいた場合の治療方針等について、家族等や医療介護関係者と話し合ったことがあるかについて、「詳しく話し合っている」が 6.4%、「一応話し合っている」が 40.0%、「話し合ったことはない」が 49.3%となっています。

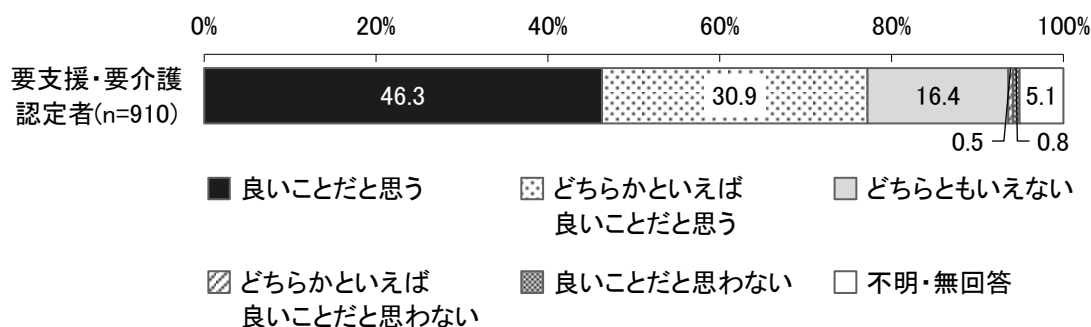


問 34. あなたは、自分が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・療養・介護を受けたいかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

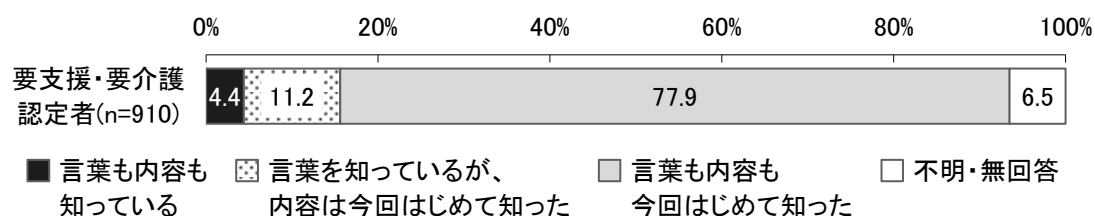
『良いことだと思う』 … 「良いことだと思う」と「どちらかといえば良いことだと思う」を合算
 『良いことだと思わない』 … 「どちらかといえば良いことだと思わない」と「良いことだと思わない」を合算

自分が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・療養・介護を受けたいかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて、『良いことだと思う』が 77.2%、「どちらともいえない」が 16.4%、『良いことだと思わない』が 1.3%となっています。



問 35. 「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉を知っていますか。（単数回答）

「人生会議（ACP）」という言葉を知っているかについて、「言葉も内容も知っている」が 4.4%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が 11.2%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が 77.9%となっています。



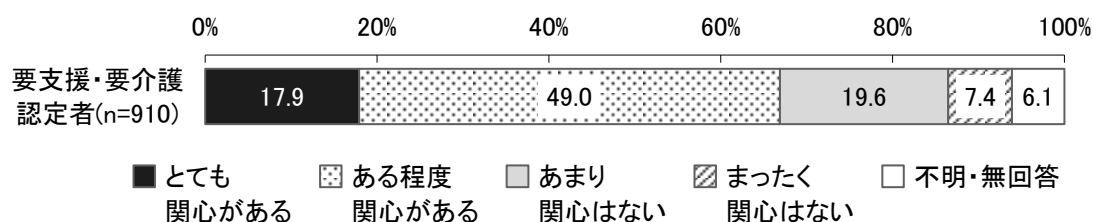
問 36. あなたは、ご自身の「終活」（人生の最期に向けた準備）について、どの程度関心がありますか。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『関心がある』 … 「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合算

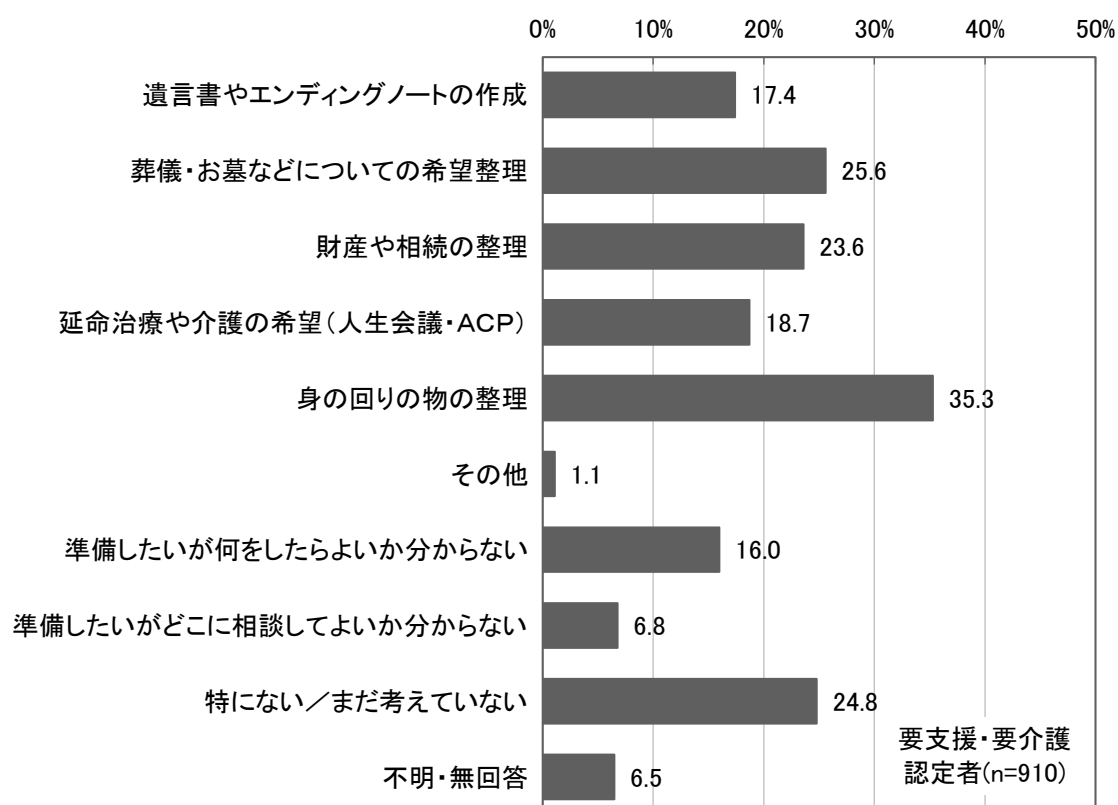
『関心はない』 … 「あまり関心はない」と「まったく関心はない」を合算

自身の「終活」についてどの程度関心があるかについて、『関心がある』が 66.9%、『関心はない』が 27.0%となっています。



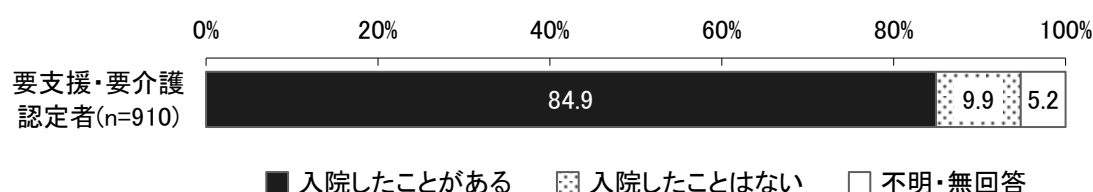
問 37. 終活として、すでに準備していること、または今後準備したいと思っていることはありますか。(複数回答)

終活として、すでに準備していること、または今後準備したいと思っていることについて、「身の回りの物の整理」が 35.3%と最も高く、次いで「葬儀・お墓などについての希望整理」が 25.6%となっています。なお、「特にない／まだ考えていない」が 24.8%である一方で、「準備したいが何をしたらよいか分からない」が 16.0%、「準備したいがどこに相談してよいか分からない」が 6.8%となっています。



問 38. あなたは、これまでに病院に入院したことがありますか。(単数回答)

これまでに病院に入院したことがあるかについて、「入院したことがある」が 84.9%、「入院したことはない」が 9.9%となっています。

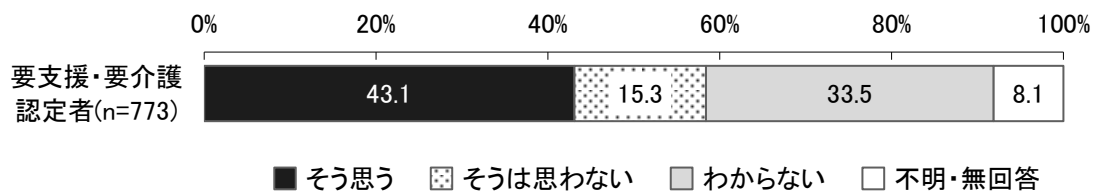


問 39. 住み慣れた地域で自分らしい生活をするためには、生活をサポートする医療と介護の連携体制が必要です。あなたは、刈谷市において以下のような体制が整っていると思いますか。

<病院に入院したことがあると回答した方のみ>

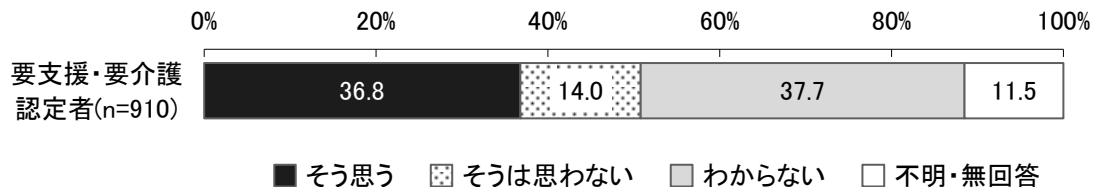
(1) 入退院の際に、入院機能がある病院と在宅生活をサポートするかかりつけ医と介護保険サービス事業者との間で、必要な連絡を取り合い、切れ目なく継続して医療・介護のサービスを受けられていると思いますか。(単数回答)

「そう思う」が 43.1%、「そうは思わない」が 15.3%、「わからない」が 33.5%となっています。



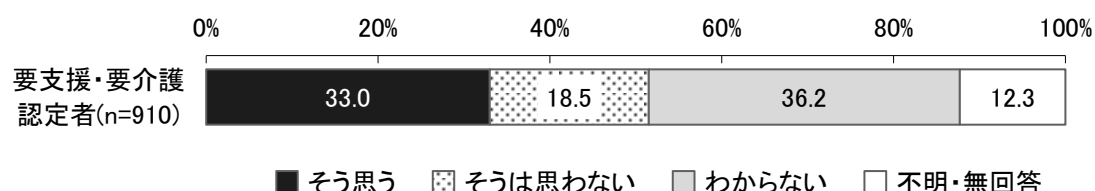
(2) 療養が必要であっても、在宅生活をするために、疾患や必要な支援の状態に応じた適切な医療・介護保険サービスを受けられていると思いますか。(単数回答)

「そう思う」が 36.8%、「そうは思わない」が 14.0%、「わからない」が 37.7%となっています。



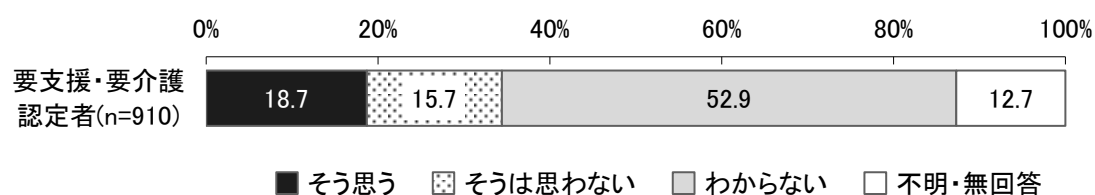
(3) 体調の急変に備え、日頃よりかかりつけ医と介護保険サービス事業者との間で、自身の医療と介護の情報が適切に情報交換され、安心して過ごすことのできる体制が整っていると思いますか。(単数回答)

「そう思う」が 33.0%、「そうは思わない」が 18.5%、「わからない」が 36.2%となっています。



(4) 自分の死期が近づいた場合に、自身の意思が尊重され、望んだ場所で人生の最終を迎えられるよう医療と介護の連携の体制が整っていると思いますか。(単数回答)

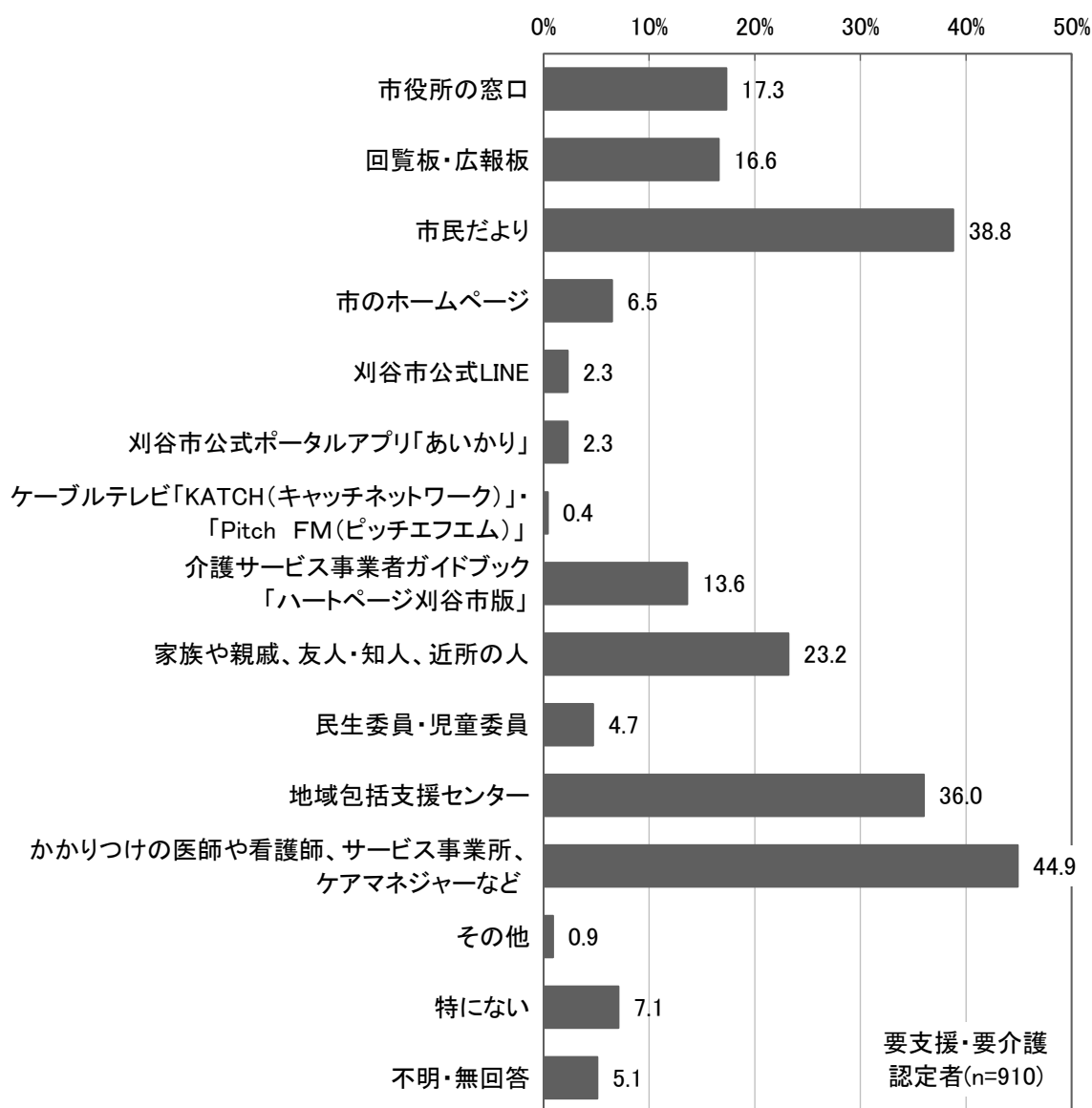
「そう思う」が 18.7%、「そうは思わない」が 15.7%、「わからない」が 52.9%となっています。



8 その他近年の生活状況について

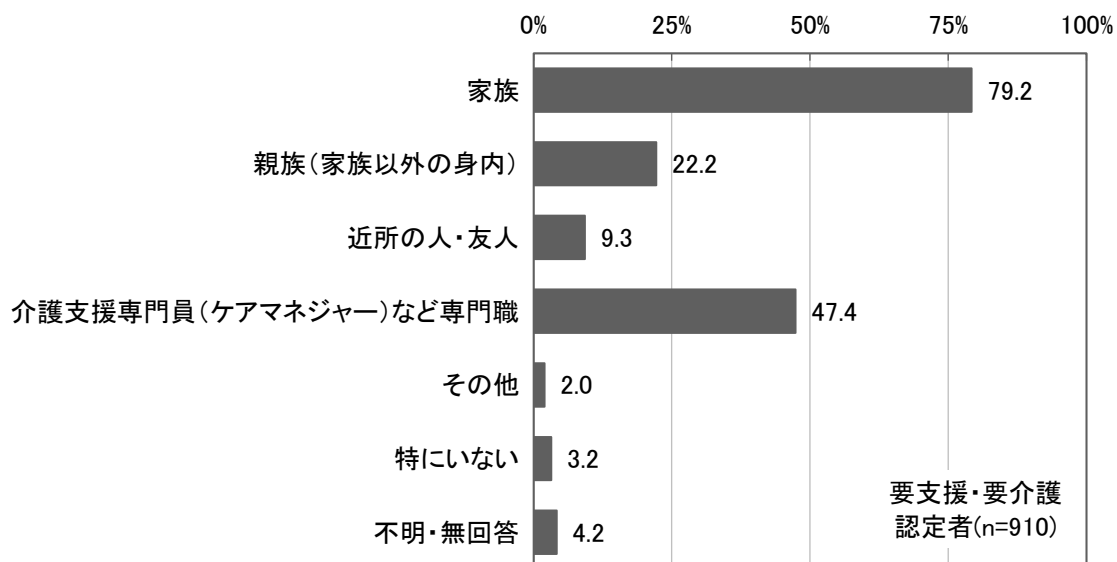
問 40. あなたは、市の高齢者福祉や介護に関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

市の高齢者福祉や介護に関する情報の入手先について、「かかりつけの医師や看護師、サービス事業所、ケアマネジャーなど」が44.9%と最も高く、次いで「市民だより」が38.8%となっています。



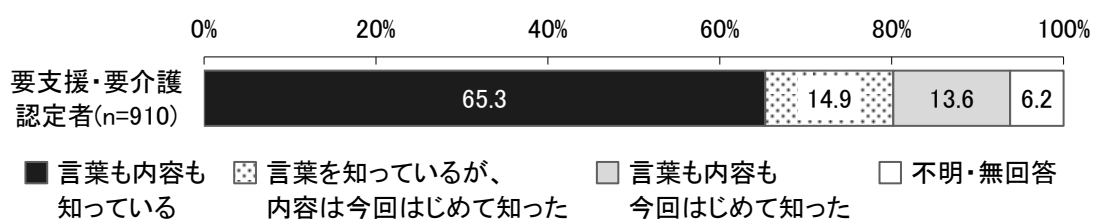
問 41. 困ったときに相談できる人はいますか。(複数回答)

困ったときに相談できる人はいるかについて、「家族」が79.2%と最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）など専門職」が47.4%となっています。なお、「特にいない」は3.2%と一定数みられます。



問 42. 地域包括支援センターを知っていますか。(単数回答)

地域包括支援センターを知っているかについて、「言葉も内容も知っている」が65.3%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が14.9%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が13.6%となっています。



9 介護者について

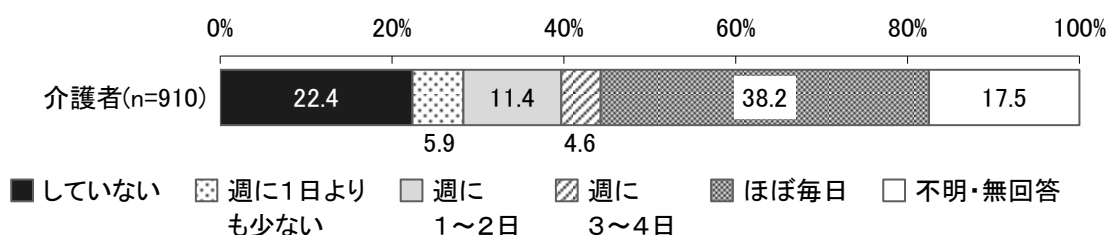
※問 43 からは、あて名の方を主に介護している方（以下、「介護者」）を対象とした質問です。

問 43. あなたを含め、家族や親族の方は、週にどのくらい介護していますか（同居していない子どもや親族などの介護を含む）。（単数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『介護をしている』…「週に1日より少ない」と「週に1～2日」と「週に3～4日」と「ほぼ毎日」を合算

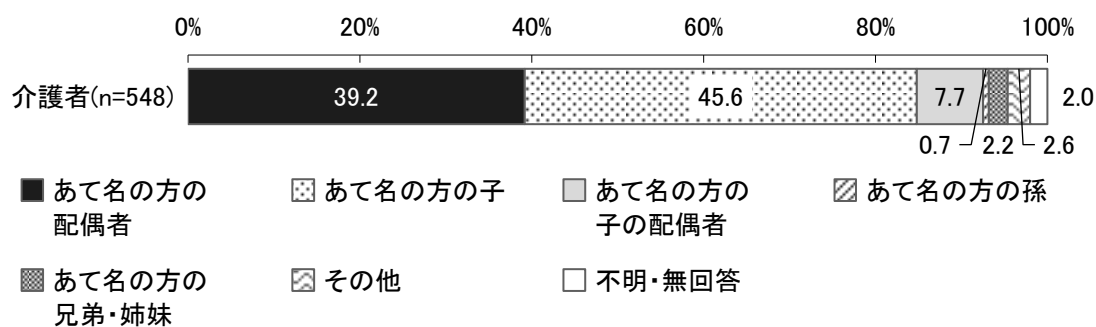
家族等からの介護の頻度について、「ほぼ毎日」が38.2%と最も高く、次いで「していない」が22.4%となっています。なお、『介護をしている』方は60.1%となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 44. 家族の中で、主な介護者はどなたですか。（単数回答）

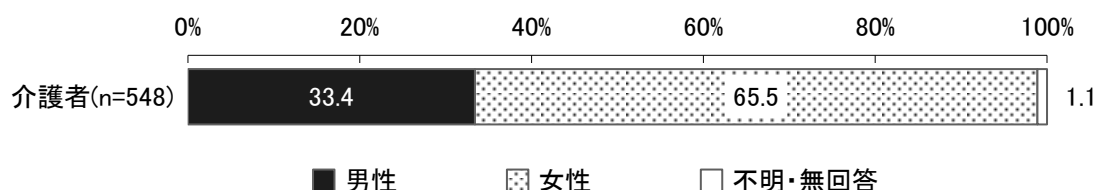
家族の中での主な介護者について、「あて名の方の子」が45.6%と最も高く、次いで「あて名の方の配偶者」が39.2%となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 45. 主な介護者の性別について、ご回答ください。（単数回答）

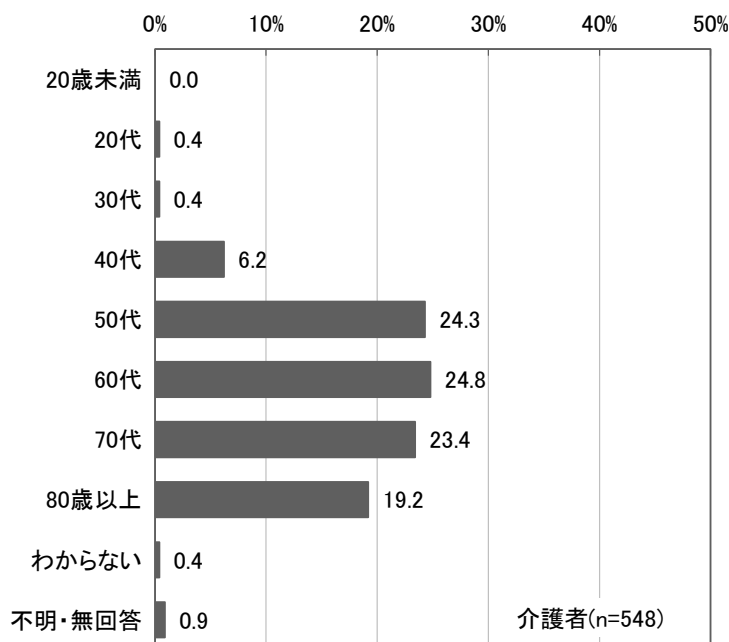
主な介護者の性別について、「男性」が33.4%、「女性」が65.5%となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 46. 主な介護者の年齢について、ご回答ください。(単数回答)

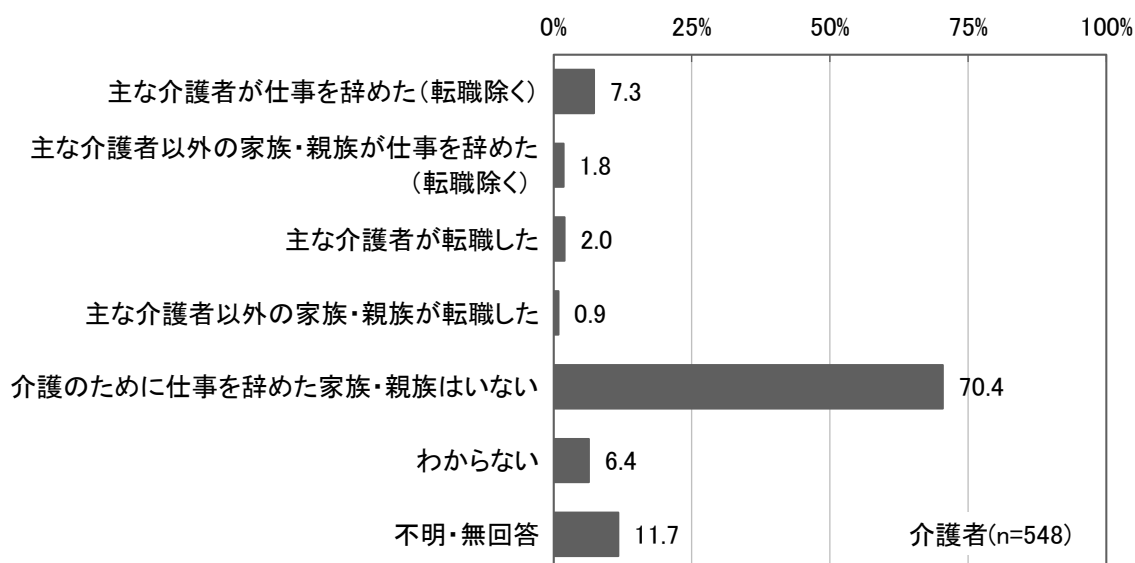
主な介護者の年齢について、「60代」が24.8%と最も高く、次いで「50代」が24.3%となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 47. 家族や親族の中で、あて名の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。※自営業や農林水産業の仕事を辞めた方も含みます。
(複数回答)

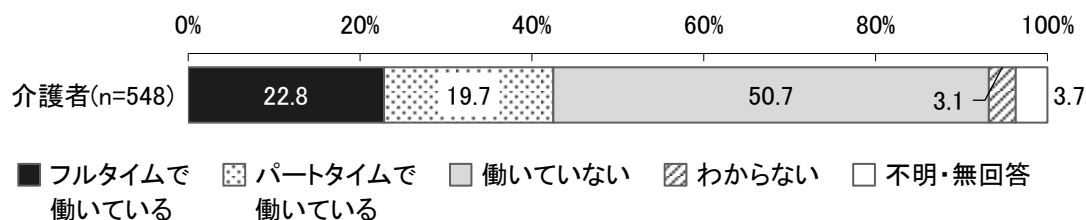
介護を主な理由として過去1年の間に仕事を辞めた家族や親族がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が70.4%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.3%となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 48. 主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください。(単数回答)

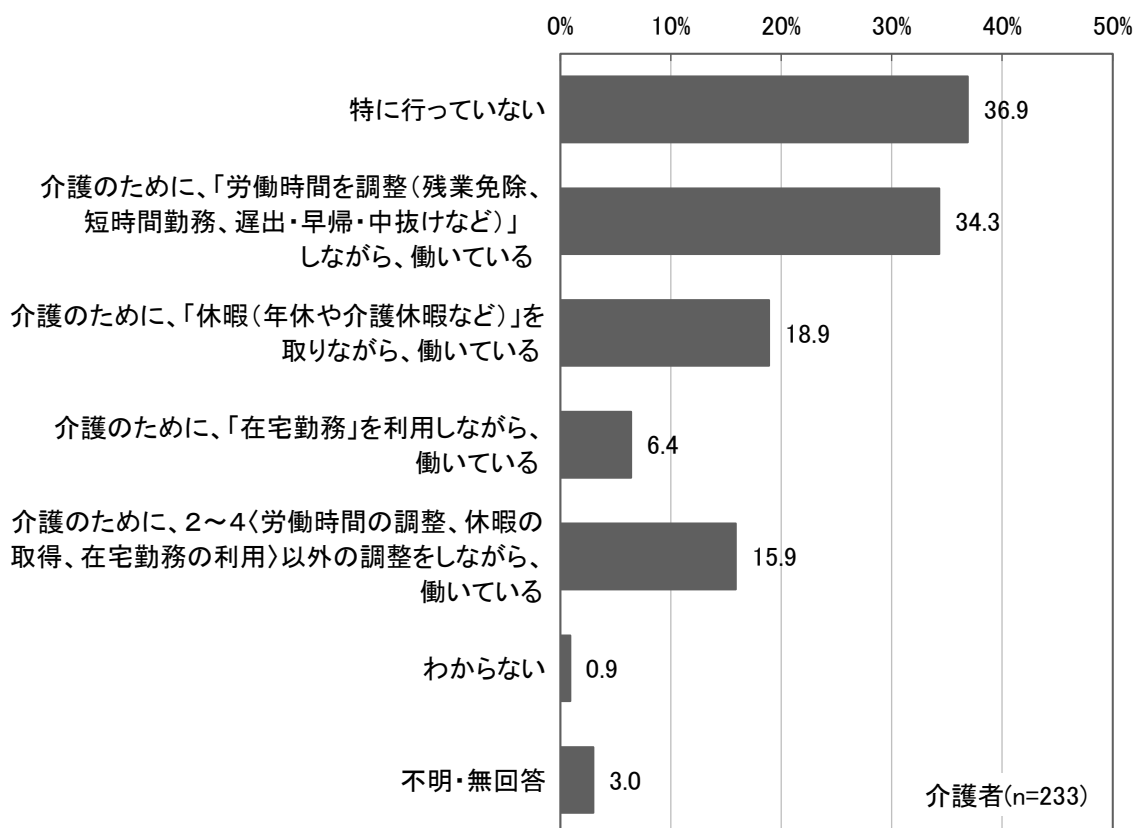
主な介護者の現在の勤務形態について、「働いていない」が 50.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 22.8%となっています。なお、フルタイムまたはパートタイムで『働いている』方は 42.5%となっています。



<働きながら介護をしていると回答した方のみ>

問 49. 主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。(複数回答)

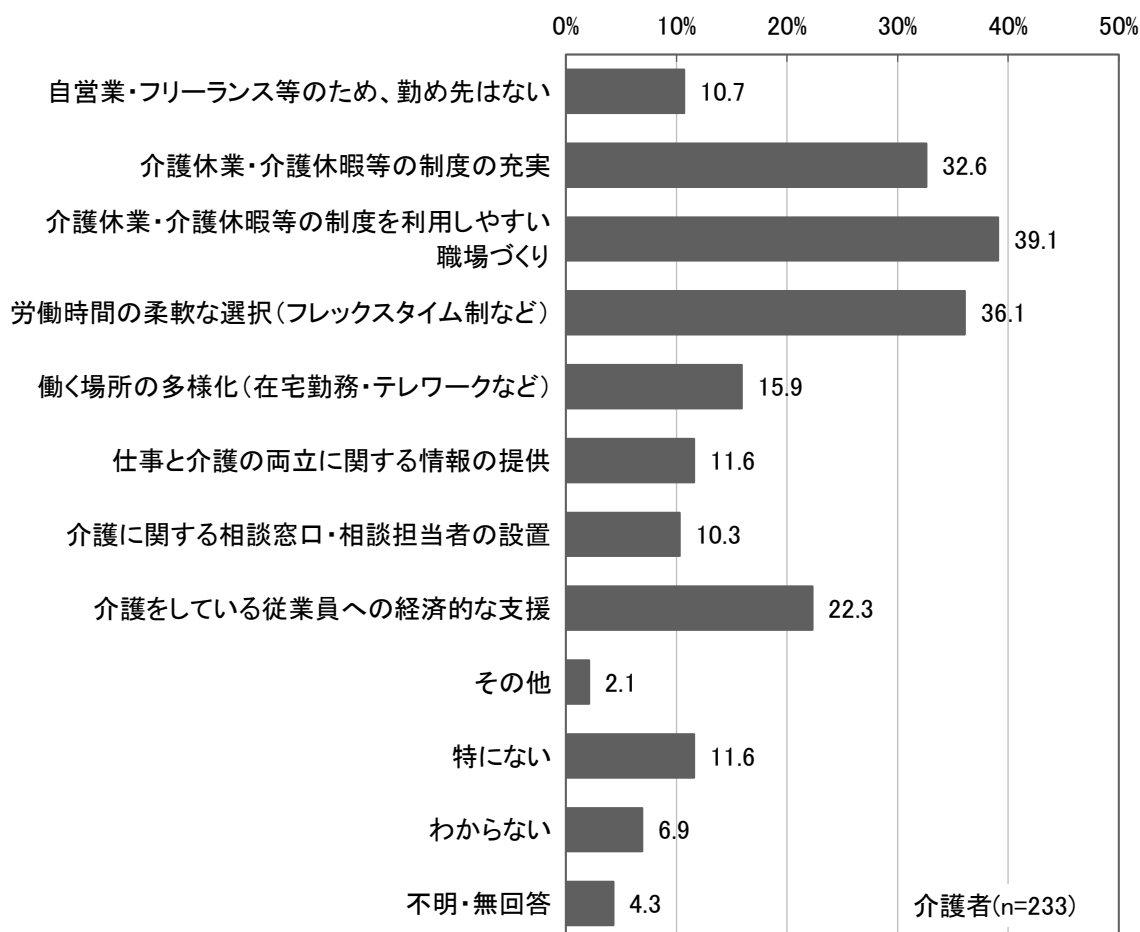
介護をするにあたって働き方の調整などを行っているかについて、「特に行っていない」が 36.9%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)」しながら、働いている」が 34.3%となっています。



<働きながら介護をしていると回答した方のみ>

問 50. 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護を両立できると思いますか。(複数回答)

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護を両立できると思うかについて、「介護休業・介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」が39.1%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が36.1%となっています。



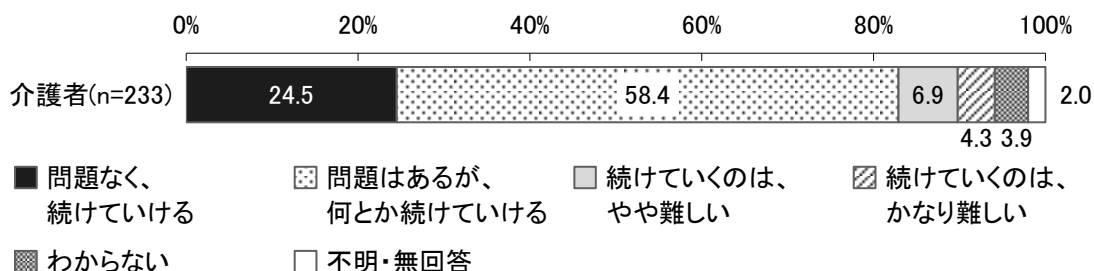
<働きながら介護をしていると回答した方のみ>

問 51. 主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『続けていける』 … 「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合算
 『難しい』 … 「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合算

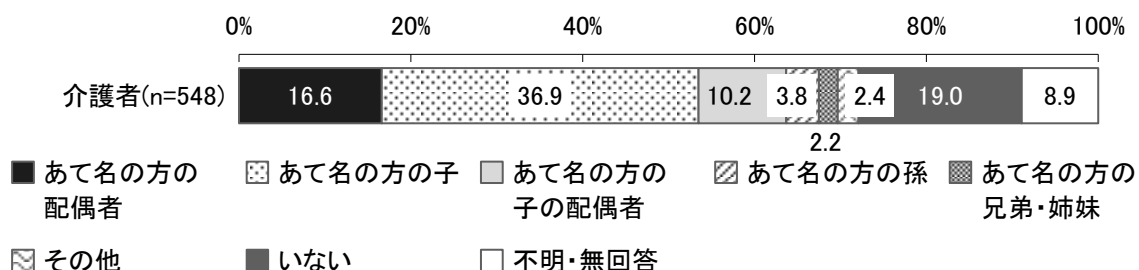
今後も働きながら介護を続けていけそうかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が58.4%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が24.5%となっており、82.9%の方は『続けていける』と回答している一方で、11.2%の方は『難しい』と回答しています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 52. 家族の中で、介護を手伝ってくれる人はいますか。(単数回答)

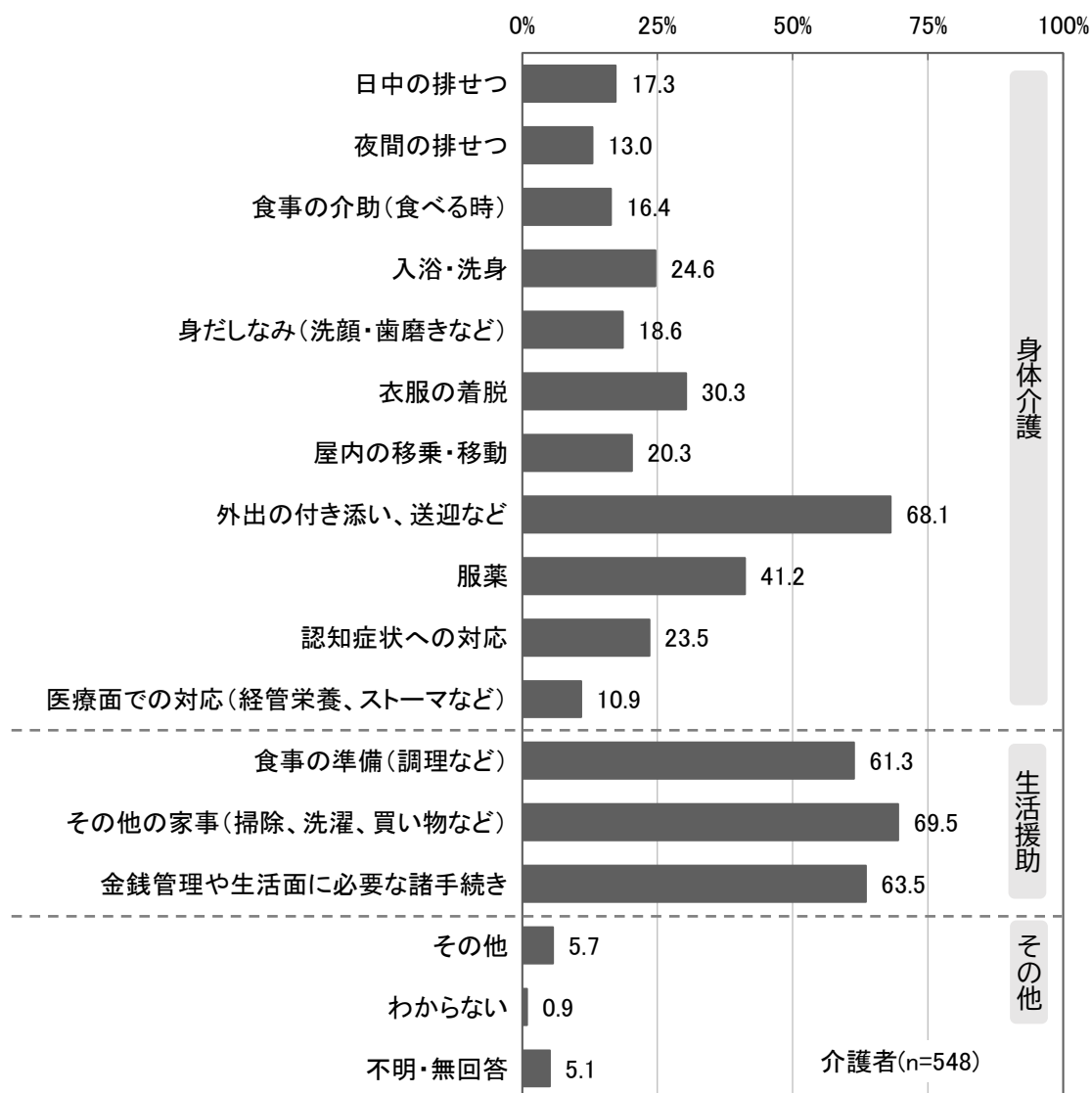
介護を手伝ってくれる家族について、「あて名の方の子」が36.9%と最も高く、次いで「いない」が19.0%となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 53. 現在、主な介護者が行っている介護などについて、ご回答ください。
(複数回答)

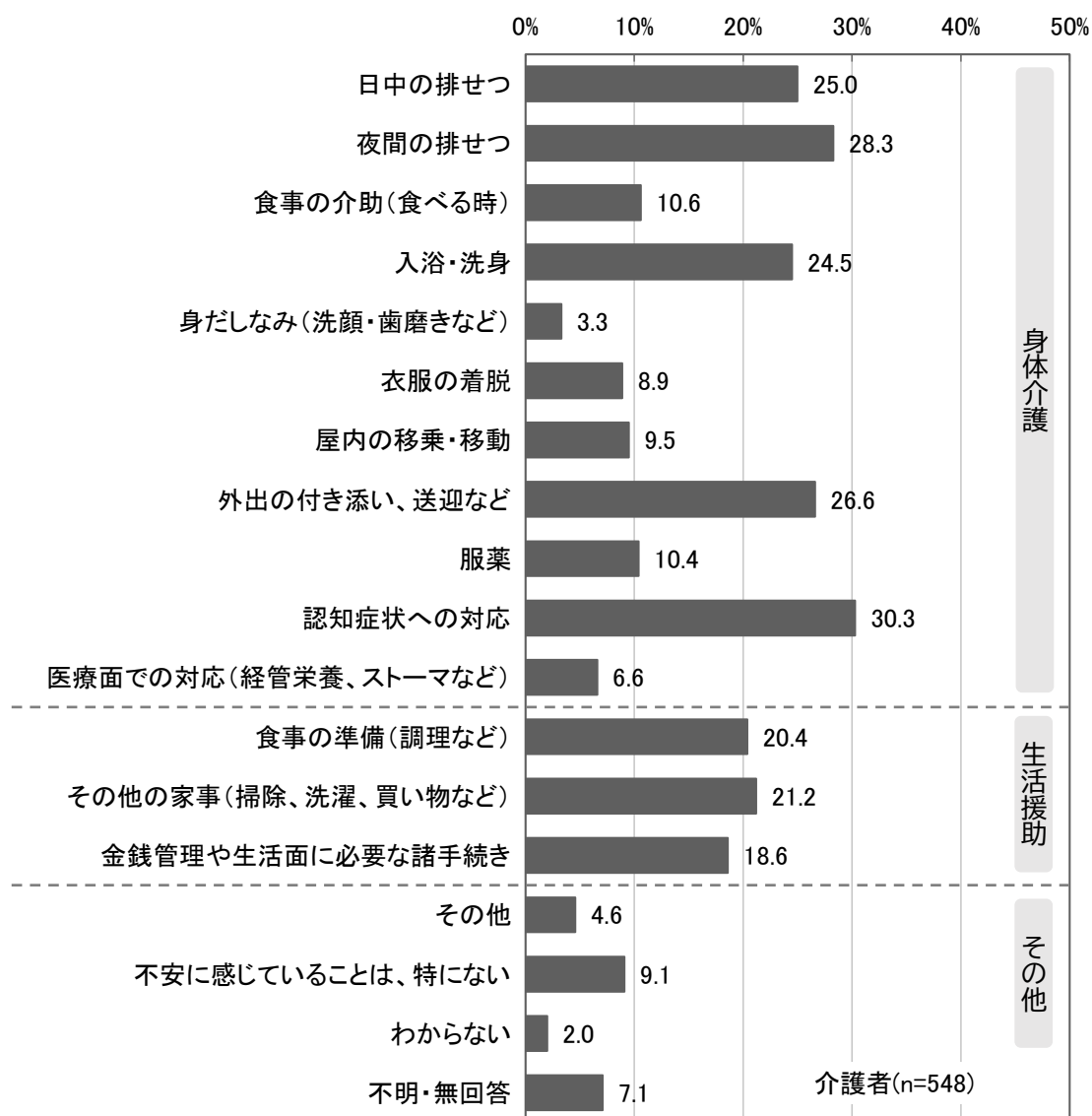
主な介護者が行っている介護などについて、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)」が 69.5%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 68.1%となっています。なお、『生活援助』の内容については、いずれも6割台となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 54. 現在の生活を継続していくにあたって、不安に感じる介護などについて、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（複数回答）

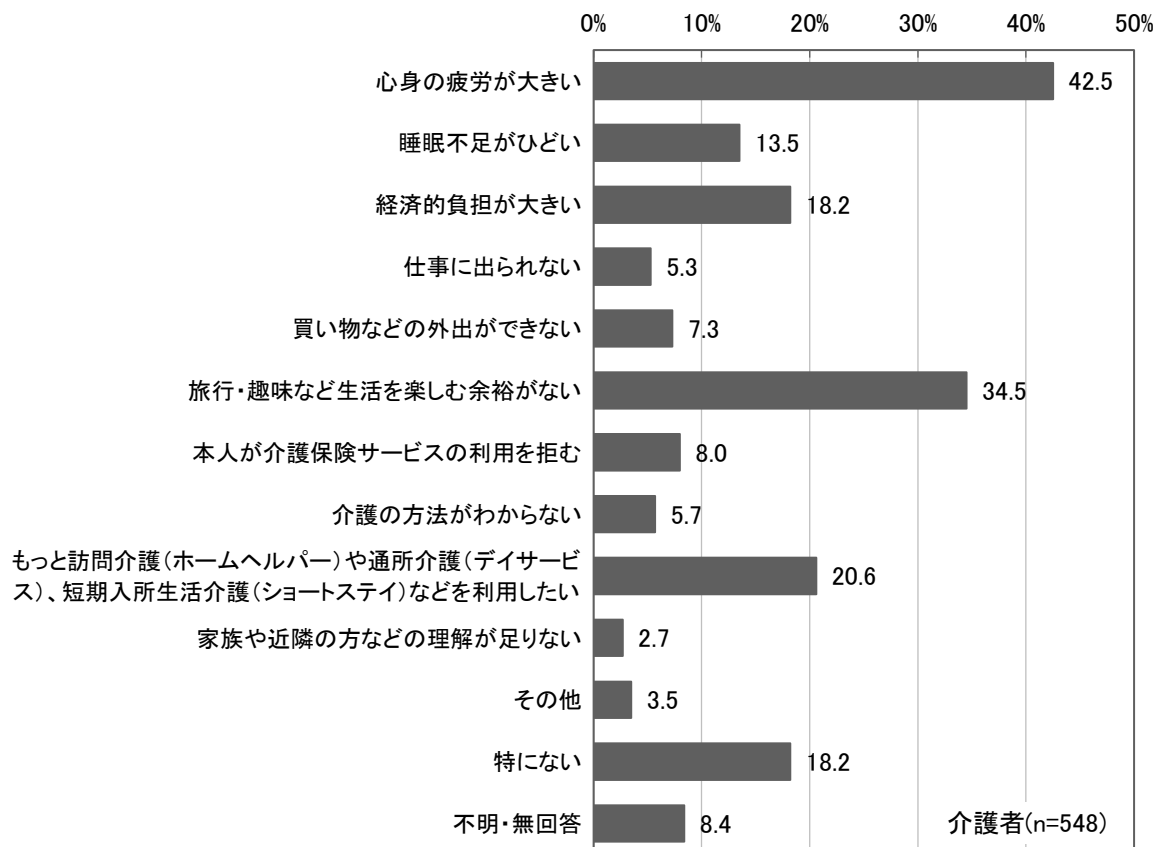
主な介護者が現在の生活を継続していくにあたって、不安に感じる介護などの内容について、「認知症状への対応」が 30.3%と最も高く、次いで「夜間の排せつ」が 28.3%となっています。



<介護をしていると回答した方のみ>

問 55. 介護するうえで、主にどんなことに困っていますか。(複数回答)

介護するうえで困っていることについて、「心身の疲労が大きい」が42.5%と最も高く、次いで「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が34.5%となっています。



問 56. 介護をするうえで、あったらよいと思う支援やサービスがあれば教えてください。(自由記述)

あったらよいと思う支援やサービス

■ 介護者への支援

介護支援では行っていないその家族には必要な支援。例えば見守りを含め話を聞いてもらう時間など。

介護者の話を聞いてくれるサービス。話の中から受けられるサービスを一緒に考えてほしい。そのようなサービスが家の近くにあるとよい。歩いていけるとよい。

回ってお話を聞いてくれるサービス。

希望したときに叶えられる支援。

気軽に何事も相談できる話し相手がほしい。

あったらよいと思う支援やサービス
84 才の主人を 80 才の妻が介護しています。（主人は認知症です。）認知症の人への対応をもっと知りたい。老老介護という事もあり動けない。認知症の家族の集まりも行きたいけど一歩の足がでない。
一日でも良いので体を休めたいです。81 才の私には介護がきついです。
今のところアルツハイマー軽度ですので必要ありませんが、私が高齢・病気持ちですので援助していただければ。
介護者の体調等の現状を本人に伝え、やらないのではなくやれない事、やって当たり前という考えを上手く理解させて介護者の負担を減らす事。介護している側の医療費負担。
介護するのに一人ではできない事が多いので代わってくれる人が 1 週間に一度ぐらい来てほしい。
介護する人も年々増えていると思うので市民だより等で介護でのヒントとなる事を教えて貰えると助かる。忘れていた事も思い出せる。
介護する人をねぎらってほしい。
介護する人が旅行や日中出掛ける時、短時間で良いからシッターがほしいです。
認知症があり、独りにしておくことに不安がある場合、介護者が安心して働きに行けるような支援。
病気・けが等で介護できない時に利用できる代行サービスがあると思う。あるかも知れないがよくわからない。不安です。
遠方介護者への経済的援助。
急な介護者の体調不良時など、その日にすぐ利用できるショートステイサービスがあればうれしいです。
現状でほぼ満足している。ただ、日曜が誰も助けてくれず自分が行う、苦しい。
母親の時は自宅で 8 か月見守りました。姉妹 4 人交代、ヘルパーさん、自分は（3 番目）仕事に行けた。自宅は 8 か月が限界です。父親は病院で車もなくタクシーもお金がかかり最後はかわいそうでした。
■ 移動支援の充実
自身のタイミングで気軽に外出できるようにタクシー利用券の拡大を希望。バスは時間が決まっていたり、行けない場所（通らない）があるため、タクシーが便利です。
タクシーの利用補助。
タクシー料金助成利用券の枚数をもっと増やしてほしい。（現状、病院通いに使うだけでなく使っています。）
タクシー券がもう少し多いといいです。タクシー代も上がって年金が少なくないので介護保険とリハビリ代など払うと生活費が少なくぎりぎり、食事も少なく取る様になりました。物価は上がるばかり。米が買えない日があります。
買い物や病院に行く時の送迎が家族の負担となるので、タクシー券が高齢者に配布してもらえたらよい。バスの利用は時間が制限され、バス停を探すのに高齢者は大変である。
本人が行きたいところへ自由に行ける支援やサービスがほしい。買い物をしてくれる支援やサービスがほしい。
買い物の足、時間。
利用者を車両に同乗させて同行しての買物支援。
安く利用できる乗り物。

あったらよいと思う支援やサービス
「チョイソコ刈谷」の全市展開をして貰えると送迎の負担が減って良いと思います。
車が利用できると病院に行きやすい。
高齢者向けのサークル等（介護度の軽い人用）の送迎。
子や孫の自立家族人数が減る。多世帯で暮らす家族に支援を。高齢者に交通の利便。チョイバスの利用範囲の拡大を。
リハビリセンターやデイサービスに通うのに、将来、送迎車は絶対に必要だと思います。また、いまから高齢者が介護の何が必要かのアンケートを取ってほしいと思います。
移動支援と買い物支援。
簡単に頼める介護タクシー（料金が短時間、短距離でも高すぎる）。高齢者（歩けない人）などが優先的に病院の予約がとれる制度（整形や眼科）。
自動車
車椅子使用車を月にあと2回増やしてほしいです。
親が転倒した時に、持ち上げて移動できる様なコンパクトサイズのリフト型イスがあったら助かります。
■ 各種支援サービスの充実
費用の安い生活支援。
ナイトサービスがあると助かります。
週末に実家へ帰るだけでは家の様子が分からない。ゴミ出し、服薬、食事、家事などのサービス、見守り、訪問を利用できる様にしてほしい。
食事の配達、病院の付き添い。
どこかに入所したとしても、認知症見舞金はほしいです。どのケアマネに当たっても、刈谷市、社協から受けられるサービスの一覧表がほしかった。ゴミの戸別回収、タクシーチケットは、ケアマネが困っていることを知っていたのに十分なアドバイスは無く、家族で調べた。認知症見舞金は1年以上経ってから知り、遡れないため給付を受けられなかった。
要介護の度合いに関わらず、希望する日すべてに通所できたら良いと思います。家族は気が安らぎストレスがたまらない。本人は家に居ると寝たばかりで動かない。デイサービスではそれなりに動いているのに。
要支援・要介護の程度によって受けられるサービスの種類、必要な費用などがわからない。それらを理解したうえでケアマネジャー等に相談できるとよい。
介護タクシー、通院を手伝ってくれるボランティア、ゴミ出し支援、介護の悩みを聞いてくれる人、介護者が介護から離れて旅行等に行ける、ペットの世話をしてくれるボランティア、家に来てくれて一緒にお茶をのんでくれる人。終活セミナーに参加できる。介護者が介護のない日に他の介護が必要な人への支援ができる。
経済的に厳しい人でも受けられるサービス。
自分で生活を続けていけるサポート。食事の買い出し調理片付け、買い出しや通院の付き添い、掃除。介護保険利用ではなく、ちょこボラと介護保険の日常困りごとを気軽に頼める。今、ほしいとか明日やってほしいとかすぐにサービス提供できるシステム。一人暮らしの生活の質が維持できるシステム。

あったらよいと思う支援やサービス
自分の代わりに散歩に連れて行ってくれたり、一緒に買い物に行ってくれたり話し相手になってくれるサービス。
片づけ手伝い、リハビリの充実、気分転換(本人の)のための外出につれていってくれる。病院つきそい、車イス修理、洗浄。ゴミ回収、夜ねる前のマッサージサービス。おフロにいてくれる人がいるといい。トロミ剤購入支援。
浴室、居室、トイレ等の清掃、買い物。現在の制度で同居家族がいるとサービスが受けられない。自分で民間サービスに依頼しづらいので、資金を出しても依頼できるような紹介制度を新たに設定してほしい。高齢者が一人で生活して、歩いたり、家事をすることが医療費の削減につながると思う。予防医学的な見地に立って介護を少しでも減らしていくような方向も検討してほしい。
見守りのサービス。
スーパーが近くにあるとよいと思う。
少しは手間賃を払えるので買物を手伝ってくれる人がほしい。
高齢者住宅の充実
病人でも働ける場所を増やしてほしい(働く機会を)。
後見人制度を知る機会が、できるだけ早くにほしい
相談して正確に情報を教えてくれる窓口。相談した相手により内容が違ったことがあり困ったり悩んだことがあったから。
宅配弁当。
毎日の食事の献立の例をあげて教えてほしい。料理の苦手もあり日々の献立に頭をなやませている。
介護認定の回数を増やしてほしい。
■ 介助等に関するサービス
病院・医院(定期的)に診察を受ける時、介助・介添え支援サービスがほしい。
よく転ぶので1人で支えていけない時に手助けしてくださる方がほしい。
介護をしてもらっている人と外出する時、介護を一人でするのは不安です。
病院などの付き添い。介護者が来られないとき。
病院の付き添い。
病院の付添のサービスがあったら利用したいと思っています。
費用を出すので入浴を介護してもらいたい。いつ自分で風呂に入れなくなるかわからない。
■ 困りごとの手助けについて
老々介護で介護人の負担が大きくて、庭の手入れ等が全くできないので「すけっと」がほしい。自分が腰痛なので、医者へ連れて行く事が困難な時に、誰かヘルプしてほしい。
買い物と一緒にしてくれるサービス(車同乗)。掃除・洗濯を気軽にたのめるサービス。
家事代行サービスのような、時間単位ではないサポート体制がほしい。例えばスキマバイトのように、ヘルパーさんが必要な時だけ来てくれるようなシステムとか。
玄関先で「何か困っている事ありますか」と聞いていただきたい。そしてちょっと手伝ってほしい。
家の中の片付けやそうじ(特に高所)をしてくれるとうれしいです。
車椅子移動のため、段差(家の外階段)を下ろしてくれる人のみの支援がほしいです。
重い物を移動させたり掃除をする時の援助。支援を依頼するのに前もって予約するのが困難な事が多いと思います。突発的に人手が必要になった時が一番大変です。

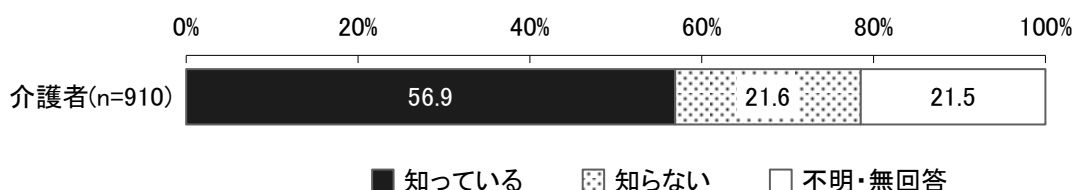
あつたらよいと思う支援やサービス	
■ 補助金に関すること	
オムツやパッド代の補助がほしいです。要支援2では受けられないが、どんどん値上がりし、尿失禁が酷いため（薬服用中は効かない）。どんどん生活が厳しくなっている。	
オムツ券をもっと増やしてほしい。金銭面を助けてほしい。	
体の側弯症から、体の動き、特に歩行が悪くなり、尿漏れが酷い。そのため、オムツや尿取りパッドの使用金額が多いので、オムツ費の補助がほしい。	
私はスズキ自動車製の電気自動車を約2年前から利用しております。購入価格が37万円と高価でした。市で購入時に補助して頂ければ有難い。トヨタ、ホンダ製も発売された。	
今は介護する私も運転できるが、病院でのタクシー割引券とかあると助かります。腰痛があるため、いつどうなるか心配なので。	
十分な補助金の体制。	
経済的支援をもう少し充実してもらうか負担を軽減させてほしい。	
高浜市が行っている、介護度に応じた支援金のチケット販売。	
自宅で介護している家庭への援助を充実してほしい。特に金銭的に。	
■ 事業所や提供サービスに関すること	
安い介護施設か費用の援助。	
受給している年金内ですべて賄える施設があればいいと思う。	
介護が必要になった時に直ぐ入所できる施設があれば良いと思う。	
楽しめるデイサービスをつくってほしい。お願いします。	
短期入所を希望するがデイサービスのようにいろいろなプログラムが無いので、認知症が進んでしまいそうで利用しにくい。	
デイサービスは土日もやってほしい。点数をもう少しほしい。	
デイサービス利用時の乗用車の迎え時間を遅くしてほしい。今現在8時30分に来るが、5時30分に起きないと、足・眼が不自由なので時間がかかる。いつも自分は一番に迎えに来て、一番遅く帰っている。同乗者はそれぞれ負担の無いように、順番にしてほしい。	
支援2でデイサービスが週に2回しか利用できない。3日位までふやせないか。	
デイサービス等の介護事業所の人材確保支援制度。介護サービスを受ける時の申請・手続きの簡素化。	
介護付老人ホームのマンパワー不足がサービス低下につながる。	
個室入浴設備があつたら利用したい。	
デイケア利用時の発熱は、その場でコロナ検査やインフルエンザ検査をしてほしい。陽性反応が出た場合、空きの部屋がある場合はそのままショートステイで治療できたらいいのでは。尿道バルーンも汚れがひどくなった場合、デイケア利用時に交換してほしい。デイケア、デイサービスの20時ぐらいまでの延長。	
病院から介護付き有料老人ホームに入所したので、介護の経験が無く良く分かりません。経鼻栄養が必要で介護認定もまだでしたので、入所できる施設が少なくて厳しい現状を感じました。	
居宅介護は厳しいので介護サービス付アパート等の入所施設が拡充されると良い。(近隣含め入所待ち多数)	
施設や病院等入所施設の充実。	

あったらよいと思う支援やサービス
私は 295 万です。何事も思うようにはできない。介護施設へ今からでも入りたい。餓死するより仕方ないと思う。
地域包括支援センターの人が、もっともっと老人についての理解力を考えてほしい。体力が悪いのを含めて。
■ ケアマネジャーやヘルパーの人材に関すること
近所に、ケアマネジャー（包括支援サービス）はあるが、当人は多忙で連絡がとりにくい。
ケアマネジャーが忙しいので、もっと他にも話せる所があるとよい。ヘルパーやデイサービスをもっと利用したいがお金がかかってしまうためできない。特養に入りやすくしてほしい。
ケアマネジャーが携帯を使えない（携帯でケアマネとの連絡が取れない）ため、何かあった時に市で対応、相談できるお助けサポート電話窓口等を設置してほしい。
ケアマネジャーの方がしっかりしているので必要ないのかもしれませんが、介護のサービスやきまりなど知られないのでもどかしく感じることもあります。
刈谷市は老人の施設が多い。ケアマネジャーはハズレが多い。施設の職員さんの負担が多いのが気になる。
ゴミ捨てには本当に困ります。「ちょこっとさん」ができてくれてとても助かっています。ヘルパーさんの掃除はどうしても限定的なので（窓を拭かない。せめて生活している部屋の窓だけでもふいてくれると衛生的。特に窓枠ゴムのところ。エアコンのフィルター掃除はしない。ヘルパーさん以外に頼めない人はどうしているのだろうと思う。etc）、高齢者だと他の人にやってもらわないとできない事が多いので、もう少し気軽に頼める行政指導の機関があると助かります。
ヘルパー。
ヘルパーなどの活用範囲をひろげてもらいたい。手伝いでなく、教える・できるようになるように、みまもり指導をしてほしい
■ 介護等に伴う医療機器の導入
介護者の疲労を小さくするための介護機器の紹介等のサービス。
家事手伝いできるロボットの普及。
カメラ等による見守りの補助
■ 医療に関すること
24 時間すぐ来てくれる医師、看護師など医療機関。
通院が困難になった時、気軽に訪問診療を行ってくれる支援。
病院、薬局、介護事務所で情報を共有する。施設が違うと言う事がバラバラな事がある。スペシャリストを纏めてジェネラリストがほしい。
薬が病院に行かなくてももらえて、自宅に届くようなシステム。
■ その他
高齢化社会によってひとり暮らしの方が多くなってきていますので、皆で集まったりする場所が近所に多くあるといいと思います。ご近所さんを知っておくことが災害時には助かると思います。
大人の保育園として介護者が仕事前に送り、仕事後にお迎えに行く形での週 5 日低額で利用できる場があれば一人で何をしているか分からない不安がなくなる。
相続などに対する対応、サービス。
70～80 歳の間で、認知症の無料の検査。

あったらよいと思う支援やサービス
病院に行くまでもないが、落ち込んだ時に気軽に心のケアをしていただけるサービスがあるとよい。
夜ぐっすり寝れるような方法を教えてくれるサービス。(睡眠薬を除く)介護者の精神ケア。
関わって下さる方々の「やさしさ」が一番の支援なのかなと思います。
支援サービスにお世話になり、ありがとうございます。私は一人暮らしです。日常は自分でできる事はやっていますが、どうしても発熱やめまい等でだめな時は、近くの在宅介護センターにお願いして解決しています。とても心が温まり、安心致します。ありがとうございます。
介護を各自に任せすぎ。
楽しみができるようなことがあるといいと思います。
現在は施設入所しているため本人の身体面は施設の方にお任せしていて安心ではあるが、それでも私自身が週1回以上は訪問して身体のお手入れをしていて巻き爪などの相談などはコチラから伝えないと治療へ進まないことがあるのももう少しつっこんだ看護とお金が在宅の時以上にかかるので不安です。お金がなくなったら私も死ぬしかないのかな?と考えてます。
前に1人で介護していた時は、大抵は1人でこなしてきましたが私自身も精神の障害者であることから車を保有しておらず、移動手段は大変でした。介護タクシーでまかなっていましたが足りなかったら、緊急時の判断がつかない時であった場合はすぐに119へ連絡したりしていました。また、最終的に入所への決断になったのが、本人が口から摂取を拒み体重がガンガン減ってしまった事がキッカケでした。その時は食事に関する支援やアドバイスや一時的にも点滴などの処置がとれる体制などがほしかったです。現在は胃瘻手術して、胃瘻対応してもらっています。
現在は余り考えつかない。介護が重くなると出て来ると思う。
今のところ何とかやっていますが体力が落ちてきたり、車の免許返納しなければならなくなったりした時が不安です。
人・場所。
東浦町東和荘ヘショートステイのため。
郷土の歴史で変化のあった(大きい)特筆すべき事柄、歴史上の郷土の人物が地元に残した足跡を(足跡が)、現代にどう残されているか、感じはどんな形で現代に引き継がれようとしているのか想像物語として市民に問いかけてほしい。
収入が無いため困る。仕事ができない。

問 57. 市、地域包括支援センターが、高齢者の権利を守るなど、高齢者や家族のための総合的な相談窓口であることを知っていますか。(単数回答)

市、地域包括支援センターが、高齢者の権利を守るなど、高齢者や家族のための総合的な相談窓口であることを知っているかについて、「知っている」が56.9%、「知らない」が21.6%となっています。

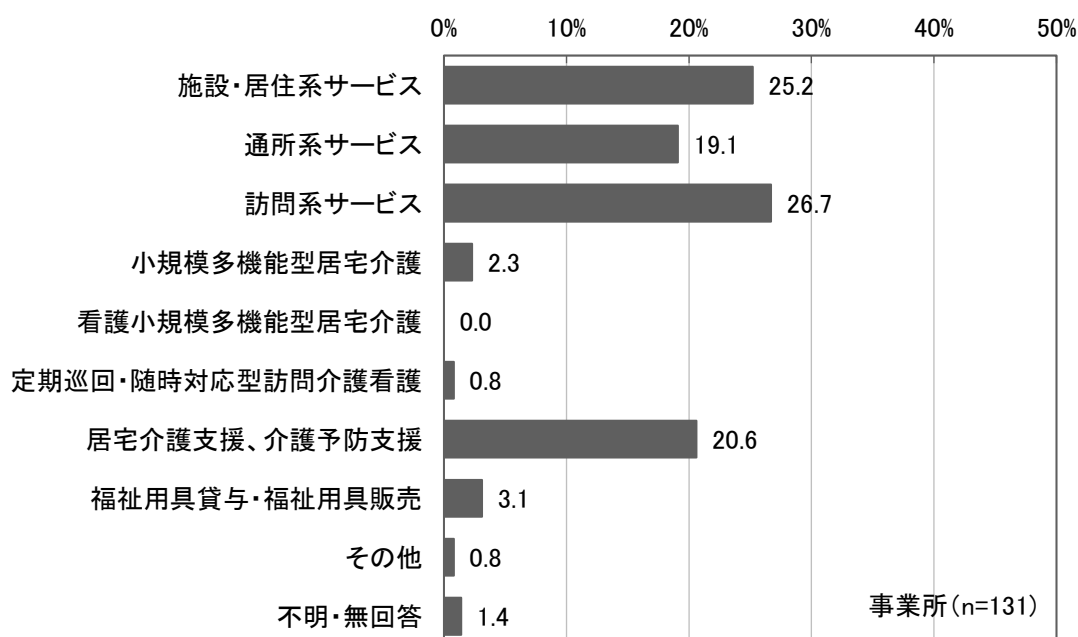


V 事業所調査結果

1 事業所の概要について

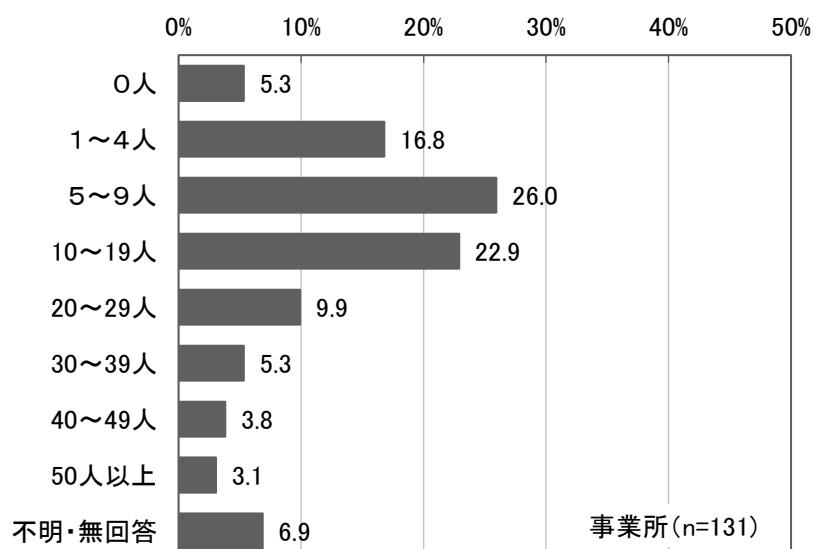
問1 貴事業所のサービス種別（介護予防を含む）をお答えください。（単数回答）

事業所のサービス種別について、「訪問系サービス」が26.7%と最も高く、次いで「施設・居住系サービス」が25.2%、「居宅介護支援、介護予防支援」が20.6%となっています。



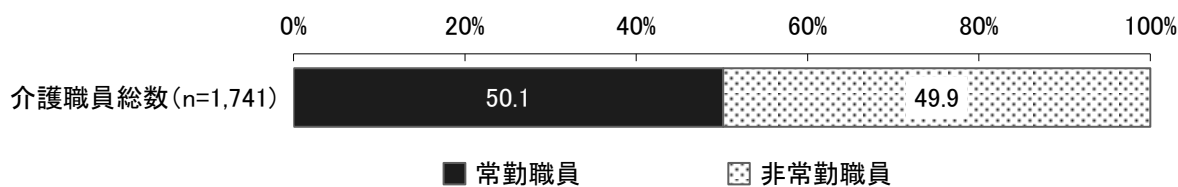
問2 貴事業所等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員の総数をご記入ください。（令和7年11月1日時点の人数を記入）（数値回答）

事業所等に所属する介護職員について、常勤職員・非常勤職員を合算した総数は「5～9人」が26.0%と最も高く、次いで「10～19人」が22.9%、「1～4人」が16.8%となっています。



■ 常勤職員・非常勤職員の比率

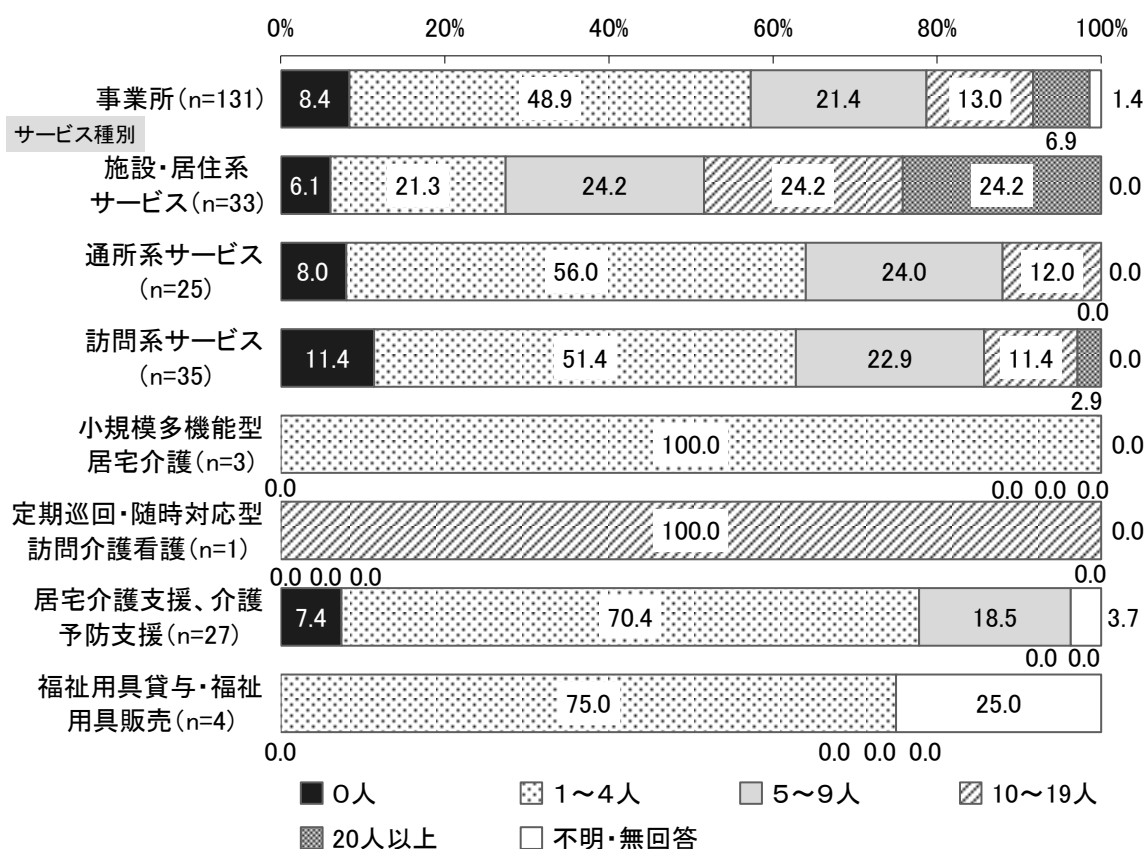
回答した事業所の介護職員すべてを合算すると、1,741 人となっています。内訳は「常勤職員」が 50.1%、「非常勤職員」が 49.9%となっています。



■ 常勤職員

施設等に所属する介護職員の総数について、常勤職員は「1～4 人」が 48.9%と最も高く、次いで「5～9 人」が 21.4%、「10～19 人」が 13.0%となっています。

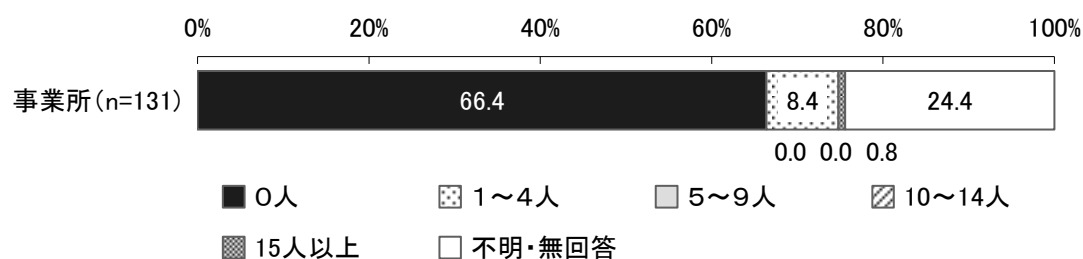
n=10 以上のサービス種別をみると、『施設・居住系サービス』では「5～9 人」「10～19 人」「20 人以上」が、『通所系サービス』『訪問系サービス』『居宅介護支援、介護予防支援』で「1～4 人」が、それぞれ最も高くなっています。



※「看護小規模多機能型居宅介護」は 0 件であるため、掲載していません。

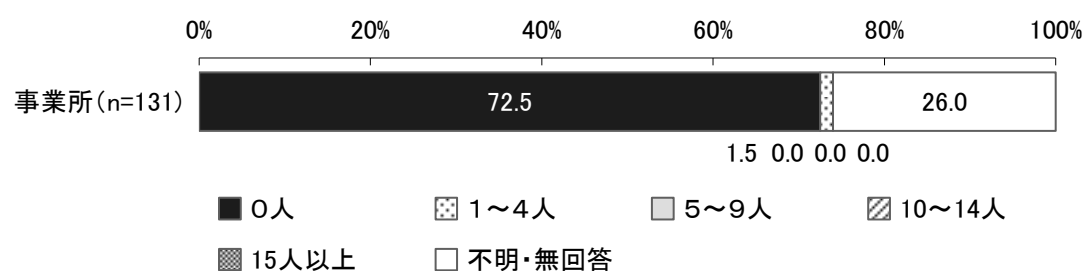
◆常勤職員のうち外国人職員数（数値回答）

常勤職員のうち外国人職員数について、「0人」が66.4%と最も高く、次いで「1～4人」が8.4%、「15人以上」が0.8%となっています。



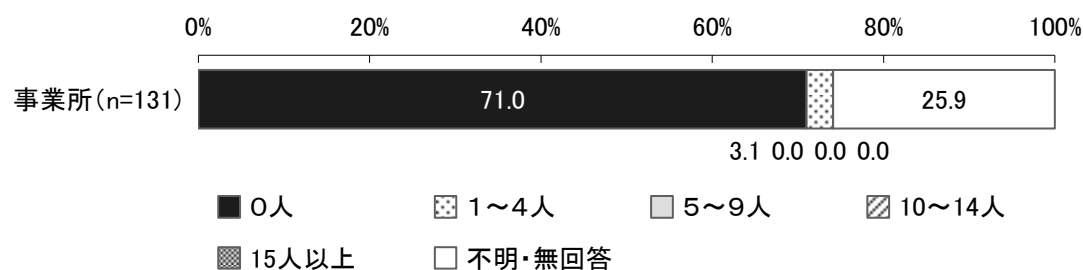
◆常勤職員のうち派遣職員数（数値回答）

常勤職員のうち派遣職員数について、「0人」が72.5%と最も高く、次いで「1～4人」が1.5%となっています。



◆常勤職員のうち障害者手帳所持者職員数（数値回答）

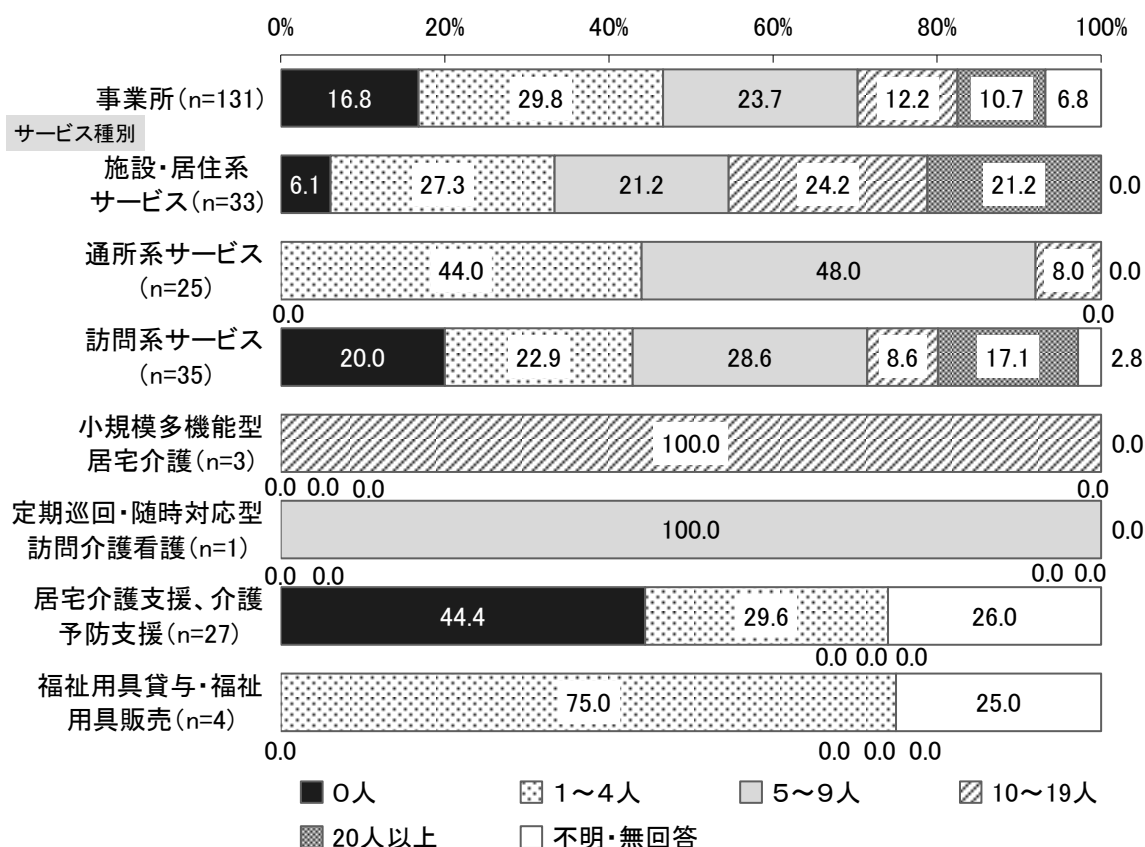
常勤職員のうち障害者手帳所持者職員数について、「0人」が71.0%と最も高く、次いで「1～4人」が3.1%となっています。



■ 非常勤職員

事業所等に所属する介護職員の総数について、非常勤職員は「1～4人」が29.8%と最も高く、次いで「5～9人」が23.7%、「0人」が16.8%となっています。

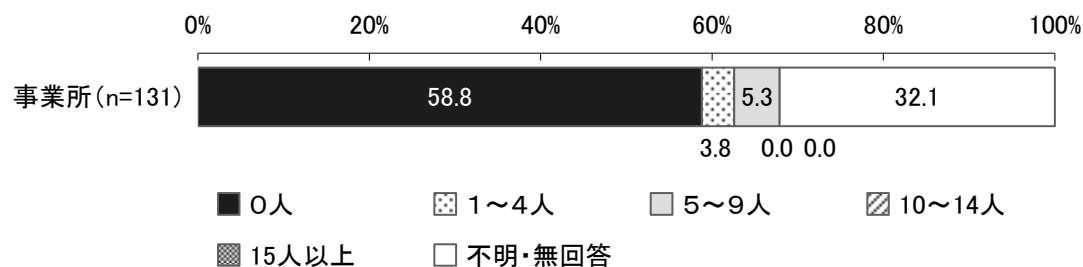
n=10以上のサービス種別をみると、『施設・居住系サービス』で「1～4人」が、『通所系サービス』『訪問系サービス』で「5～9人」が、『居宅介護支援、介護予防支援』で「0人」が、それぞれ最も高くなっています。



※「看護小規模多機能型居宅介護」は0件であるため、掲載していません。

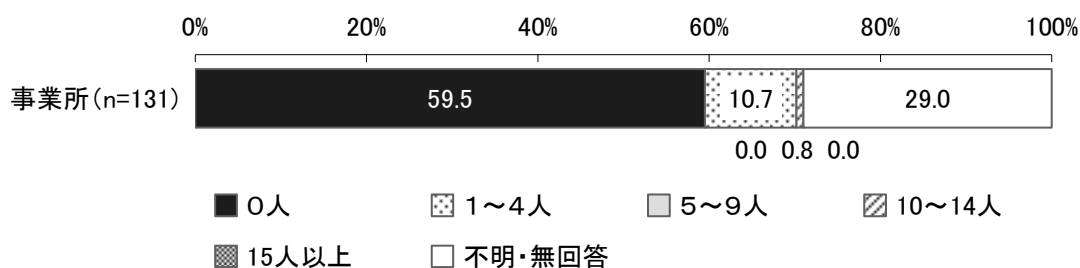
◆非常勤職員のうち外国人職員数（数値回答）

非常勤職員のうち外国人職員数について、「0人」が58.8%と最も高く、次いで「5～9人」が5.3%、「1～4人」が3.8%となっています。



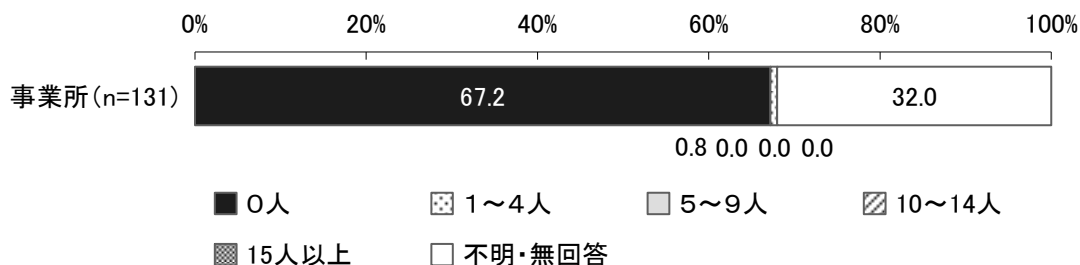
◆非常勤職員のうち派遣職員数（数値回答）

非常勤職員のうち派遣職員数について、「0人」が59.5%と最も高く、次いで「1～4人」が10.7%、「10～14人」が0.8%となっています。



◆非常勤職員のうち障害者手帳所持者職員数（数値回答）

非常勤職員のうち障害者手帳所持者職員数について、「0人」が67.2%と最も高く、次いで「1～4人」が0.8%となっています。



問3 貴事業所は開所から1年以上経過していますか。(単数回答)

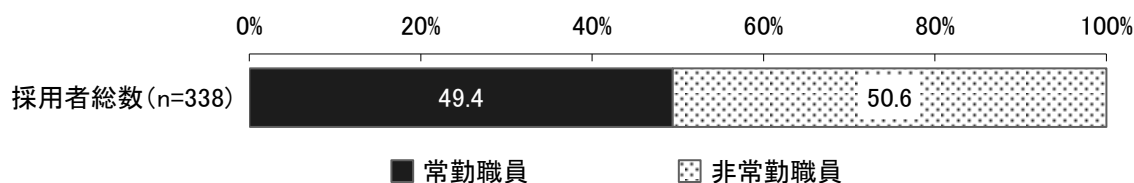
開所から1年以上経過しているかについて、「はい」が97.0%、「いいえ」が3.1%となっています。



問4 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）の介護職員等の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。(数値回答)

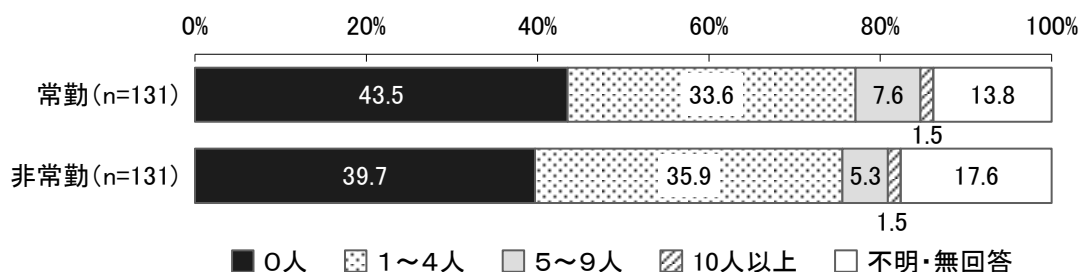
採用者の常勤職員・非常勤職員の比率

回答した事業所の過去1年間の介護職員等の採用者数すべてを合算すると、338人となっています。内訳は「常勤職員」が49.4%、「非常勤職員」が50.6%となっています。



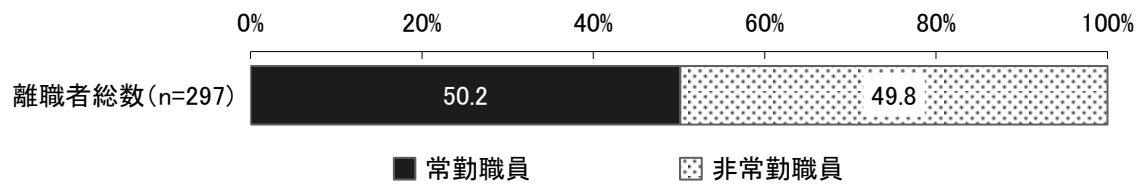
常勤・非常勤別の採用者数

過去1年間の介護職員等の採用者数について、常勤、非常勤ともに「0人」がそれぞれ43.5%、39.7%と最も高く、次いで「1～4人」がそれぞれ33.6%、35.9%、「5～9人」がそれぞれ7.6%、5.3%となっています。



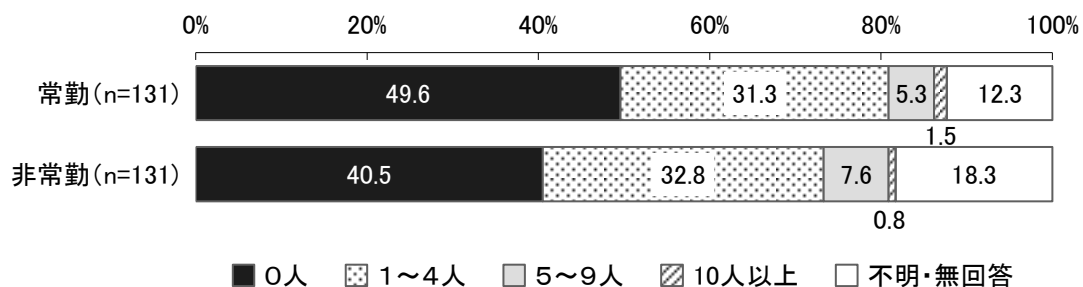
■■ 離職者の常勤職員・非常勤職員の比率

回答した事業所の過去1年間の介護職員等の離職者数すべてを合算すると、297人となっています。内訳は「常勤職員」が50.2%、「非常勤職員」が49.8%となっています。



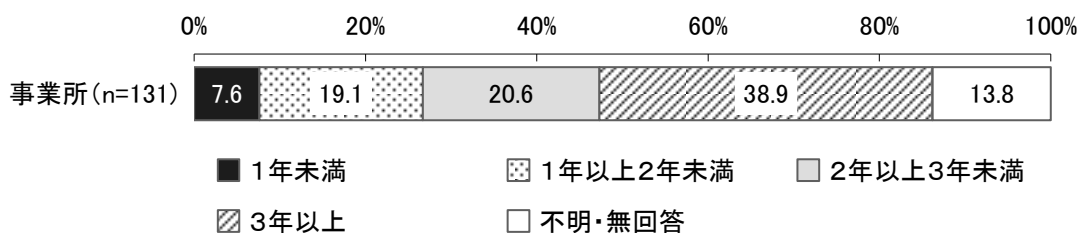
■■ 常勤・非常勤別の離職者数

過去1年間の介護職員等の離職者数について、常勤、非常勤ともに「0人」がそれぞれ49.6%、40.5%と最も高く、次いで「1～4人」がそれぞれ31.3%、32.8%、「5～9人」がそれぞれ5.3%、7.6%となっています。



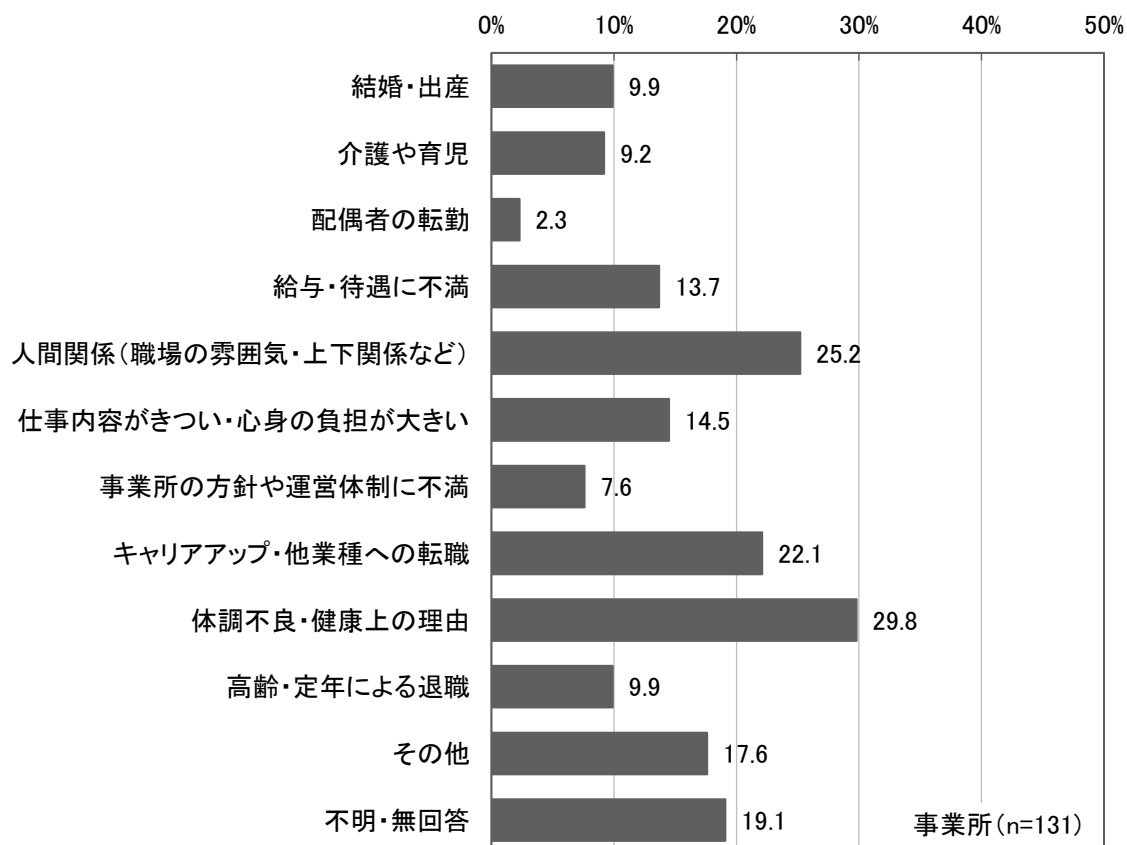
問5 開所以降、離職者の平均勤続年数はどれくらいですか。(数値回答)

離職者の平均勤続年数について、「3年以上」が38.9%と最も高く、次いで「2年以上3年未満」が20.6%、「1年以上2年未満」が19.1%となっています。



問6 過去1年間の離職者の主な離職理由をお答えください。(複数回答)

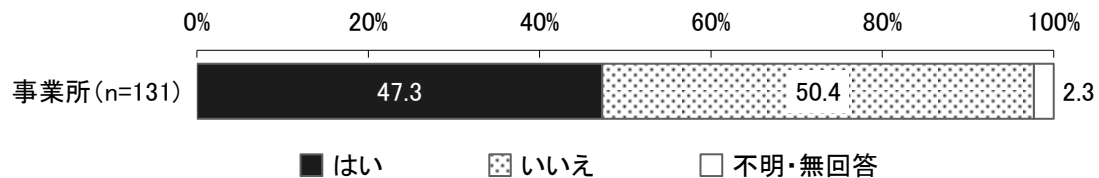
過去1年間の離職者の主な離職理由について、「体調不良・健康上の理由」が29.8%と最も高く、次いで「人間関係（職場の雰囲気・上下関係など）」が25.2%、「キャリアアップ・他業種への転職」が22.1%となっています。



2 事業所の業務の状況について

問7 介護職員以外でも対応できる業務を介護職員が行っていますか。(単数回答)

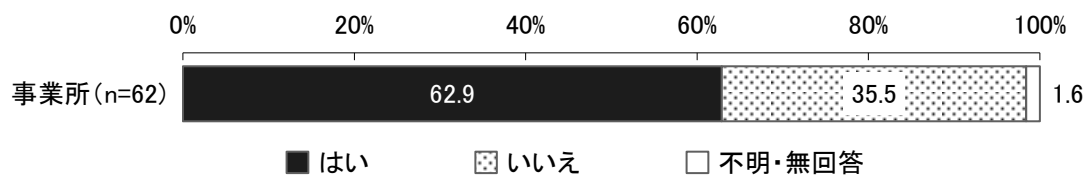
介護職員以外でも対応できる業務を介護職員が行っているかについて、「はい」が47.3%、「いいえ」が50.4%となっています。



<問7で「はい」と回答した事業所のみ>

問8 介護職員以外でも対応できる業務を、介護職員が負担に感じることはありますか。(単数回答)

介護職員以外でも対応できる業務を、介護職員が負担に感じることはあるかについて、「はい」が62.9%、「いいえ」が35.5%となっています。



<問7で「はい」と回答した事業所のみ>

問9 貴事業所の業務で介護職員以外でも対応できる業務には、こういったことがありますか。(自由回答)

貴事業所の業務で介護職員以外でも対応できる業務
■ 掃除や清掃業務
清掃業務。(3件)
清掃。(2件)
掃除。(16件)
各所の掃除。
掃除(職種問わずに実施)。
掃除などの環境整備。
自費サービスでの大掃除。
浴室の掃除。
住宅施設内外の清掃。
事務所の清掃。
片付け。(2件)
ごみ出し。
ゴミ出し等雑用。
ごみ捨て。
洗濯。(9件)
リネンの洗濯。
草取り。(2件)
庭の手入れ。
洗濯や掃除など生活面の手伝い。
環境整備。
環境整備(掃除・洗濯・洗い物、シーツの交換など)。
シーツ交換など直接介護ではない仕事。
ベッドメイキング。
業務終了後の掃除(トイレ、洗面台、机、椅子等)。
■ 食事の準備や片付け
食事(調理・片付け)。
食事づくり。
料理。
食事の用意。(5件)
食事の片付け。(4件)
おやつの準備(3件)
厨房業務。(4件)
厨房の手伝い(皿洗い)。
調理スタッフが休みの時の対応。
炊事場業務(洗い物)。

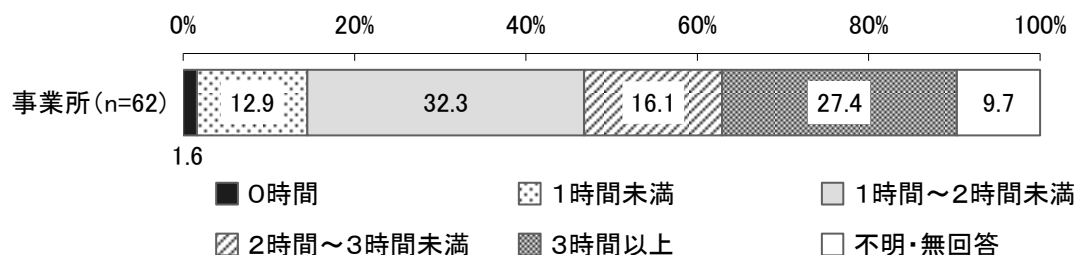
貴事業所の業務で介護職員以外でも対応できる業務
コップ洗い。
コップの洗浄・準備。
■ 送迎や社用車管理
送迎。(5件)
送迎ドライバー。
利用者の自動車送迎。
業務車の管理。
社用車の管理。
社用車のガソリン補充。(2件)
■ 事務作業(電話、書類作成、来客対応など)
会計関係。
経理事務。
物品補充。(3件)
備品管理。
備品の補充。
備品修理。
福祉用具の発注。
勤怠管理。
給与計算。(2件)
集金。
書類作成。
書類管理に関わる業務。
ファイルの整理。
契約書等背表紙作成業務(内容は当方で行う。)
事業所からの報告、連絡用紙のファイリング業務。
提供票仕訳。
文書集配。
電話対応。(6件)
外部業者や家族との電話対応。
FAX整理。(3件)
お客様対応。(3件)
家族への対応。
お茶出し(準備)。
施設見学説明。
バイタルサインのタブレット入力及び記録。(2件)
入居者健診・予防接種の事務手続き。
受診の対応。
郵送書類の確認・処理、書類の印刷、郵送物の準備、電話対応、必要物品の購入。
■ その他
買い物。(3件)

貴事業所の業務で介護職員以外でも対応できる業務
買い出し。
備品の買い物。(2件)
入浴介助等。
入浴後のドライヤー。
利用者の髪乾かし(整髪)。
布団の準備。
利用者の移動。
朝の受け入れの準備。
利用者との会話。
利用者の荷物の整理。
入居者の見守り。
子守り。
レクリエーションや体操。
イベント行事。
自費サービス。
日中一時支援事業のスタッフ。
併設事業所の宿直業務。
介護保険以外でも、郵便物で分からない事があると相談される。
間接業務が多い。

<問7で「はい」と回答した事業所のみ>

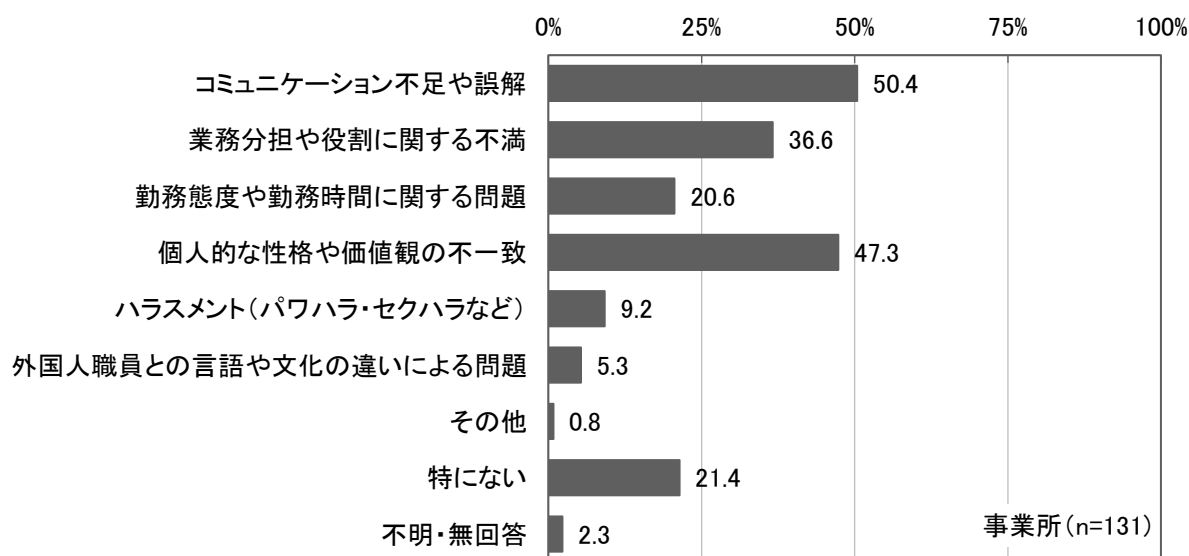
問 10 介護職員以外でも対応できる業務に、介護職員が1日どのくらいの時間を費やしていますか。(数値回答)

介護職員以外でも対応できる業務に、介護職員が1日あたりに費やしている時間について、「1時間～2時間未満」が32.3%と最も高く、次いで「3時間以上」が27.4%、「2時間～3時間未満」が16.1%となっています。



問 11 これまでに、職員同士のトラブル対応において、どのような困ったことがありましたか。(複数回答)

職員同士のトラブル対応において困ったことについて、「コミュニケーション不足や誤解」が50.4%と最も高く、次いで「個人的な性格や価値観の不一致」が47.3%、「業務分担や役割に関する不満」が36.6%となっています。



3 事業所の人材確保の状況について

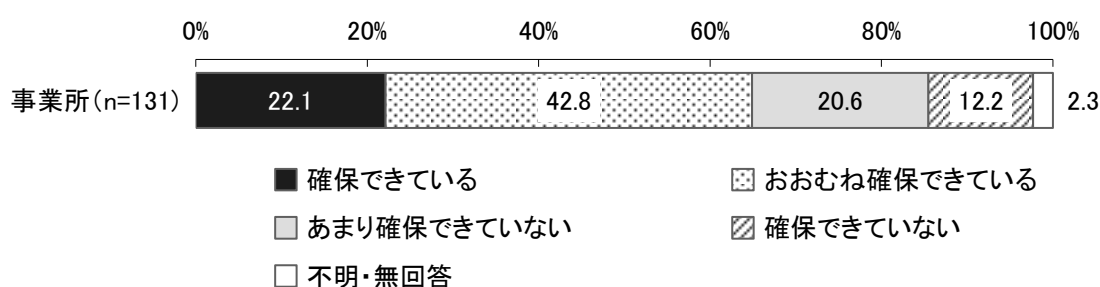
問12 この1年間、貴事業所における介護人材の確保について、おおむねどのような状況ですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『確保できている』 … 「確保できている」と「おおむね確保できている」を合算

『確保できていない』 … 「あまり確保できていない」と「確保できていない」を合算

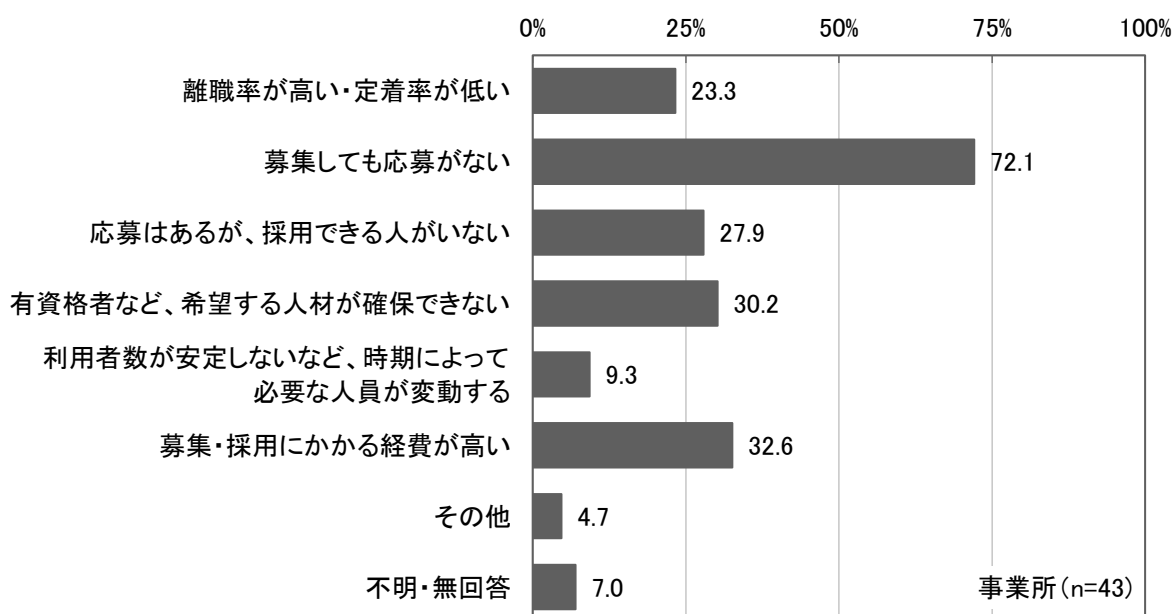
この1年間、事業所における介護人材の確保の状況について、『確保できている』が64.9%、『確保できていない』が32.8%となっています。



<問12で「あまり確保できていない」または「確保できていない」と回答した事業所のみ>

問13 介護人材が不足している主な理由をお答えください。(複数回答)

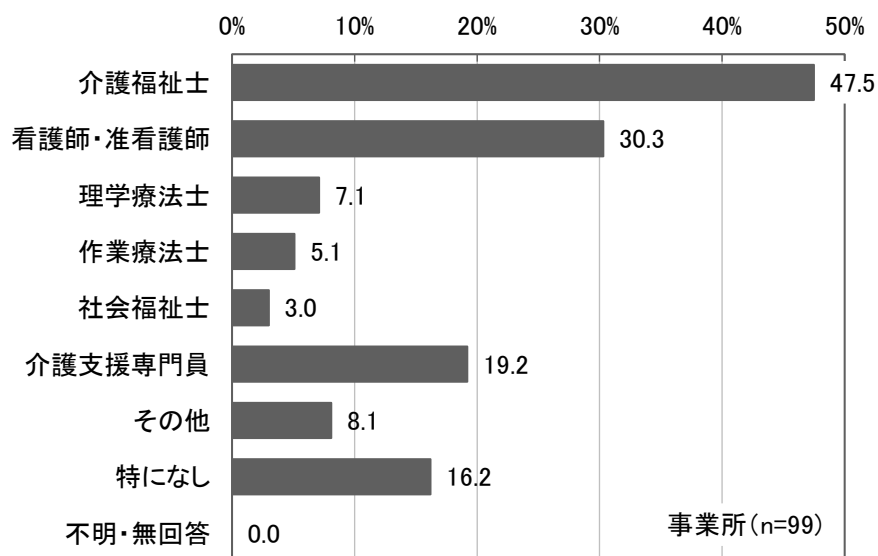
介護人材が不足している主な理由について、「募集しても応募がない」が72.1%と最も高く、次いで「募集・採用にかかる経費が高い」が32.6%、「有資格者など、希望する人材が確保できない」が30.2%となっています。



<問12で「おおむね確保できている」「あまり確保できていない」または「確保できていない」と回答した事業所のみ>

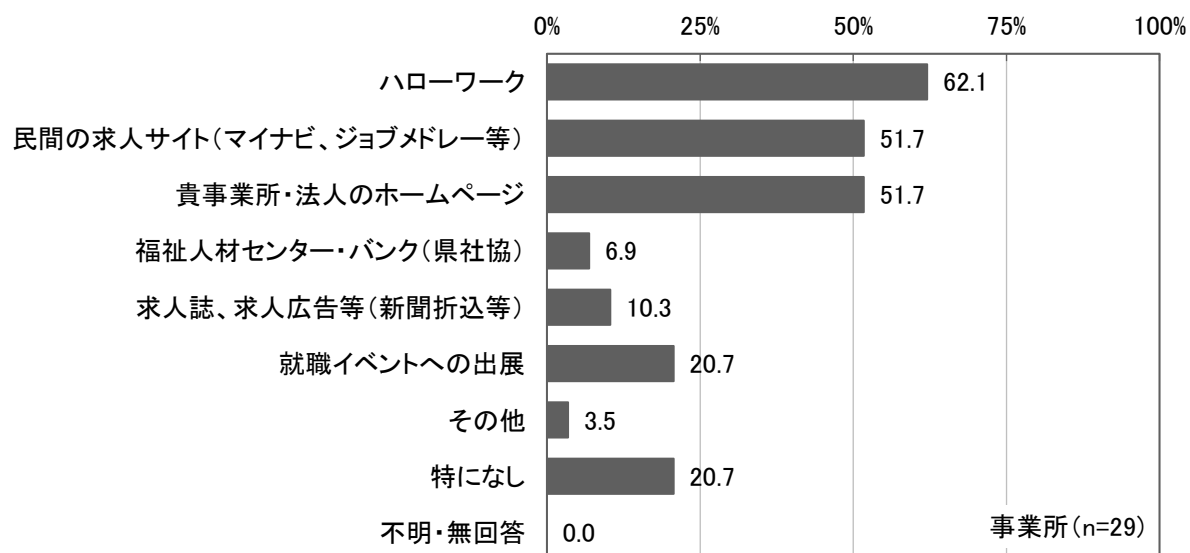
問14 貴事業所で不足している専門職種がある場合、その専門職種は何ですか。
(複数回答)

不足している専門職種について、「介護福祉士」が47.5%と最も高く、次いで「看護師・准看護師」が30.3%、「介護支援専門員」が19.2%となっています。



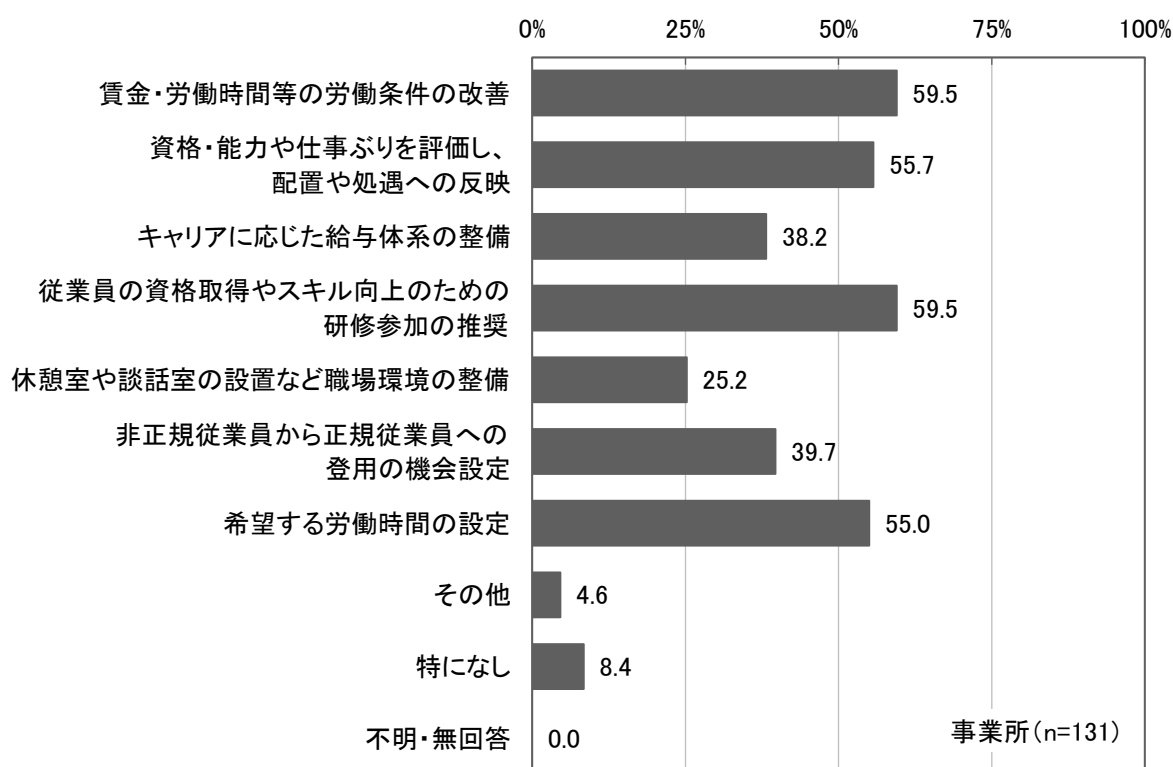
問 15 貴事業所において、介護職員の求人に利用しているものは何ですか。（直近1年以内に利用したもの）（複数回答）

介護職員の求人に利用している媒体について、「ハローワーク」が 62.1%と最も高く、次いで「民間の求人サイト（マイナビ、ジョブメドレー等）」「貴事業所法人のホームページ」がそれぞれ 51.7%、「就職イベントへの出展」「特になし」がそれぞれ 20.7%となっています。



問 16 貴事業所で人材を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(複数回答)

事業所で人材を定着させるために取り組んでいることについて、「賃金・労働時間等の労働条件の改善」「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」がそれぞれ 59.5%と最も高く、次いで「資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映」が 55.7%、「希望する労働時間の設定」が 55.0%となっています。



問 17 介護人材の採用や定着に関する課題があれば、ご記入ください。(自由回答)

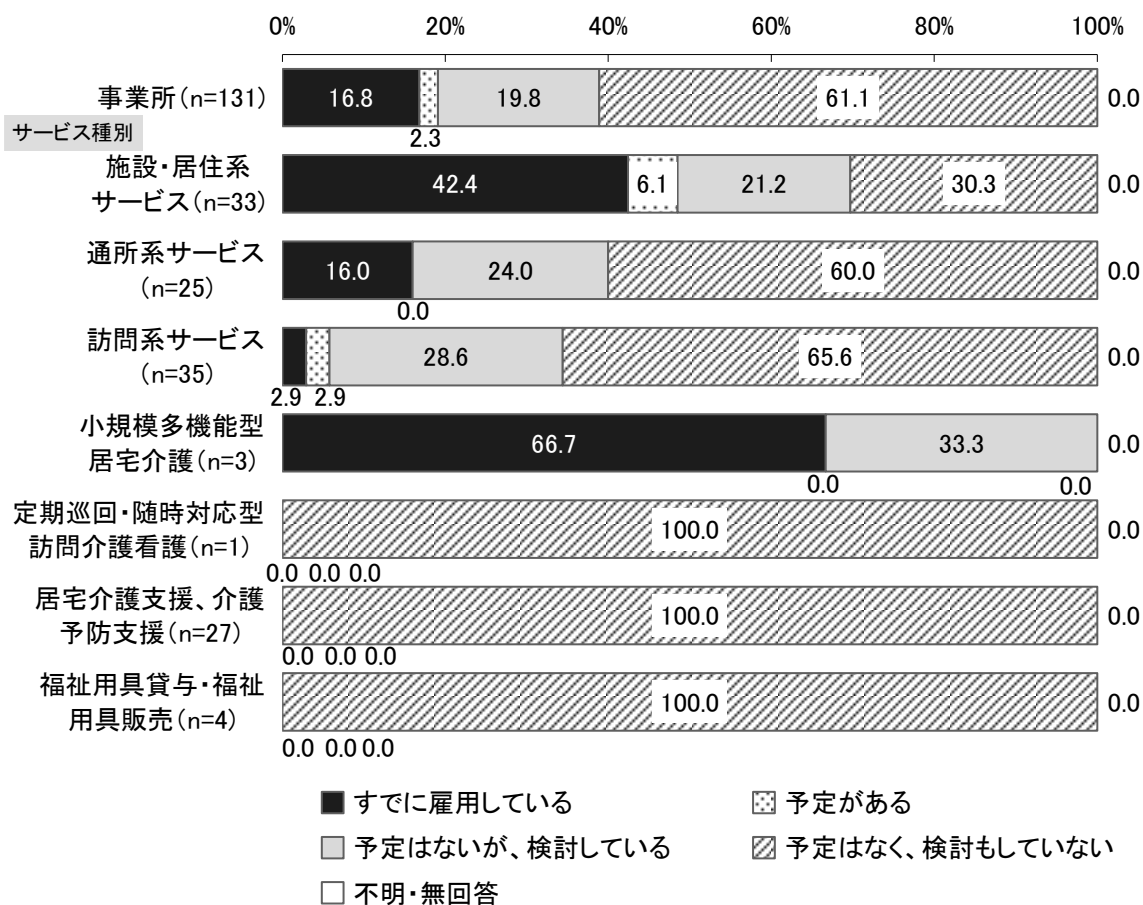
介護人材の採用や定着に関する課題
■ 給与や賃金について
介護支援専門員の給与面や法人内売上に対し、モチベーションが上がりにくい環境にあると思います。
地域に密着している小さな事業所は特に利益率が低く、一般の給与体系に合わせるのが難しいため、賃金が安く、人を集めることが難しい。
職員の給与が低い。転職者（給与低い、退職金少ない）採用でないと予算に合わない。
財源が少ないため、高い給料の提示ができない。
非正規従業員から正規従業員への登用が可能になると励みになると思う。正規従業員（社保加入も含む）。
給料が安い。仕事がハード。
全体的に介護の仕事に携わる方の負担軽減と賃金の低さ、髪色の選択。
財源が少ないため、高い給料の提示ができない。
賃金を上げないと人がこないが、介護報酬が追いついていない。医療法人の運営する施設と一般の施設でも報酬に差があり過ぎる。求人も多いため、辞めてもすぐに次の施設が見つかる。
■ 人材の定着や採用について
現場での人材教育。新人とベテランの壁。（対立関係になりやすい。）
私の職場は、祝日の休みに有給を使用しなければいけない。年 10 日の有給もらっても半分祝日に使用するため辛い。人に勧められないとの声大きい。
介護人材も年齢が高い人が多いため、どうしても即戦力となる経験者しか定着しない。年齢が高い未経験者、初心者定着し難い。
各市町村の事業所のそれぞれのルールや制度を覚える必要があり、マニュアル作成もできないため、新人の時のやる気が大切であるが、やる気があるのかないのかを採用の時に見抜くことができない。
民間求人サイトからの応募者の定着が悪い。
職種によっては求人しても応募がない。
募集をかけても応募がない。
人柄を最も重視しているため、リファラル採用を主に活用している。ハローワークの紹介では、過去 2 回ほど試したが、面接後の採用実績は 0 であり、時間と労力もかかるため、活用に不安をもっている。
他の施設で働いていた方から「送迎や介護は大丈夫です、やれます」と面接では調子が良かったが、いざやってもらったところ、「そんな事は初めて」とか「以前はそこまでやらなかった」とか、こちら側とのギャップがあった。面接時の話し合いが足りなかったと反省をした。
介護業界の印象がまだまだ悪いと思う。実際はそうでもないが、劣悪な環境で、ただ大変な仕事としか思われていないことが多い。
志が低い。とりあえず働けばいい人が来やすい。専門性が確立していないから。
人員不足の時間帯に勤務できる人を採用できない（土日祝、朝夕夜間）。
医療依存度の高い利用者が多いため、ある程度経験がないと従事することが難しいため。人員が不足している中で教育する時間も満足に取れない。
中途採用が多いが、介護感でついていけないことが多い。少数で頑張っている時間が長く、少数精鋭となり、新しい職員がついていけない気持ちになる。
■ 求人や採用コストについて
民間求人サイトの求人は費用が高い一方で求人はできるが、委託でまかなうのではないかな。
民間の求人サイトは高額で負担が大きい。福利厚生を充実させようとしても資金を生み出せない。（料金改定による減収のため。）採用に関して補助金を出してほしい。

介護人材の採用や定着に関する課題
近年、介護職員の採用において紹介業者を介するケースが増えています。しかし、紹介手数料が高額（年収の約3割）であることが多く、事業所にとって大きな負担となっています。求人広告費も高額なので、見直しが必要かと思います。 かつては求職者が自ら応募していたため、仲介コストはほとんどかかりませんでしたが、現在は祝い金目当てで登録する求職者もあり、採用コストが過剰に膨らむ傾向があります。 実際には働く意欲のある人材は多数存在し、無職の方も少なくありません。直接つながる仕組みを整えることができれば、採用コストを抑え、安定した人材確保につながると考えられます。
■ 職場の人間関係や精神面への配慮
職員一人ひとりの想いを可能な限り聴き入れるように心がけています。性格や価値観の違うスタッフはユニットを変えたり、勤務が被らないようにして、できるだけ働きやすい環境を提供しています。
人間関係。精神面の安定が得られることへの配慮。
職場での人間関係に気配りをしています。
未経験や高齢で入職される方へ、腰痛など怪我をしないための指導方法を確立できていない。

問 18 貴事業所において、外国人従業者を雇う予定はありますか。(単数回答)

外国人従業者を雇う予定について、「予定はなく、検討もしていない」が 61.1%と最も高く、次いで「予定はないが、検討している」が 19.8%、「すでに雇用している」が 16.8%となっています。

サービス種別では、「予定はなく、検討もしていない」が『施設・居住系サービス』で 30.3%、『通所系サービス』で 60.0%、『訪問系サービス』で 65.6%、『居宅介護支援、介護予防支援』で 100%となっています。



※「看護小規模多機能型居宅介護」は0件であるため、掲載していません。

<問18で「すでに雇用している」と回答した事業所のみ>

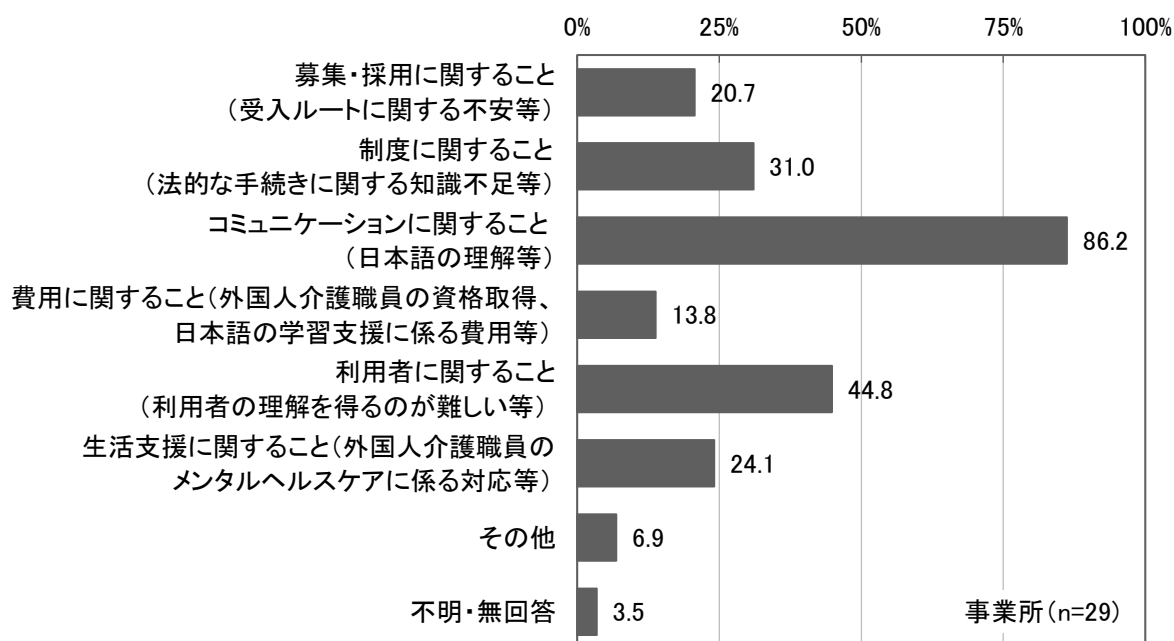
問19 外国人従業員を雇用するにあたって、特に苦慮した点等をご記入ください。（自由回答）

特に苦慮した点等
■ 日本語能力や言語の壁に関する課題 外部からの電話対応、文章の書き方。 日本語の習得。 日本語能力やコミュニケーションへの不安。介護に対する考え方や死生観等。 日本国籍を取得した外国人の雇用をしているが、言葉の壁に苦心している。言語変換のアプリ等を活用している。 言葉の問題。 日本語習得が難しく、疾患など細かい部分の理解の教育に難しさを感じた。理解の把握に関しても「わかった」と言われるとそれ以上伝えることができなくなる。 コミュニケーションの壁があり、認識の違いが生じやすいため既存スタッフの理解と協力を促した。 日本語の理解、キャリア、結婚、出産。 以前雇用していたことがあったが、仕事はそつなくできていてコミュニケーションもしっかり取れていた。ただ本人が記録をスマホに入力する際、日本語入力に苦労していた。自己都合により退職。 言葉。 弊社で現在雇用している外国人職員は永住権を有し、もともと日本で生まれ育っているため、日本語能力に問題はなく、業務も支障なく遂行できています。 過去にパートや派遣で海外出身の方を積極的に雇用した経験がありますが、日常生活レベルの日本語ができない場合は、利用者や職員とのコミュニケーションが非常に困難です。また、文化の違いもあるため、お互いの理解が不可欠であり、外国人雇用には言語・文化面のサポートが重要と感じています。 現在、外国人の雇用（特定技能等）についても検討していますが、仲介料金やその他にも費用がかかるため、責任ばかりが企業にかかることが難点です。
■ その他 現在働いている外国人従業者は、ハローワークを通じての採用で特に問題はなかった。 働き方について、本人は熱心に取り組んでいるつもりでも、お国柄的に伝わりにくさを感じた。（過去1年ほど雇用していた。） 宗教上の問題、イスラム教（お祈り、断食期間中の業務制限）の場合の配慮。

<問18で「すでに雇用している」「予定がある」「予定はないが、検討している」のいずれかに回答した事業所のみ>

問 20 外国人従業員を雇用するにあたって、特に問題となった点もしくは懸念している点は何ですか。(複数回答)

外国人従業員を雇用するにあたって、特に問題となった点もしくは懸念している点について、「コミュニケーションに関すること（日本語の理解等）」が86.2%と最も高く、次いで「利用者に関すること（利用者の理解を得るのが難しい等）」が44.8%、「制度に関すること（法的な手続きに関する知識不足等）」が31.0%となっています。



<問18で「予定はなく、検討もしていない」と回答した事業所のみ>

問 21 検討していない理由を以下にご記入ください。(自由回答)

検討していない理由
■ 介護支援専門員など資格要件
介護支援専門員の資格が必要であるため。(2件)
地域包括支援センターは専門職なので難しい。
精神科で訪問看護を専門としてやっているため。
介護職員ではないので。
ケアマネジャー資格を持っている方であれば検討できる。
資格取得者がいない。
資格が必要なため。
業務上、3職種が必要であるため
医療専門職の資格が必要なため
訪問系サービスにおいて言語の壁があるとクレームにつながる。有資格者に外国人がほぼいない。

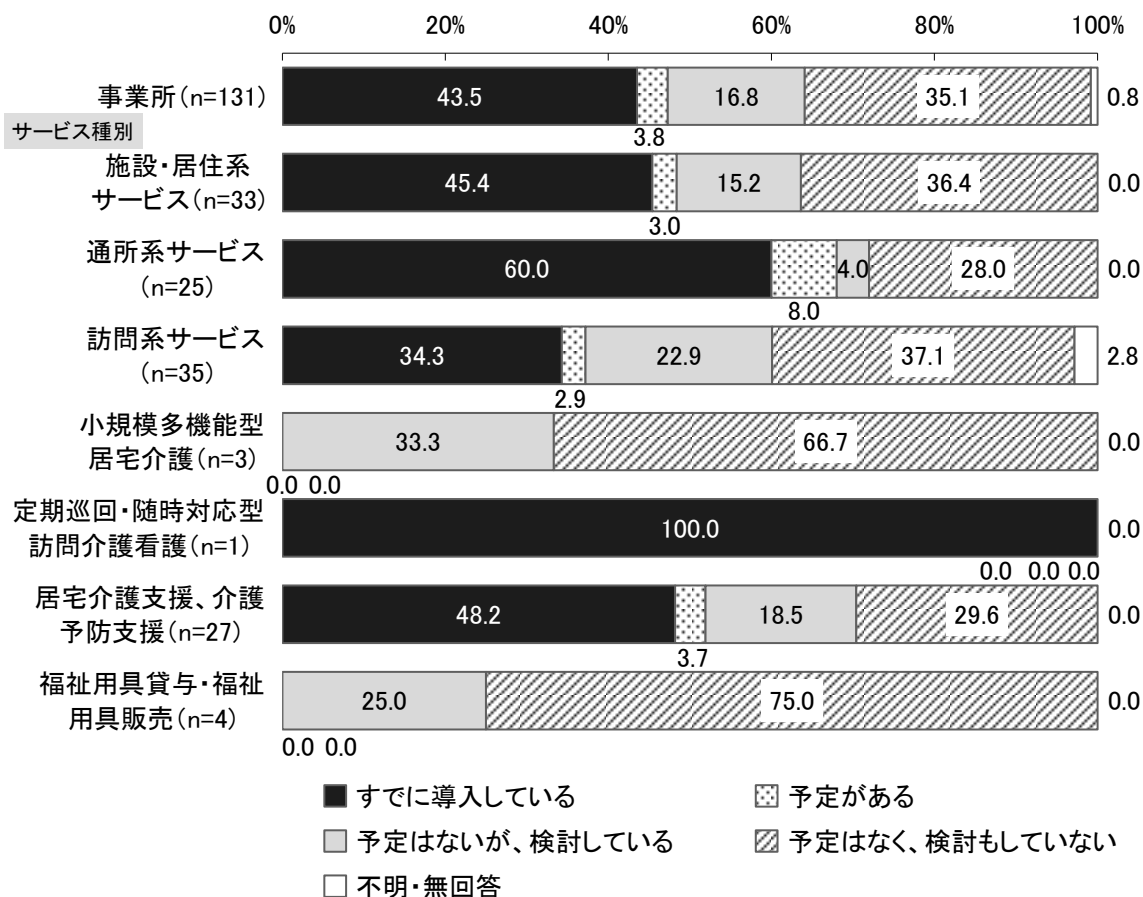
検討していない理由
■ コミュニケーション能力の不安
コミュニケーションの難しさ。教育体制が整っていない。(2件)
定期巡回は訪問系サービスなので、コミュニケーションがしっかりと取れないと難しい。
障害者や高齢者などコミュニケーションの難しい利用者が多いため。
ケアマネジャーはコミュニケーション能力や書類作成・整備能力が必要とされるので、日本語の読み書きに問題なければ採用もあり得る。
日本語がうまく使えないとケアマネジャーは難しいと思う。コミュニケーションが取れば問題はないと思う。
福祉用具専門相談員はコミュニケーション能力が高いことが必須だと考えるため。
コミュニケーション能力。以心伝心がしづらいと思うため。
何度か面接したことはあるが、基本的なコミュニケーションが不十分では訪問介護という1対1の現場で十分なフォローができず、利用者の負担になると考えたため。
入力業務や言葉の壁があるため検討していない。
利用者や従業員とのコミュニケーションの不安。先に事業所としての基盤を固めてから検討をしたい。
面接時間にも来ないので、日本人と比べて、責任感が違うように感じるため。
訪問介護も外国人労働者の受け入れが可能になったが、言葉の課題などがある場合、対応できる職員が少ないのと、どう対応したらよいのか分からないため。
■ 文化や習慣の違いへの懸念
利用者と職員とのコミュニケーション問題、習慣の違い、外国人従業員の生活面でのサポート等のフォローができない(余力がない)。できない業務があった時の他職員への負担等。(2件)
外国人の方では難しいと思う業務内容だから。
居宅ケアマネは個々で担当利用者を担当するため、言葉の壁や文化の壁があり、常に訪問に付き添う事ができないため。
他グループで、コミュニケーションや文化の違いで継続できない人が多かった。
高齢者宅に訪問介護は受け入れが見込めないと思います。
訪問介護で利用者と1対1になった場合の不安。利用者に受け入れてもらえるかが心配。
文化の壁
■ 人材確保が十分で必要性がない
必要性が今はないため。
必要人数であるため。
外国人を雇用するよりも、まずは仕事に困っている日本人の雇用を考えているため。
訪問看護の私にはわからない。難しそうですね。
新規の採用自体を考えていないため。
不要なので。
人事採用についていっていない。
そこまで困っていないから(求人応募があった場合には、通常通りの採用試験を行うつもりではある)
人材の確保に困っていない
人材を十分に確保できているため
総合事業で、加算や定額制の廃止、減算があり、同じ実績で比較した場合、令和5年度と比較して、売上はかなり低下した(10%程度)。外国人か否かによらず人員は増やすことができず、現状のリソースで運営していくしかないため。
今まで誰も応募がなかったため困ったことがなく、外国の方を採用したことがない。それで検討する事もなかった。

検討していない理由
現在、人員不足でないため
日本人で、デイサービスでの業務として、土日休みで就労したい方が多くいるため。
介護職員の人数が十分であるため。人員不足になった時には検討も雇用もありと考えている。
人材の確保ができているため
■ 外国人雇用のコストや手続き負担
コスパが悪い。(2件)
組織的に採用の大前提がJ A口座を持っている人(給与振込のため)となっているが、外国人は通帳をつくることができないため。
外国籍のため通常の雇用手続きよりも事務処理に時間を要したため。
本社より、外国人の方の研修方法が確立されていないので、しばらく控えてほしいと指示が出ている。
■ 応募や有資格者について
今までも応募がないため。グループ会社で採用しているところもあったが問題もあった。
有資格者に会ったことがない。
特別な理由はありませんが、外国人従業者の入職希望なし。
資格所持者が少ない。
応募がこない。
■ その他
特に検討していない。
外国人のケアマネジャーがいるのか把握をしていない。
採用は法人の担当課で行っているため。

問 22 貴事業所において、ＩＣＴやＡＩ、ロボットなどを導入する予定はありますか。
(単数回答)

ＩＣＴやＡＩ、ロボットなどを導入する予定について、「すでに導入している」が43.5%と最も高く、次いで「予定はなく、検討もしていない」が35.1%、「予定はないが、検討している」が16.8%となっています。

サービス種別では、『施設・居住系サービス』『訪問系サービス』が「予定はなく、検討もしていない」がそれぞれ4割近くとなっています。



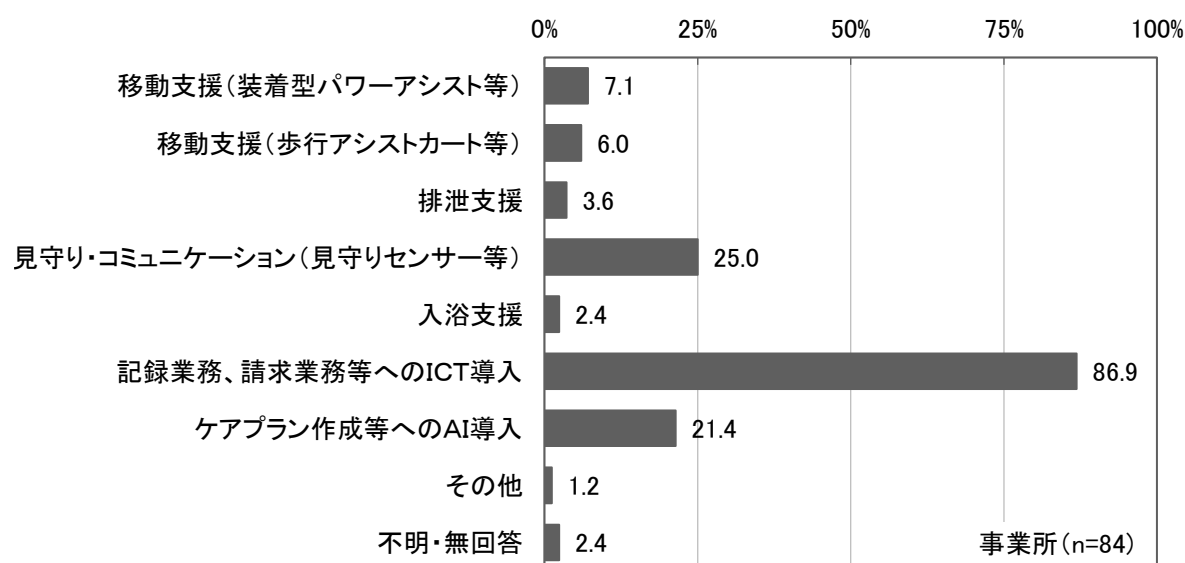
※「看護小規模多機能型居宅介護」は0件であるため、掲載していません。

<問22で「すでに導入している」「予定がある」「予定はないが、検討している」のいずれかに回答した事業所のみ>

問23 すでに導入している、もしくは導入したいと思っているICTやAI、ロボットは何ですか。(複数回答)

すでに導入している、もしくは導入したいと思っているICTやAI、ロボットについて、「記録業務、請求業務等へのICT導入」が86.9%と最も高く、次いで「見守り・コミュニケーション（見守りセンサー等）」が25.0%、「ケアプラン作成等へのAI導入」が21.4%となっています。

サービス種別では、『施設・居住系サービス』『通所系サービス』『訪問系サービス』『居宅介護支援、介護予防支援』で「記録業務、請求業務等へのICT導入」がそれぞれ最も高くなっています。



■サービス種別

(単位: %)	n=	移動支援(装着型パワーアシスト等)	移動支援(歩行アシストカート等)	排泄支援	見守り・コミュニケーション(見守りセンサー等)	入浴支援	記録業務、請求業務等へのICT導入	ケアプラン作成等へのAI導入	その他	不明・無回答
サービス種別										
施設・居住系サービス	21	19.0	19.0	4.8	61.9	0.0	76.2	9.5	0.0	0.0
通所系サービス	18	5.6	0.0	5.6	16.7	5.6	88.9	16.7	5.6	0.0
訪問系サービス	21	4.8	0.0	4.8	14.3	4.8	90.5	23.8	0.0	4.8
小規模多機能型居宅介護	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
居宅介護支援、介護予防支援	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	36.8	0.0	5.3
福祉用具貸与・福祉用具販売	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

※「看護小規模多機能型居宅介護」は0件であるため、掲載していません。

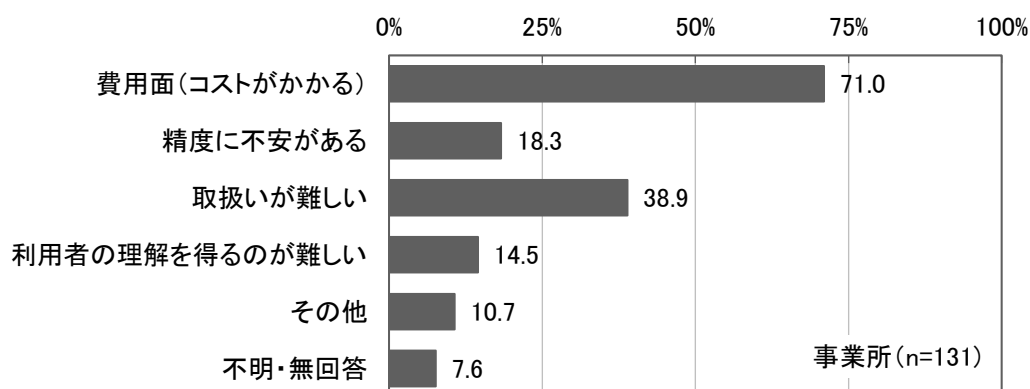
<問22で「予定はなく、検討もしていない」と回答した事業所のみ>

問24 検討していない理由を以下にご記入ください。(自由回答)

検討していない理由
■ 導入や活用の必要性を感じていない
必要ないため。(4件)
介護施設ではないので。
法人として検討する余地がないため。
現状、特に問題なく業務できているため。ICTを導入して在宅ワークができるようにしていきたいと思っている。
ICTは導入済み。AIは現段階では事業所に不相当だと考えるため。
なくても困っていない。
訪問先が自宅なので必要性を感じない。
会社方針のため。
予定がないため。今は必要ないが、いずれは検討をする。
■ 費用や資金面での課題
介護ロボットは初期費用が高く、現場の柔軟な対応には不向きな場合が多い上、効果や導入事例が見えにくく、判断が難しいため導入を見送っている。
資金に余裕がなく、そのお金があればなるべく従業員へ還元することを考えているため。
費用面から難しいと感じている。
資金に余裕がない。
コスパが悪い。
施設の規模が小さいため。
■ 情報不足や不明点が多い
現時点でICTやAI、ロボットなど導入する話を本社から聞いていないためよくわかりません。
わからない。
会社代表の考えのため把握していない。
まだ具体的には話し合いをしていない。
事業所の事情もあり不明です。
在宅での活用法が不明。
導入や維持に関して、そういった機器を扱えるのが不安。
何となく不安。
訪問介護は主に刈谷市内の利用者の自宅が仕事先となるため、市内在住の方や近くの方が短時間でも働いてくれることが必要だと思います。市内の方(主婦や子育て中・介護中の方)に対して呼びかけマッチングをしたり、市から補助(資格取得や補助金など)があればやってみようかなと思う方が増えるのではと期待します。資格の取得から事業所の所属により半分補助があることが、なかなか知られていません。
本社から検討の話を聞いたことがない

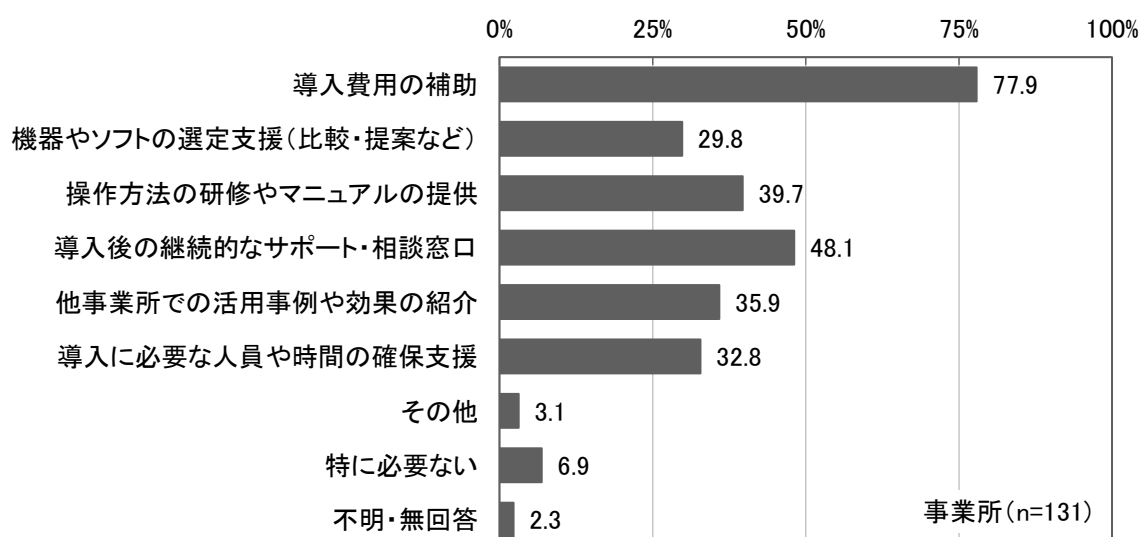
問 25 ICTやAI、ロボットなどを導入するにあたって、特に問題となった点もしくは懸念している点は何ですか。(複数回答)

ICTやAI、ロボットなどを導入するにあたって、特に問題となった点もしくは懸念している点について、「費用面（コストがかかる）」が71.0%と最も高く、次いで「取扱いが難しい」が38.9%、「精度に不安がある」が18.3%となっています。



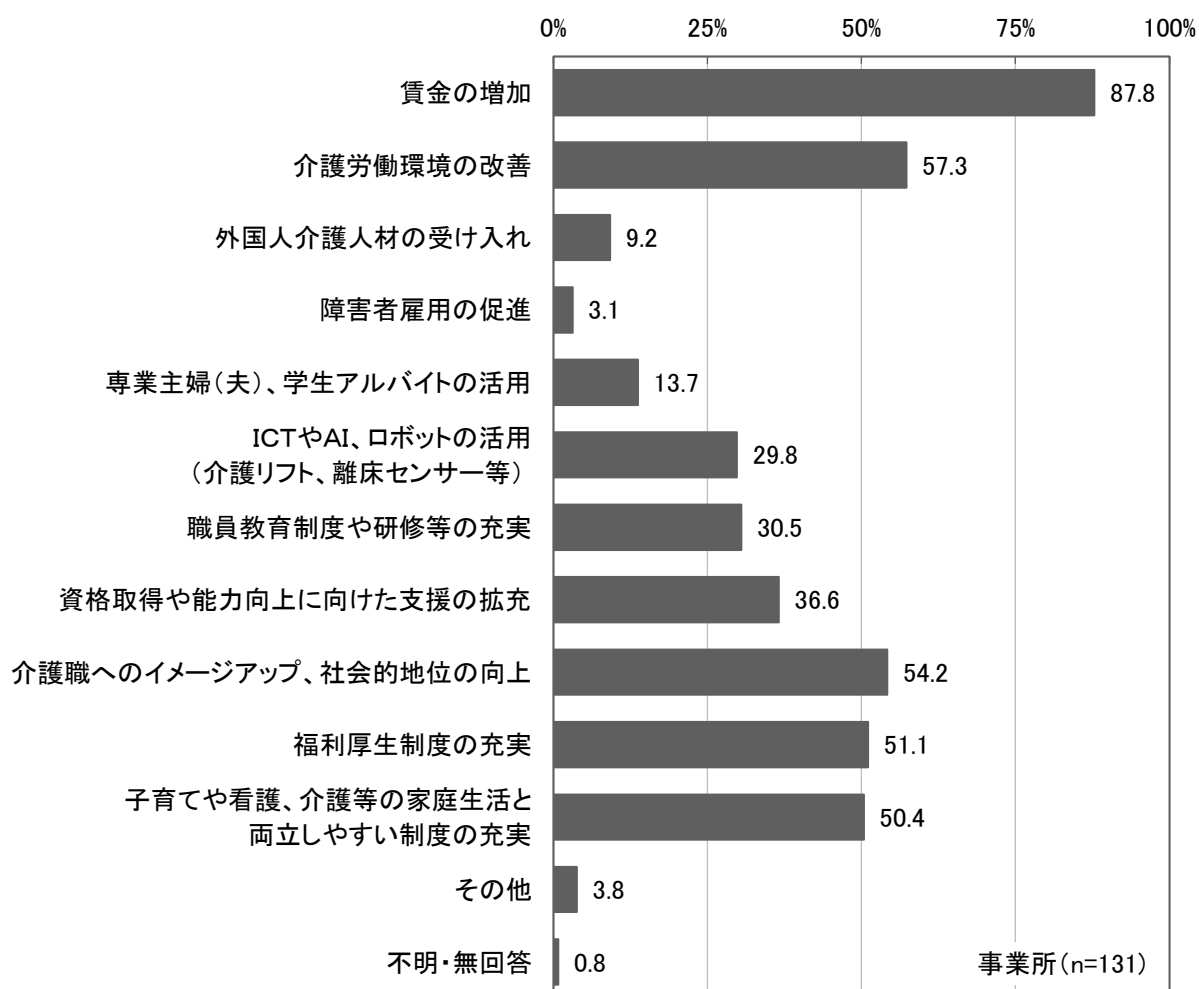
問 26 ICTやAI、ロボットなどの導入に向けて、どのようなサポートがあれば導入しやすくなりますか。(複数回答)

ICTやAI、ロボットなどの導入に向けての支援について、「導入費用の補助」が77.9%と最も高く、次いで「導入後の継続的なサポート・相談窓口」が48.1%、「操作方法の研修やマニュアルの提供」が39.7%となっています。なお、「特に必要ない」は6.9%となっています。



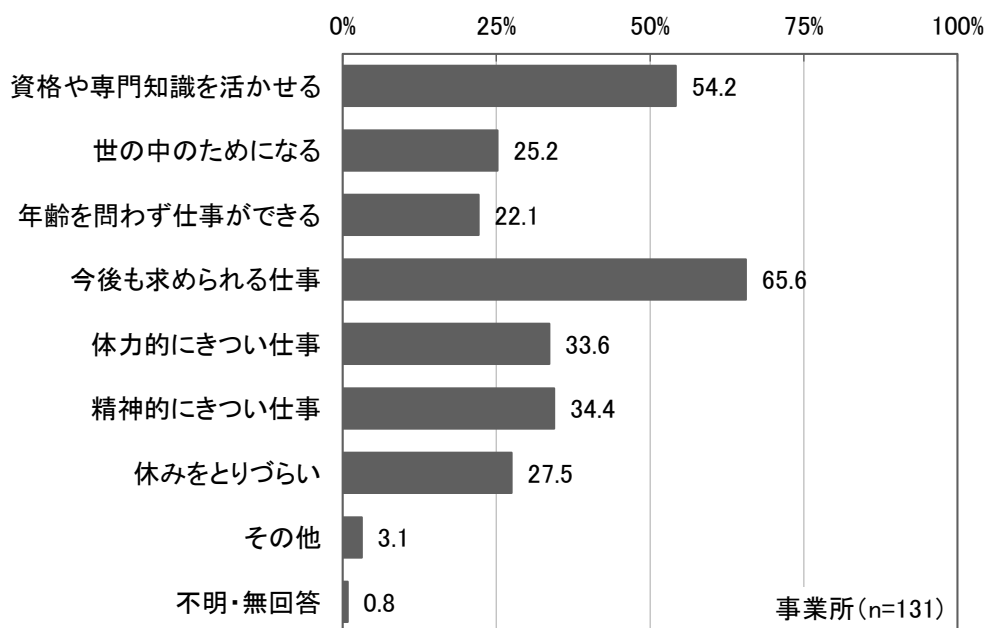
問 27 今後、介護人材の不足を解消するための取組として、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

今後、介護人材の不足を解消するための取組として必要なことについて、「賃金の増加」が 87.8%と最も高く、次いで「介護労働環境の改善」が 57.3%、「介護職へのイメージアップ、社会的地位の向上」が 54.2%となっています。



問 28 介護職に対して、どのようなイメージをお持ちですか。(複数回答)

介護職に対するイメージについて、「今後も求められる仕事」が 65.6%と最も高く、次いで「資格や専門知識を活かせる」が 54.2%、「精神的にきつい仕事」が 34.4%となっています。



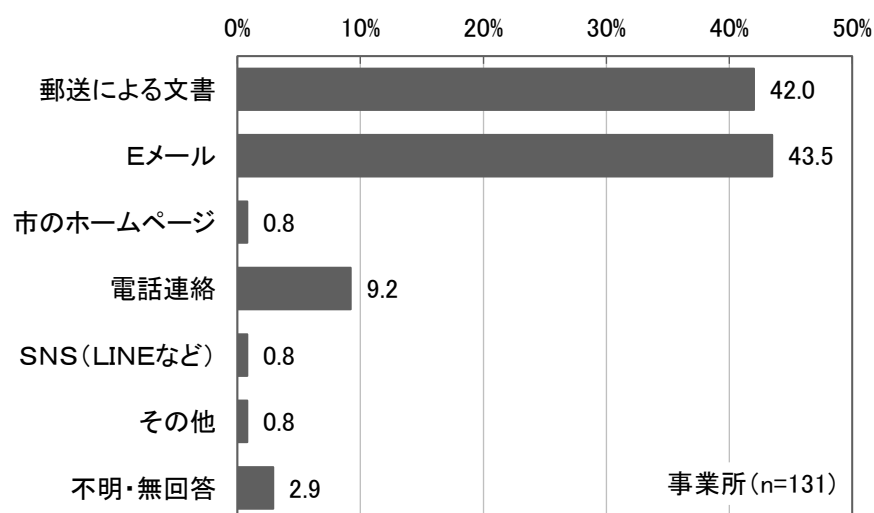
問 29 就職支援の一環として職場体験を行う場合、貴事業所として受け入れは可能ですか。(単数回答)

職場体験を行う場合の受け入れ可否について、「はい」が 64.1%、「いいえ」が 33.6%となっています。



問 30 市から情報を提供する場合、最も確実に情報を受け取れる方法（媒体）をお選び
ください。（単数回答）

市から情報を提供する場合、最も確実に情報を受け取れる方法（媒体）について、「Eメール」が43.5%と最も高く、次いで「郵送による文書」が42.0%、「電話連絡」が9.2%となっています。



問 31 介護人材の確保は、今後の介護業界において非常に重要な課題です。人材確保に関する本市への要望や実施すべき取組等のご意見があればご記入ください。
(自由回答)

人材確保に関する市への要望や実施すべき取組等の意見
■ 資格取得支援や研修費補助
人材派遣に対する一部補助金。
資格取得の支援、人材確保に対する補助金。
資格取得のための研修費の補助、継続研修参加のための働きかけ。
資格取得支援
資格取得ができる講座を開催し、その後就職案内を促していただけると良い。(過去に実例があるため。)
人材の育成。介護職員初任者研修を公費で行政が主催者となって行ってほしい。
潜在介護職員に関する資格補助(初任者研修)はしていただいているが、更なる拡充(実務者研修)を検討してほしい。
■ 賃金アップや報酬改善要望
居宅介護支援事業所にも処遇改善加算の検討。
賃金のアップ。
辞められる方の理由を聞くと給与面が多い。ただ、手を差しのべきれていないのもどかしいです。
職場で働きがいを持って働いています。ただ、辞めたいと言う方もいます。その方たちは給与面での要望があるが、給与は変えることができません。
事業所において、要支援の利用者割合が非常に高く、今般の報酬体系の変更(特に定額制の廃止)において、毎月の収入の減少、変動は厳しく考える状況ですので、処遇改善加算も重要ですが、事業所の売上を戻す、増加するような対応にて、事業者が人材採用に対して柔軟に検討できるようご検討いただきたく考えます。
市への要望というより、国が最低賃金を決める際に医療や介護関係の最低賃金を分けて設定すべき。そして、最低賃金上がる時はその事業所の法人税等で工面してくれないとやっていけない。
賃金アップができるような仕組み。
応募される方がある程度満足される給与が安定して支払われるようになる仕組み。どの事業所もIT化が進むような取組があると身体的負担などが軽減されると思う。
介護職の賃金補助、市による福祉の就職セミナー開催、若い人材が来てくれるための取り組み。
総合事業の報酬を上げる。(2件)
■ 就職フェアや説明会の開催
市民日より等で求人枠をつくってください。
ハローワークとの連携。(興味はあるが一步踏み出せない方へのアシストや支援。)
ハローワーク等の強化。
短い期間で退職する方が全体的に多いので、永年勤続でお祝いのようなものがあるとよい。碧南市で行っている「介護のお仕事説明会」を刈谷市でも実施してほしい。
就職フェアの開催
関心のある人へ事業所をアピールできるようなイベント(説明会など)があればぜひ参加したいです。働きたいと思う人たちもどのような事業所へ行けばいいかなどもわかりづらいと思いますので、そのような機会をできれば低コストでやっていただきたいです。
求職者と雇用側が直接会って、話ができる場が増えると良い(就職フェア等)。
定期的に介護人材フェアなど刈谷市での医療・介護のみの就職、転職フェアを開催していただきたい。

人材確保に関する市への要望や実施すべき取組等の意見
■ 若い人材の確保と育成 介護支援専門員を希望される方が少なく、高齢化してきている。ＰＣに不慣れな方も多中、ＡＩに移行していく便利さも否めない。若い人材を確保できる体制があるとありがたい。 この業界は地域密着がベースだと思いますが、機能できていないことが多いと思います。地域包括支援センターだけに頼らず、長寿課で管理していただけると良いかと思います。それにより、小さな事業所にも人材が集まることを期待しております。 介護職員の採用において、仲介業者の介入が過剰になっている点が問題です。求職者は登録するだけで、採用が決まれば祝い金を受け取れる仕組みになっており、事業所は１人あたり年収の２５～３０％に相当する高額な紹介料を請求されることがあります。また、紹介料を値下げすると紹介されにくくなるため、お金を出す事業所に紹介が集中するという状況も生まれています。このように、採用コストや流れが仲介業者主導になってしまう悪循環が介護業界に起こっており、人材確保の本来の目的に支障をきたしていると考えます。 介護職は大変な事だけではない。利用者やスタッフが楽しく過ごしている場面も皆さんに見ていただいてイメージを変えていけたらと思う。 処遇改善だけでなく、看護師のように業務独占など専門性を高める必要がある。 若いヘルパーの応募がないので、事業の維持が課題となっております。
■ 労働環境や福利厚生の実施 労働環境や福利厚生を充実させるために介護報酬の見直しをしてほしい。訪問介護は移動時間が必須。移動時間を含めた報酬にしてもらわないと経営を保つことができない。 もっと休みを取れる職場にしてほしい。在宅が増えるにあたり駐車場を提供してほしい。訪問系、介護系の車は、公民館やドラッグストア、コンビニに駐車してもＯＫなどの声かけをしてほしい。 賃上げや職場環境改善に向けた整備が必要かと思う。 本事業所では、いわゆる介護の「３Ｋ（きつい・きたない・きけん）」という従来のイメージを払拭し、就業環境や労働条件の改善を重視した運営を行っています。特に賃金水準については、３年ごとの処遇改善における報酬見直しが適正に行われない場合、事業運営が立ち行かなくなる事業所も増える懸念があり、制度的な支援の継続と強化が不可欠と考えております。 また、世間一般で持たれる介護のイメージと、私どもの現場の実態には大きな乖離があると感じています。当事業所では、利用者とスタッフがともに笑顔でいられる時間を大切に、互いに尊重しあえる「前向きな職場環境」を実現しています。 この実情を若い世代にも知っていただくため、職場体験等を通じて「昔の介護とは異なる働き方が可能であること」「仕事である以上大変な部分はあるが、精神的に追い込まれるような職場ではないこと」を伝えていく必要があると考えています。介護の価値と魅力を共有し、将来の担い手が希望を持てる業界づくりに貢献していきます。 介護職は２４時間対応が必要な場合が多い、かつストレスの多い仕事です。休日の確保や地域連携ができること、確認事業所が上下関係なく対等に話し合える環境が大事だと思います。
■ その他 介護人材とは違いますが、豊田市で始まった、行政が中心となった家族代行の制度づくりがあります。現状、身元保証機関に頼らざるをえない状況で、お金があればよいのですが、皆が安心して生活するために刈谷市でも取組を始めてほしいです。 近隣の福祉事業を積極的に行っている自治体を参考にして下さい。 市介護施設との定期的な地域全体での支援体制。 書類の簡素化。

<問1で「施設・居住系サービス」または「通所系サービス」と回答した事業所の方のみ>

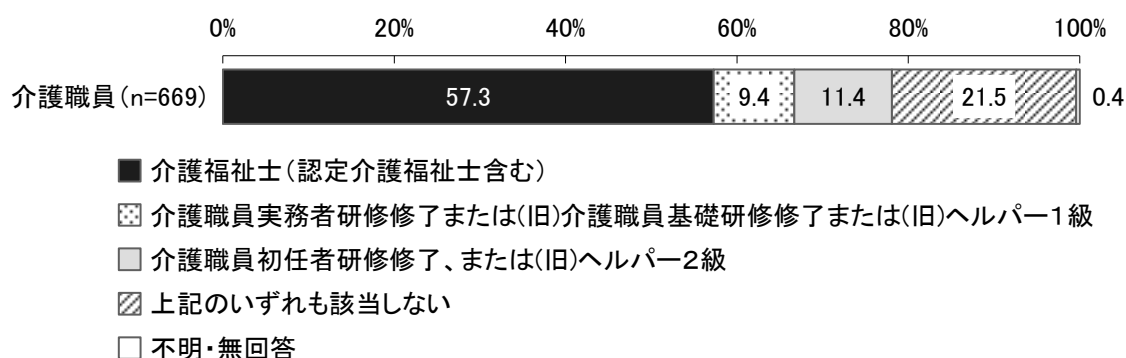
◆ 貴事業所・施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。（令和7年11月1日現在）

※ 回答いただいた介護職員の総数は669名でした。

※ 本設問は、件数669（n=669）であり、問31までの設問の事業所総数とは異なります。

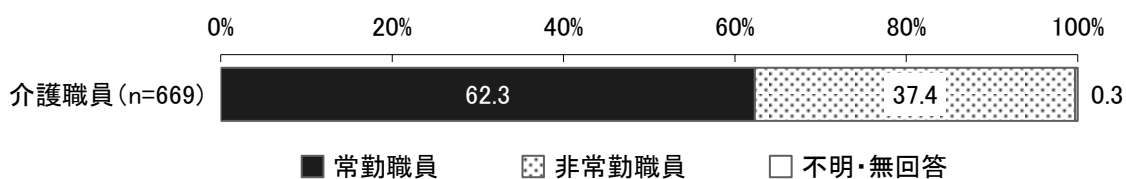
（1）資格の取得、研修の修了の状況（単数回答）

資格の取得や研修の修了の状況について、「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が57.3%と最も高く、次いで「上記のいずれも該当しない」が21.5%、「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」が11.4%となっています。



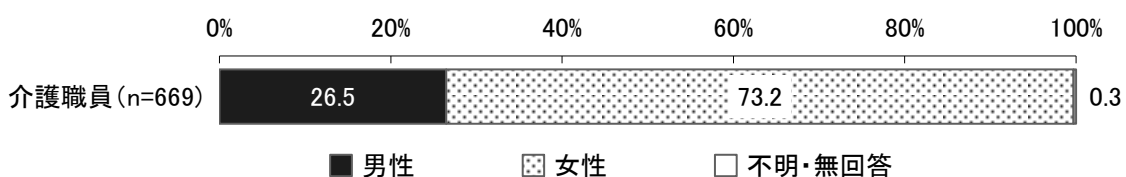
（2）雇用形態（単数回答）

雇用形態について、「常勤職員」が62.3%、「非常勤職員」が37.4%となっています。



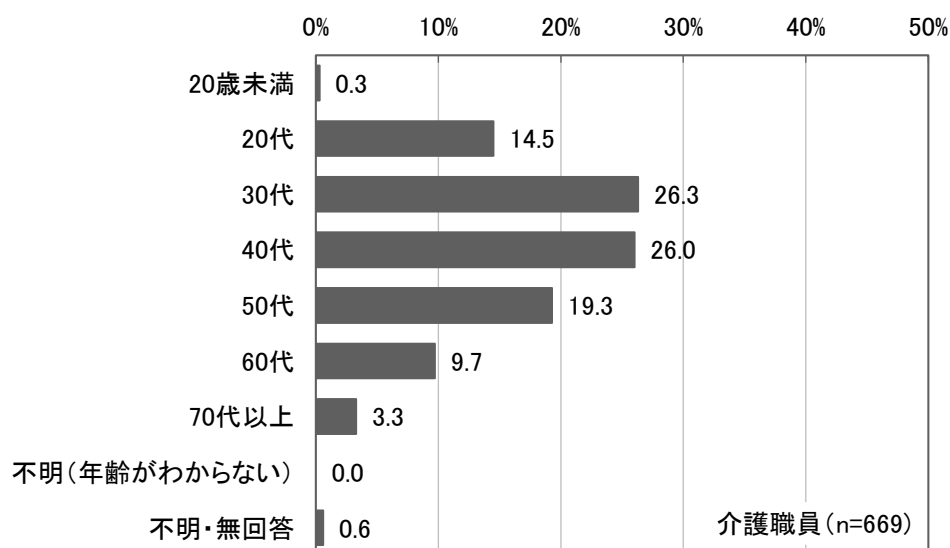
（3）性別（単数回答）

性別について、「男性」が26.5%、「女性」が73.2%となっています。



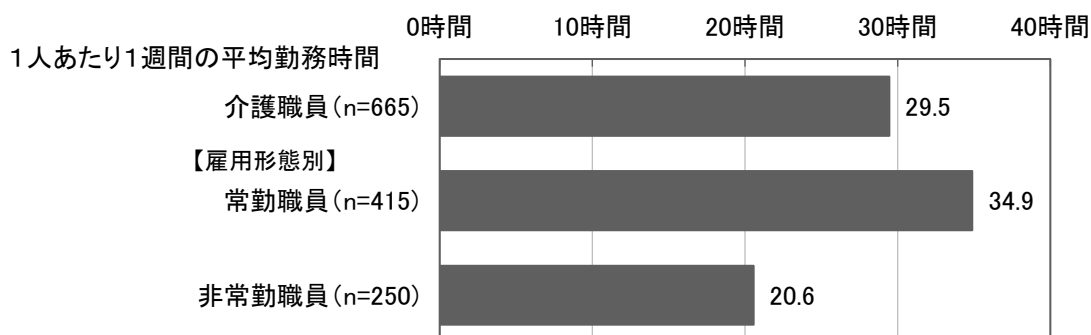
(4) 年齢（単数回答）

年齢について、「30代」が26.3%と最も高く、次いで「40代」が26.0%、「50代」が19.3%となっています。



(5) 過去1週間の勤務時間（数値回答）

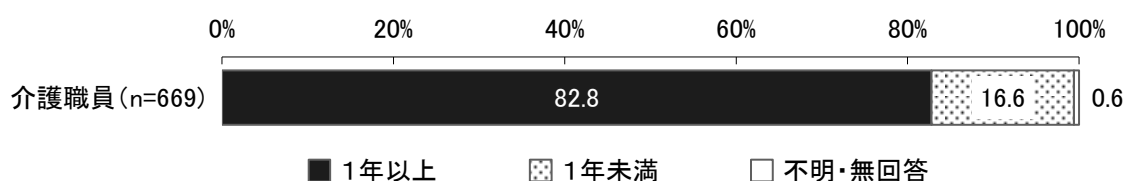
介護職員1人あたりの過去1週間の勤務時間について、全体では平均29.5時間となっています。雇用形態別では、常勤職員が平均34.9時間、非常勤職員が平均20.6時間となっています。



※介護職員は、総数669人のうち本設問の「不明・無回答」を除いた集計です。

(6) 現在の施設等での勤務年数（単数回答）

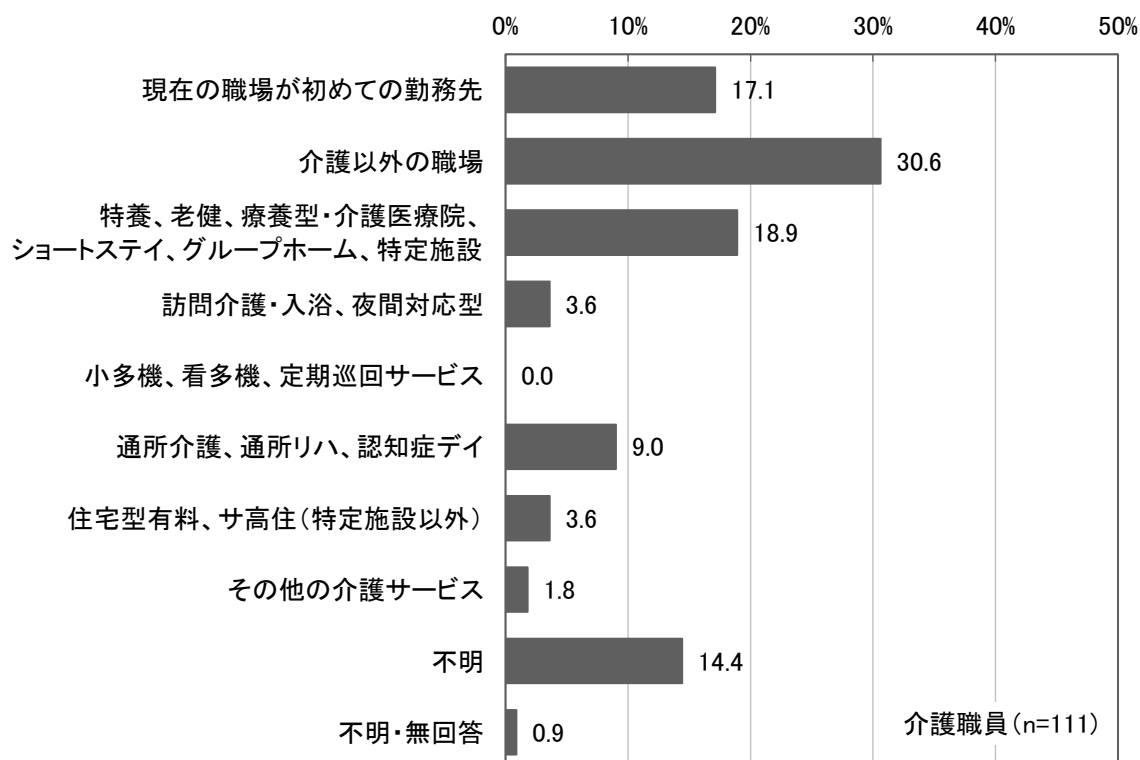
現在の施設等での勤務年数について、「1年以上」が82.8%、「1年未満」が16.6%となっています。



< (6) で、現在の施設等での勤務年数が「1年未満」と回答した介護職員の方のみ >

(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場（単数回答）

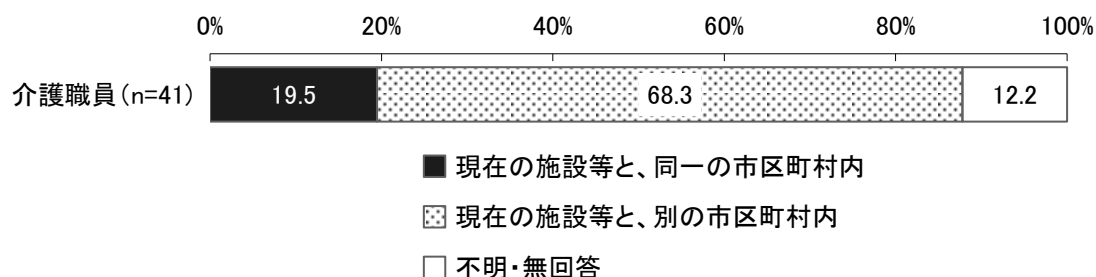
現在の施設等に勤務する直前の職場について、「介護以外の職場」が 30.6%と最も高く、次いで「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が 18.9%、「現在の職場が初めての勤務先」が 17.1%となっています。



< (7) で、現在の施設等に勤務する直前の職場が「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」「訪問介護・入浴、夜間対応型」「小多機、看多機、定期巡回サービス」「通所介護、通所リハ、認知症デイ」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」「その他の介護サービス」のいずれかと回答した介護職員の方のみ>

(8) - 1 直前の職場の所在地について（単数回答）

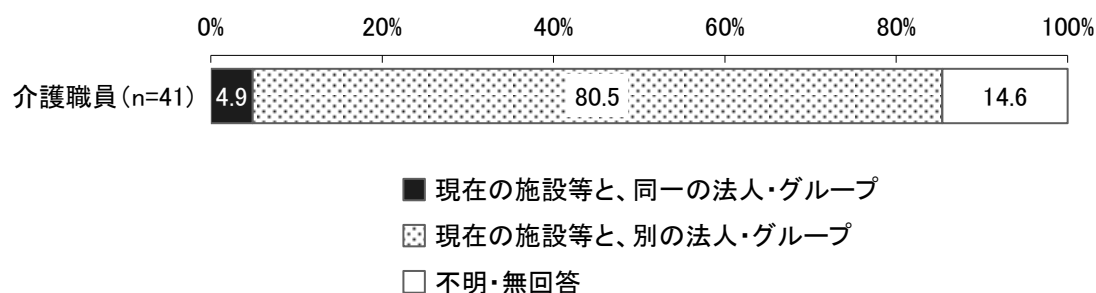
直前の職場の所在地について、「現在の施設等と、同一の市区町村内」が 19.5%、「現在の施設等と、別の市区町村内」が 68.3%となっています。



< (7) で、現在の施設等に勤務する直前の職場が「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」「訪問介護・入浴、夜間対応型」「小多機、看多機、定期巡回サービス」「通所介護、通所リハ、認知症デイ」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」「その他の介護サービス」のいずれかと回答した介護職員の方のみ>

(8) - 2 直前の職場の事業形態について（単数回答）

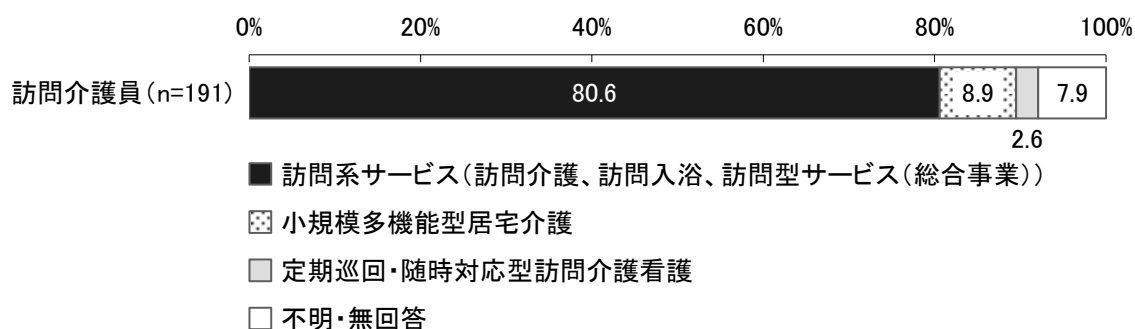
直前の職場の事業形態について、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」が 4.9%、「現在の施設等と、別の法人・グループ」が 80.5%となっています。



VI 訪問介護員調査結果

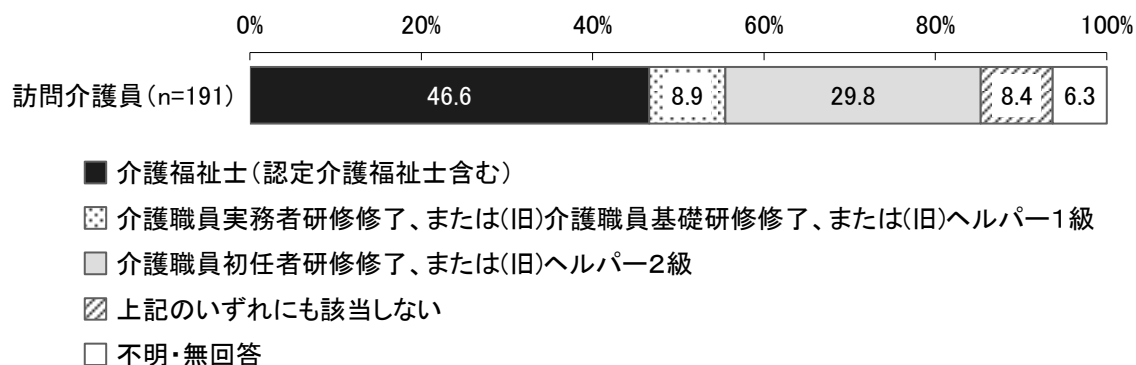
問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（単数回答）

事業所で提供するサービス種別について、「訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、訪問型サービス（総合事業）」が80.6%、「小規模多機能型居宅介護」が8.9%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が2.6%となっています。



問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（単数回答）

資格の取得、研修の修了の状況について、「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が46.6%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級」が29.8%、「介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級」が8.9%となっています。



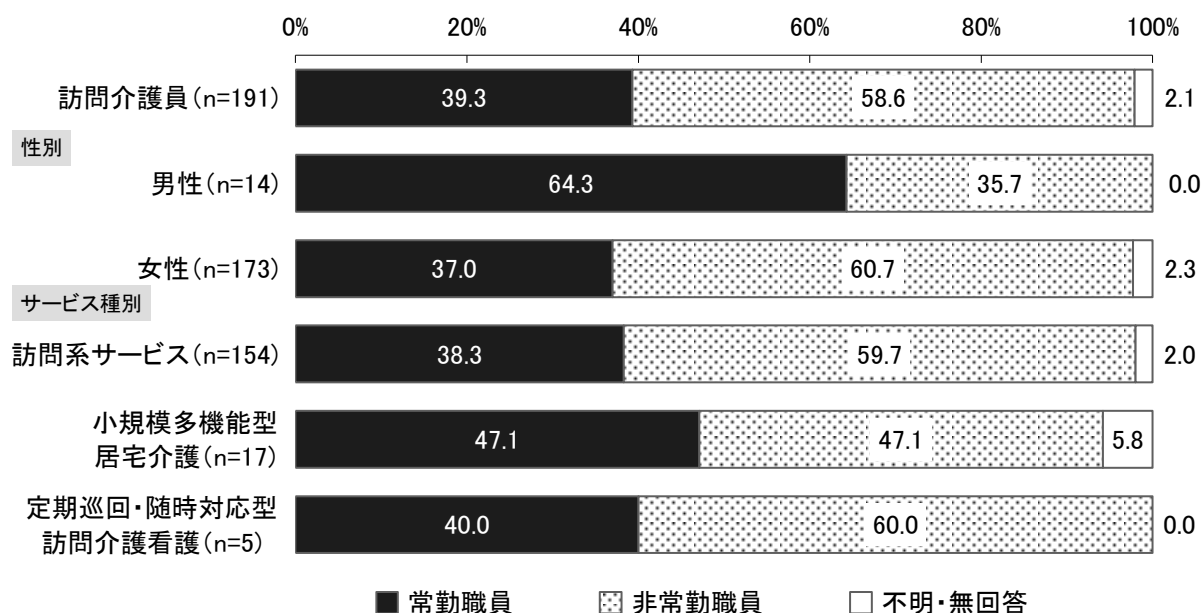
問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態 (単数回答)

雇用形態について、全体で「常勤職員」が39.3%、「非常勤職員」が58.6%となっています。

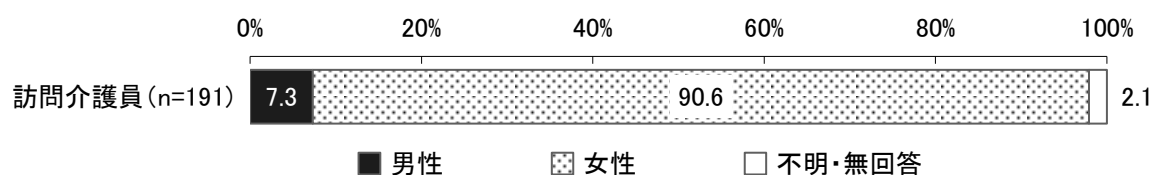
性別では、「常勤職員」が男性で64.3%、女性で37.0%となっています。

サービス種別では、『訪問系サービス』で「非常勤職員」が59.7%となっています。



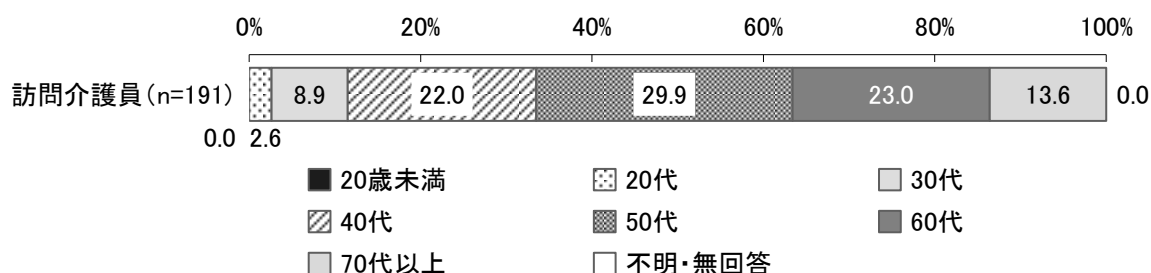
2) 性別 (単数回答)

性別について、「男性」が7.3%、「女性」が90.6%となっています。



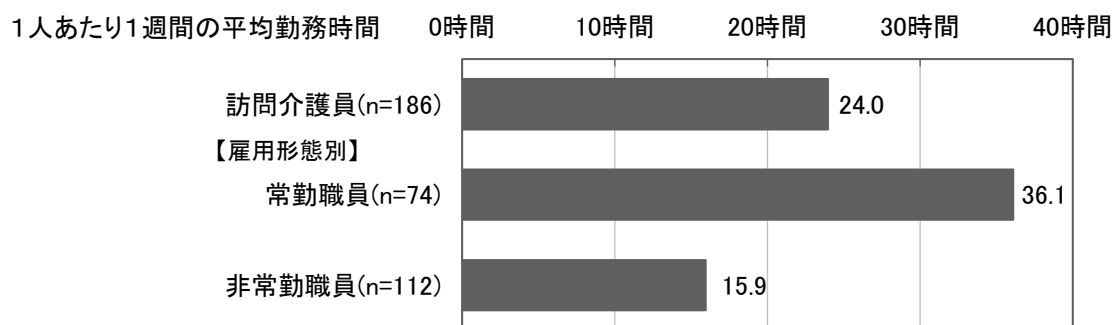
3) 年齢 (単数回答)

年齢について、「50代」が29.9%と最も高く、次いで「60代」が23.0%、「40代」が22.0%となっています。



4) 過去1週間の勤務時間 (数値回答) ※問1で回答した勤務先における時間

訪問介護員1人あたりの過去1週間の勤務時間について、全体では平均24.0時間となっています。雇用形態別では、常勤職員が平均36.1時間、非常勤職員が15.9時間となっています。

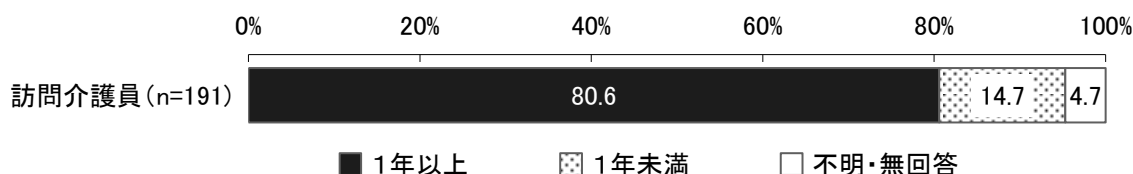


※訪問介護員は、総数191人のうち本設問の「不明・無回答」を除いた集計です。

※雇用形態別は、問3.(1)雇用形態の「不明・無回答」を除いた集計です。

5) 現在の事業所での勤務年数 (単数回答)

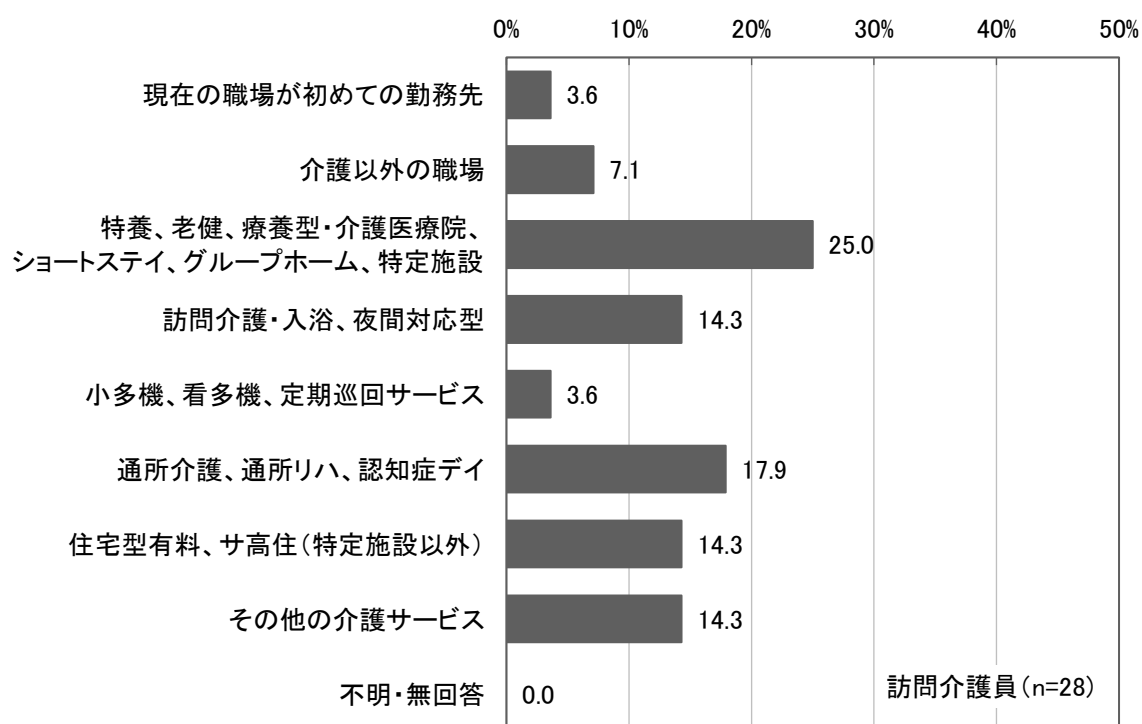
現在の事業所での勤務年数について、「1年以上」が80.6%、「1年未満」が14.7%となっています。



<問3（5）で、現在の事業所での勤務年数が「1年未満」と回答した方のみ>

問4 現在の事業所に勤務する直前の職場（単数回答）

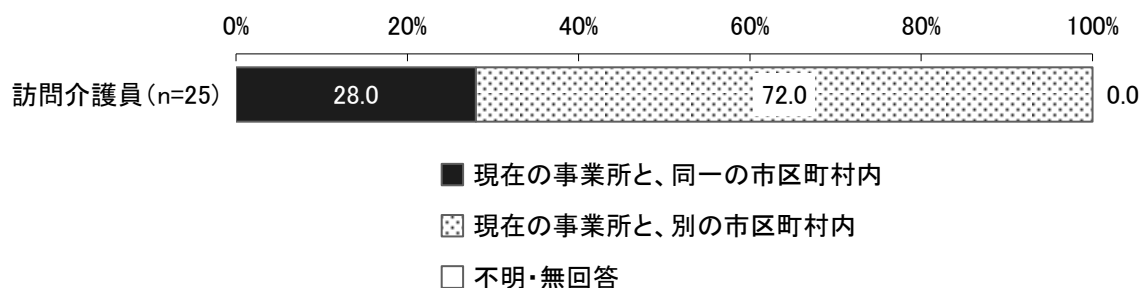
現在の事業所に勤務する直前の職場について、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が25.0%と最も高く、次いで「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が17.9%、「訪問介護・入浴、夜間対応型」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」「その他の介護サービス」がそれぞれ14.3%となっています。



<問4で、現在の事業所に勤務する直前の職場が「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」「訪問介護・入浴、夜間対応型」「小多機、看多機、定期巡回サービス」「通所介護、通所リハ、認知症デイ」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」「その他の介護サービス」のいずれかと回答した方のみ>

問5（1） 直前の職場の所在地について（単数回答）

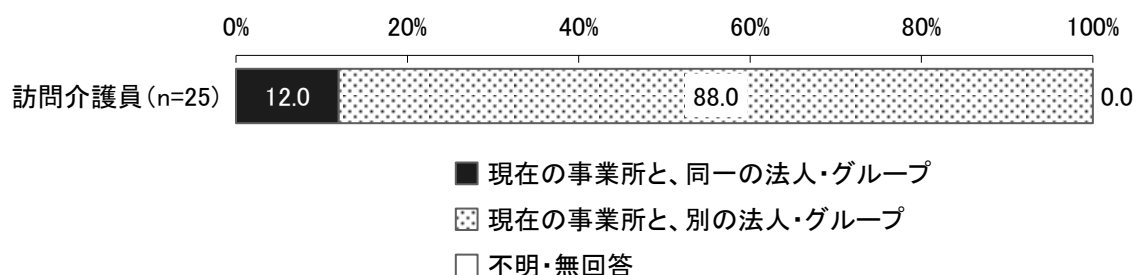
直前の職場の所在地について、「現在の事業所と、同一の市区町村内」が 28.0%、「現在の事業所と、別の市区町村内」が 72.0%となっています。



<問4で、現在の事業所に勤務する直前の職場が「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」「訪問介護・入浴、夜間対応型」「小多機、看多機、定期巡回サービス」「通所介護、通所リハ、認知症デイ」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」「その他の介護サービス」のいずれかと回答した方のみ>

問5（2） 直前の職場の事業形態について（単数回答）

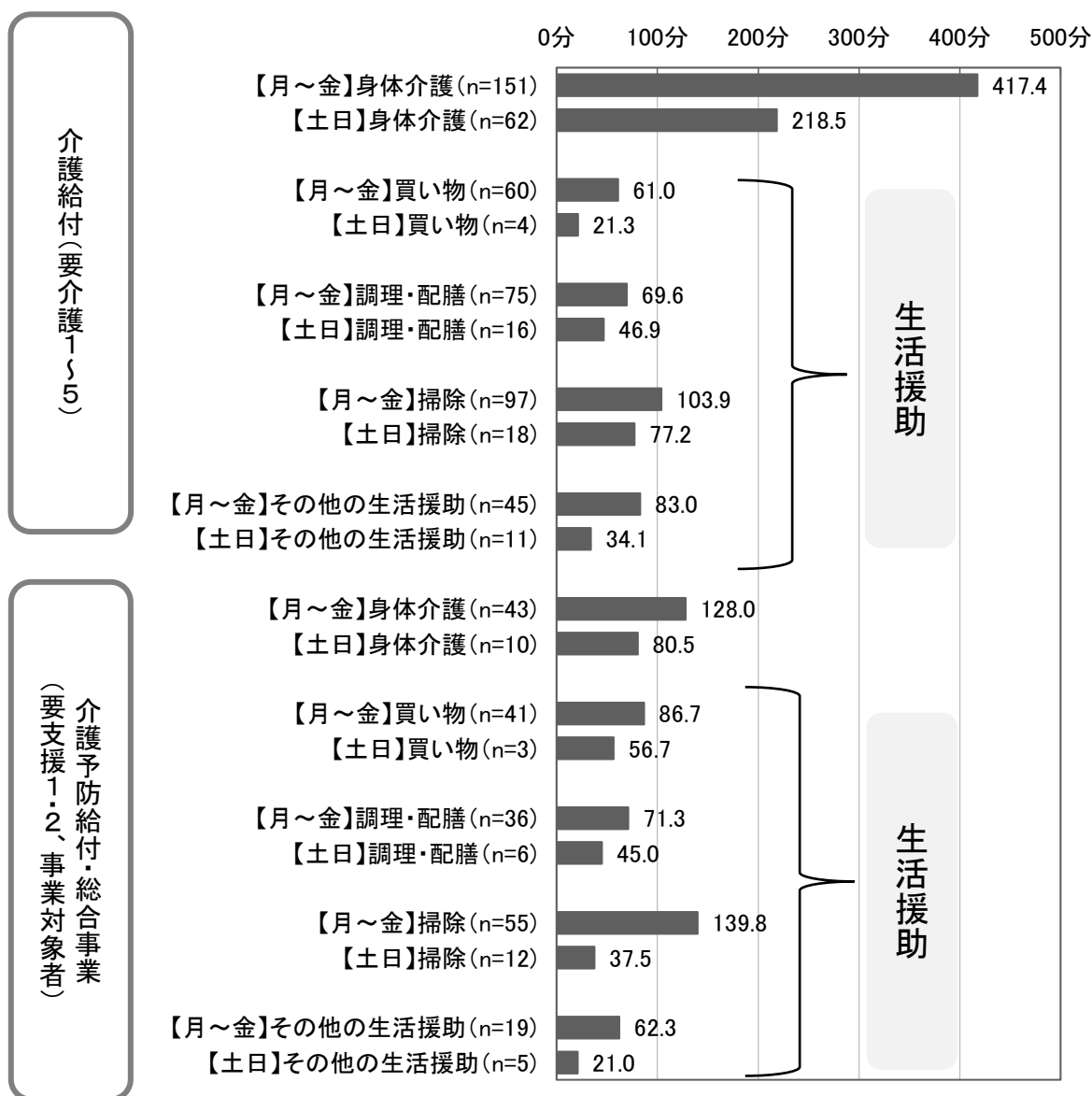
直前の職場の事業形態について、「現在の事業所と、同一の法人・グループ」が 12.0%、「現在の事業所と、別の法人・グループ」が 88.0%となっています。



問6 問3「(4) 過去1週間の勤務時間」で回答した勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間(分)を記入してください。(数値回答)

介護給付(要介護1～5)について、「身体介護」が平日(月～金)で平均417.4分、休日(土日)で平均218.5分と多くなっています。

介護予防給付・総合事業(要支援1・2、事業対象者)について、「掃除」が平日(月～金)で平均139.8分、「身体介護」が平日(月～金)で平均128.0分と多くなっています。

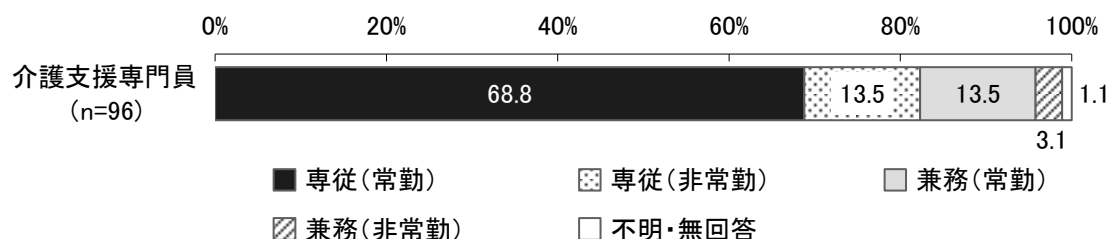


VII 介護支援専門員調査結果

1 あなたについて

問1 あなたの勤務形態はどれですか。(単数回答)

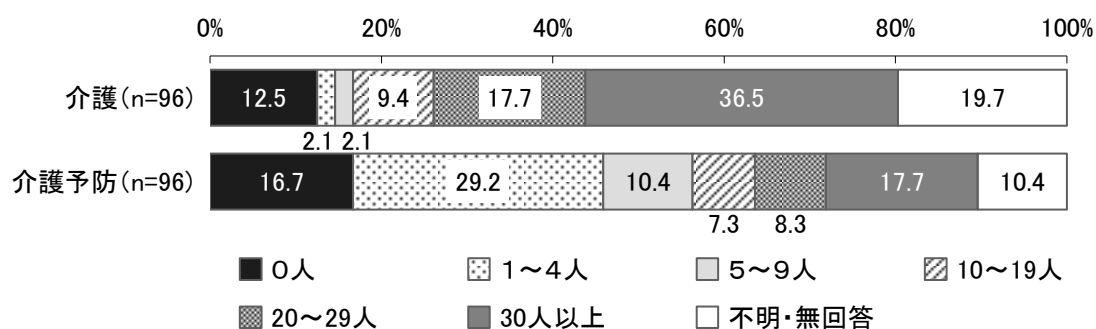
勤務形態について、「専従(常勤)」が68.8%と最も高く、次いで「専従(非常勤)」「兼務(常勤)」がそれぞれ13.5%、「兼務(非常勤)」が3.1%となっています。



問2 令和7年11月1日現在、あなたは介護サービス計画または介護予防サービス計画を何人担当していますか。(数値回答)

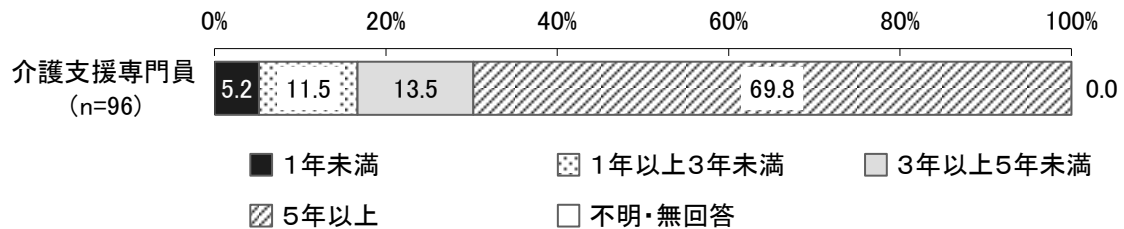
介護サービス計画の担当人数は「30人以上」が36.5%と最も高く、次いで「20～29人」が17.7%、「0人」が12.5%となっています。介護予防サービス計画の担当人数は「1～4人」が29.2%と最も高く、次いで「30人以上」が17.7%、「0人」が16.7%となっています。

なお、1人あたり担当件数の平均は、介護サービス計画で23.8人、介護予防サービス計画で13.4人となっています。



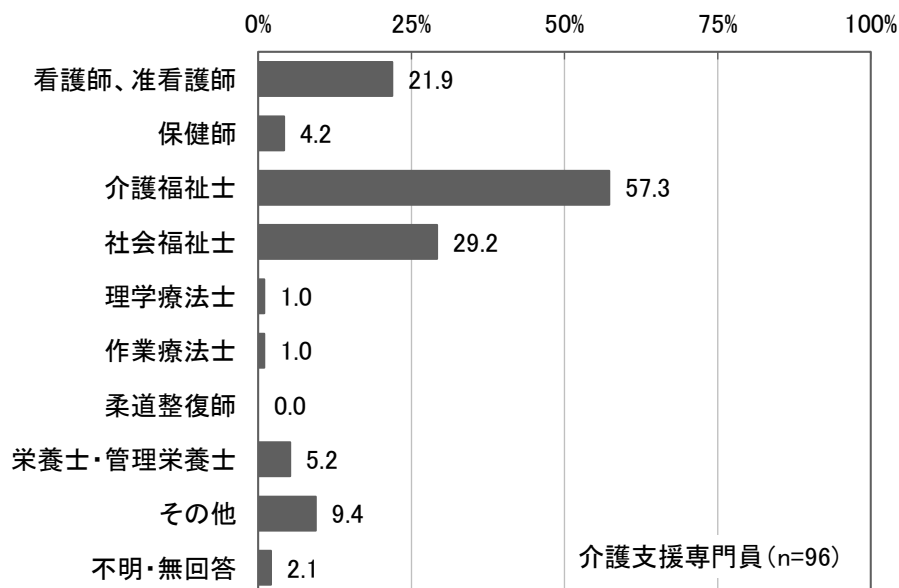
問3 介護支援専門員の業務を通算して何年行っていますか。(単数回答)

通算年数について、「5年以上」が69.8%と最も高く、次いで、「3年以上5年未満」が13.5%、「1年以上3年未満」が11.5%となっています。



問4 あなたは、介護支援専門員以外に医療・福祉関係の資格をお持ちですか。(複数回答)

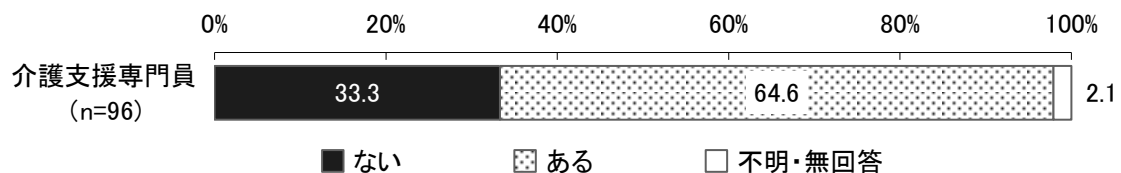
介護支援専門員以外の保有資格について、「介護福祉士」が57.3%と最も高く、次いで「社会福祉士」が29.2%、「看護師、准看護師」が21.9%となっています。



2 介護サービス計画について

問5 サービス提供事業者からサービス提供を拒否されたことはありますか。
(単数回答)

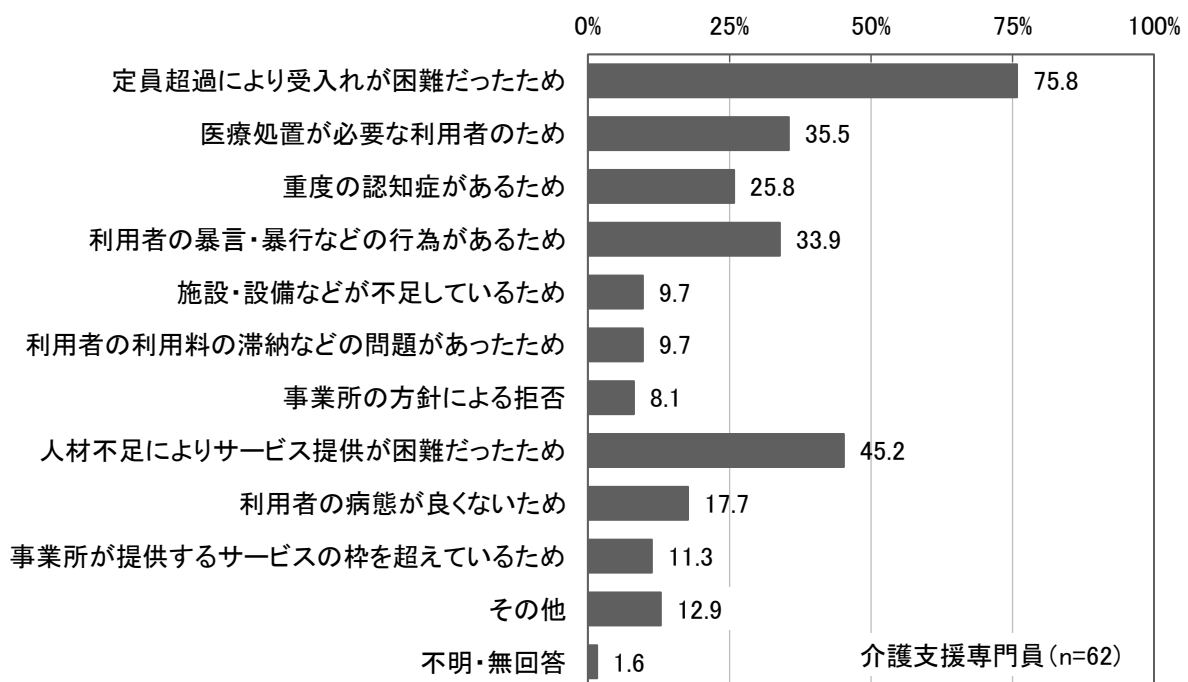
サービス提供拒否の経験について、「ない」が33.3%、「ある」が64.6%となっています。



<問5でサービス提供を拒否されたことが「ある」と回答した方のみ>

問6 サービス提供事業者からサービス提供を拒否された理由は何ですか。(複数回答)

サービス提供を拒否された理由について、「定員超過により受入れが困難だったため」が75.8%と最も高く、次いで「人材不足によりサービス提供が困難だったため」が45.2%、「医療処置が必要な利用者のため」が35.5%となっています。



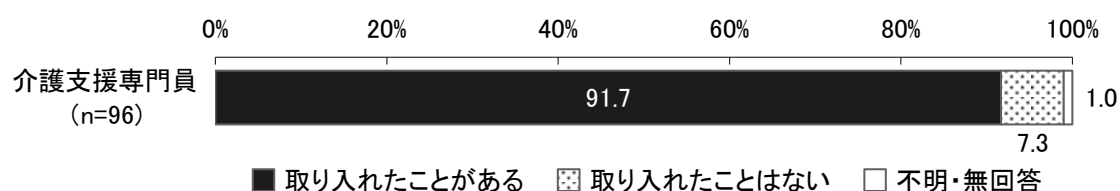
<問6で「定員超過により受入れが困難だったため」と回答した方のみ>

問7 受入れが困難なサービス提供事業者の種類をご記入ください。(自由回答)

受入れが困難なサービス提供事業者の種類
地域密着型通所介護（デイサービス）（36 件）
短期入所生活介護（ショートステイ）（16 件）
訪問介護（15 件）
ホームヘルパー、ヘルパーサービス（6 件）
通所型サービス（3 件）
通所リハビリテーション（デイケア）（3 件）
訪問型サービス（3 件）
訪問看護（2 件）
短期入所療養介護
小規模多機能型居宅介護（居宅支援事業所）
特別養護老人ホーム
住宅型有料老人ホーム
すべてのサービス
帰宅願望が強い、1号線を越えるのは難しい、送迎の方向に行くルートがないから、枠がいっぱい等。

問8 介護サービス計画などに介護保険以外のサービスを取り入れたことがありますか。(単数回答)

介護サービス計画などに介護保険以外のサービスを取り入れたことがあるかについて、「取り入れたことがある」が91.7%、「取り入れたことはない」は7.3%となっています。



<問8で「取り入れたことがある」と回答した方のみ>

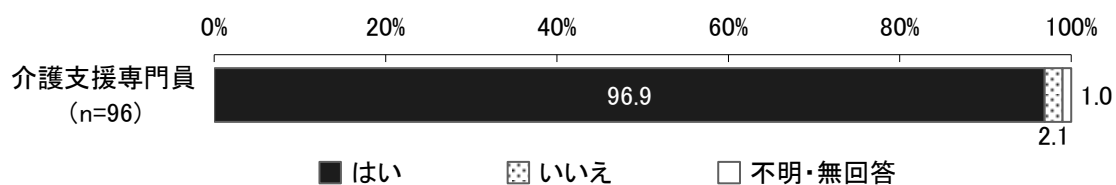
問9 取り入れたことがあるサービスについてお書きください。(自由回答)

取り入れたことがあるサービス
配食サービス (21 件)
障害福祉サービス (17 件)
ちょこっとささえあい事業 (17 件)
サロン (11 件)
高齢福祉サービス (11 件)
配食サービス (10 件)
市の福祉サービス (10 件)
訪問マッサージ (9 件)
身元保証団体によるサービス (8 件)
友人・知人・近隣住民 (8 件)
実費によるサービス (8 件)
介護タクシー (7 件)
医療保険サービス (7 件)
医療機関 (6 件)
地域活動 (6 件)
福祉サービス (6 件)
訪問診療 (5 件)
自費ヘルパー (5 件)
家族 (5 件)
ボランティア (4 件)
タクシー券 (4 件)
シルバーサービス (4 件)
支援ベッド (4 件)
日常生活自立支援事業 (4 件)
訪問看護サービス (4 件)
ごみ戸別回収 (3 件)
移動スーパー (3 件)
訪問理美容 (3 件)
就労支援 (3 件)
寝具クリーニング (2 件)
有料老人ホーム (2 件)
見守り安心機器 (2 件)
車いす (2 件)
オムツ券 (2 件)
民間サービス (2 件)
認知症カフェ (2 件)
緊急通報システム (2 件)
通院介助 (2 件)
民生委員
住宅改修
行政
特別養護老人ホーム
グラウンドゴルフ

取り入れたことがあるサービス
薬局
インフォーマル
高カロリーゼリーの購入
キーパーズ（不用品処理）
家族代行支援
家族の受診同行
見舞い金
成年後見制度
不審電話
施設内で開催されている習字などへの参加
居宅療養管理
ひとり暮らしゴミ収集
受診同行サービス
本人が参加している活動や本人ができる家事など
認知症手当
福祉電話
移動支援
SOSネットワーク
民間草とり
訪問介護

問 10 介護サービス計画などを作成する際、「自立支援を促す」という視点に立って作成をしていますか。（単数回答）

介護サービス計画などを作成する際、「自立支援を促す」という視点に立って作成をしているかについて、「はい」が96.9%、「いいえ」が2.1%となっています。



<問10で「はい（自立支援を促す視点に立って作成している）」と回答した方のみ>

問11 今まで担当した利用者で、自立支援を促すことができ、介護度が改善されるほど状態が改善したことはありましたか。（単数回答）

今まで担当した利用者で、自立支援を促すことができ、介護度が改善されるほど状態が改善したことはあるかについて、「はい」が74.2%、「いいえ」が23.7%となっています。

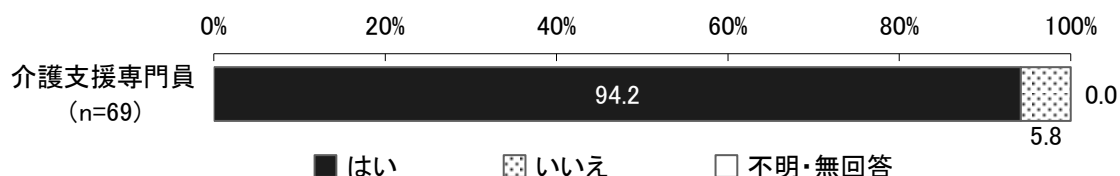


<問11で「はい（改善したことがある）」と回答した方のみ>

問12 状態が改善したときに、以下のことを行い、利用者の負担軽減につながったことはありますか。

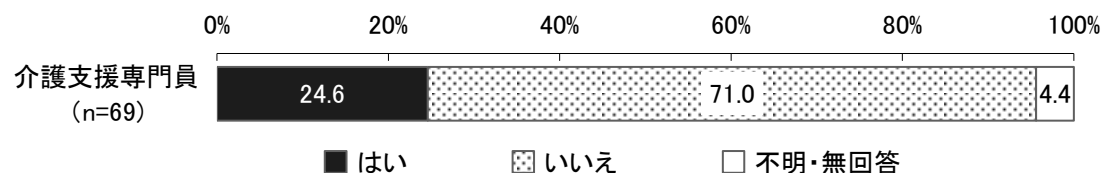
①利用しているサービスを見直した（単数回答）

状態が改善したときに、利用しているサービスを見直したことにより、利用者の負担軽減につながったことはあるかについて、「はい」が94.2%、「いいえ」が5.8%となっています。



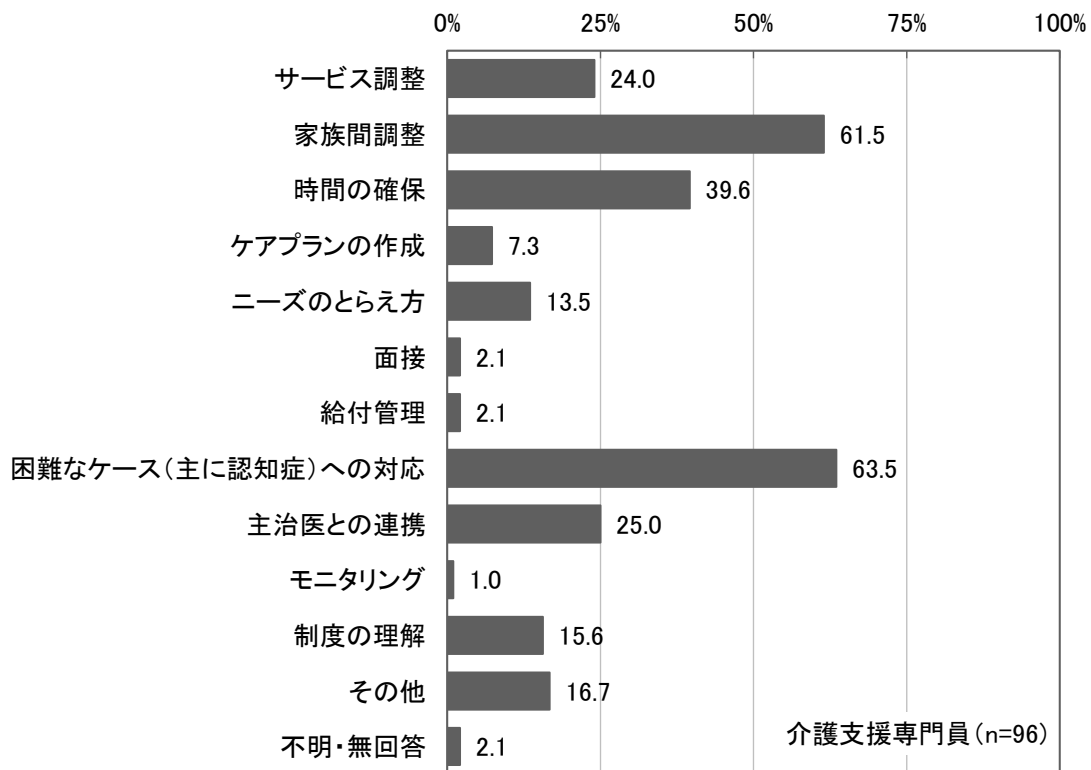
②介護認定の更新を待たずに区分変更を申請した（単数回答）

状態が改善したときに、介護認定の更新を待たずに区分変更を申請したことにより、利用者の負担軽減につながったことはあるかについて、「はい」が24.6%、「いいえ」が71.0%となっています。



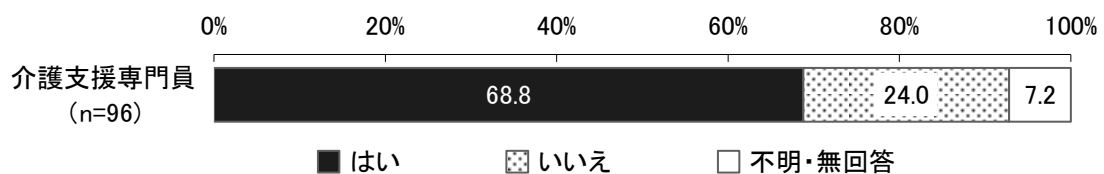
問 13 介護支援専門員の業務として難しいことは何ですか。(複数回答)

介護支援専門員の業務として難しいことについて、「困難なケース（主に認知症）への対応」が63.5%と最も高く、次いで「家族間調整」が61.5%、「時間の確保」が39.6%となっています。



問 14 介護支援専門員以外でも対応できる業務で、介護支援専門員が負担に感じることはありますか。(単数回答)

介護支援専門員以外でも対応できる業務で、介護支援専門員が負担に感じるかどうかについて、「はい」が68.8%、「いいえ」が24.0%となっています。



問 15 貴事業所の業務で介護支援専門員以外でも対応できる業務には、こういったことがありますか。(自由回答)

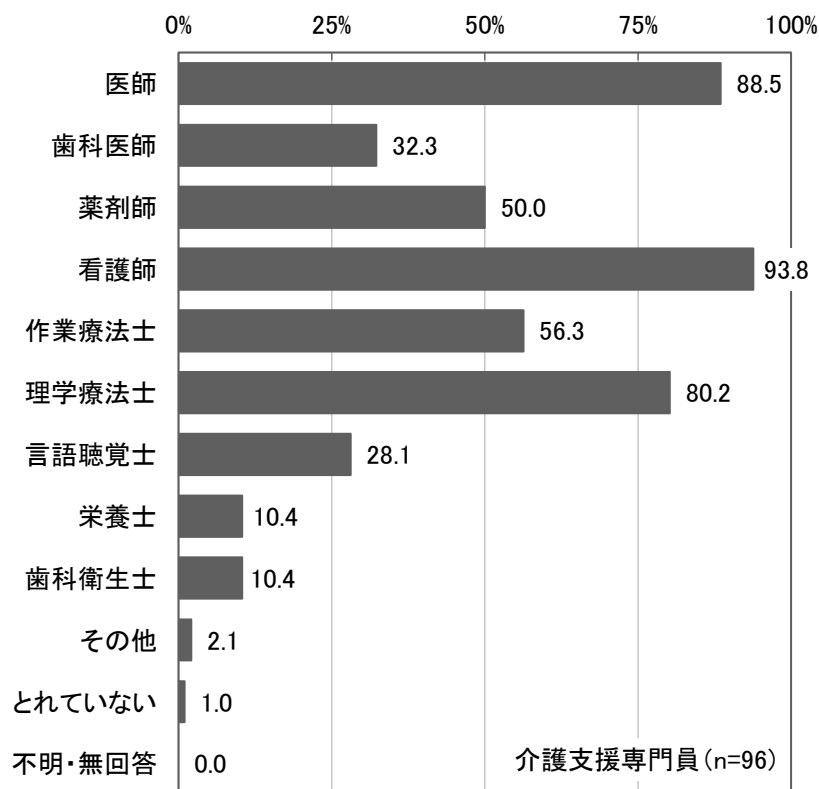
貴事業所の業務で介護支援専門員以外でも対応できる業務
■ 書類作成や整理などの事務作業
事務処理。(5件)
医療保険、障害福祉サービスには給付管理というものは存在しませんが、介護保険のみにあるということが理解できません。住宅改修理由書はケアマネジャー以外でもよい保険者も多いです。記録、書類のチェック、実績のシステム入力、契約書の用意、社用車の管理、事務所の清掃、備品等の管理・発注、単なるFAX送付、ケアプランデータ連携システムのデータ送受信とシステムへの取り込み。
更新研修、事務。
実績入力、契約書、各書類の補充。
契約書等の準備、単純入力作業。
書類(ファイル)整理など事務仕事。
事務処理(事業所運営に関すること。)
有料施設等の問い合わせ、見学、情報収集。家族でできることも多い、家族で判断すべきことを依存される。事務作業。
介護支援専門員以外でも対応できる事務作業。
パソコンへの情報の入力など。
書類整理。
書類の作成、整理など。
作成後や確認後の書類のファイリング、新規の契約書の準備やネームシールの準備など。
支援経過や担会など記録残すところ多い。また、実地指導はかなり細かくこの言葉がないなど指導される。大事なことではあるが、スキルがない職員は本来考えないといけないう自立支援、インフォーマルなサービス利用のことまで考える余裕がないのではないかな。
■ 電話やなどの連絡業務
FAXの整理、TEL対応、ファイル整理。(2件)
電話の取り次ぎ。(相談等以外)
1.精神疾患のある方の対応について、すべて相談が地域包括支援センターへ来るため時間を取られてしまう。医療機関である程度対応してもらえたらよいと思うこともある。(新規の場合)医療保険の訪看など特に。主治医から、もしくはメンタルクリニックに相談員などいる場合、説明してあげてほしい。
2.クレームの対応について。
電話対応。(2件)
書類の振り分け、電話対応。
実績、TEL対応、FAX整理。
FAX、郵送、新規情報の入力、新規事業所の入力。
提供票の送付
受診、買い物、家族への連絡
■ 給付管理や請求などの経理業務
給付管理。(3件)
給付管理、電話対応、書類の整理、オムツ券・理美容券他申請業務。(2件)
給付管理、書類(届け出等)。
請求事務、電話対応(相談以外)。

貴事業所の業務で介護支援専門員以外でも対応できる業務
事業所運営に関する業務。(予算・決算事務、I C T機器導入に係る事務、業務車管理、経理事務、文書集配等庶務。)
集金(訪問介護利用料金)。
国保連への請求業務。
給付管理、事務処理、F A X対応処理、運営母体の行事参加、B C Pの研修、シミュレーション、周知業務。
請求業務(事務員がしている)。
給付管理、サロン活動、事業所内研修
給付管理、書類(届け出等)。
■ 申請や手続きの代行業務
家族がいない利用者の家族が行うのが妥当だと思われる手続きの代行や緊急時の対応。
独居の方の介護タクシーの調整、オムツの発注、ちょこっとささえあいの調整、お見舞金、オムツ券、出張理美容券などの申請代行。
本人や家族が申請に入れる能力があるのに、代行申請をお願いされること。
書類の代読、福祉サービスの申請、郵便物の確認、家計費の管理状況確認。
市役所での種々申請代行、社協の車いすの貸与。
郵送物等書類の確認、申請代行。関係機関との連絡調整。
■ 利用者の送迎や同行支援
減多にはないですが、居室で立てないから手伝ってほしいと連絡があったり、タクシーに乗れないから手伝いに来てほしいと連絡があったこと。
病院への同行、買い物代行(稀にあります)、銀行への同行(稀にあります)。
受診同行(受診支援・緊急時)。
送迎、訪問サービス、職員勤務、施設環境。
■ その他
訪問介護、通所。
独居の方が急に動けなくなりヘルパーを追加したが、今までの業務以外のことになるとうと配慮が足りず、フォローが必要になる。デイサービスなどでもいつもと違うことがあると、ケアマネジャーが動かないといけない。
入所施設を探してほしいと言われると困る。そこに時間を割くわけにはいかない。
サービス事業所でできる対処をケアマネジャーに依頼する。
認知症に関する相談。高齢者虐待防止対応。金銭管理、契約に関する相談。消費者被害等の相談。
総合相談。
会議への参加、健康教室などの運用。
本人が自立できるよう、一緒に生活環境を相談して方向性を導くこと。
家族との連携。

3 医療関係者との連携について

問 16 利用者の病状や健康状態について、どのような医療関係者と連携がとれていますか。(複数回答)

利用者の病状や健康状態について、医療関係者と連携がとれているかについて、「看護師」が 93.8%と最も高く、次いで「医師」が 88.5%、「理学療法士」が 80.2%となっています。なお、「とれていない」は 1.0%となっています。



問 17 連携をとる際、工夫している点についてお書きください。(自由回答)

連携をとる際に工夫している点
■ F A Xやメール等の書面連絡の活用
電話、F A X。
エンジョイネット、F A X、メールなどを活用。
相手の都合がわからないので、紙面で伝えるようにしている。医療的な変化があった時は関係事業所にも伝えるようにしているため、不明点は聞くようにしている。
利用者の身体状況以外で家族が困っていることや心理的な不安などを連絡。F A Xやエンジョイネットで連絡。歯科や栄養のことなどで相談できるとよいと思う。
在宅診療、受診同行、サービス提供時に訪問、F A X連絡。
対面で連絡が取れない時は電話やF A Xを利用。
訪問診療時間を確認し、立ち会う。サービス提供時間前後等でアポイントを取る。メールの利用。
書面でモニタリング報告書の内容を確認し、気になる点は電話で確認している。F A Xやメール、電話など、様々な方法で連絡を取っている。
医師との連携は直接挨拶に行くべきと思いますが、診療時間に迷惑がかからないよう、まずは病院に電話をしてFAXを送付しています。
F A X・メールの活用。
医師との面会は難しい状況が多いので、書面での問い合わせや相談をしている。看護師とは連携が取りやすく、携帯電話も持っているようで連絡がしやすい。
忙しい相手にも内容が伝わるようにF A Xを送付している。
医療機関や訪問看護などそれぞれの特性や特徴などを知り、利用者や疾患などにあった機関や事業所を選択する時に参考になっている。状況によりその場に立ち会ったり、書面や電話、メールなどの連絡方法で連携を取るようにしている。
F A Xの利用。
F A Xの活用、地域ケア会議の活用
医師には、電話などでの連絡は難しいため、F A Xなどで情報共有を行っている。P Tなどとは、状態変化などあるときには、電話連絡などで情報共有を行う。
書面で行う
時間帯の工夫、F A Xで問い合わせる
必要である内容をF A Xやメールなど相手との連携手段は考えている
■ 訪問診療やサービス時の立ち会い
サービス提供時間に訪問し、直接話をする。
訪問診療時に立ち会う。訪問系サービスの時には時間を合わせて行くようにしている。
必要な情報共有は電話や書面で随時行っている。特に訪問診療の医師や訪看N Sなど、日頃よりモニタリング以外にも電話などの連携が取れている。
訪問診療の診察時に同席する。訪問リハの同席。
本人宅に同行訪問し、状態の確認を行っている。
訪問看護を導入し、連携を取りやすくする。
実際の医療提供の場にできるだけ立ち会うようにしています。
医療受診・往診同席、サービス同席
担当者会議を訪問診療のあとに開催する。刈総はカンファレンスに担当医が参加しない、訪問診療の時間に幅がありすぎる。
利用者の受診に付き添う。医療系サービスの利用時に合わせて訪問している。
■ えん joy ネットの活用
エンジョイネットの活用。(2件)

連携をとる際に工夫している点
えん joy ネットの活用。電話の連絡が休日でもとれるようにする。
刈谷市エンジョイネットの活用、緊急時は電話、連絡票の活用。
ケアマネタイムや医療資源情報を活用して、できるだけ早く連絡を取るようになっています。
えん joy ネットの活用。対象事業所によって連絡方法を選択。
■ 相手の都合や時間帯への配慮
書面では簡潔に返答できるように対面で事前に伝えておく。
先生は忙しいため、職員やSWに電話等で確認して間に入ってもらう。
連絡する時間帯の考慮や手段。（メールやFAX。）
忙しいような時間の連絡をさける。FAXで連絡する。
相手の都合やタイミングを考慮する。
時間、調整。
FAXやメール、ショートメール等を利用して、相手の負担が少なくなるように気を遣っている。また、担当者が訪問している時間に合わせてケアマネも訪問し、情報交換をしている。
なるべく時間の余裕のある時に連絡を心がけたり、ケアで利用者訪問時等を活用している。
時間帯に応じて書類の利用。
なかなか連携する時間帯が違うので、FAXやメールなどを使用し、時間がある時に対応できるようにしてもらうよう工夫している。
■ 主治医連絡票や連絡表の利用
顔の見える関係。連絡表にて情報提供して、相談対応をすると関係性が良くなる。
医師とは主治医連絡票を使用してが多いです。NSやセラピストとは電話が多いです。一部えん Joy ネット刈谷。
担当医連絡票の活用、エンジョイネット刈谷。
担当者会議前の情報収集、会議参加依頼、具体的に情報収集できるよう、具体例や○×で返答できるよう書面作成など。
主治医連絡票を使い形に残るようにしている。受診に付き添うこともある。
病状や薬等について、主治医連絡票を利用しています。
医師に関しては連絡票にて情報提供。他は電話連絡、FAX連絡。
医療連携室の問い合わせ及び主治医連絡票の利用にて早期の介入相談を行っている。
連絡票の活用。
■ 情報共有や相談内容の簡潔化
できるだけ簡潔に要点を記載するようにしている。（FAX）
分かりやすい文章で質問し、答えやすいように選択肢を用意しておく。
医療者への医学的な発言等。
こちらの持っている情報を伝える。相手が持っている情報について、詳しく聞き取る。
より簡潔に回答が得られるよう、FAXやメール等、文書に工夫している。
対応困難な利用者の状態や薬の相談を行う。
本人の現状を報告し、回答しやすいよう簡潔に問い合わせを行う。
サービス提供時に支援の状況を見に行く。本人の状況の変化等あった場合にはサービス事業所にも連絡し、情報共有するように努めている。
聞きたいこと、アドバイスしてほしいことを端的かつ明瞭に確認するようにしている点。
■ その他
連携書類の活用。
こまめに連絡。
主治医と連絡が取れない場合。

連携をとる際に工夫している点
本人の状況を知っていただく。
連携の目的、目標。
連携をとる方法について検討している。

問 18 連携がとれていない場合に困っていることについてお書きください。(自由回答)

連携がとれていない場合に困っていること	
■ 主治医との連携が難しい	
主治医への連絡票を用いても、返事が返ってこないことがある。えん joy ネットについて、医師へも使用するように促してほしい。(2件)	
病院は相談室のワーカーを利用してできるが開業医の場合、返事がないことや遅かったり、認識が薄かったりで困る場合が多い。連携の意識が薄い。	
主治医との連携をとるのが難しい。	
医師との考え方の相互。	
主治医の先生の理解が少ない場合。	
医師との連携はハードルが高く、ケアマネジャーを下にみるように威圧的に言われてしまう時は、悲しく思ってしまう。	
主治医に連絡票を送っても返信が遅いときがある。	
■ 情報伝達の遅延や不足	
利用者家族への信頼関係に影響が及ぶ。(必要な情報がほしい場合はアクションを起こす。)	
文章の内容、時間。	
返事がないこと。	
医者に生活の状況がうまく伝わらないことがある。	
連絡してもフィードバックがないケースもまれにあり。	
本人・家族にうまく話が伝わらないことがある。こちらからの話や先生からの話。	
時間調整。(連絡可能な時間帯。)	
MSWが情報提供する際、疑問が多い。MSWの言っていることが理解不能。MSWと医師の言っていることが違うため、医師と連携が取れない。	
認定資料の主治医の意見書において医学的管理の必要性においてチェックがなく、担当医療連絡票等で意見をいただく際に、なぜケアマネジャーがそのような意見が必要か医療機関の方がもう少し理解してほしい時がある。	
急性期病院という理由で、入院時と退院時に状態が変わってもまったく連携をしてもらえない病院があります。医療処置が必要になっても情報を出してもらえないと対応できません。他の急性期の病院は、地域連携室からきちんと連絡がいただけます。	
日頃の様子が、医師に伝わっていないことがある。FAXを送るが、最終的には、受診時に付き添いをする必要がある場合が多い。	
言語聴覚士で在宅訪問の対応してくれるところが少ない。(受診が必要なケースがほとんど。)	
週末の退院調整。	
■ 家族からの情報収集の困難	
家族から受診時の情報を得るようにしている。受診後に訪問モニタリングに行くようにしている。(変化のある人)	
病状が分かりづらい。(家族からの情報しかない。)ケアプランが効率的に進まない。	

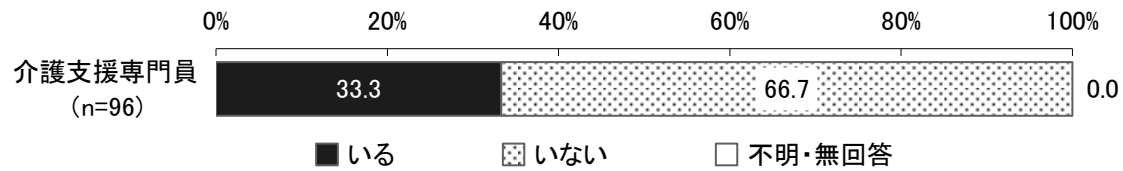
問 19 医療関係者との連携に必要なことについてお書きください。(自由回答)

医療関係者との連携に必要なこと
■ 医療情報の共有と連携
目標（利用者の）の共有。
エンジョイネットの有効活用。
在宅医療・訪問診療も増えてきたので、医師からも訪問後の報告を紙面でいただき、他の事業所にも共有連携していく。
家族は訪看にレスパイト入院や訪問日時変更など、ケアマネジャーが知らないことがあった。
CM発信ばかりでなく医療者からの連携発信があってもよい。
利用者様についての情報共有を密にしていく。訪看や主治医の訪問時に合わせてモニタリング訪問するなど。
退院時、相談員と現場と把握している情報が違う場合があり、情報収集する際、F a より聞いてみるなど工夫している。
自分自身が医療知識を身につけること。
D r . にえん joy ネットの活用をしてほしい。
主治医連絡票、連携シート。
本人や家族の意向をしっかり把握した上で情報の共有を行うこと。
タイムリーな情報共有。
病状・医療情報の共有
医療情報の聴取。在宅時の情報共有。
本人の状況の変化等あった場合にはサービス事業所にも連絡し、情報を共有するように努めている。
最新の利用者状況の共有。
医療系サービスの必要性の有無。病状の確認。受診時に家族の補足説明。
■ 相手の立場や業務の理解
医療機関へ出向く。（医療関係者が外へ出ることはあまりないので。）こちらから会うように心がける。
病気の理解。治療や今後生活へどのような影響があるのか注意すべき点。相談や受診をする兆候の有無や内容。
自分で調べることも必要かと。とんちんかんなことは聞かない。
生活状況を含めた連携がほしい。
互いの仕事の中身を理解すること。
互いの立場や仕事について理解して協力すると良いと思います。情報を適切に出していただくことで、早めの退院後の受け入れ体制準備ができるので利用者の無駄な入院も少なくできると思います。
お互いの立場に立った視点の共有。
医学的な専門性を持ち合わせていないため、ご教授いただけるようお願いいただけるような対応を心がけたい。
相手の立場になり考える。
互いの業務、役割の理解、浅くてもよいので知る努力が必要。
互いの業務、役割の理解。
■ 利用者や家族へのわかりやすい説明
明確な回答がもらえるように伝えること。
本人、家族が理解できるように伝える。
生活面は知らないことが多いので細かく伝えるようにする。
福祉系出身でわかりにくい医療用語。
わかりやすい説明。情報と目的の共有。

医療関係者との連携に必要なこと
利用者主体で困っていることや共有すべきことを明確にすること。
■ 負担軽減や配慮した対応
お互い業務の負担にならないようなやりとりを考えていく事が必要だと思う。
皆さん多忙なので、なるべく負担をかけないようにしている。
配慮。
利用者が困っていることや自立した生活が送れるような提案に努めている点。
■ 迅速かつ簡潔な連絡
時間を合わせることが難しい（ケアマネ側がなるべく合わせるようにする）。えん joy ネットを活用。
直接顔を見て話す。
医療関係者の中には「忙しい！」という雰囲気を出されてこちらから連絡をするのを遠慮しがちになる。その壁をなくせられたらいい。
迅速に対応するための連絡のタイミング。
要点をまとめてから伝える。
情報の正確さ。簡潔に伝える。
忙しい相手に簡潔に重要なことが伝わること。
連絡や報告などを適宜行うように努めている。
早い段階での密な連絡。
■ その他
顔の見える関係づくり。
ケアマネジャーから医師に相談したときに話を変えたり、怒鳴る医師がまれにいます。そのような時は医師と連携を取るのが難しくなります。
共通言語。
名古屋市に比べて医師の意識が低い。遅れていると思う。
利用者の状態把握ができる。

問 20 あなたが担当されている利用者の中で、痰の吸引や経管栄養などの医療行為が必要な人はいますか。(単数回答)

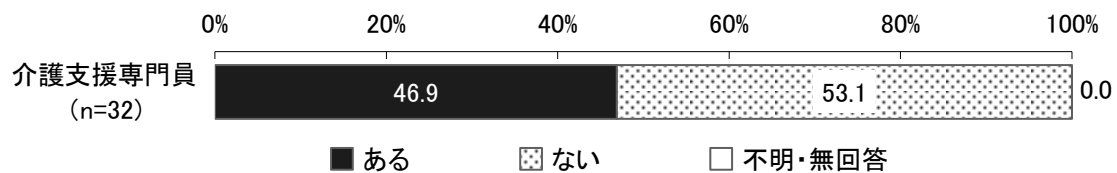
担当している利用者の中で、痰の吸引や経管栄養などの医療行為が必要な人について、「いる」が33.3%、「いない」が66.7%となっています。



<問 20 で医療行為が必要な人が「いる」と回答した方のみ>

問 21 医療行為が必要なためにケアマネジメントで困っていることはありますか。(単数回答)

医療行為が必要なためにケアマネジメントで困っていることの有無について、「ある」が46.9%、「ない」が53.1%となっています。



<問 21 でケアマネジメントで困っていることが「ある」と回答した方のみ>

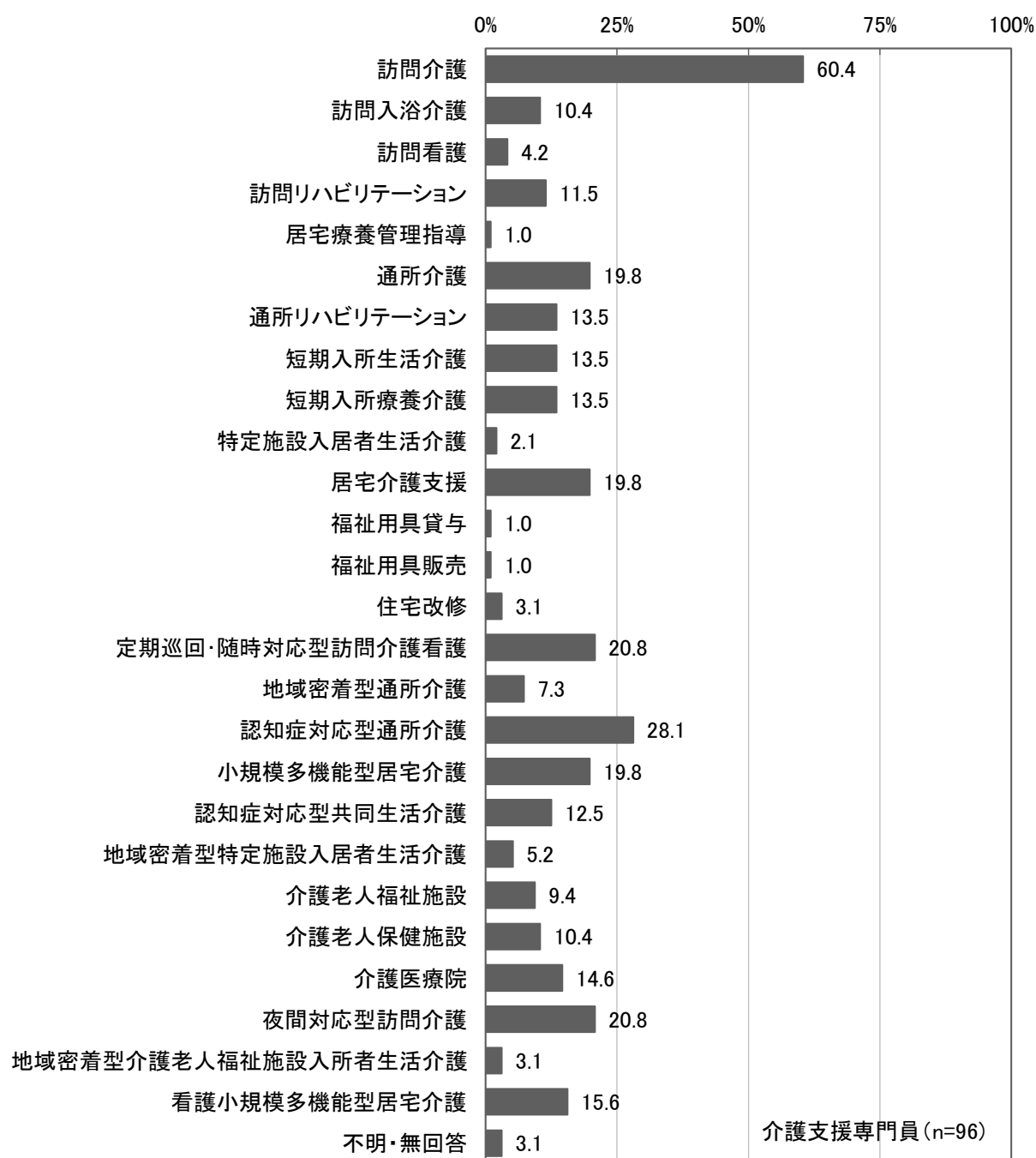
問 22 医療行為が必要なためにケアマネジメントで困っていることをお書きください。
(自由回答)

医療行為が必要なためケアマネジメントで困っていること	
■ 医療的ケアの受け入れ先不足	
痰吸引や経管栄養が行える訪問介護事業所がみつからない。また医療行為が必要な時、土・日関わらず支援が必要な方も多いが、土・日やっている事業所がみつからない。	
日中、デイケア利用しているが痰吸引なく過ごしており、夜間も引くことはほばないと家族の話でショート施設を新規サービスで依頼したが、痰吸引の必要性に関して、携わる介護者により有無不明となり中止になった。	
行先がほとんどなく、医療型有料老人ホームに限られる。計画したり担当したりすることが少ないので知識が乏しい。	
サービスの受け入れ先が少ない。	
透析している人が利用できるショートがない。	
短期入所系で利用できる場所がない。	
特に通所系サービスで受け入れが難しい事例がある。	
ペースト食や痰の吸引を受け入れてくれる事業所が少ない。	
■ 医療・介護連携の課題	
医療との連携、病気の理解。	
土日や祝日の人員不足により、看護師による訪問回数の増減があります。仕方がない事だとは思いますが、必要な医療的ケアが不足しないかと心配になりますが、回数ばかり増えてもよいケアという訳でもなく、難しいと感じます。	
医療の人は決めつけてくることが多いので、調整業務のみとなることが多い。	
入院時在宅。情報は送付するが、病院から退院時に情報がない。退院後に状態が違っていて、そこからの調整となる。	
■ その他	
夜間や緊急時の対応。家族の本人の状態への理解度（リスクを含む）。	
自分の知識と経験不足のため。	
本人の拒否。	
注意点や不良時の対応がわからない。ネットで調べても、実際とは違うことがある。	
夜中のトラブル→救急搬送までではない状況だが、自分たちでは解決できないもの。家族もいない。	

4 本市の介護サービスの供給について

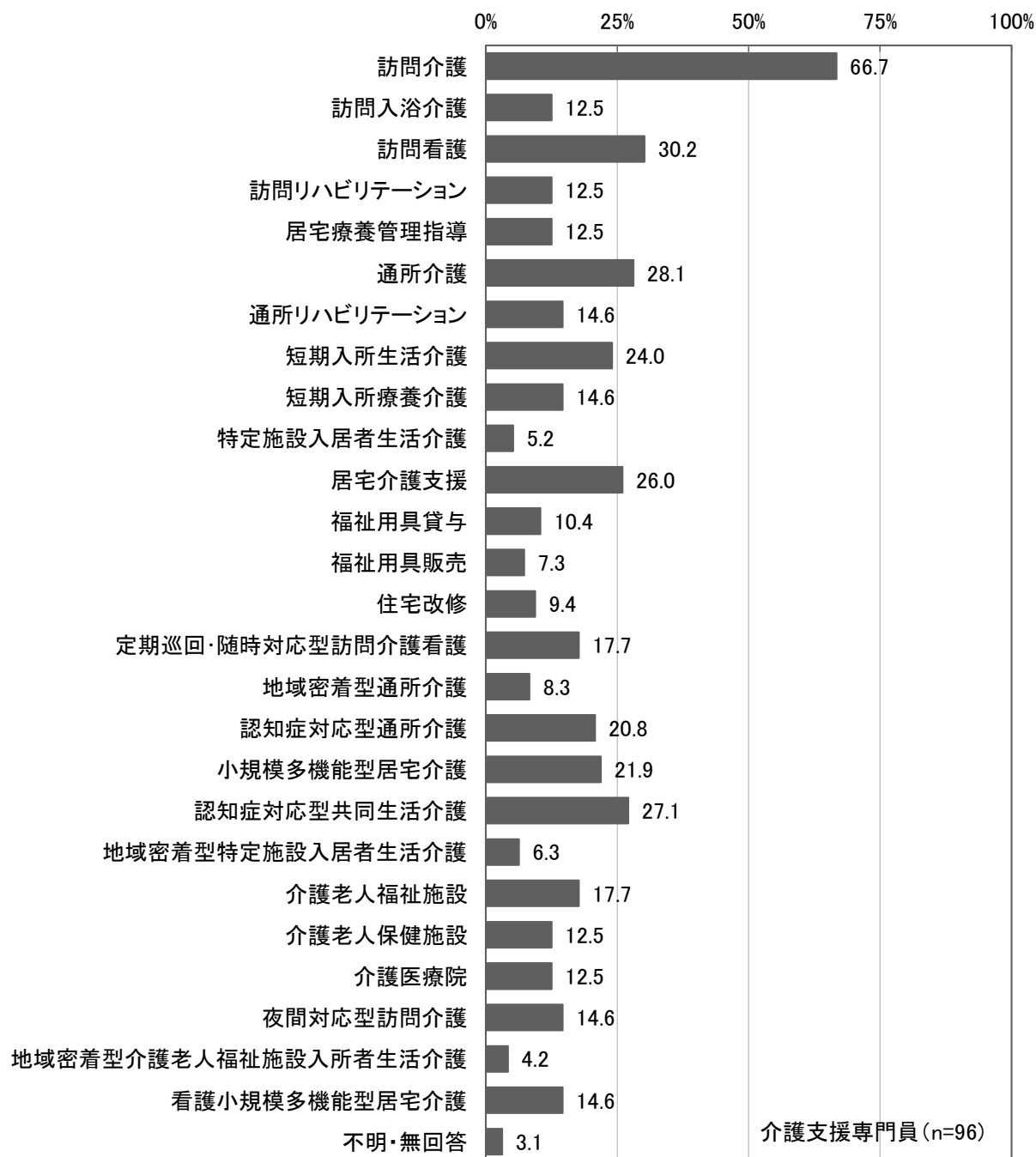
問 23 本市の介護サービスの中で、現在、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。(複数回答)

供給が不足していると感じている介護サービスについて、「訪問介護」が 60.4%と最も高く、次いで「認知症対応型通所介護」が 28.1%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」がそれぞれ 20.8%となっています。

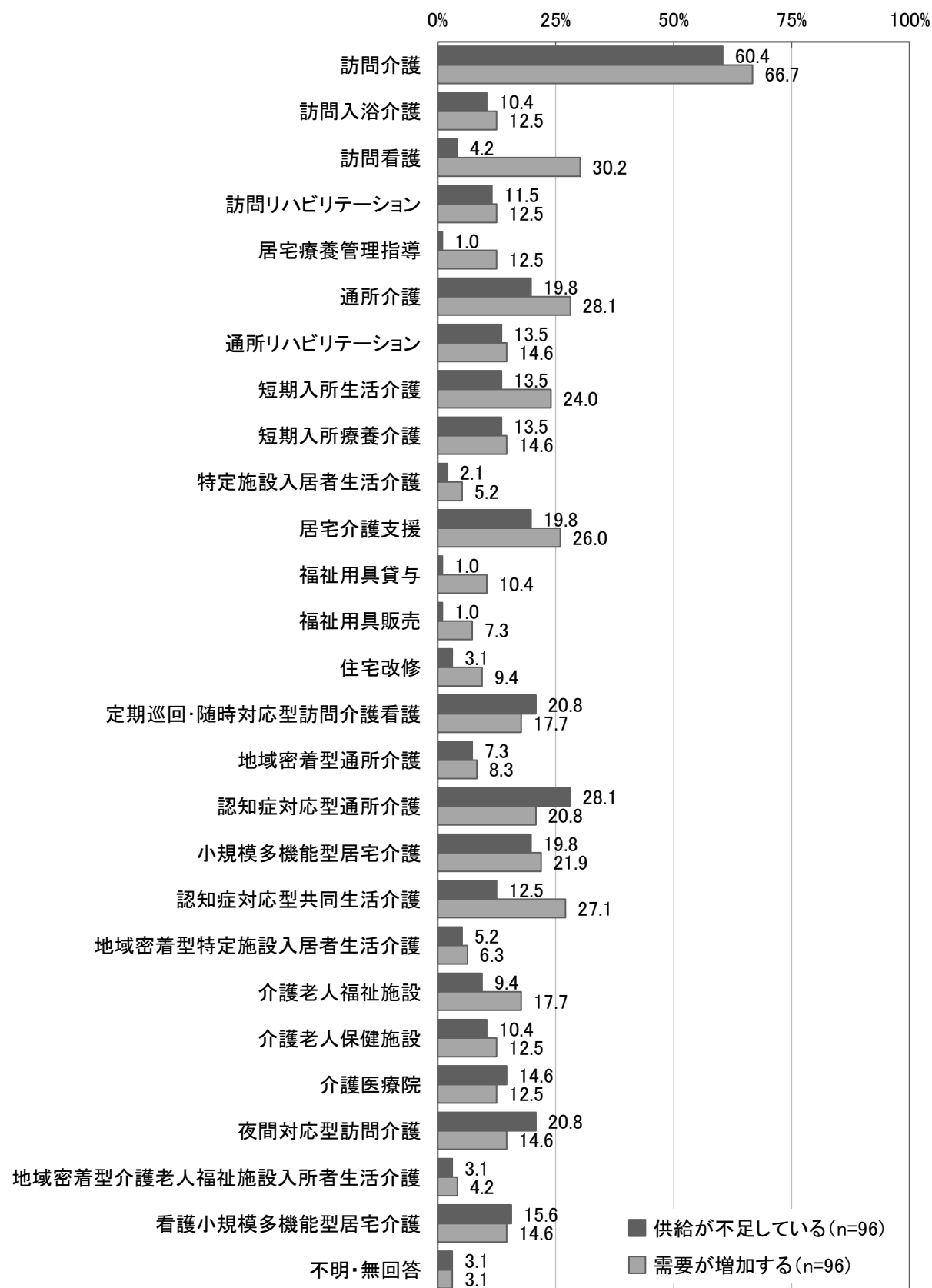


問 24 本市の介護サービスの中で、今後、需要が増加すると予測するサービスは何ですか。(複数回答)

今後需要が増加すると予測する介護サービスについて、「訪問介護」が66.7%と最も高く、次いで「訪問看護」が30.2%、「通所介護」が28.1%となっています。



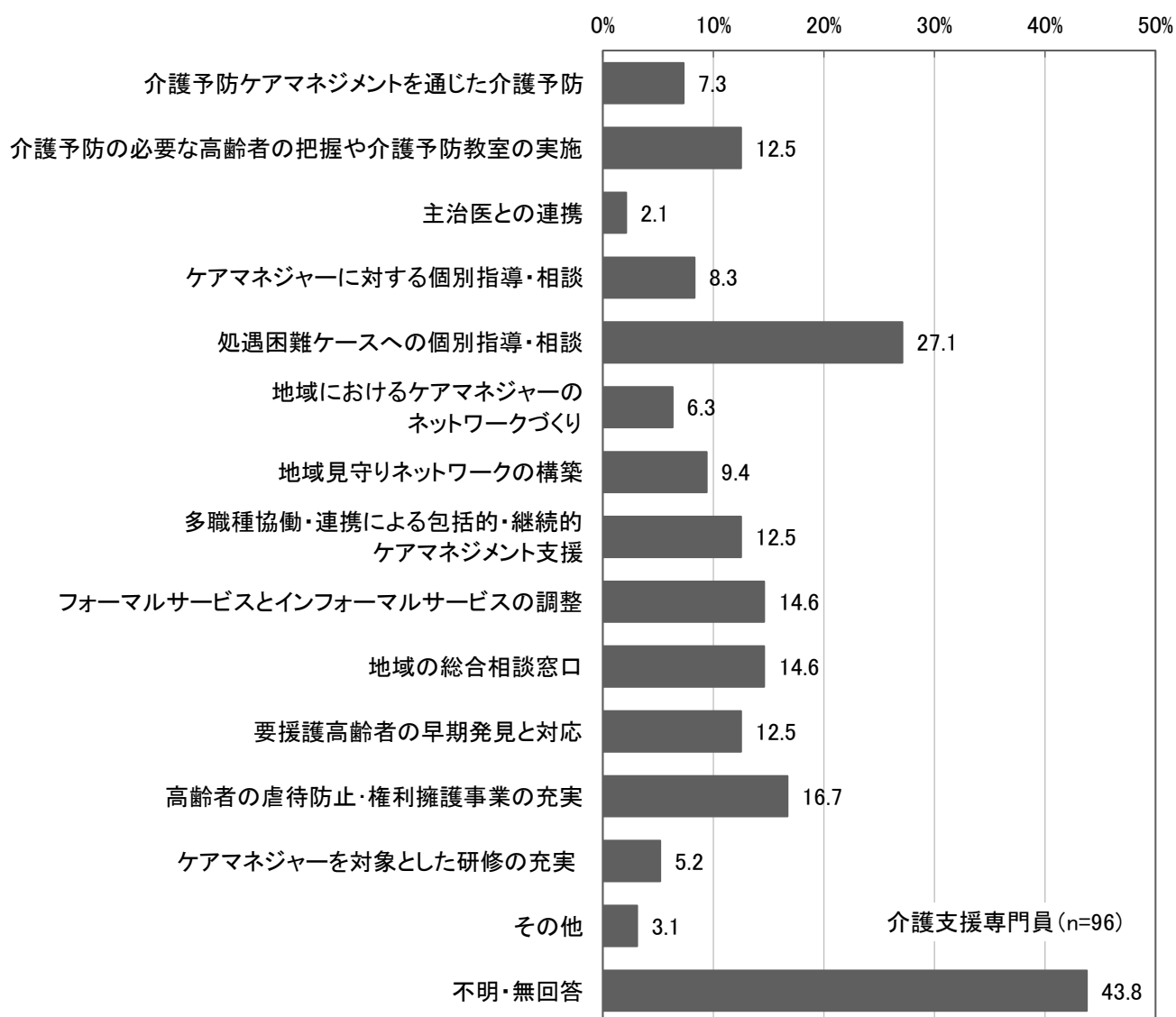
■ ■ 問23・問24の比較



<地域包括支援センターに従事している方以外の方のみ>

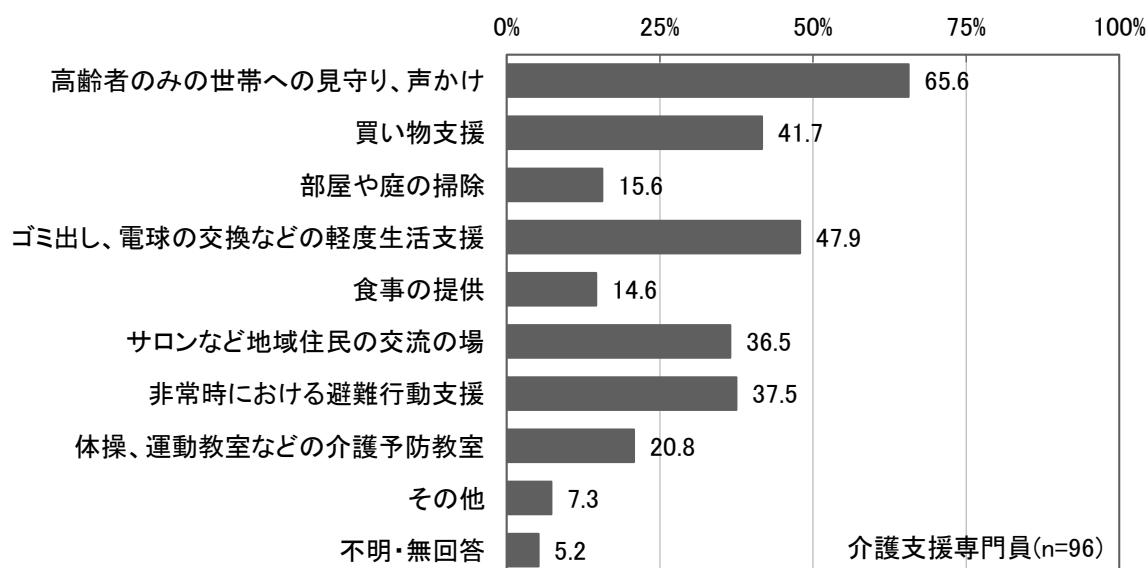
問 25 地域包括支援センターについて、期待することは何ですか。
(複数回答)

地域包括支援センターについて感じていること、期待することについて、「処遇困難ケースへの個別指導・相談」が27.1%と最も高く、次いで「高齢者の虐待防止・権利擁護事業の充実」が16.7%、「フォーマルサービスとインフォーマルサービスの調整」「地域の総合相談窓口」がそれぞれ14.6%となっています。



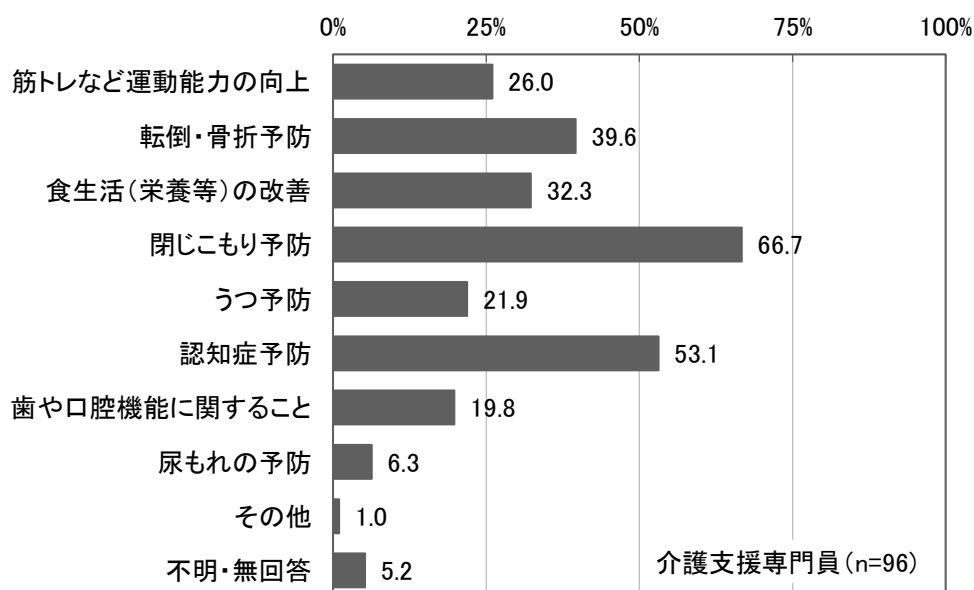
問 26 地域住民の力を活用した高齢者支援で必要だと思うものについて、あてはまるものをお答えください。(複数回答)

地域の住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思うものについて、「高齢者のみの世帯への見守り、声かけ」が65.6%と最も高く、次いで「ゴミ出し、電球の交換などの軽度生活支援」が47.9%、「買い物支援」が41.7%となっています。



問 27 介護予防に関して、特に強化したほうがいいと感じる取り組みは何ですか。(複数回答)

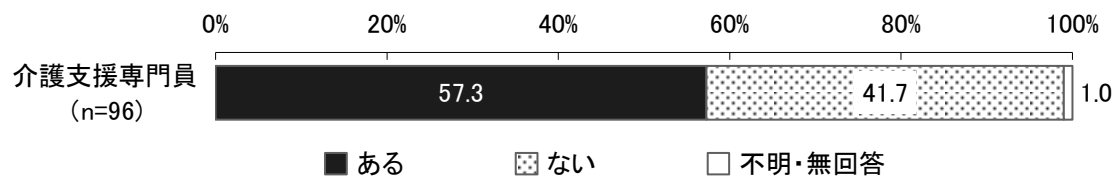
介護予防に関して、特に強化したほうがいいと感じる取り組みについて、「閉じこもり予防」が66.7%と最も高く、次いで「認知症予防」が53.1%、「転倒・骨折予防」が39.6%となっています。



5 虐待や権利擁護について

問 28 あなたは、過去3年間に虐待の疑われるケースに関わったことがありますか。
(単数回答)

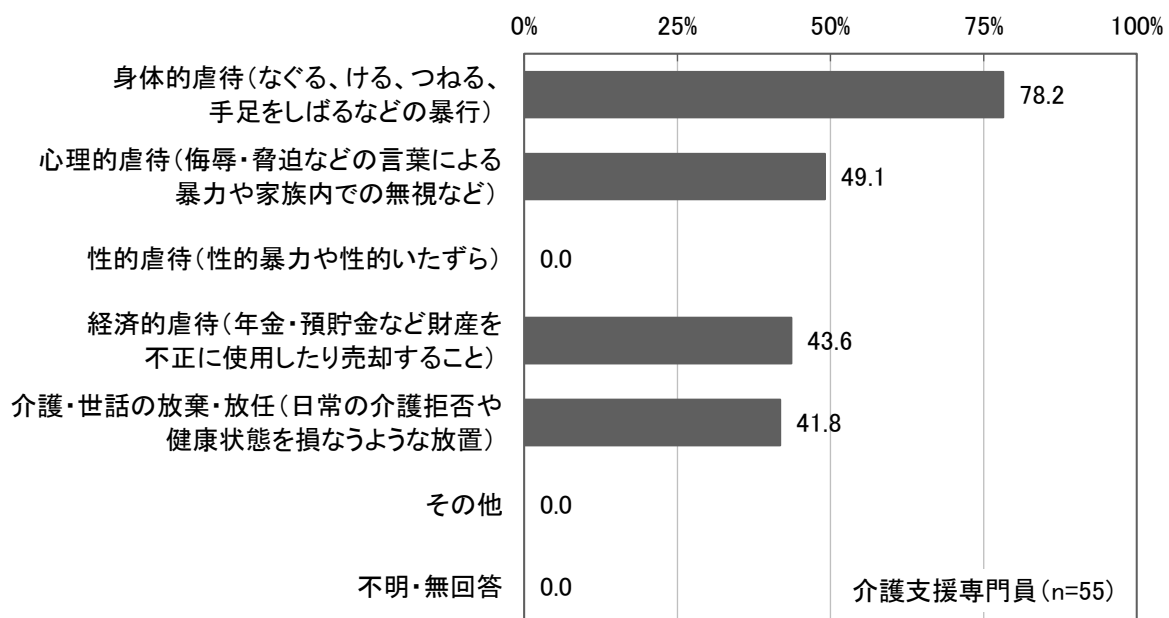
虐待の疑われるケースに関わったことがあるかについて、「ある」が57.3%、「ない」が41.7%となっています。



<問 28 で虐待の疑われるケースに関わったことが「ある」と回答した方のみ>

問 29 あなたが関わった虐待の疑われるケースは、どのようなケースですか。
(複数回答)

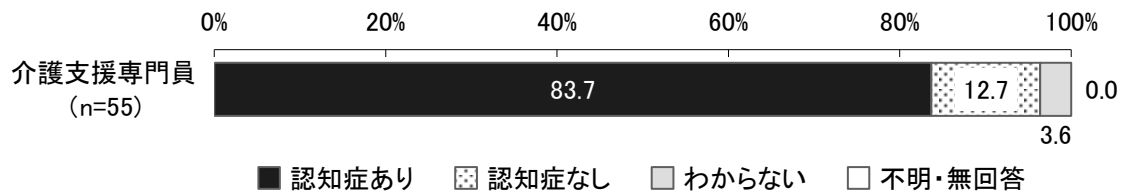
関わった虐待の疑われるケースについて、「身体的虐待(なぐる、ける、つねる、手足をしばるなどの暴行)」が78.2%と最も高く、次いで「心理的虐待(侮辱・脅迫などの言葉による暴力や家族内での無視など)」が49.1%、「経済的虐待(年金・預貯金など財産を不正に使用したり売却すること)」が43.6%となっています。



<問 28 で虐待の疑われるケースに関わったことが「ある」と回答した方のみ>

問 30 虐待を受けている高齢者本人に認知症はありますか。(単数回答)

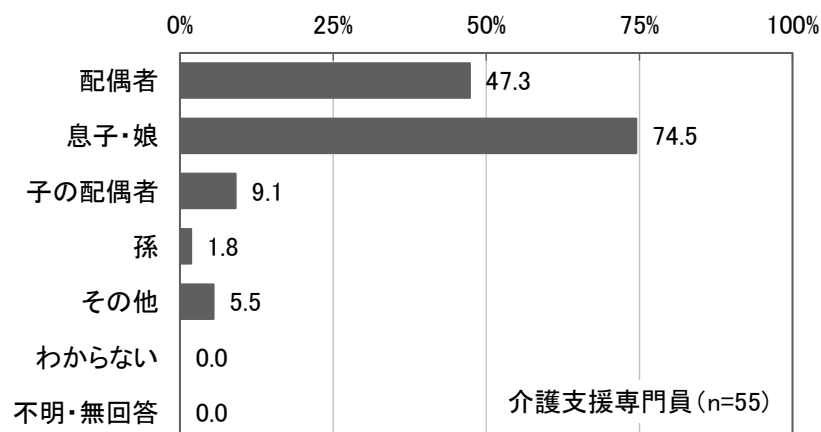
被虐待高齢者の認知症の有無について、「認知症あり」が 83.7%、「認知症なし」が 12.7%、「わからない」が 3.6%となっています。



<問 28 で虐待の疑われるケースに関わったことが「ある」と回答した方のみ>

問 31 高齢者を虐待していると思われる人(虐待者)は、高齢者本人からみてどういった関係ですか。(複数回答)

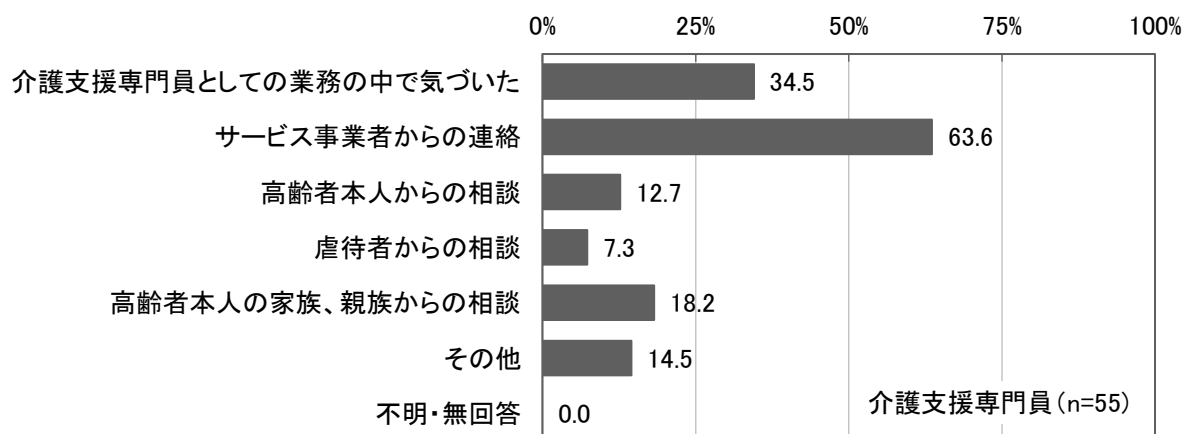
虐待者との続柄について、「息子・娘」が 74.5%と最も高く、次いで「配偶者」が 47.3%、「子の配偶者」が 9.1%となっています。



<問 28 で虐待の疑われるケースに関わったことが「ある」と回答した方のみ>

問 32 あなたが高齢者虐待を知った経緯は何ですか。(複数回答)

高齢者虐待を知った経緯について、「サービス事業者からの連絡」が 63.6%と最も高く、次いで「介護支援専門員としての業務の中で気づいた」が 34.5%、「高齢者本人の家族、親族からの相談」が 18.2%となっています。



6 在宅生活の継続や介護人材について

※問 33～36 は、自宅、サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームにお住まいの方についてお考え下さい。

問 33 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者はいますか。(単数回答)

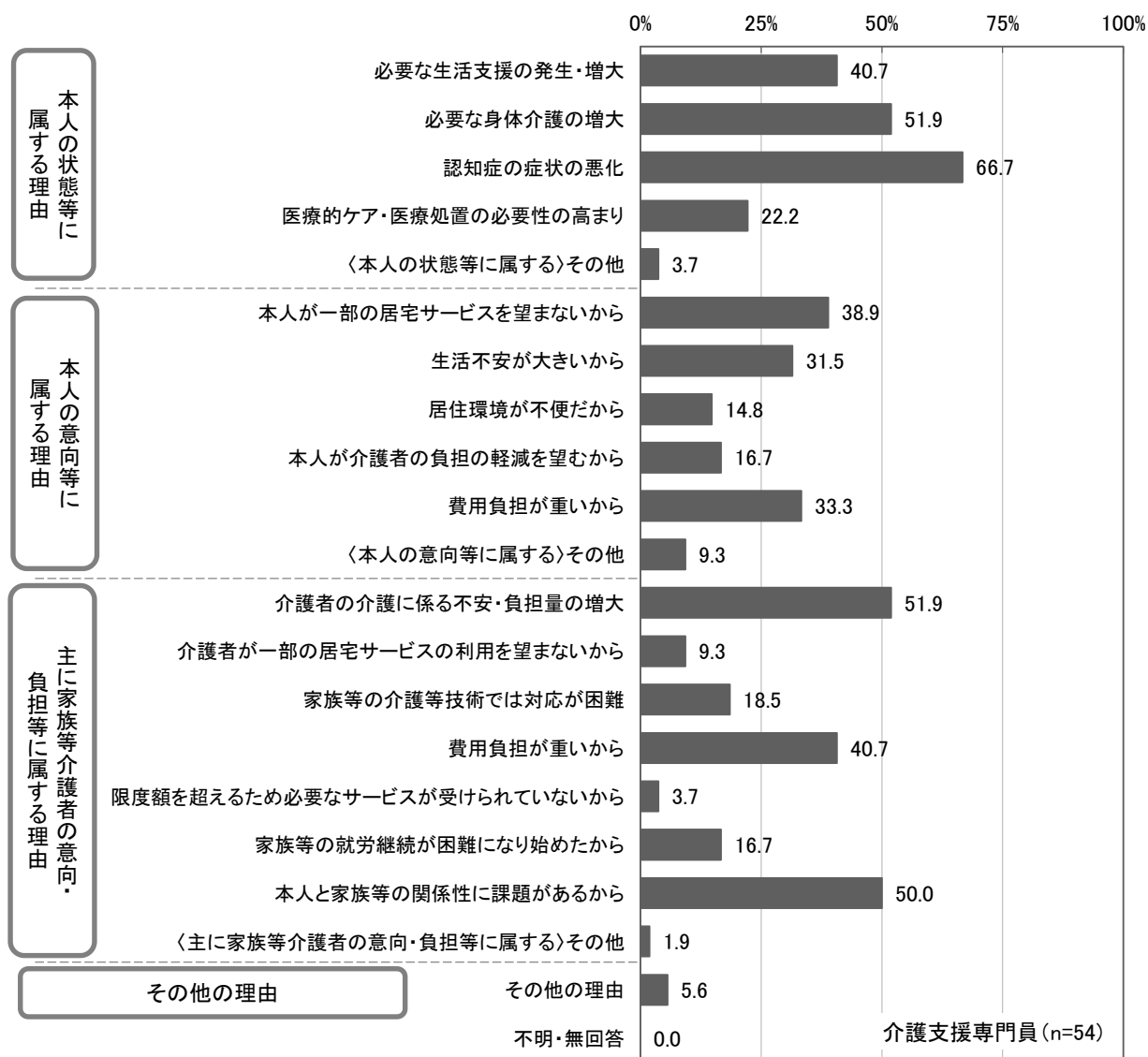
現在のサービス利用で、生活の維持が難しくなっている利用者の有無について、「いる」が 56.3%、「いない」が 39.6%となっています。



<問33で生活の維持が難しくなっている利用者が「いる」と回答した方のみ>

問34 生活の維持が難しくなっている理由で多いものは何ですか。(複数回答)

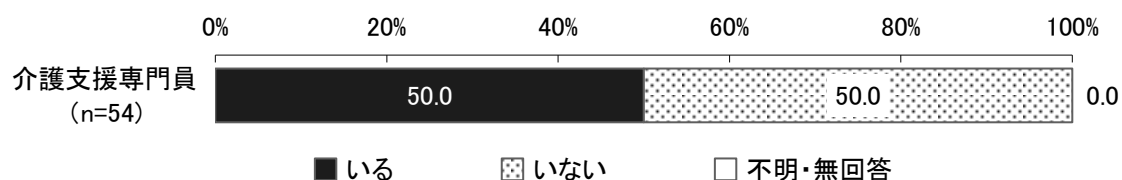
生活の維持が難しくなっている理由で多いものについて、「認知症の症状の悪化」が66.7%と最も高く、次いで「必要な身体介護の増大」「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」がそれぞれ51.9%、「本人と家族等の関係性に課題があるから」が50.0%となっています。



<問 33 で生活の維持が難しくなっている利用者が「いる」と回答した方のみ>

問 35 担当されている利用者の中で、施設の入所・入居の緊急度が高いと思われる人はいますか。(単数回答)

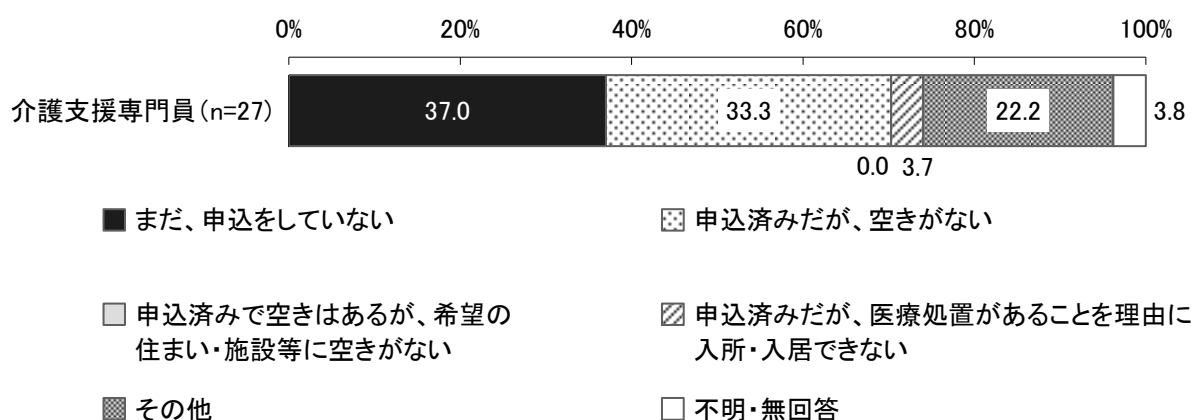
担当している利用者の中で、施設の入所・入居の緊急度が高いと思われる人の有無について、「いる」が 50.0%、「いない」が 50.0%となっています。



<問 35 で施設の入所・入居の緊急度が高いと思われる人が「いる」と回答した方のみ>

問 36 入所・入居できていない理由として多いものは何ですか。(単数回答)

入所・入居できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が 37.0%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」が 33.3%、「その他」(本人や家族が希望しないため、お金がない 等)が 22.2%となっています。



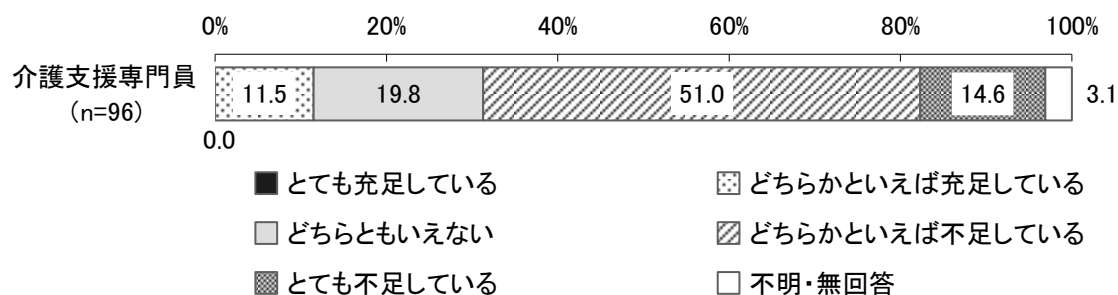
問 37 近年の本市の介護人材について、おおむねどのように感じていますか。
(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『充足している』 … 「とても充足している」と「どちらかといえば充足している」を合算

『不足している』 … 「どちらかといえば不足している」と「とても不足している」を合算

近年の本市の介護人材について、『充足している』が11.5%、「どちらともいえない」が19.8%、『不足している』が65.6%となっています。

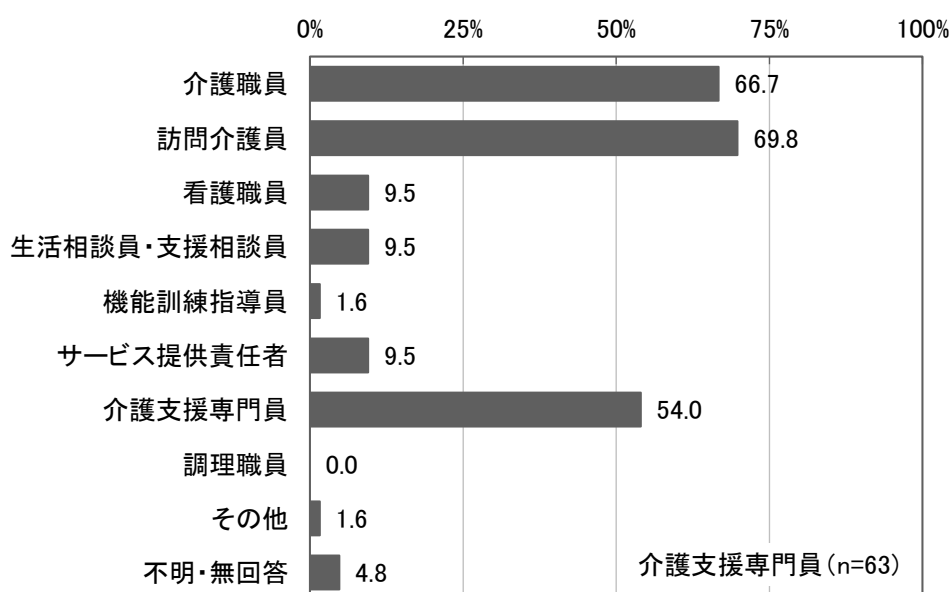


<問 37 で近年の本市の介護人材について「どちらかといえば不足している」または「とても不足している」と回答した方のみ>

問 38 本市で不足していると感じる介護人材は何ですか。

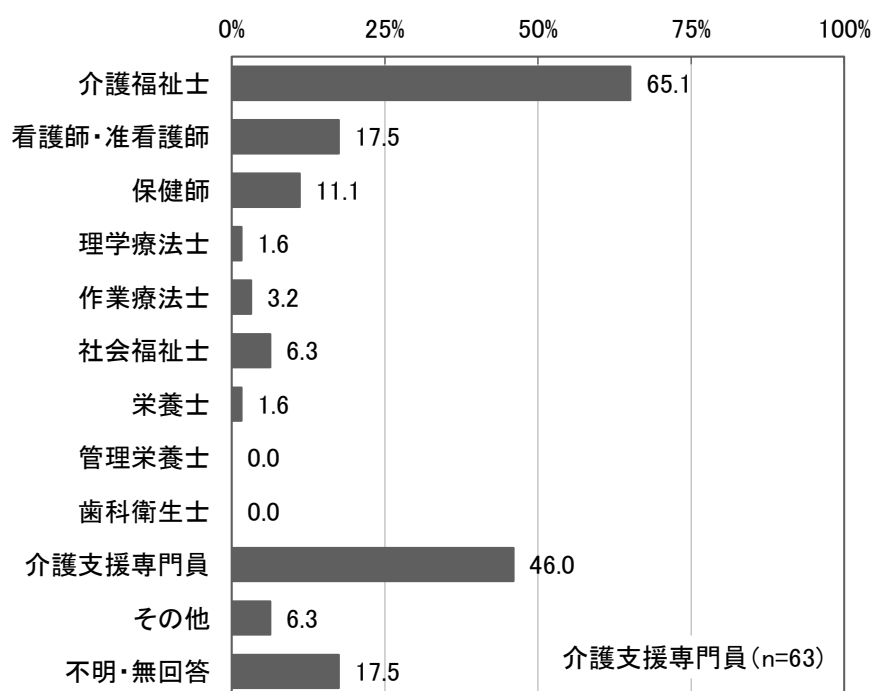
①職種 (複数回答)

本市で不足していると感じる介護の職種について、「訪問介護員」が69.8%と最も高く、次いで「介護職員」が66.7%、「介護支援専門員」が54.0%となっています。



②有資格者（複数回答）

本市で不足していると感じる介護の有資格者について、「介護福祉士」が 65.1%と最も高く、次いで「介護支援専門員」が 46.0%、「看護師・准看護師」が 17.5%となっています。



問 39 介護人材の不足または確保への対応として、市に望む支援等があればお書きください。（自由回答）

介護人材の不足への対応として市に望む支援等の内容
■ 介護職・ケアマネジャーの人材不足 人材の望む仕事ではないと感じてしまう。資格を得ても仕事につなげにくい。 介護支援専門員の資格を取っても働く人が少ない。いろいろな原因が考えられ研修の廃止論も出ている。ケアマネジャーも高齢化しているため、後任の人たちの育成を考えてほしいです。 介護支援専門員の不足、介護士の不足について、それぞれの仕事の魅力をイベントや（有名人など起用して）体験、SNSで発信してほしい。また、現職者がステージで仕事の話をするなど、福祉や市のイベントで市民と交流できると身近な存在になるかもしれない。若い世代へ響く啓発や配信をしていく必要があるかと思う。 介護保険制度に課題が多く、上記職種が増えるとは考えづらい。介護職員・ケアマネになるためにはとか、魅力ややりがいある職業であることへのアピールなど宣伝するのも良いかもしれない。一般的に悲観的イメージが強い。（世間的） 他市に比べて、介護人材や福祉サービスは充実していると感じます。特に不満はないです。ただ、ケアマネジャー本人が病気になった時に、代わりのケアマネジャーがいないので、何かあった時のネットワークづくりがあると安心だと思います。 ヘルパーサービスの需要が増えているため、人材育成などが必要と考えます。 外国の方の柔軟な介護現場への受け入れ支援。
■ 給与や処遇の改善要望 市独自の処遇改善手当を市内で就労する介護職に直接交付するような制度はいいでしょうか。また、主任ケアマネ更新などの費用も事業所ではなく、個人への補助・支給が望ましいです。 処遇改善の見直し。業務負担の軽減。 CMの業務が多すぎる。その上、運営指導や研修に追われ精神的にも身体的にもギリギリで支援している。抜本的な改善を強く望む。そうでなければ人材育成までできない。 介護報酬を上げていただくのが1番。 特別手当金の支給など。 給料の補助。 給料を上げることが必要。 給与面や待遇について、補助を出せないか。事業者への給与面や待遇について、改善指導できないか。 処遇改善。 ケアマネジャーへの手当。 給与の増額ができるようにする。ハラスメント対応への支援がある。業務の相談に対応してくれる人がいる。同業者との連携が取れる場がある。 人材育成。給与支援。採用支援。
■ 研修や資格取得費用の補助 介護人材不足に対して、人材派遣費用がとて高いので補助金を設ける。 ケアマネジャー更新研修の廃止。 研修等の費用の支援。 介護支援専門員更新研修について、費用も時間もかなりかかることから本来の業務に支障あると思います。費用補助などであると助かります。 法定研修費用の助成。 有資格者の確保と介護人材のスキルアップ。惰性での仕事は長続きしない。長期に渡り仕事ができるように、現場の人への研修会やグループワークなどを行ってほしい。研修会の質の向上。レベル相応の研修会の実施。

介護人材の不足への対応として市に望む支援等の内容	
■ その他	
言語療法士。失語症の人が見捨てられている。	
介護保険外のことも柔軟に対応できる自費サービスの強化。身元保証サービス。低所得者、独居の方への手が届く支援など。	
SNSの周知と理解。	
ヘルパーの人材が少ないため、弁当を毎日頼めるといい。（業者によっては曜日指定があり、デイサービスの利用と重なると頼めない。）弁当業者の確保。	
市の対応できることがわかりません。	
介護保険の申請を確認できるようにしてほしい。地域包括支援センターに提出するプランは何度も足を運ぶ必要があり手間がかかるので、仕事の好循環を図れるようにしてほしい。	

刈谷市高齢者等実態調査報告書

発 行 ： 令和8年3月

発行者 ： 刈谷市

編 集 ： 福祉健康部 長寿課

〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地

T E L : (0566) 62-1013

F A X : (0566) 24-2466